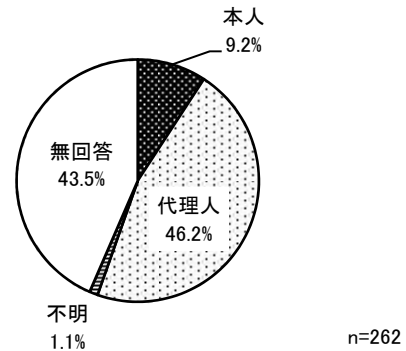


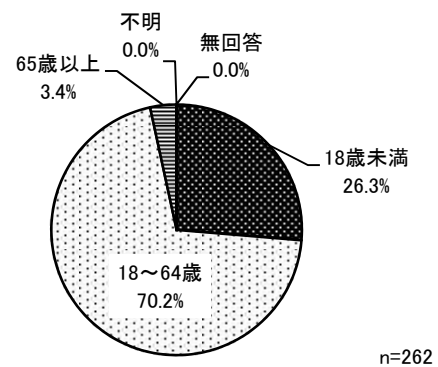
配布数	有効回答数	有効回答率
380	262	68.9%

属性1 アンケートにお答えになる方 (単数回答 n=262)

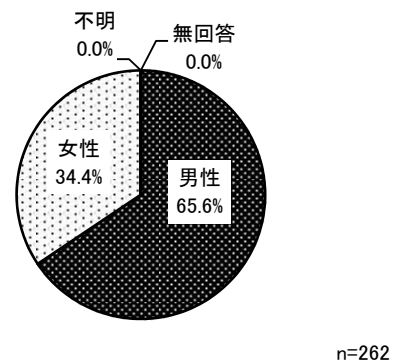
項目	人数	%
本人	24	9.2%
代理人	121	46.2%
不明	3	1.1%
無回答	114	43.5%
合計	262	100.0%


属性2 年齢 平成30年7月1日現在 (単数回答 n=262)

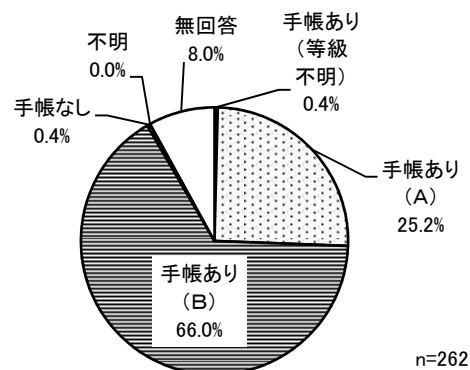
年代	人数	%
18歳未満	69	26.3%
18～64歳	184	70.2%
65歳以上	9	3.4%
不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	262	100.0%


属性3 性別 (単数回答 n=262)

性別	人数	%
男性	172	65.6%
女性	90	34.4%
不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	262	100.0%


属性4 療育手帳の有無・等級 (単数回答 n=262)

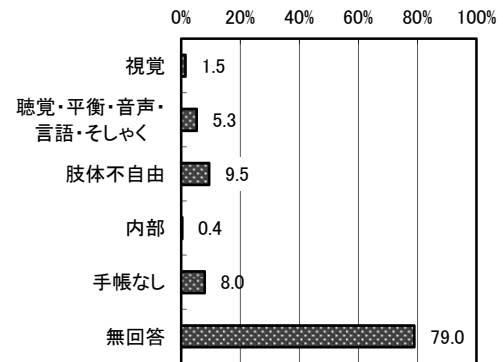
手帳の有無・等級	人数	%
手帳あり (等級不明)	1	0.4%
手帳あり (A)	66	25.2%
手帳あり (B)	173	66.0%
手帳なし	1	0.4%
不明	0	0.0%
無回答	21	8.0%
合計	262	100.0%



属性 5 身体障がいの種類・部位 (複数回答 n=262)

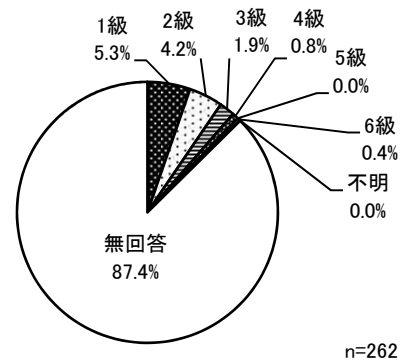
種類・部位	人数	%
視覚	4	1.5%
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく	14	5.3%
肢体不自由	25	9.5%
内部(心臓・腎臓など)	1	0.4%
手帳なし	21	8.0%
無回答	207	79.0%
合計	262	

n=262



属性 6 身体障がい者手帳の総合等級 (単数回答 n=262)

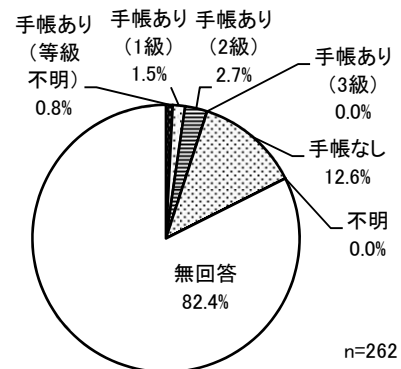
等級	人数	%
1級	14	5.3%
2級	11	4.2%
3級	5	1.9%
4級	2	0.8%
5級	0	0.0%
6級	1	0.4%
不明	0	0.0%
無回答	229	87.4%
合計	262	100.0%



n=262

属性 7 精神障がい者保険福祉手帳の有無・等級 (単数回答 n=262)

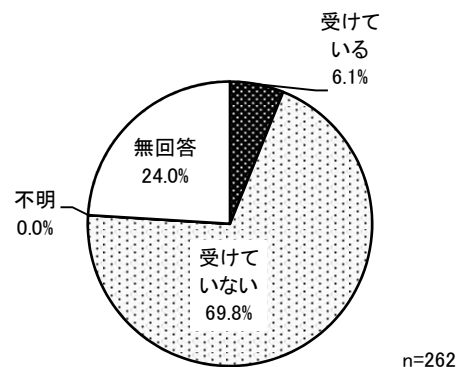
手帳の有無・等級	人数	%
手帳あり(等級不明)	2	0.8%
手帳あり(1級)	4	1.5%
手帳あり(2級)	7	2.7%
手帳あり(3級)	0	0.0%
手帳なし	33	12.6%
不明	0	0.0%
無回答	216	82.4%
合計	262	100.0%



n=262

属性 8 介護保険のサービス利用 (単数回答 n=262)

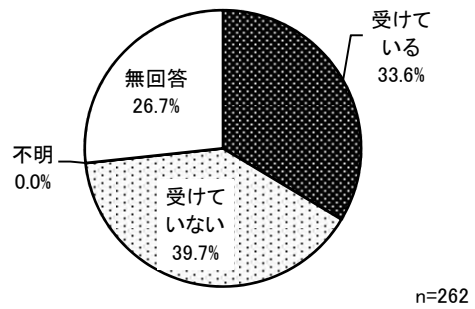
項目	人数	%
受けている	16	6.1%
受けていない	183	69.8%
不明	0	0.0%
無回答	63	24.0%
合計	262	100.0%



n=262

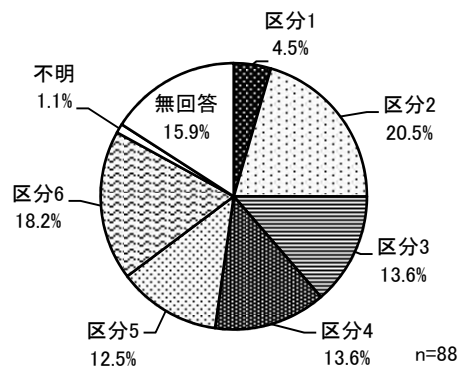
属性 9 障がい支援区分の認定 (単数回答 n=262)

項目	人数	%
受けている	88	33.6%
受けていない	104	39.7%
不明	0	0.0%
無回答	70	26.7%
合計	262	100.0%



属性 10 障がい支援区分のレベル (単数回答 n=88)

障がい支援区分	人数	%
区分1	4	4.5%
区分2	18	20.5%
区分3	12	13.6%
区分4	12	13.6%
区分5	11	12.5%
区分6	16	18.2%
不明	1	1.1%
無回答	14	15.9%
合計	88	100.0%



【生活の状況】

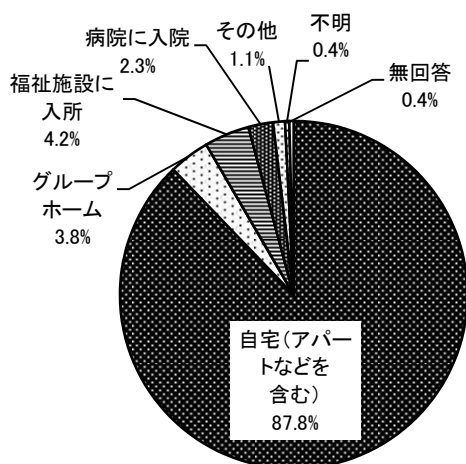
「自宅（アパートなどを含む）」が87.8%と最も高く、次いで「福祉施設に入所」が4.2%、「グループホーム」が3.8%となった。また、家族構成については、「二世帯世帯（親・子）」が67.2%と最も高く、次いで「三世帯世帯（親・子・孫）」が17.2%、「自分と兄弟姉妹」が5.3%となった。

月収（年金、福祉手当、生活保護や仕送りも含む）は、「5万円～10万円未満」が38.2%と最も高く、次いで「なし」が22.9%、「10万円～20万円未満」が17.6%となった。さらに、収入がある人に主な収入源について尋ねたところ、「障がい年金（国民・厚生・共済など）」が71.0%と最も高く7割以上を占め、次いで「本人の就労収入（工賃を含む）」が45.9%、「福祉手当（障がい者手当など）」が27.3%となった。

問1 あなたは現在どこで暮らしていますか。（単数回答 n=262）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 自宅（アパートなどを含む）	230	87.8%	66	95.7%	161	87.5%	3	33.3%
2 グループホーム	10	3.8%	0	0.0%	8	4.3%	2	22.2%
3 福祉施設に入所	11	4.2%	2	2.9%	5	2.7%	4	44.4%
4 病院に入院	6	2.3%	0	0.0%	6	3.3%	0	0.0%
5 その他	3	1.1%	1	1.4%	2	1.1%	0	0.0%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

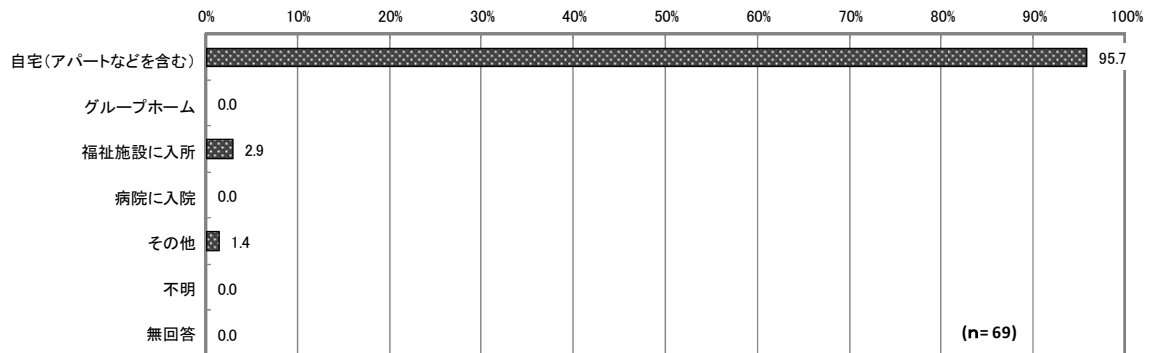
5 その他：主な内訳 実家（1）県外の学校の寮（宮城）（1）



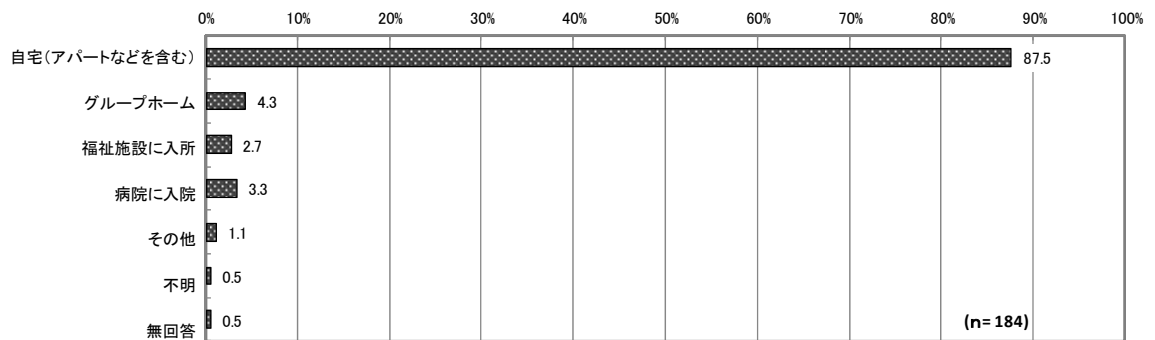
n=262

【年代別】

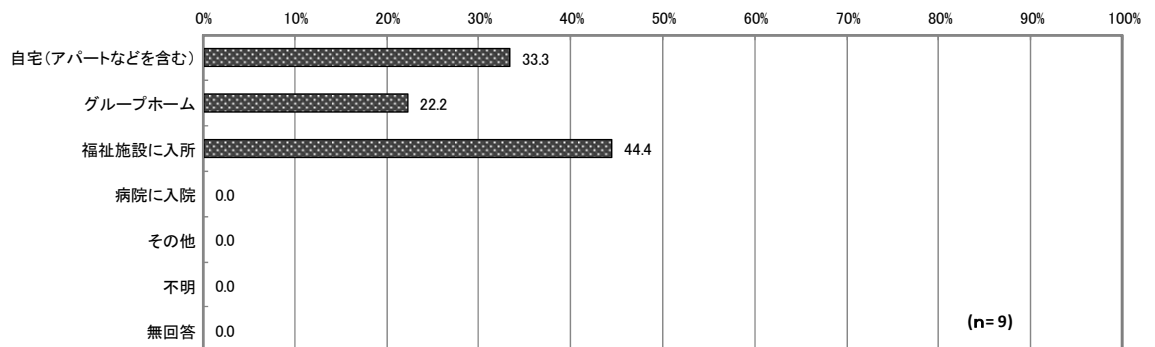
《18 歳未満》



《18～64 歳》



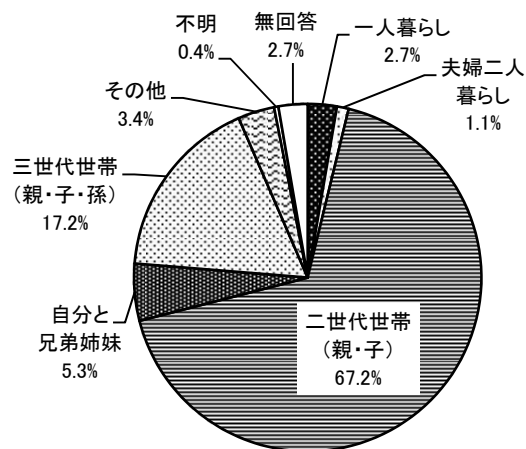
《65 歳以上》



問2 あなたの家族構成をお答えください。施設入所・入院の方は、自宅（実家）の状態をお答えください。（単数回答 n=262）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 一人暮らし	7	2.7%	1	1.4%	4	2.2%	2	22.2%
2 夫婦二人暮らし	3	1.1%	0	0.0%	3	1.6%	0	0.0%
3 二世世代世帯（親・子）	176	67.2%	50	72.5%	126	68.5%	0	0.0%
4 自分と兄弟姉妹	14	5.3%	1	1.4%	8	4.3%	5	55.6%
5 三世世代世帯（親・子・孫）	45	17.2%	16	23.2%	29	15.8%	0	0.0%
6 その他	9	3.4%	1	1.4%	6	3.3%	2	22.2%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	7	2.7%	0	0.0%	7	3.8%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

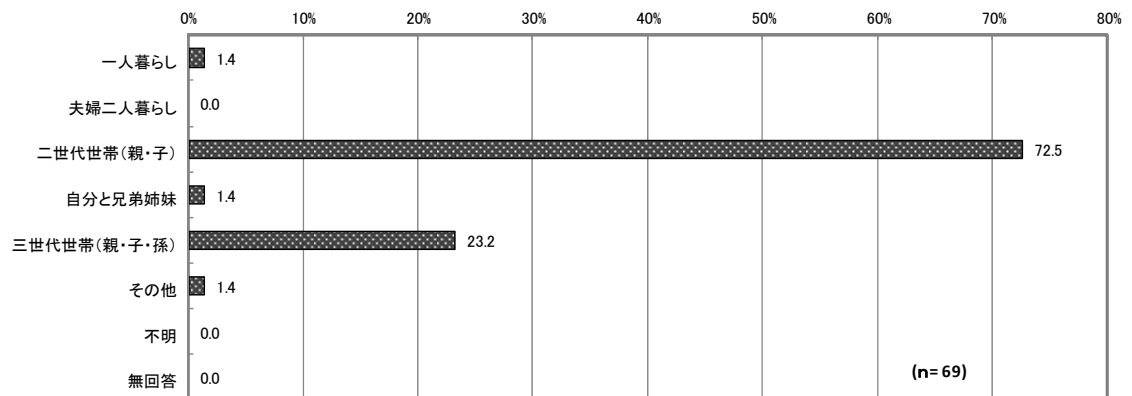
6 その他：主な内訳 自分と甥夫婦（1）親、兄、兄嫁、甥、姪（1）曾祖母、祖父母、親、姉妹（1）いとこ家族（1）



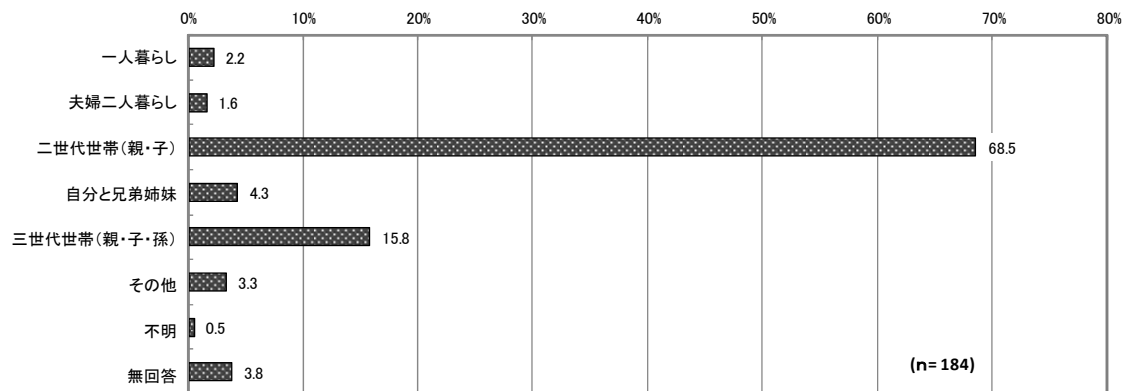
n=262

【年代別】

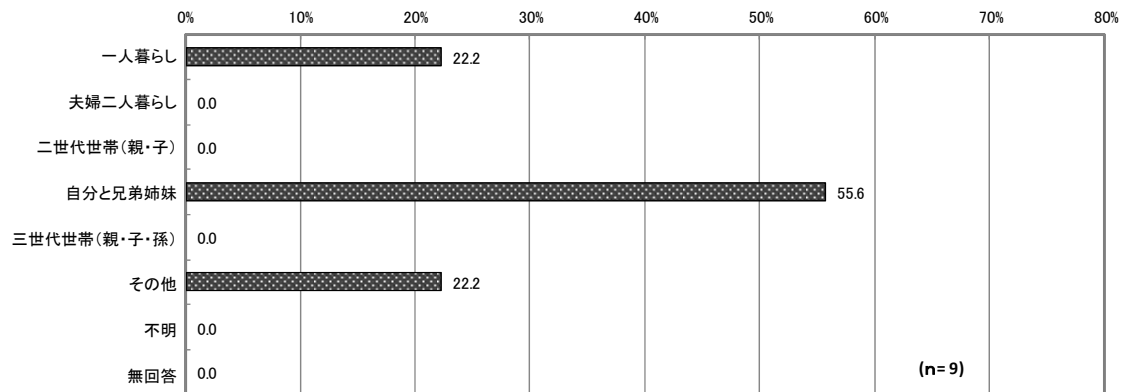
《18 歳未満》



《18～64 歳》

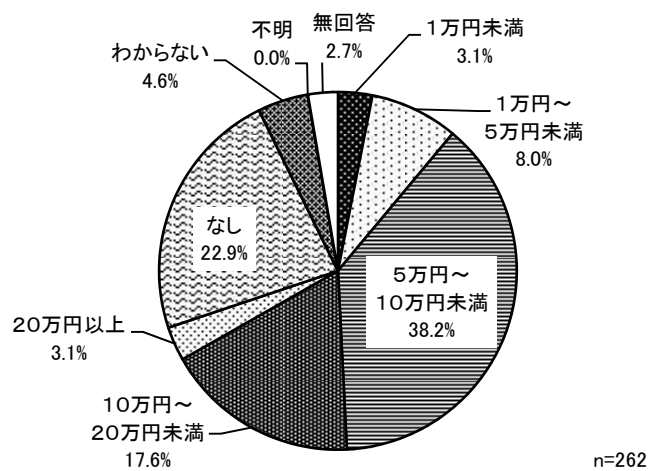


《65 歳以上》



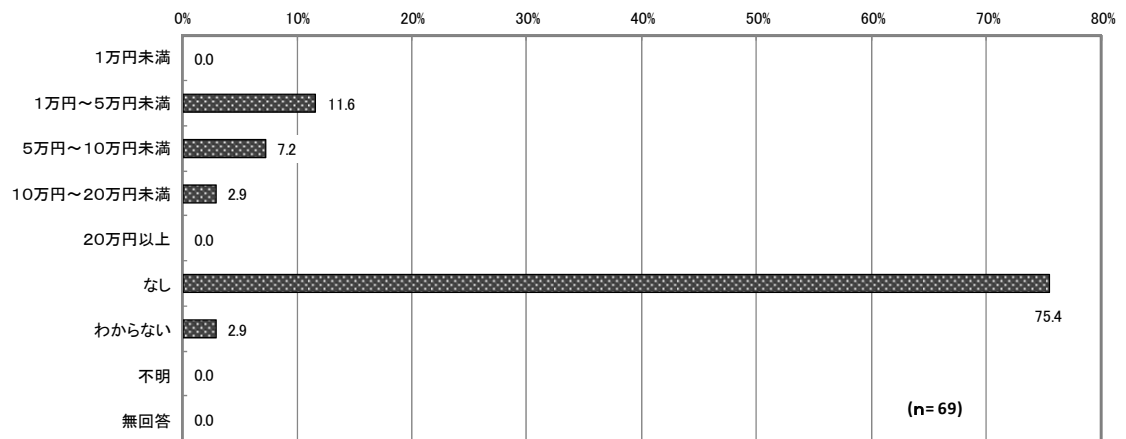
問3 あなたの月収は（年金、福祉手当、生活保護や仕送りも含む）どのくらいですか。税や社会保険料などの控除前の額をお答えください。（単数回答 n=262）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 1万円未満	8	3.1%	0	0.0%	8	4.3%	0	0.0%
2 1万円～5万円未満	21	8.0%	8	11.6%	13	7.1%	0	0.0%
3 5万円～10万円未満	100	38.2%	5	7.2%	89	48.4%	6	66.7%
4 10万円～20万円未満	46	17.6%	2	2.9%	43	23.4%	1	11.1%
5 20万円以上	8	3.1%	0	0.0%	8	4.3%	0	0.0%
6 なし	60	22.9%	52	75.4%	8	4.3%	0	0.0%
7 わからない	12	4.6%	2	2.9%	9	4.9%	1	11.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	7	2.7%	0	0.0%	6	3.3%	1	11.1%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

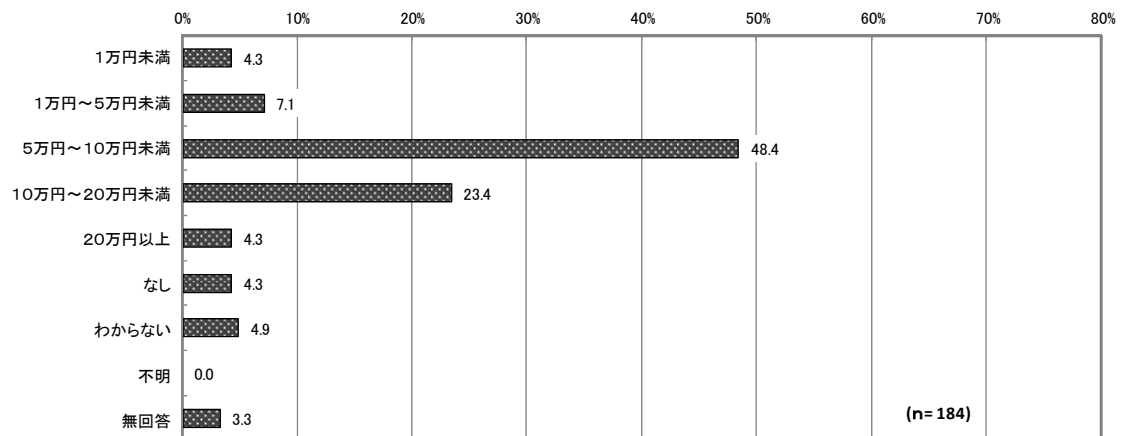


【年代別】

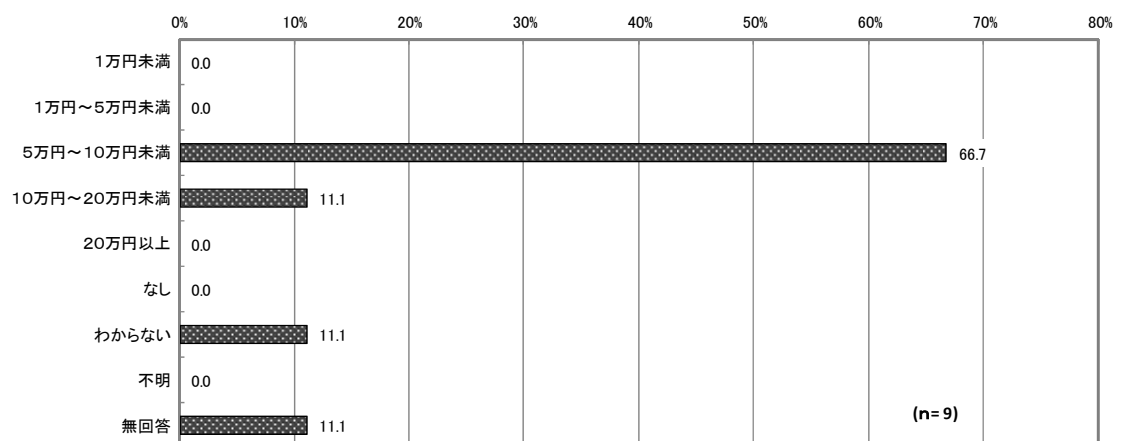
《18 歳未満》



《18～64 歳》

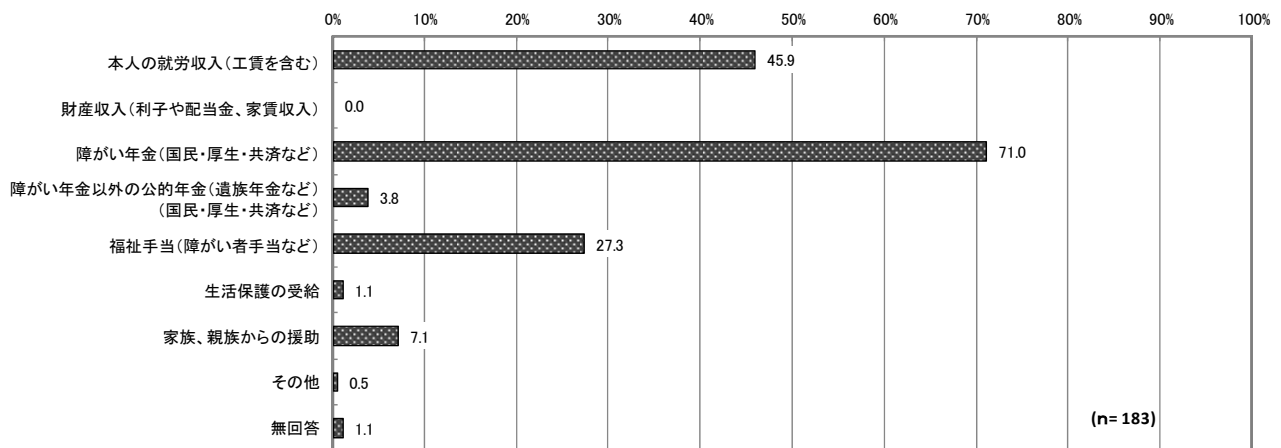


《65 歳以上》



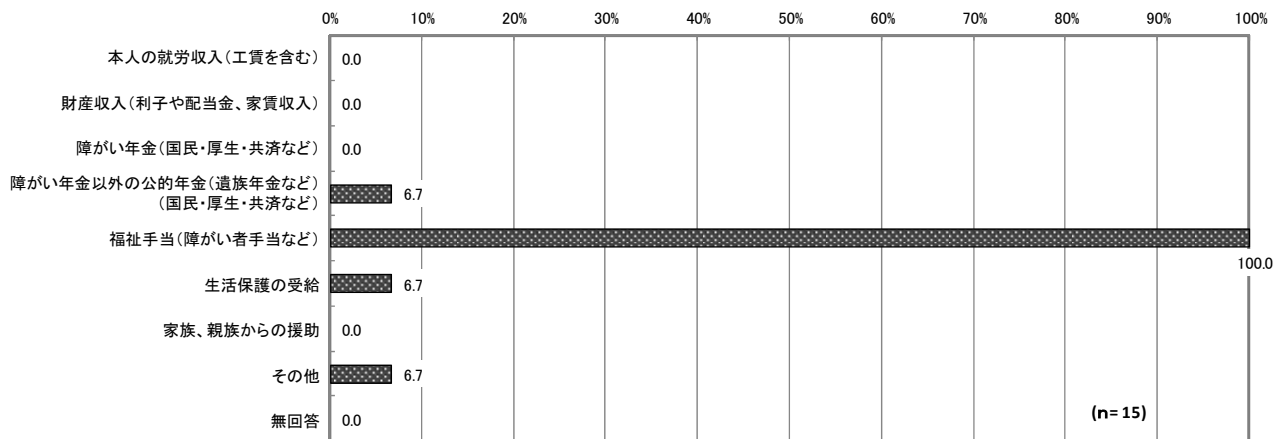
問4 問3で「1～5」を回答した方におたずねします。あなたの主な収入源はどれですか。
(複数回答 n=183)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 本人の就労収入（工賃を含む）	84	45.9%	0	0.0%	83	51.6%	1	14.3%
2 財産収入（利子や配当金、家賃収入）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 障がい年金（国民・厚生・共済など）	130	71.0%	0	0.0%	124	77.0%	6	85.7%
4 障がい年金以外の公的年金（遺族年金など） （国民・厚生・共済など）	7	3.8%	1	6.7%	4	2.5%	2	28.6%
5 福祉手当（障がい者手当など）	50	27.3%	15	100.0%	35	21.7%	0	0.0%
6 生活保護の受給	2	1.1%	1	6.7%	1	0.6%	0	0.0%
7 家族、親族からの援助	13	7.1%	0	0.0%	13	8.1%	0	0.0%
8 その他	1	0.5%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	1.1%	0	0.0%	1	0.6%	1	14.3%
合計	183		15		161		7	

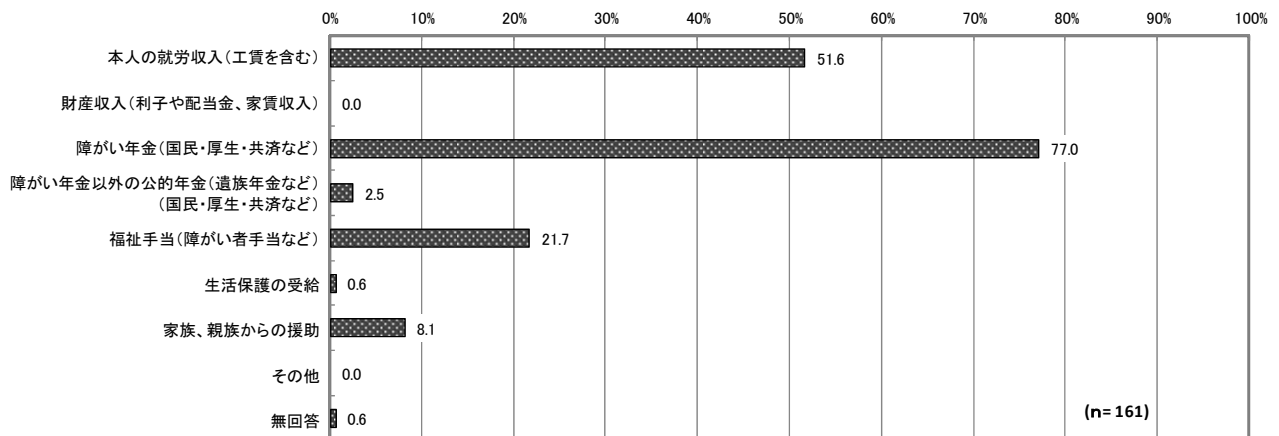


【年代別】

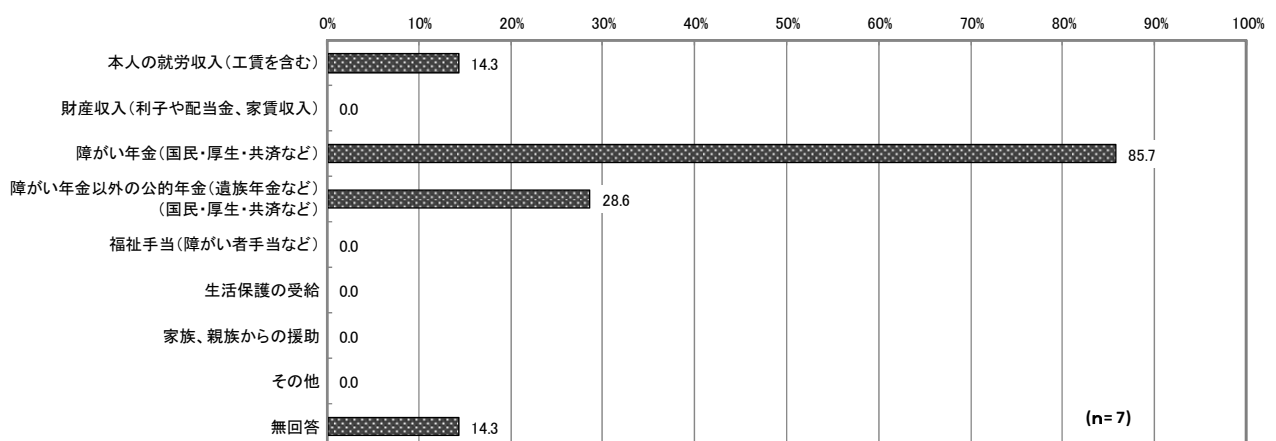
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【日常生活】

普段の生活の中で困っていることは、「人とのコミュニケーション、情報入手」が42.7%と最も高く、次いで「健康」が27.5%、「身の回りのこと（食事・入浴など）」及び「外出」が25.6%となった。

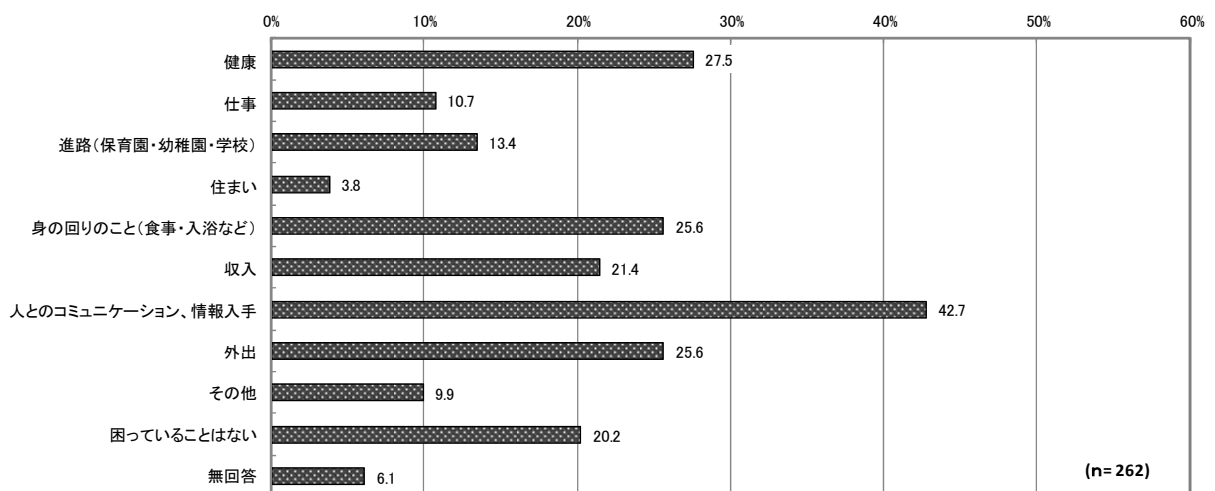
ヘルプカードの認知状況については、「知らない」が60.7%と6割強を占め、「知っている」の34.7%を大きく上回っている。

日常生活で少しでも介助や支援が必要なことは、「お金の管理」が40.8%と最も高く、次いで「人とのコミュニケーション」が38.5%、「食事づくり」が33.2%となった。日常生活の中で少しでも介助や支援が必要なおとあると回答した人に、主な介助者について尋ねたところ、「母」が61.6%と最も高く、次いで「不明」が17.3%、「ホームヘルパー・施設職員」が8.1%となった。また、介助者の健康状態については、「普通」が65.4%と6割以上を占め、次いで「良好」が12.8%、「病気がちである」および「具合が悪く病気の治療中である」、「高齢で健康状態に不安がある」が同率6.8%となった。

問5 普段の生活の中で困っていることはありますか。 （複数回答 n=262）

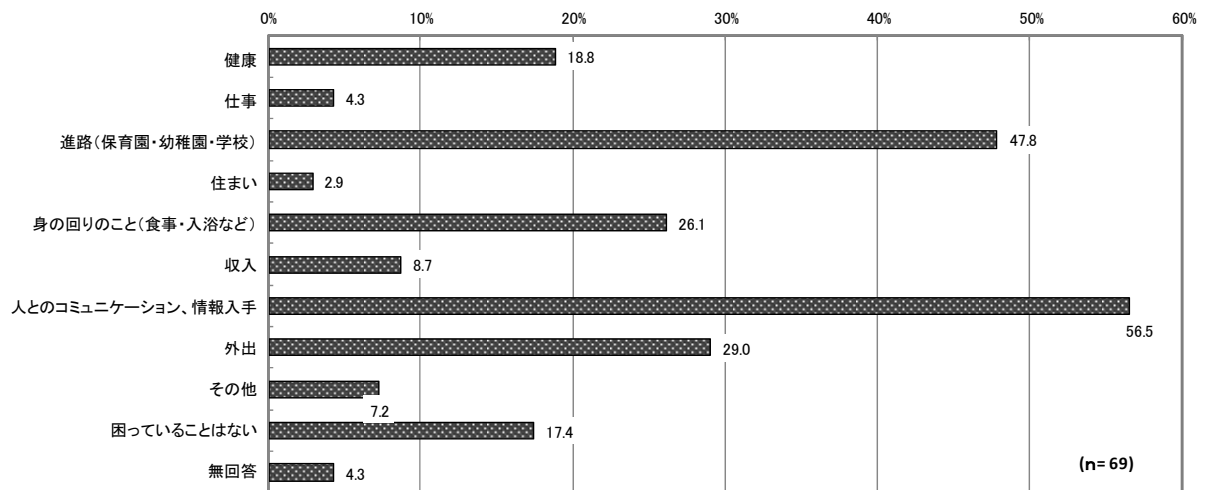
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 健康	72	27.5%	13	18.8%	58	31.5%	1	11.1%
2 仕事	28	10.7%	3	4.3%	24	13.0%	1	11.1%
3 進路（保育園・幼稚園・学校）	35	13.4%	33	47.8%	2	1.1%	0	0.0%
4 住まい	10	3.8%	2	2.9%	8	4.3%	0	0.0%
5 身の回りのこと（食事・入浴など）	67	25.6%	18	26.1%	46	25.0%	3	33.3%
6 収入	56	21.4%	6	8.7%	50	27.2%	0	0.0%
7 人とのコミュニケーション、情報入手	112	42.7%	39	56.5%	73	39.7%	0	0.0%
8 外出	67	25.6%	20	29.0%	45	24.5%	2	22.2%
9 その他	26	9.9%	5	7.2%	21	11.4%	0	0.0%
10 困っていることはない	53	20.2%	12	17.4%	38	20.7%	3	33.3%
無回答	16	6.1%	3	4.3%	12	6.5%	1	11.1%
合計	262		69		184		9	

9 その他：主な内訳 親が亡くなった後の生活（3）1人では外出出来ない（2）病院等（2）アトピー（1）通学（送迎サービス）（1）通っている事業所での処遇（1）将来の結婚（1）寝たきり状態（1）自分では何もできない（1）もっと話の合う友人がほしい（1）放課後の活動ができない（1）生活全般（1）

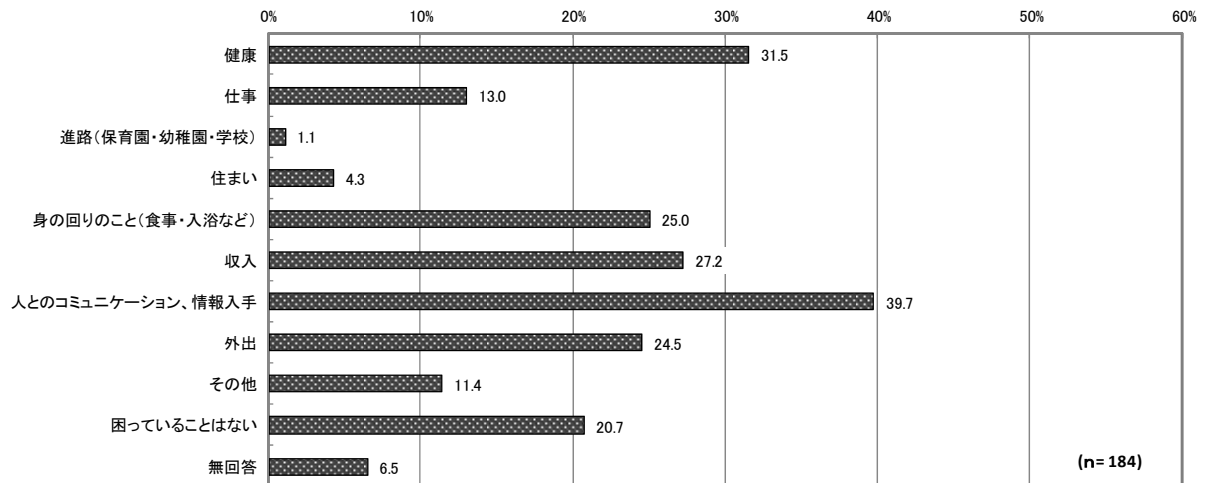


【年代別】

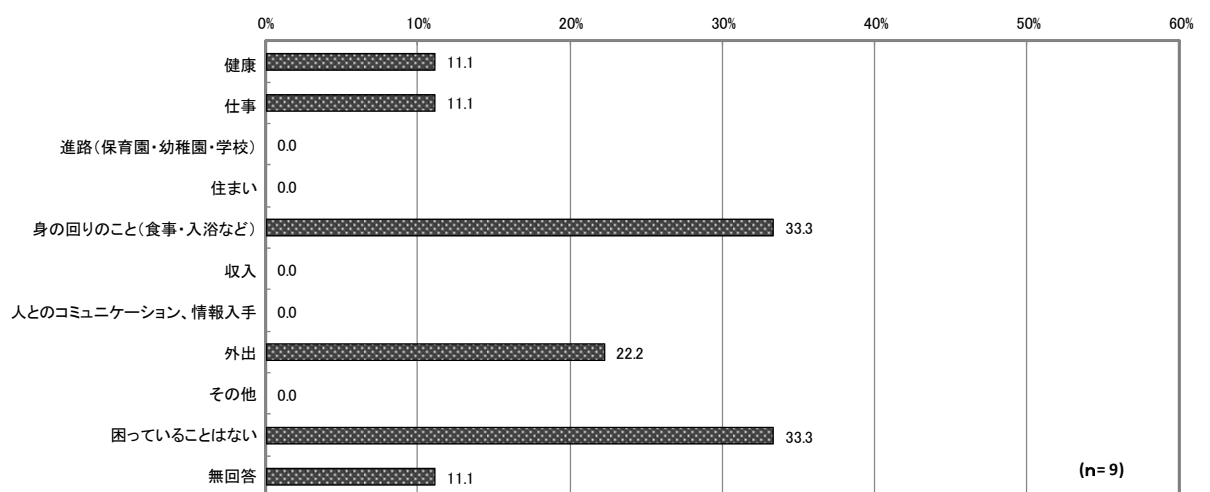
《18 歳未満》



《18～64 歳》

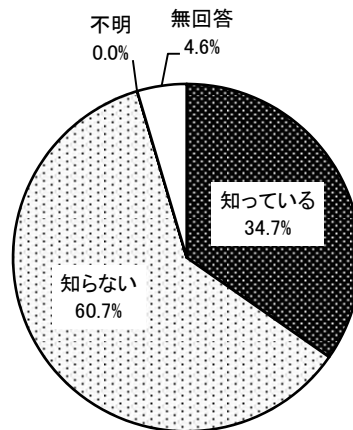


《65 歳以上》

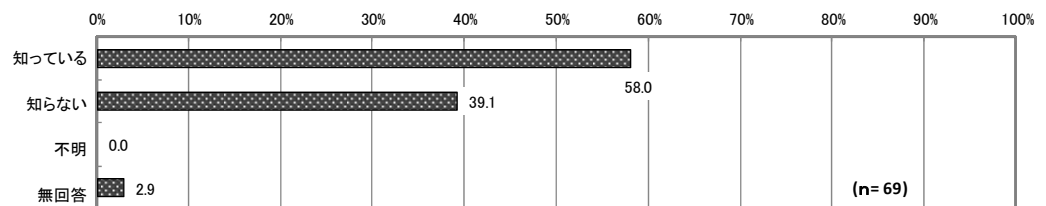
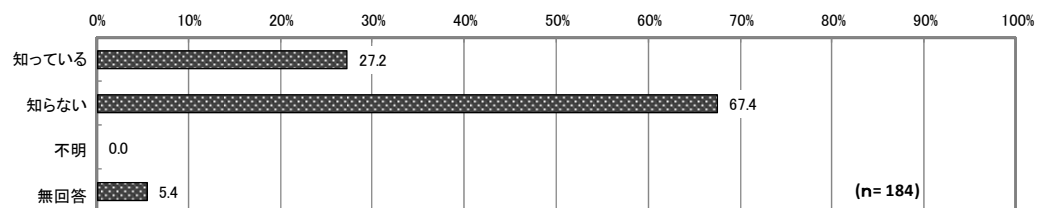
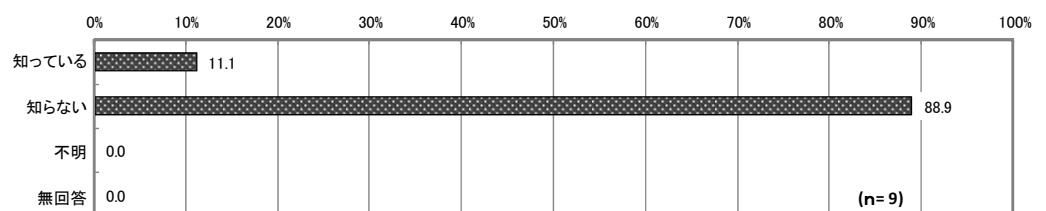


問6 ヘルプカードを知っていますか。 (単数回答 n=262)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	91	34.7%	40	58.0%	50	27.2%	1	11.1%
2 知らない	159	60.7%	27	39.1%	124	67.4%	8	88.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	12	4.6%	2	2.9%	10	5.4%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



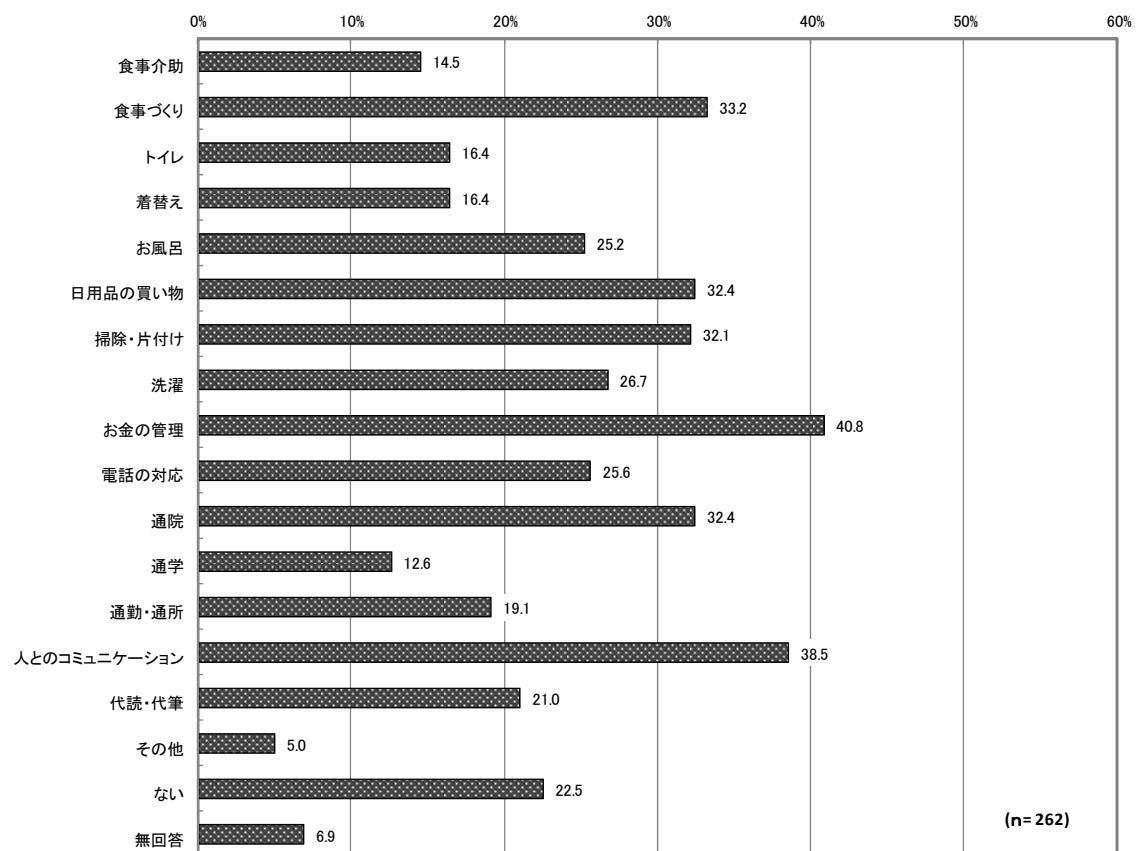
n=262

【年代別】
《18歳未満》

《18～64歳》

《65歳以上》


問7 日常生活で少しでも手伝ってほしいことがありますか。 (複数回答 n=262)

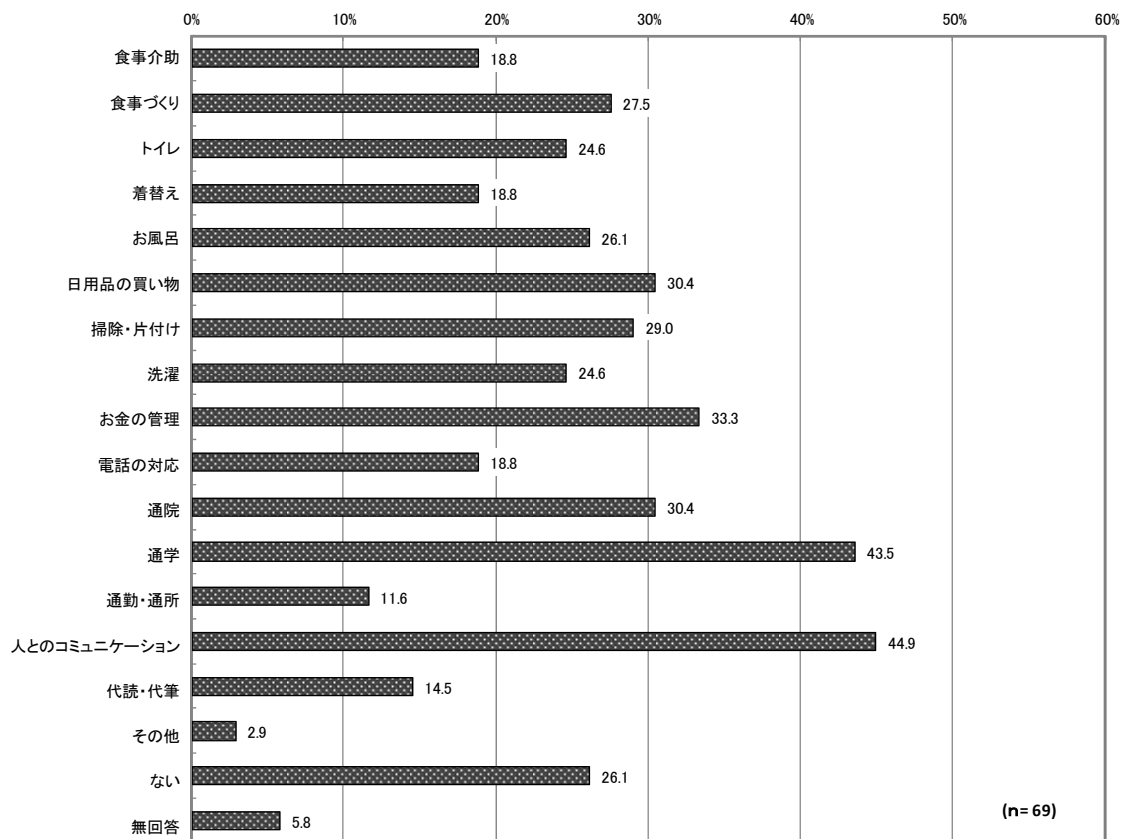
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 食事介助	38	14.5%	13	18.8%	25	13.6%	0	0.0%
2 食事づくり	87	33.2%	19	27.5%	64	34.8%	4	44.4%
3 トイレ	43	16.4%	17	24.6%	25	13.6%	1	11.1%
4 着替え	43	16.4%	13	18.8%	29	15.8%	1	11.1%
5 お風呂	66	25.2%	18	26.1%	45	24.5%	3	33.3%
6 日用品の買い物	85	32.4%	21	30.4%	62	33.7%	2	22.2%
7 掃除・片付け	84	32.1%	20	29.0%	60	32.6%	4	44.4%
8 洗濯	70	26.7%	17	24.6%	50	27.2%	3	33.3%
9 お金の管理	107	40.8%	23	33.3%	79	42.9%	5	55.6%
10 電話の対応	67	25.6%	13	18.8%	51	27.7%	3	33.3%
11 通院	85	32.4%	21	30.4%	62	33.7%	2	22.2%
12 通学	33	12.6%	30	43.5%	3	1.6%	0	0.0%
13 通勤・通所	50	19.1%	8	11.6%	41	22.3%	1	11.1%
14 人とのコミュニケーション	101	38.5%	31	44.9%	69	37.5%	1	11.1%
15 代読・代筆	55	21.0%	10	14.5%	42	22.8%	3	33.3%
16 その他	13	5.0%	2	2.9%	11	6.0%	0	0.0%
17 ない	59	22.5%	18	26.1%	39	21.2%	2	22.2%
無回答	18	6.9%	4	5.8%	13	7.1%	1	11.1%
合計	262		69		184		9	

16 その他：主な内訳 全て (3) 経管注入 (1) 雪おろしなど (1) 契約手続き (1) 他人に心開かないので無理 (1) 健康管理・危険回避 (1) 親が健在なうちは支障なし (1)

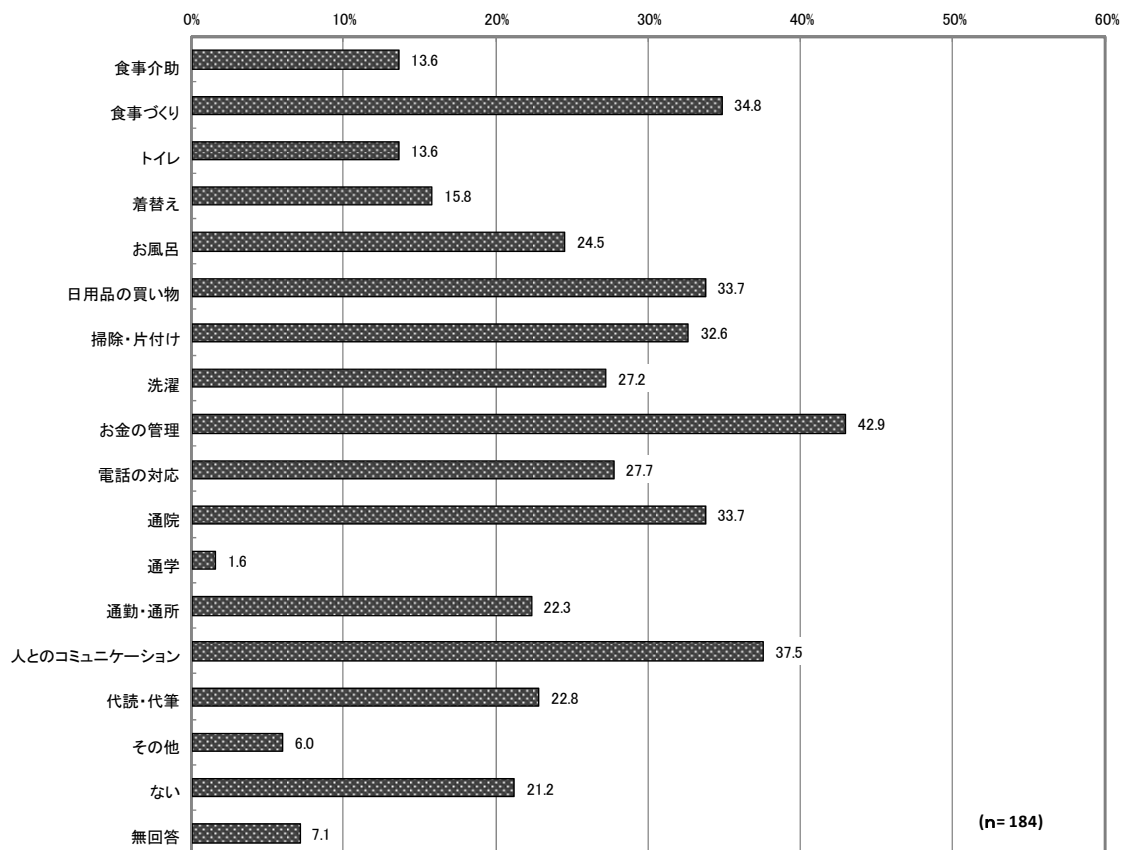


【年代別】

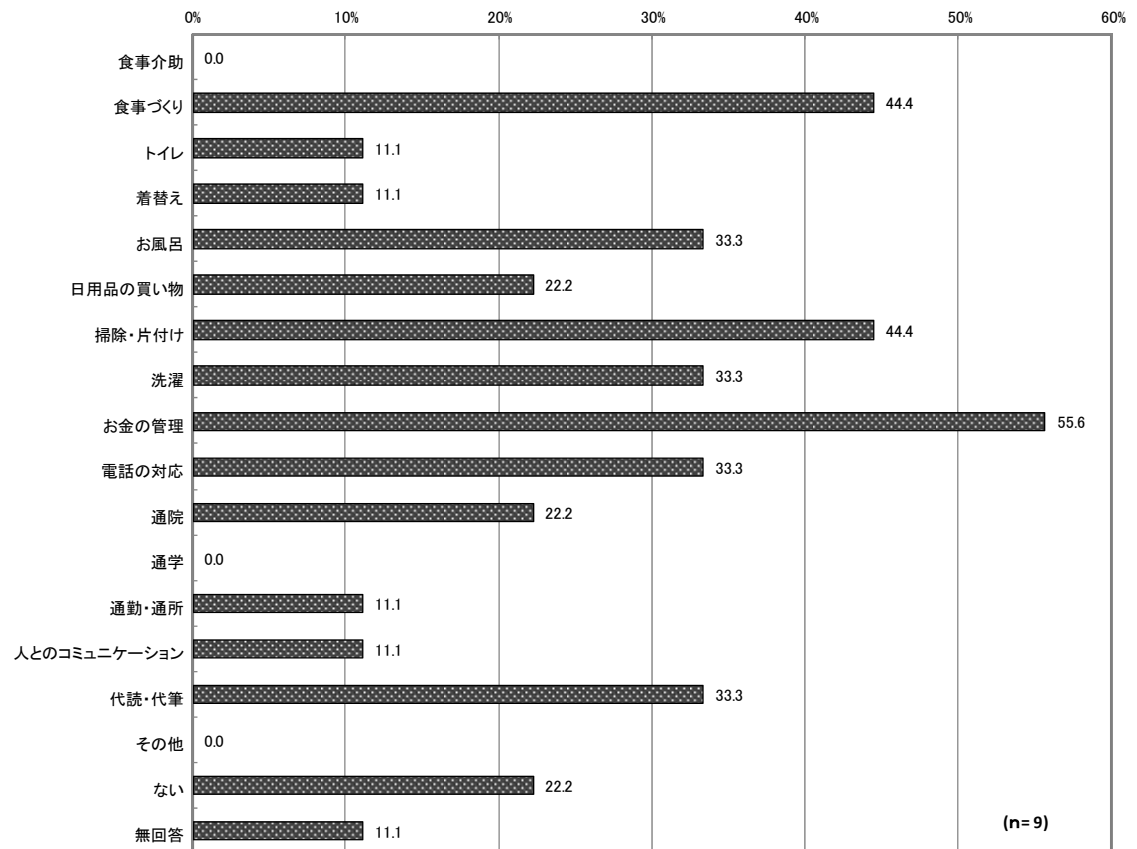
《18 歳未満》



《18～64 歳》



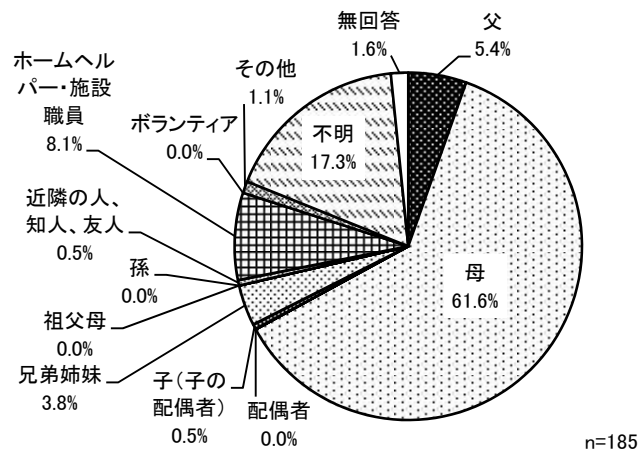
《65 歳以上》



問8 問7で「1～16」を回答した方におたずねします。あなたの介助している方（介助者）はどなたですか。（主な介助者に1つだけ○印）（単数回答 n=185）

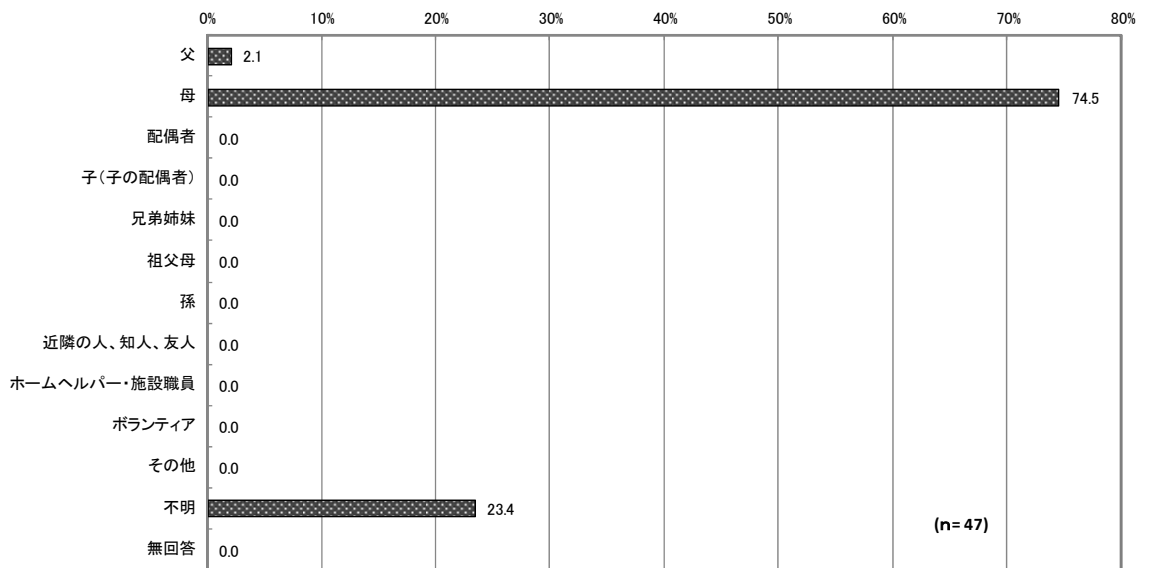
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 父	10	5.4%	1	2.1%	9	6.8%	0	0.0%
2 母	114	61.6%	35	74.5%	79	59.8%	0	0.0%
3 配偶者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 子（子の配偶者）	1	0.5%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
5 兄弟姉妹	7	3.8%	0	0.0%	4	3.0%	3	50.0%
6 祖父母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 孫	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 近隣の人、知人、友人	1	0.5%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
9 ホームヘルパー・施設職員	15	8.1%	0	0.0%	13	9.8%	2	33.3%
10 ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11 その他	2	1.1%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%
不明	32	17.3%	11	23.4%	20	15.2%	1	16.7%
無回答	3	1.6%	0	0.0%	3	2.3%	0	0.0%
合計	185	100.0%	47	100.0%	132	100.0%	6	100.0%

11 その他：主な内訳 結婚して離れて居る姉（1）放課後児童デイサービス（1）

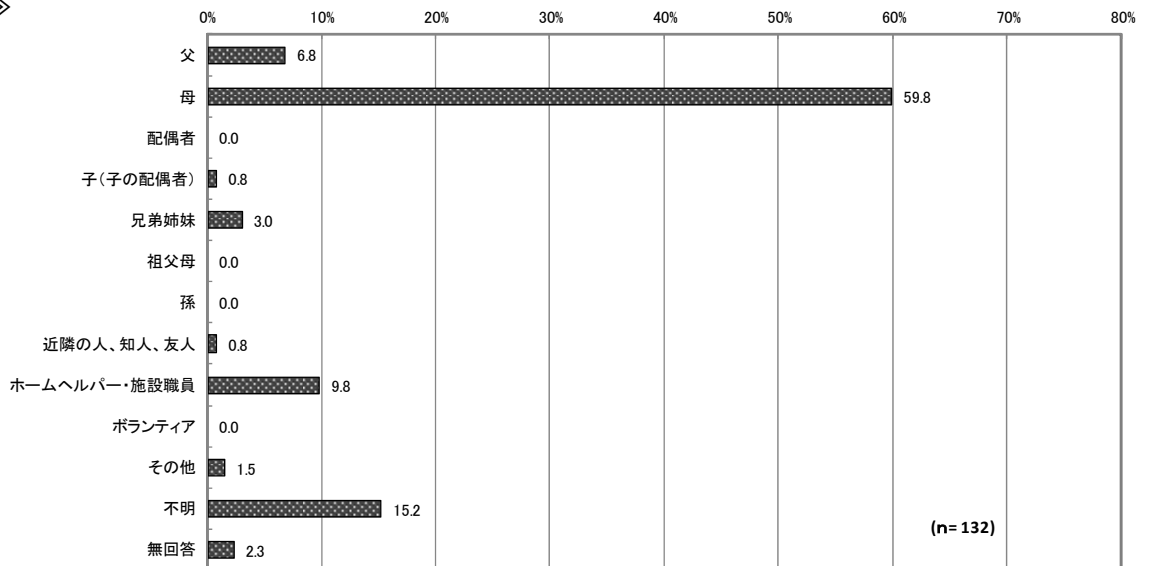


【年代別】

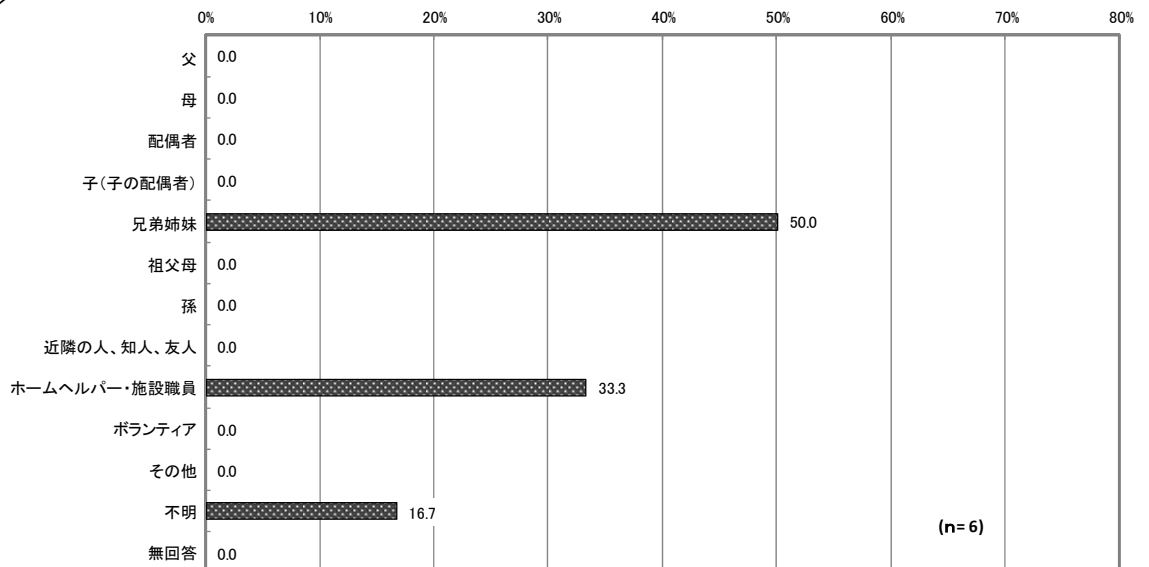
《18 歳未満》



《18～64 歳》



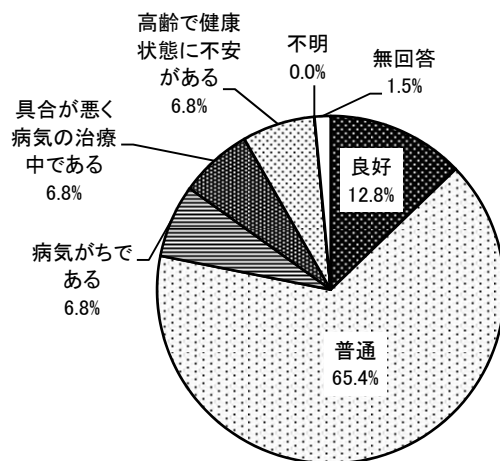
《65 歳以上》



問9 問8で「1～8」を回答した方におたずねします。主な介助者の健康状態はいかがですか。

(単数回答 n=133)

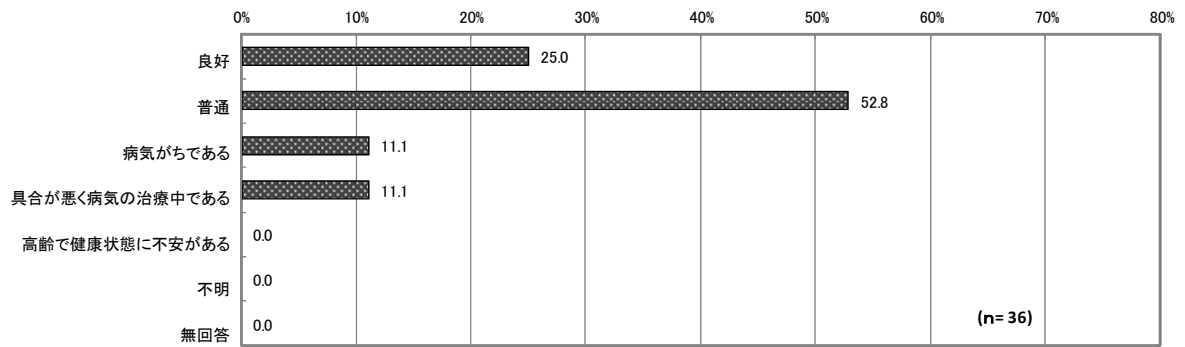
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 良好	17	12.8%	9	25.0%	8	8.5%	0	0.0%
2 普通	87	65.4%	19	52.8%	66	70.2%	2	66.7%
3 病気がちである	9	6.8%	4	11.1%	4	4.3%	1	33.3%
4 具合が悪く病気の治療中である	9	6.8%	4	11.1%	5	5.3%	0	0.0%
5 高齢で健康状態に不安がある	9	6.8%	0	0.0%	9	9.6%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	1.5%	0	0.0%	2	2.1%	0	0.0%
合計	133	100.0%	36	100.0%	94	100.0%	3	100.0%



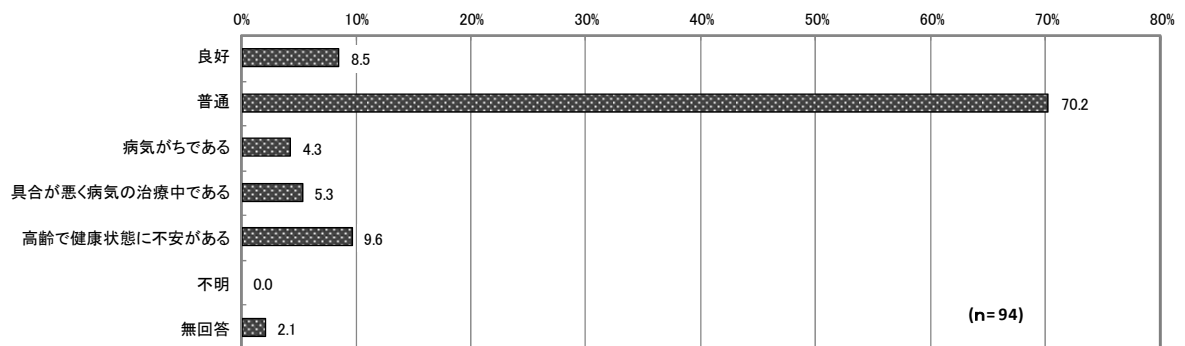
n=133

【年代別】

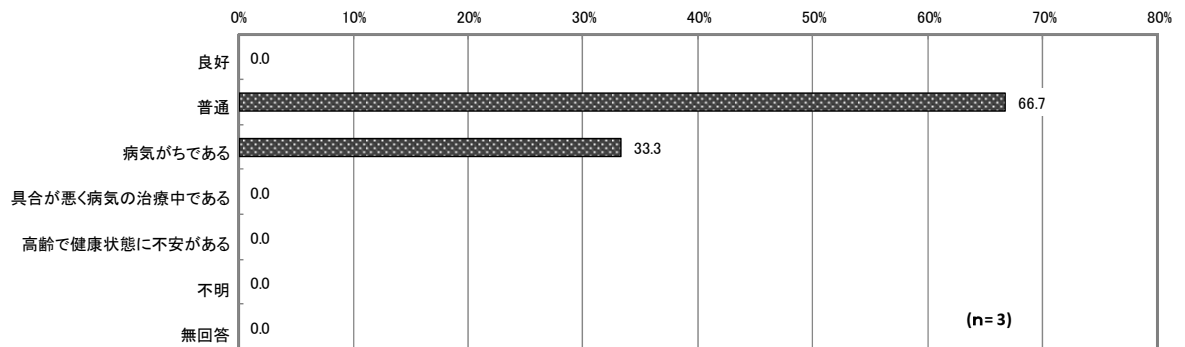
＜＜18 歳未満＞＞



＜＜18～64 歳＞＞



＜＜65 歳以上＞＞



【福祉サービス】

山形市内の知的障がい者入所施設の数については、「不足している」が28.6%と、「ちょうど良い」の18.3%を上回った。全体では、「その他」が32.1%と最も高かった。一方、定員数については、「ちょうど良い」が21.8%と、「不足している」の17.9%を上回った。定員数についても、全体では「その他」が34.7%と最も高かった。

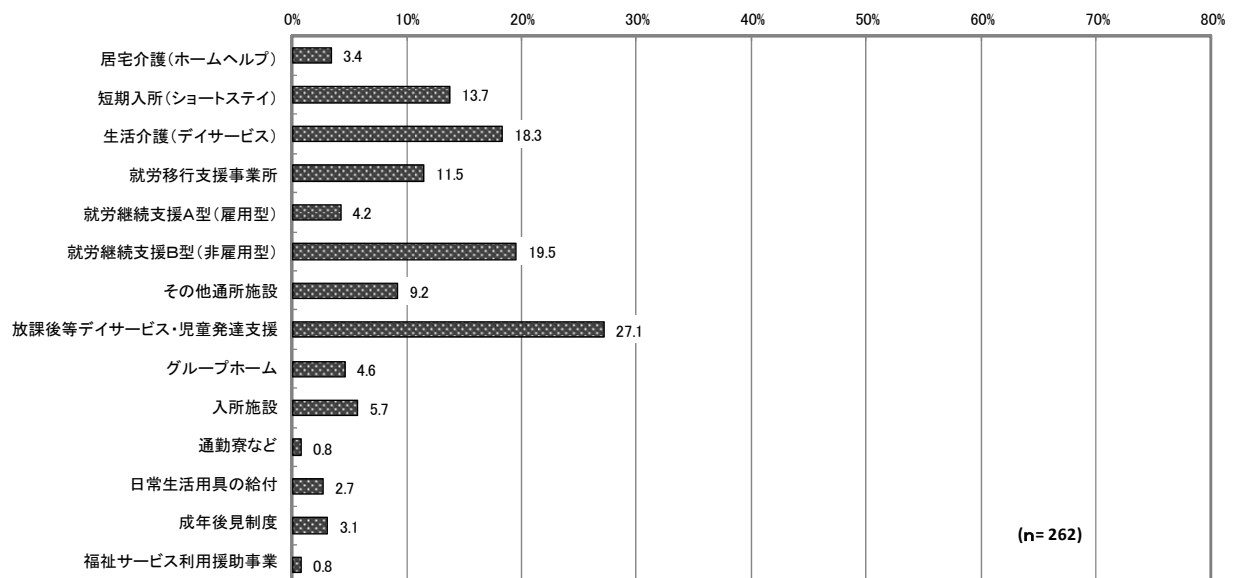
山形市内の知的障がい者グループホームの数については、「不足している」が28.6%と、「ちょうど良い」の17.2%を上回った。全体では、「その他」が33.2%と最も高かった。また、定員数については、「ちょうど良い」が22.9%と、「不足している」の16.4%を上回った。定員数についても、全体では「その他」が35.9%と最も高かった。

山形市内の知的障がい者通所事業所の数については、「不足している」が28.6%と、「ちょうど良い」の23.7%を上回った。また、定員数については、「ちょうど良い」が25.2%と、「不足している」の20.2%を上回った。定員数については、全体では「その他」が30.9%と最も高かった。

問 10 次にあげた福祉サービスの中で、「利用したことがある」、「今後利用したい」サービスはどれですか。 （複数回答 n=262）

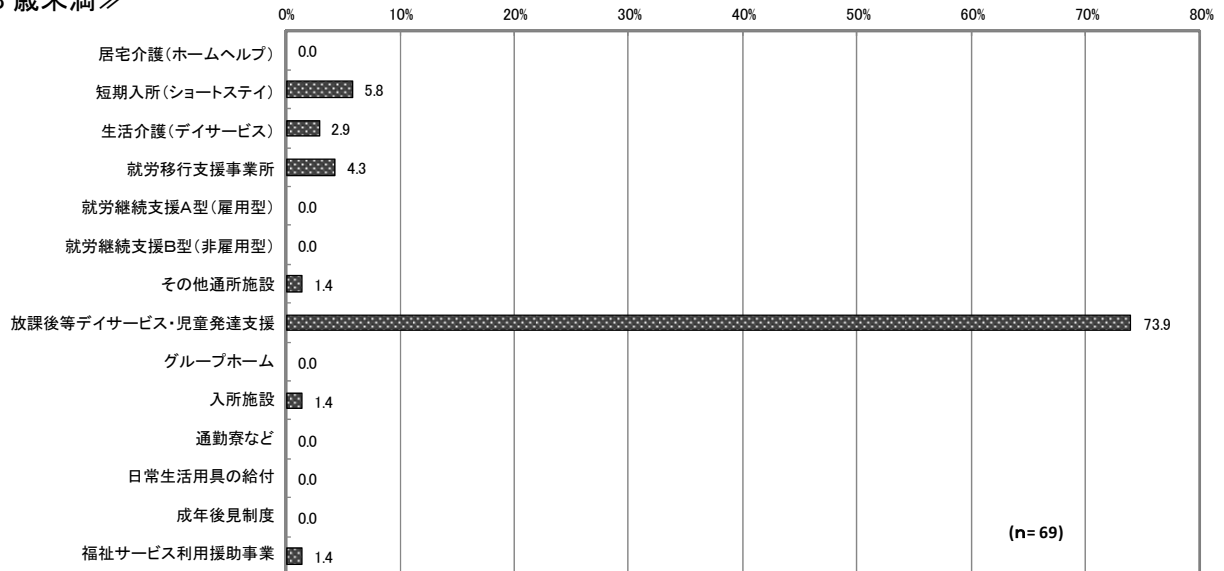
【利用したことがあるサービス】

サービス名	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 居宅介護（ホームヘルプ）	9	3.4%	0	0.0%	8	4.3%	1	11.1%
2 短期入所（ショートステイ）	36	13.7%	4	5.8%	30	16.3%	2	22.2%
3 生活介護（デイサービス）	48	18.3%	2	2.9%	43	23.4%	3	33.3%
4 就労移行支援事業所	30	11.5%	3	4.3%	27	14.7%	0	0.0%
5 就労継続支援A型（雇用型）	11	4.2%	0	0.0%	11	6.0%	0	0.0%
6 就労継続支援B型（非雇用型）	51	19.5%	0	0.0%	50	27.2%	1	11.1%
7 その他通所施設	24	9.2%	1	1.4%	22	12.0%	1	11.1%
8 放課後等デイサービス・児童発達支援	71	27.1%	51	73.9%	20	10.9%	0	0.0%
9 グループホーム	12	4.6%	0	0.0%	10	5.4%	2	22.2%
10 入所施設	15	5.7%	1	1.4%	9	4.9%	5	55.6%
11 通勤寮など	2	0.8%	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%
12 日常生活用具の給付	7	2.7%	0	0.0%	7	3.8%	0	0.0%
13 成年後見制度	8	3.1%	0	0.0%	8	4.3%	0	0.0%
14 福祉サービス利用援助事業	2	0.8%	1	1.4%	1	0.5%	0	0.0%
合計	262		69		184		9	

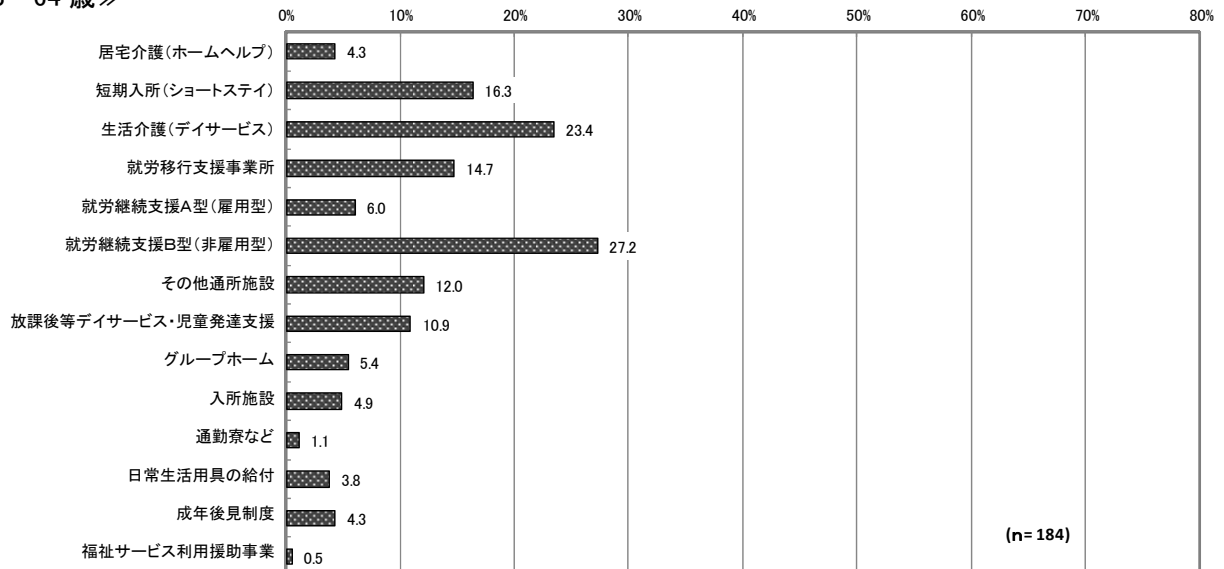


【年代別】

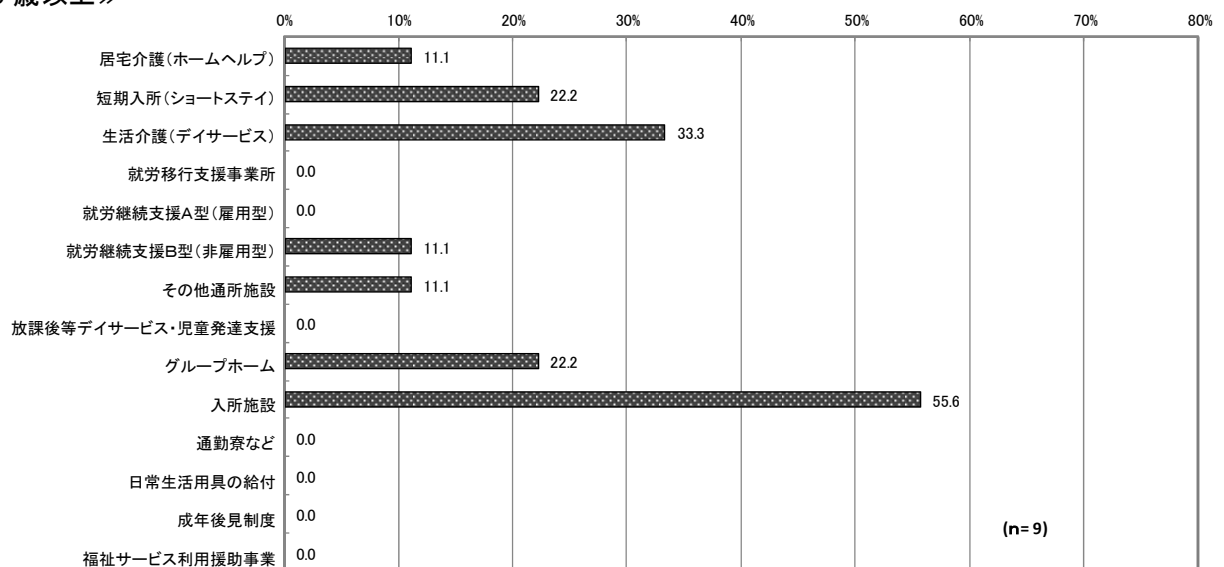
《18 歳未満》



《18～64 歳》

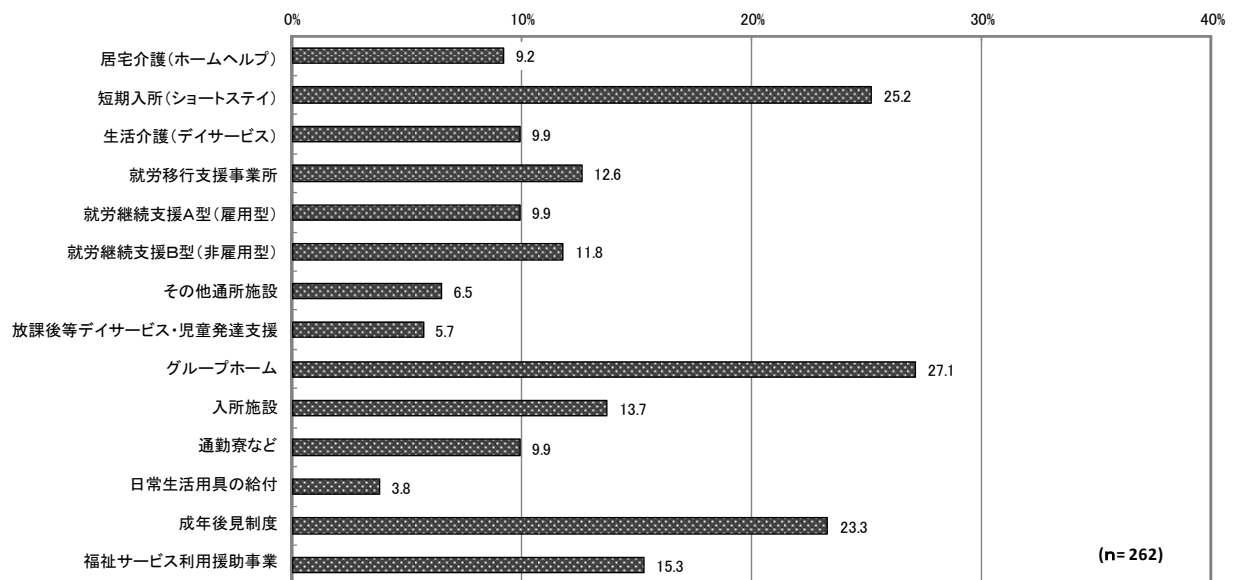


《65 歳以上》



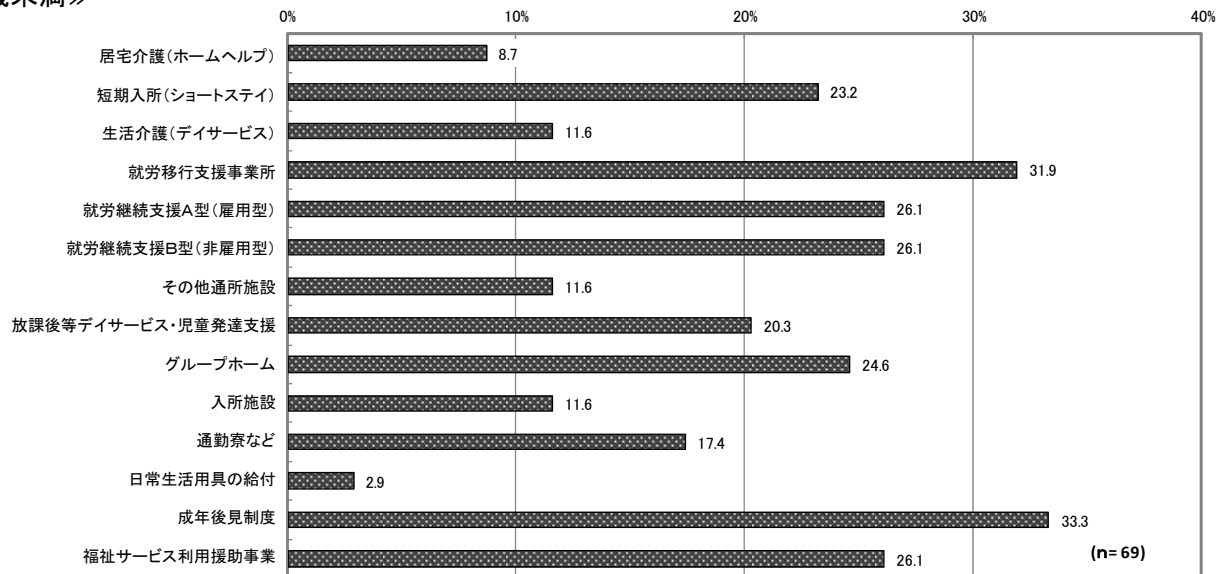
【今後利用したいサービス】

サービス名	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 居宅介護（ホームヘルプ）	24	9.2%	6	8.7%	15	8.2%	3	33.3%
2 短期入所（ショートステイ）	66	25.2%	16	23.2%	47	25.5%	3	33.3%
3 生活介護（デイサービス）	26	9.9%	8	11.6%	17	9.2%	1	11.1%
4 就労移行支援事業所	33	12.6%	22	31.9%	11	6.0%	0	0.0%
5 就労継続支援A型（雇用型）	26	9.9%	18	26.1%	8	4.3%	0	0.0%
6 就労継続支援B型（非雇用型）	31	11.8%	18	26.1%	13	7.1%	0	0.0%
7 その他通所施設	17	6.5%	8	11.6%	9	4.9%	0	0.0%
8 放課後等デイサービス・児童発達支援	15	5.7%	14	20.3%	1	0.5%	0	0.0%
9 グループホーム	71	27.1%	17	24.6%	54	29.3%	0	0.0%
10 入所施設	36	13.7%	8	11.6%	26	14.1%	2	22.2%
11 通所寮など	26	9.9%	12	17.4%	14	7.6%	0	0.0%
12 日常生活用具の給付	10	3.8%	2	2.9%	8	4.3%	0	0.0%
13 成年後見制度	61	23.3%	23	33.3%	38	20.7%	0	0.0%
14 福祉サービス利用援助事業	40	15.3%	18	26.1%	22	12.0%	0	0.0%
合計	262		69		184		9	

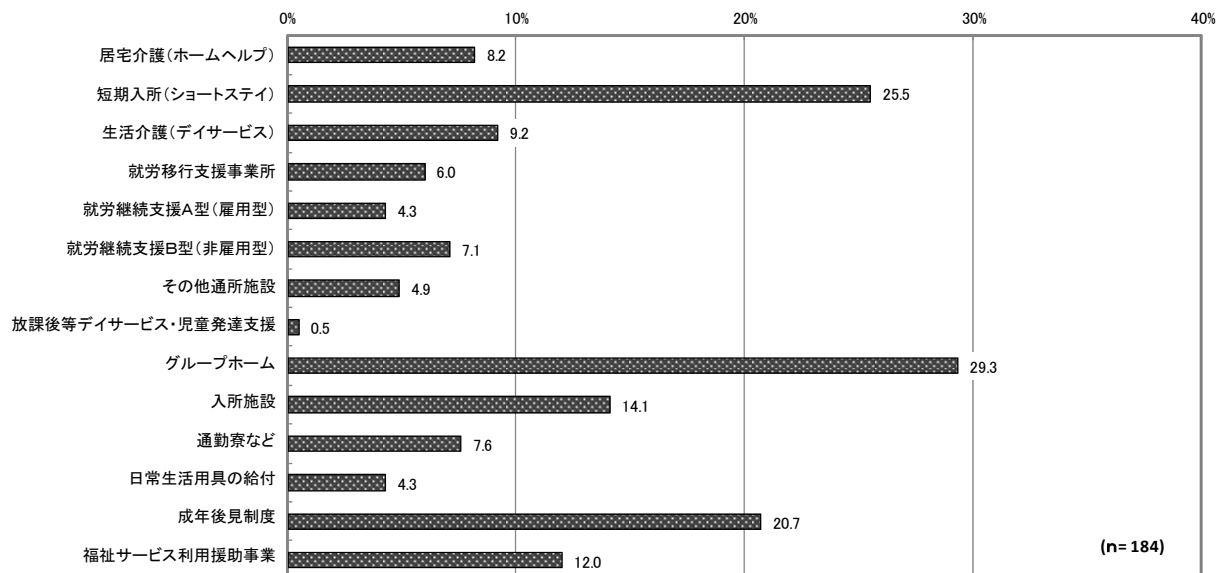


【年代別】

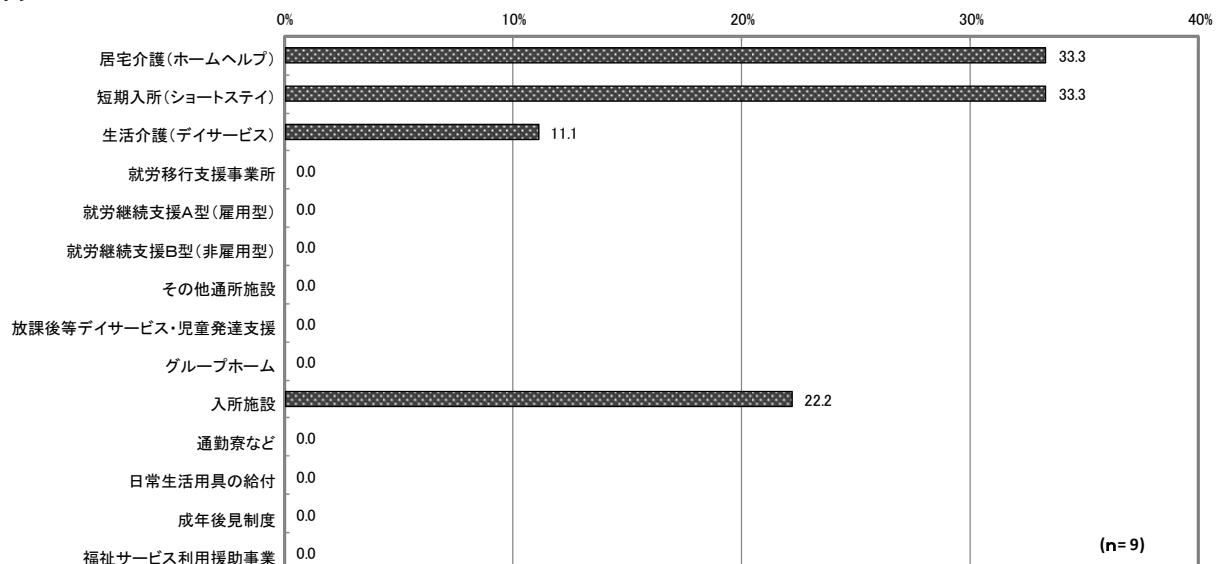
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



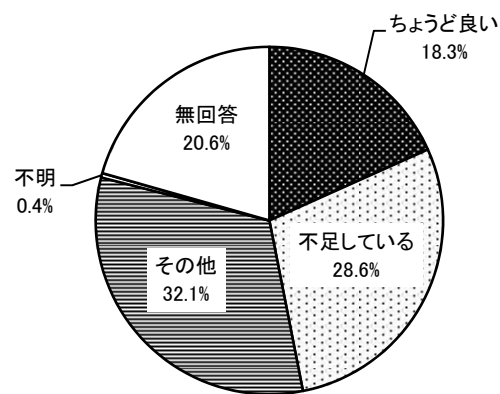
問 11 山形市内の知的障がい者福祉入所施設の数及び定員数について、どう思いますか。

(単数回答 n=262)

【入所施設の数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	48	18.3%	8	11.6%	36	19.6%	4	44.4%
2 不足している	75	28.6%	27	39.1%	46	25.0%	2	22.2%
3 その他	84	32.1%	27	39.1%	56	30.4%	1	11.1%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	54	20.6%	7	10.1%	45	24.5%	2	22.2%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

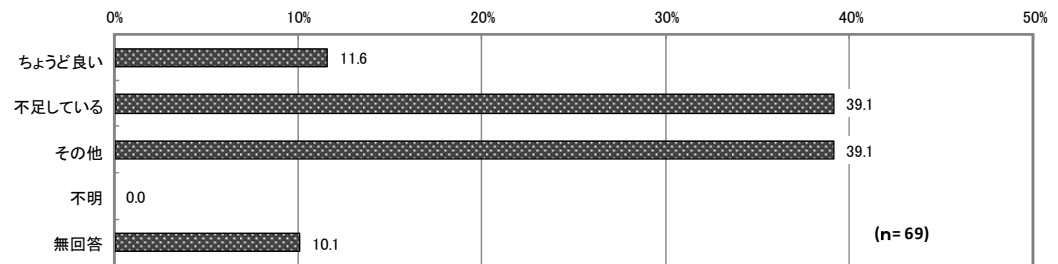
- 2 不足している：具体的に 新しい人が入れない (8) 近くにない (4) 他地域に比べると少ない (4)
必要なときに入れない (3) 増やしてほしい (2) 職員の不足 (2) 重度の障がい者への制限 (2) 他市の施設に入所している方がいる (2) 利用したい人が増えている (1)
将来は市内の施設に入所したい (1)
- 3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (70) 障がい者レベルに合わせた施設が多くあって欲しい (1) 数は間に合っているが、建物が老朽化している所が多い (1) 障がいの程度に応じた選べる施設が必要 (1) 入所施設が今後増える必要はない (1) どちらでもない (1)



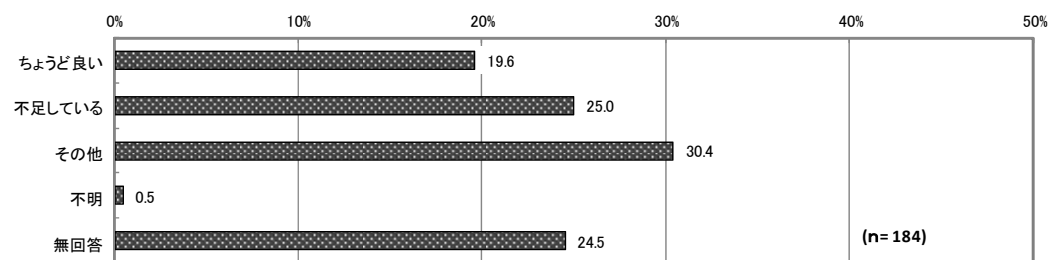
n=262

【年代別】

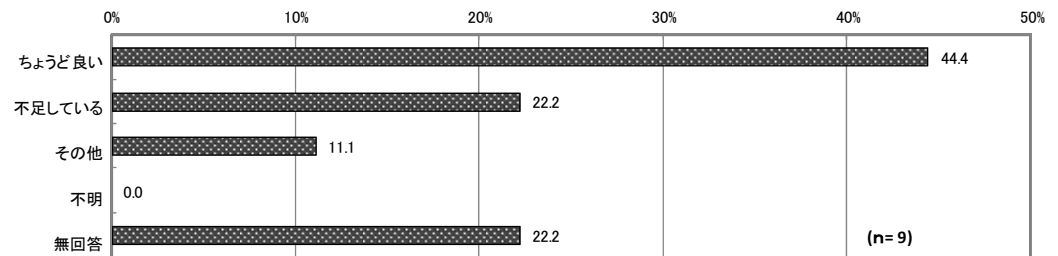
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

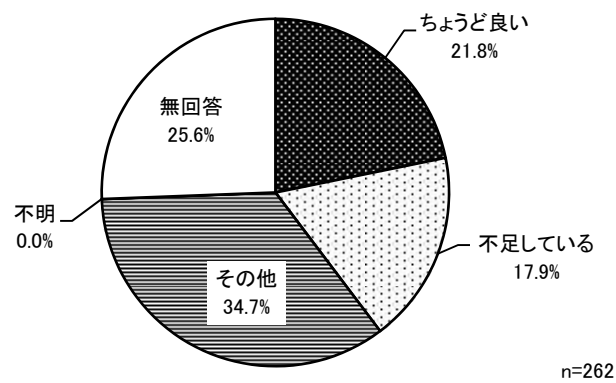


【入所施設の定員数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	57	21.8%	11	15.9%	41	22.3%	5	55.6%
2 不足している	47	17.9%	20	29.0%	26	14.1%	1	11.1%
3 その他	91	34.7%	28	40.6%	62	33.7%	1	11.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	67	25.6%	10	14.5%	55	29.9%	2	22.2%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

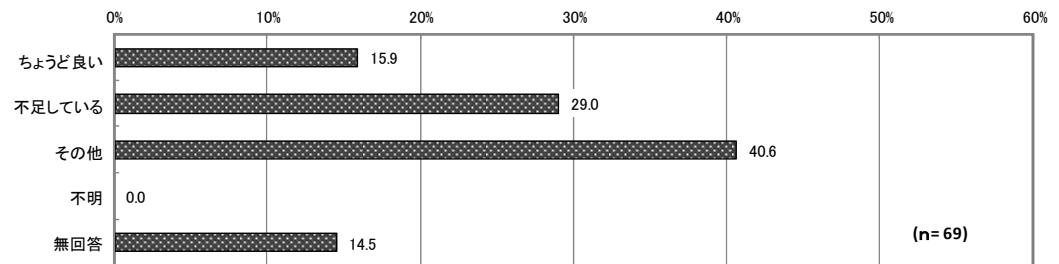
2 不足している：具体的に 空きがない（7）施設が少ない（3）職員が少ない（3）緊急時に入れる施設がない（1）市内にない（1）

3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない（71）定員は多すぎても目が届かないのでよろしくない（2）障がい者が多いのに施設が少ない（1）障がいによっては少人数で運営した方がいい場合もある（1）現状の確認や希望数など調査が必要（1）どちらでもない（1）

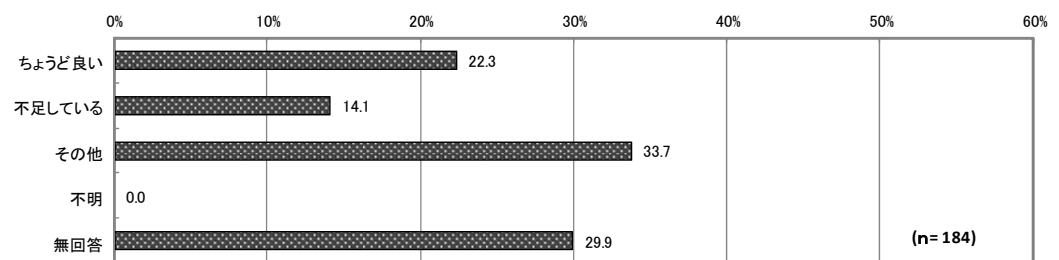


【年代別】

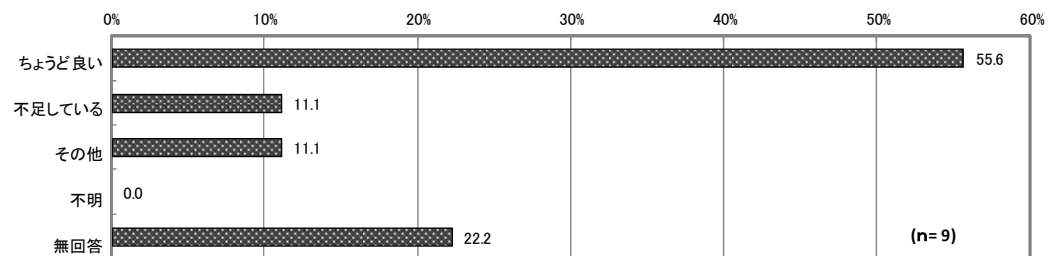
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



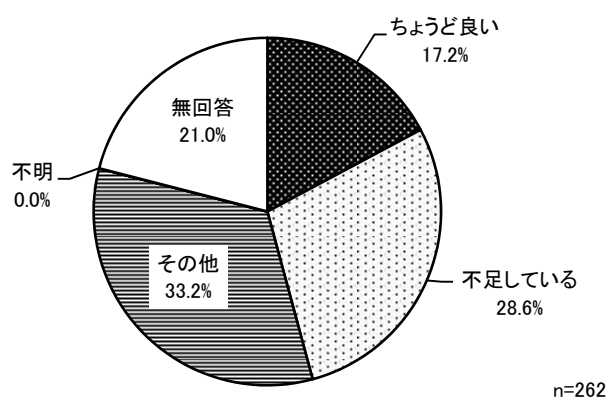
問 12 山形市内の知的障がい者グループホームの数及び定員数について、どう思いますか。

(単数回答 n=262)

【グループホームの数】

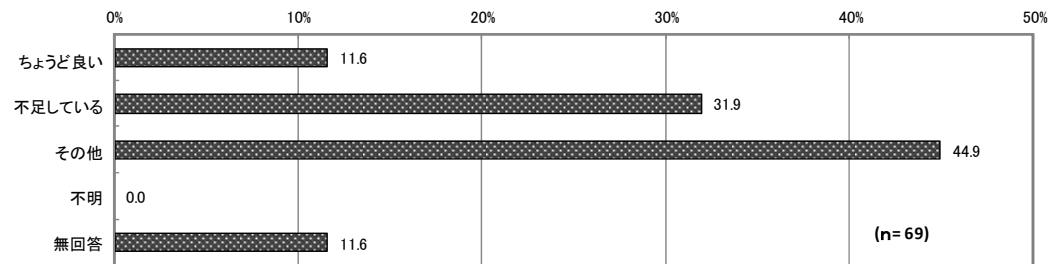
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	45	17.2%	8	11.6%	34	18.5%	3	33.3%
2 不足している	75	28.6%	22	31.9%	50	27.2%	3	33.3%
3 その他	87	33.2%	31	44.9%	55	29.9%	1	11.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	55	21.0%	8	11.6%	45	24.5%	2	22.2%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

- 2 不足している：具体的に 空きがない (11) 増やしてほしい (5) 近くにない (4) 県外に比べると少ない (3) 職員不足 (3) 様々なニーズ (重度等) に合わせたグループホームは少ない (3) 親が死んだら行く所がない (1) 家族や親兄弟がいなく世話する人がいない (1) グループホームの建築 (改築) 基準が厳しい (1) 出来上がる迄も時間がかかりすぎる (1) 現在通所している施設に併設してほしい (1)
- 3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (73) 個々の状況にあったグループホームがない (1) 急な対応や、土日に預かってくれる所が無く困っている (1) どちらでもない (1)

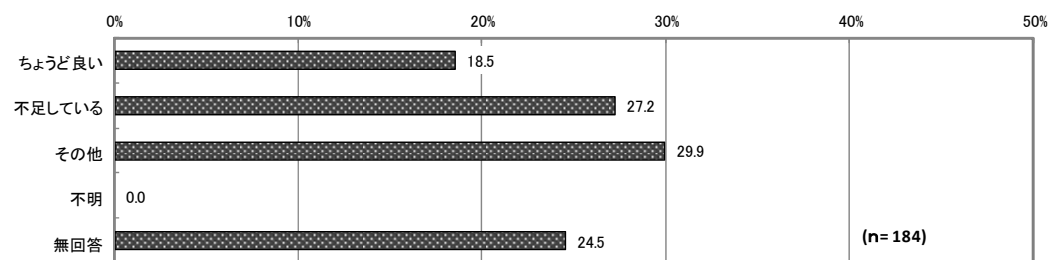


【年代別】

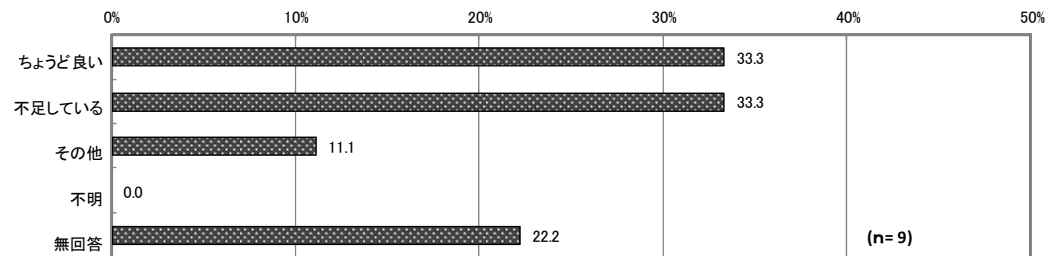
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

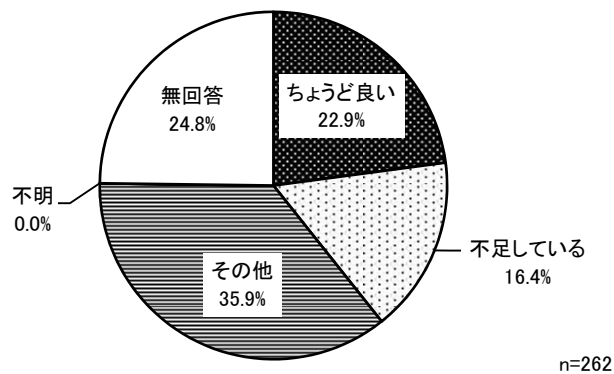


【グループホームの定員数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	60	22.9%	11	15.9%	45	24.5%	4	44.4%
2 不足している	43	16.4%	17	24.6%	24	13.0%	2	22.2%
3 その他	94	35.9%	31	44.9%	62	33.7%	1	11.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	65	24.8%	10	14.5%	53	28.8%	2	22.2%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

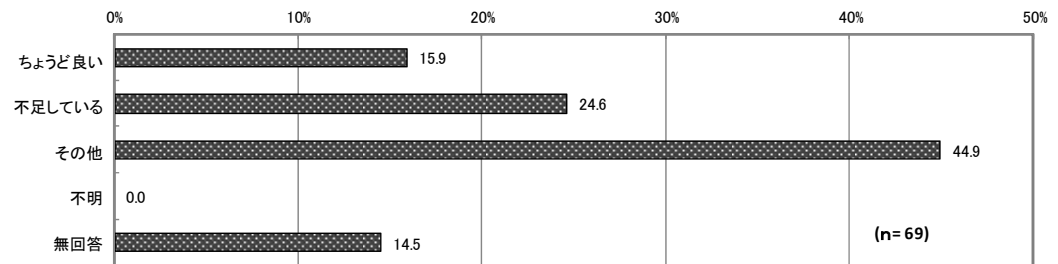
2 不足している：具体的に 新しい人が入れない (5) 男性スタッフが少ないので男性がなかなか利用できない (1) 職員が足りない (1) 人数を増やして欲しい (1)

3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (72) 入居者同士の相性などもあり一概には言えない (1) 重度はなかなか入れない (1) 5人位が丁度いい (1) 数とともに定員、運営団体などの情報がほしい (1) どちらでもない (1) 職員確保ができていないので受け入れ人数がきまっているため、お願いできない (1)

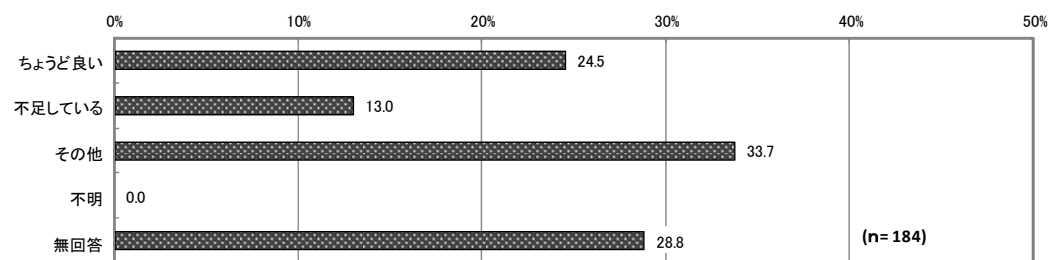


【年代別】

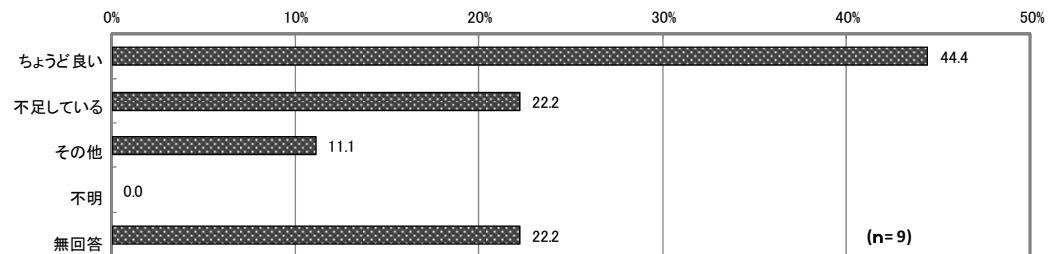
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



問 13 山形市内の知的障がい者通所事業所の数及び定員数について、どう思いますか。

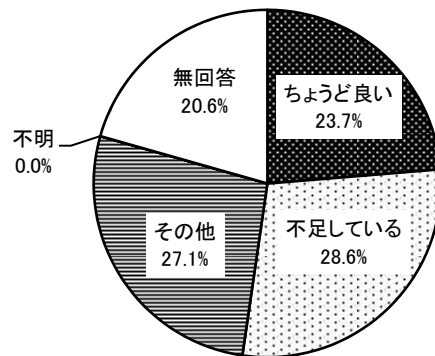
(単数回答 n=262)

【障がい者通所事業所の数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	62	23.7%	13	18.8%	45	24.5%	4	44.4%
2 不足している	75	28.6%	25	36.2%	48	26.1%	2	22.2%
3 その他	71	27.1%	25	36.2%	46	25.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	54	20.6%	6	8.7%	45	24.5%	3	33.3%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

2 不足している：具体的に 新しい人が入れない (5) 希望通りにいかない (5) A型の不足 (5) 通所の数が足りない (3) 空きがない (3) 近くにない (3) A型、B型の不足 (2) 将来、働ける場所があるのか不安 (2) 選べる程は無い (2) 先輩方が大変そうだった (1) 公的な施設の方が安心できる (1) 通いたいと思える施設が少ない (1) 障がいでもいろいろあるので具体的な区分も必要 (1)

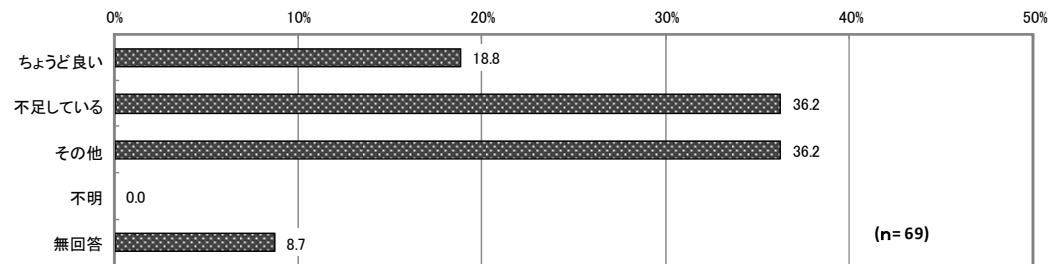
3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (53) これから少ないと思うかもしれない (1) 働きたいと思っているのに受け入れてくれる所がないのは辛い (1)



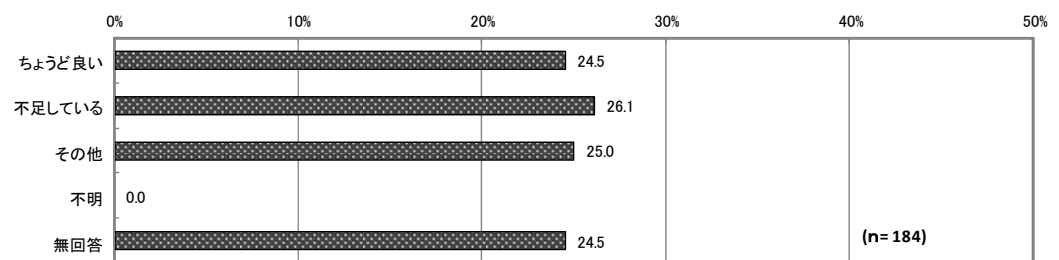
n=262

【年代別】

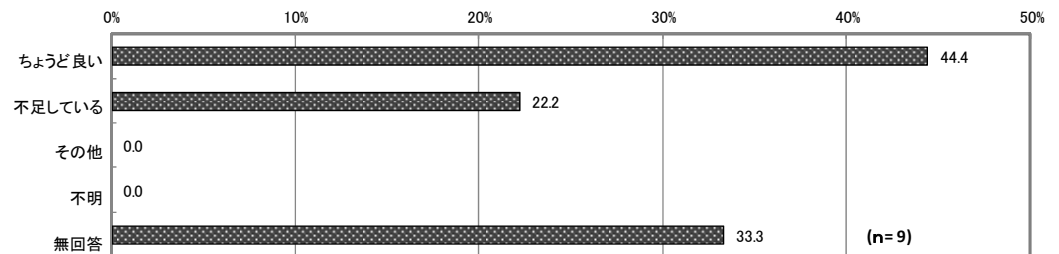
《18 歳未満》



《18～64 歳》



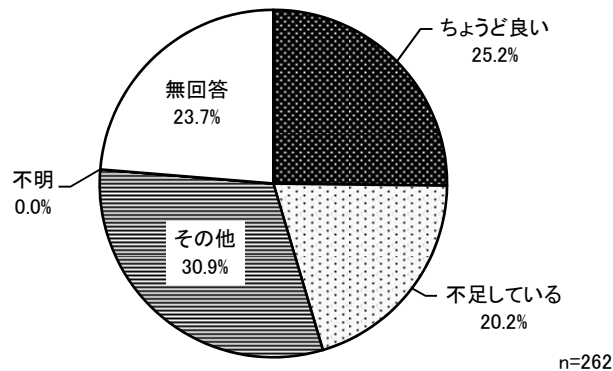
《65 歳以上》



【障がい者通所事業所の定員数】

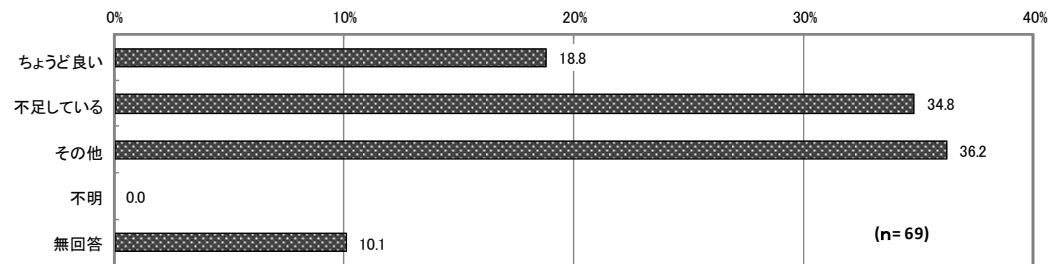
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	66	25.2%	13	18.8%	50	27.2%	3	33.3%
2 不足している	53	20.2%	24	34.8%	27	14.7%	2	22.2%
3 その他	81	30.9%	25	36.2%	55	29.9%	1	11.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	62	23.7%	7	10.1%	52	28.3%	3	33.3%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

- 2 不足している：具体的に 空きがない (9) 事業所の不足 (3) 目が届かない (2) 部屋数が少ない (1)
車いすや自立歩行で1日中動き回る人が一緒に通所が多い (1) 定員で能力があってもA型に移行できない (1) 希望通りにいかない (1) ばらつきがある (1) 職員の不足 (1)
- 3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (50) 少人数だと良い (2) 1ヵ所当たり1人に対して施設が狭い、施設内設備が不備である (2) これから少ないと思うかもしれない (1) 定員よりも仕事がないことが問題 (1) 定員が多くサービスが行き届かない (1) 重度の人はなかなか行くことが出来ない (1) 指導員の数が足りない (1) 定員数が少ない (1) ちょうど良い所もあれば多すぎる所もある (1)

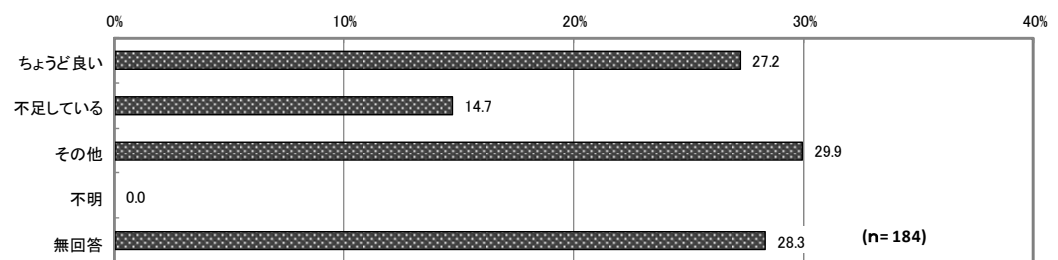


【年代別】

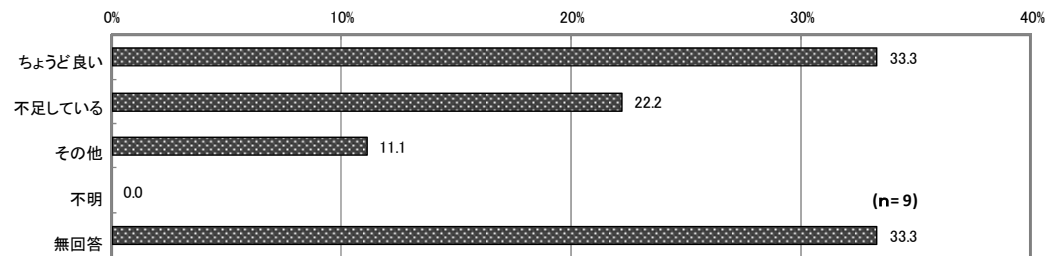
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【就労について】

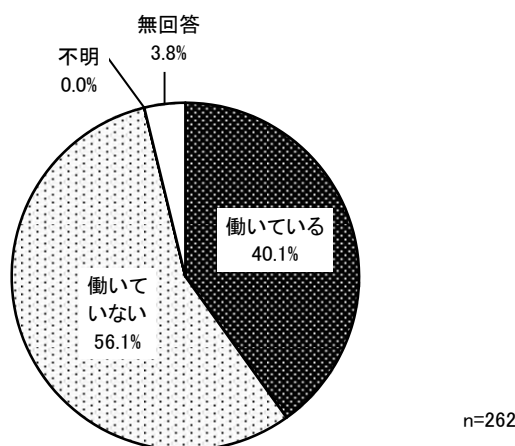
現在の就労状況については、「働いていない」が56.1%と5割半ばを占め、「働いている」の40.1%を上回った。働いている人に就労形態を尋ねたところ、「就労継続支援事業所B型（非雇用型）」が45.7%と最も高く、次いで「臨時・日雇い・パート・嘱託・アルバイト」が25.7%、「就労継続支援事業所A型（雇用型）」が15.2%となった。現在の仕事をどのようにして見つけたかについては、「学校の紹介」が29.5%と最も高く、次いで「公共職業安定所（ハローワーク）」が12.4%となっている。仕事をするうえでの不安や不満については、「収入が少ない」が41.0%と最も高く、次いで「特にない」が22.9%、「通勤がたいへん」が10.5%となっている。

一方、働いていない人に仕事をしていない理由を尋ねたところ、「重度の障がいのため」が32.0%と最も高く、次いで「幼児・児童であるため」が25.9%、「就学している」が21.1%となった。今後の活動や将来の進路については、「就労は難しいのでレクリエーションや創作活動などの行える施設」が22.4%と最も高く、次いで「障がい者の雇用が多い事業所」が20.4%となった。

働き続ける（または将来働く）ために特に必要だと思うことは、「職場に仕事のアドバイスや配慮してくれる人がいること」が37.8%と最も高く、次いで「自分に合った仕事である」が34.7%、「障がいや病気に対する理解や配慮」が34.0%となった。

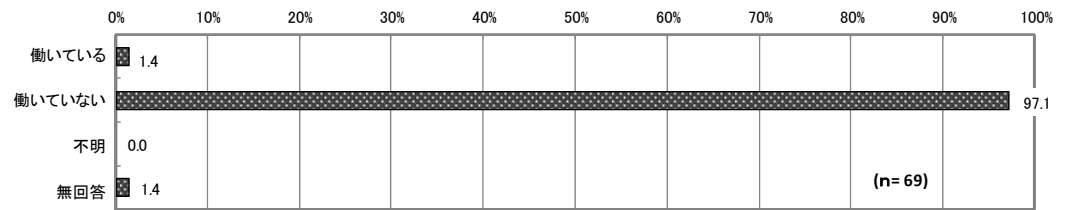
問14 あなたは現在、働いていますか。（単数回答 n=262）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 働いている	105	40.1%	1	1.4%	102	55.4%	2	22.2%
2 働いていない	147	56.1%	67	97.1%	73	39.7%	7	77.8%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	3.8%	1	1.4%	9	4.9%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

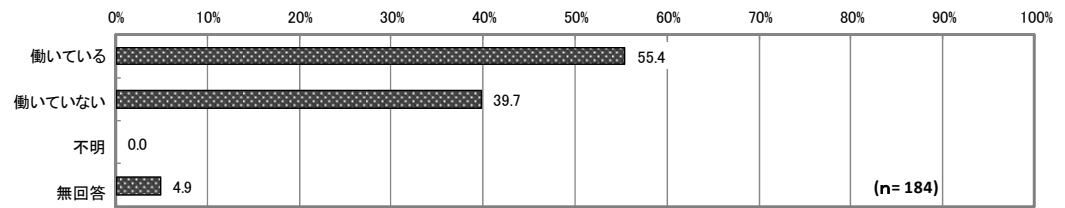


【年代別】

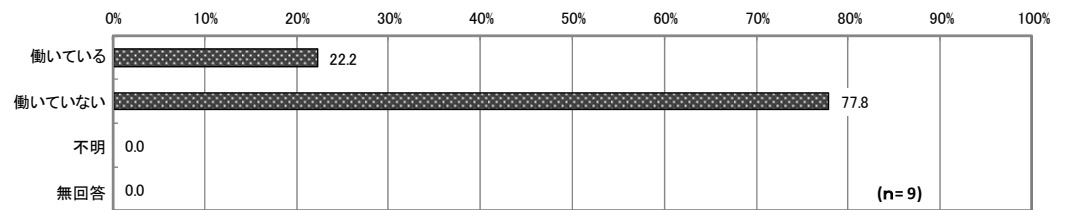
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

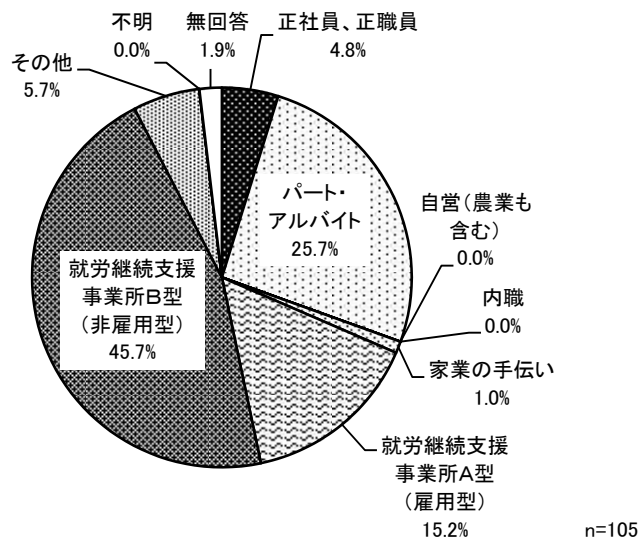


問 15 問 14 で「1」を回答した方におたずねします。どのような形態で働いていますか。

(単数回答 n=105)

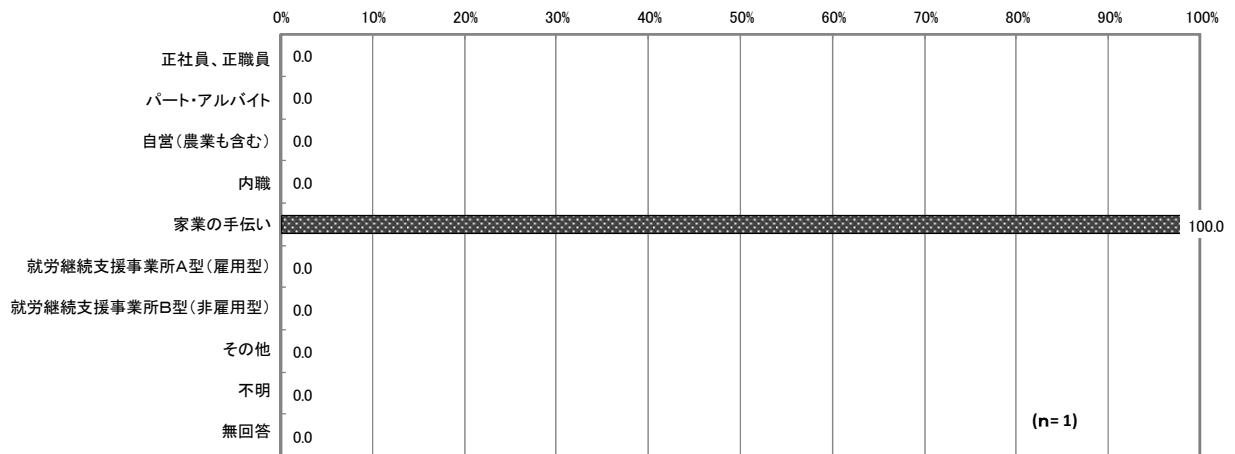
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 正社員、正職員	5	4.8%	0	0.0%	5	4.9%	0	0.0%
2 パート・アルバイト	27	25.7%	0	0.0%	27	26.5%	0	0.0%
3 自営（農業も含む）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 内職	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 家業の手伝い	1	1.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 就労継続支援事業所A型（雇用型）	16	15.2%	0	0.0%	16	15.7%	0	0.0%
7 就労継続支援事業所B型（非雇用型）	48	45.7%	0	0.0%	47	46.1%	1	50.0%
8 その他	6	5.7%	0	0.0%	5	4.9%	1	50.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	1.9%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
合計	105	100.0%	1	100.0%	102	100.0%	2	100.0%

8 その他：主な内訳 生活介護（3）介護型の様な事業所（1）地域生活支援 NPO 法人（1）

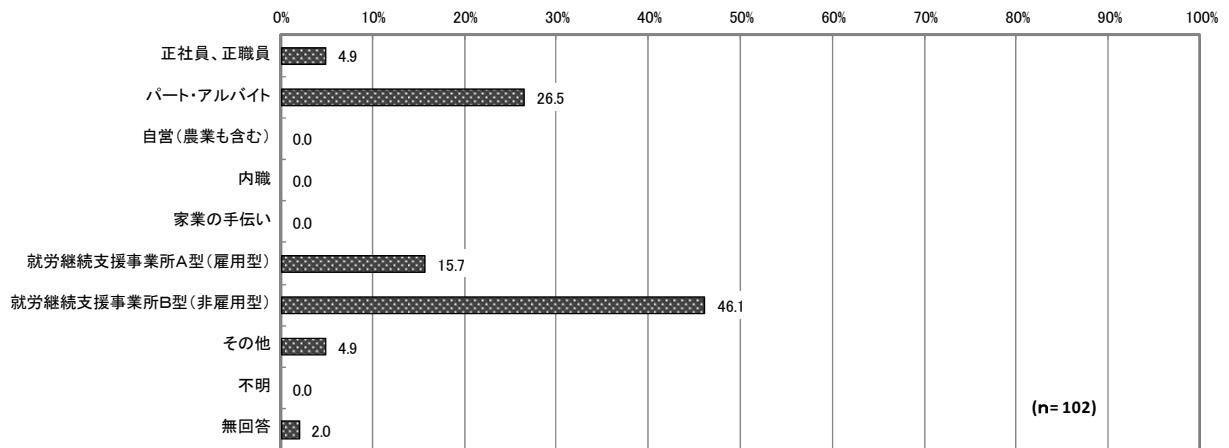


【年代別】

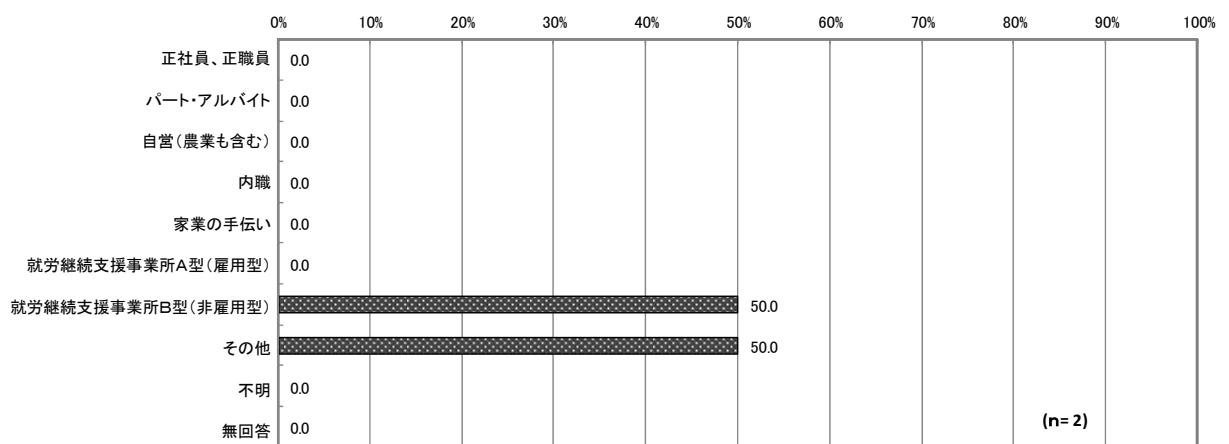
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

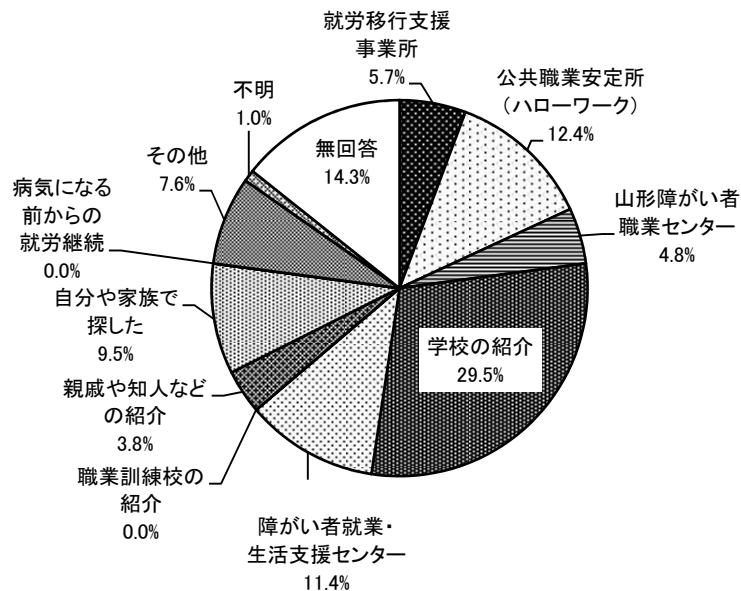


問 16 問 14 で「1」を回答した方におたずねします。現在の仕事はどのようにして見つけましたか。

(単数回答 n=105)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 就労移行支援事業所	6	5.7%	0	0.0%	6	5.9%	0	0.0%
2 公共職業安定所（ハローワーク）	13	12.4%	0	0.0%	13	12.7%	0	0.0%
3 山形障がい者職業センター	5	4.8%	0	0.0%	5	4.9%	0	0.0%
4 学校の紹介	31	29.5%	0	0.0%	31	30.4%	0	0.0%
5 障がい者就業・生活支援センター	12	11.4%	0	0.0%	11	10.8%	1	50.0%
6 職業訓練校の紹介	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 親戚や知人などの紹介	4	3.8%	0	0.0%	4	3.9%	0	0.0%
8 自分や家族で探した	10	9.5%	0	0.0%	10	9.8%	0	0.0%
9 病気になる前からの就労継続	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 その他	8	7.6%	1	100.0%	6	5.9%	1	50.0%
不明	1	1.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%
無回答	15	14.3%	0	0.0%	15	14.7%	0	0.0%
合計	105	100.0%	1	100.0%	102	100.0%	2	100.0%

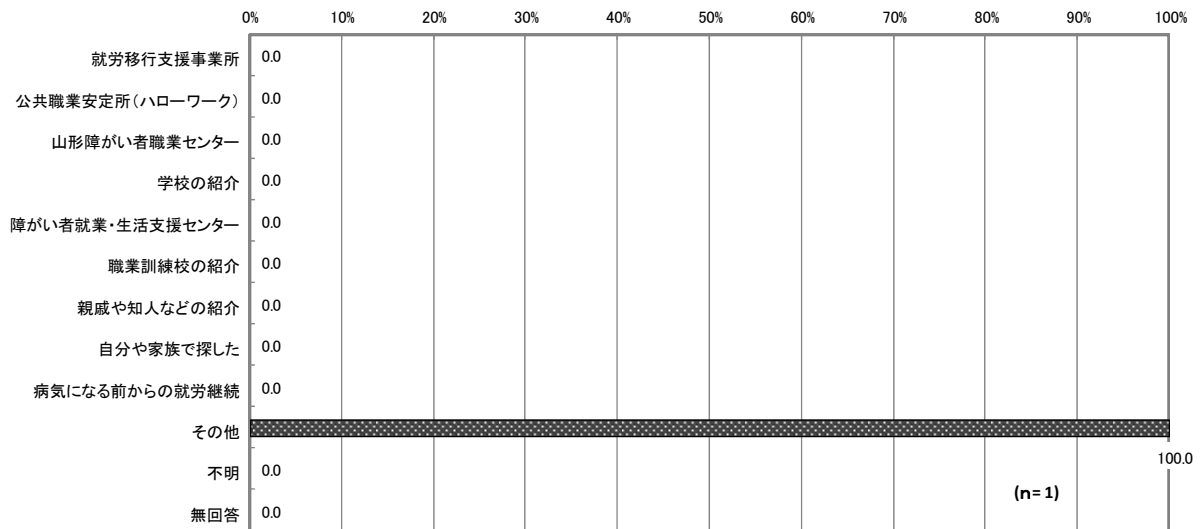
10 その他：主な内訳 コロニー（1） 合同面接会（1） 市役所から紹介（1） 相談事業所の紹介（1）
通勤寮（1） 自営業なので手伝わせている（1）



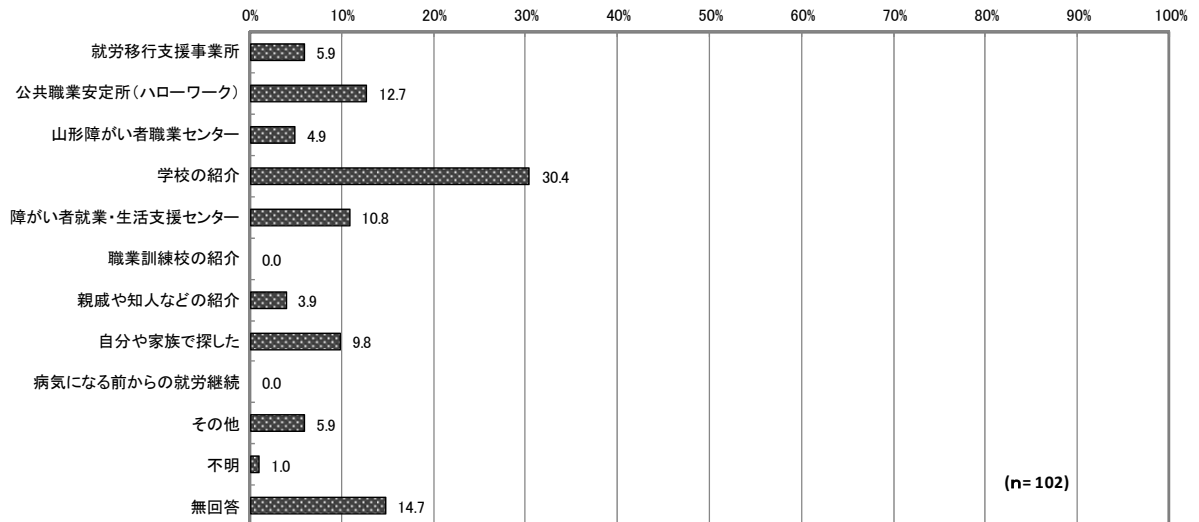
n=105

【年代別】

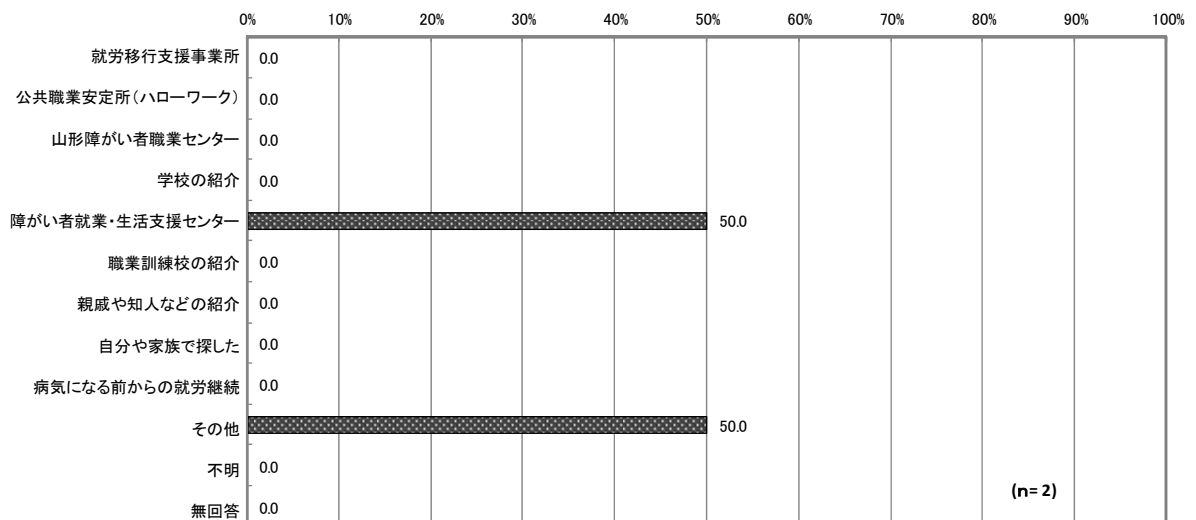
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

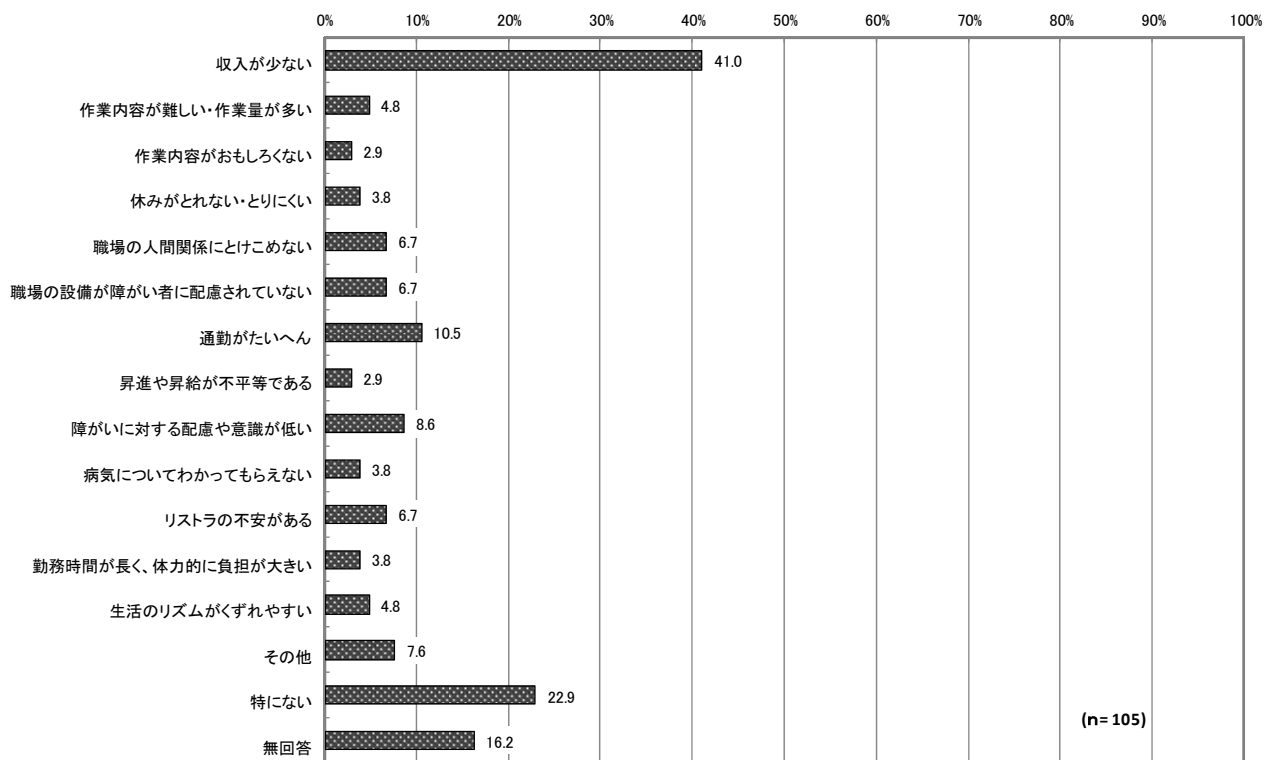


問17 問14で「1」を回答した方におたずねします。仕事をするうえで不安や不満がありますか。
(複数回答 n=105)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 収入が少ない	43	41.0%	1	100.0%	42	41.2%	0	0.0%
2 作業内容が難しい・作業量が多い	5	4.8%	1	100.0%	4	3.9%	0	0.0%
3 作業内容がおもしろくない	3	2.9%	0	0.0%	3	2.9%	0	0.0%
4 休みがとれない・とりにくい	4	3.8%	0	0.0%	4	3.9%	0	0.0%
5 職場の人間関係にとけこめない	7	6.7%	1	100.0%	6	5.9%	0	0.0%
6 職場の設備が障がい者に配慮されていない	7	6.7%	1	100.0%	6	5.9%	0	0.0%
7 通勤がたいへん	11	10.5%	0	0.0%	11	10.8%	0	0.0%
8 昇進や昇給が不平等である	3	2.9%	0	0.0%	3	2.9%	0	0.0%
9 障がいに対する配慮や意識が低い	9	8.6%	1	100.0%	8	7.8%	0	0.0%
10 病気についてわかってもらえない	4	3.8%	1	100.0%	3	2.9%	0	0.0%
11 リストラの不安がある	7	6.7%	0	0.0%	7	6.9%	0	0.0%
12 勤務時間が長く、体力的に負担が大きい	4	3.8%	0	0.0%	3	2.9%	1	50.0%
13 生活のリズムがくずれやすい	5	4.8%	0	0.0%	5	4.9%	0	0.0%
14 その他	8	7.6%	0	0.0%	8	7.8%	0	0.0%
15 特にない	24	22.9%	0	0.0%	23	22.5%	1	50.0%
無回答	17	16.2%	0	0.0%	17	16.7%	0	0.0%
合計	105		1		102		2	

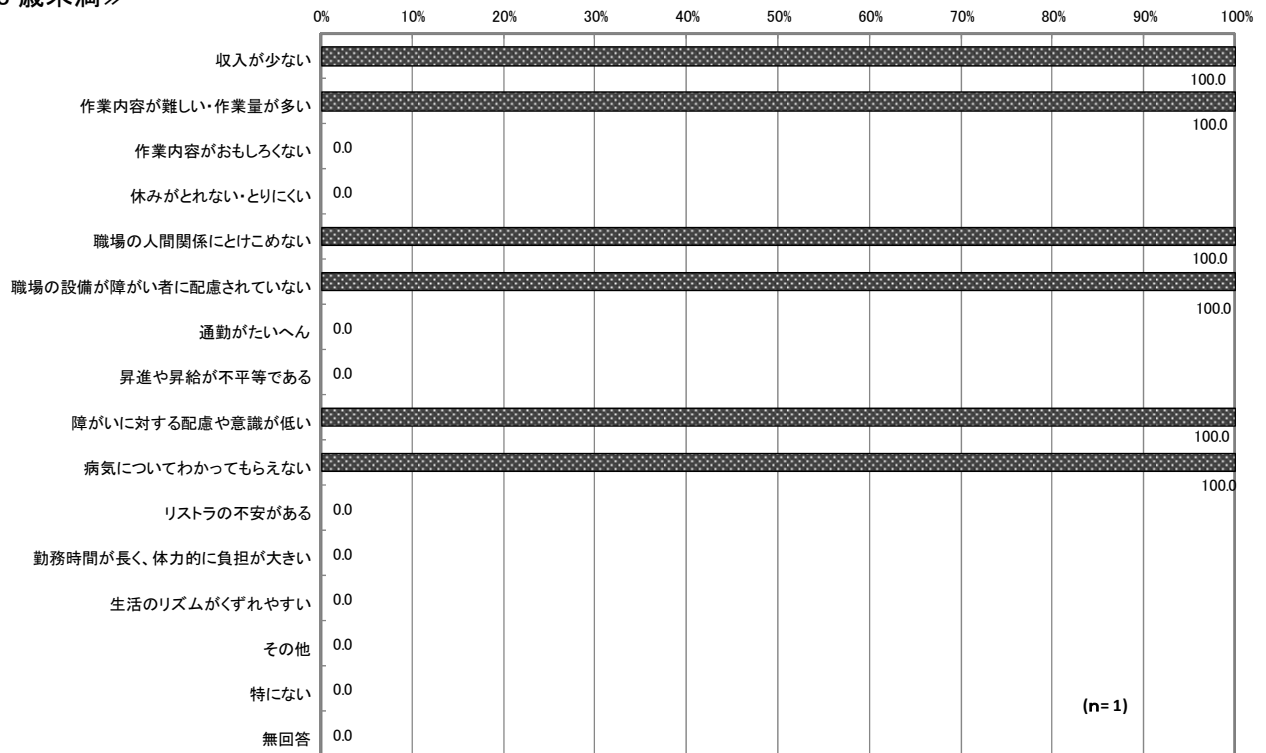
14 その他：主な内訳 労働時間が短い、増やして欲しい (2) B型との賃金に差がありすぎる (1)

行事の時送迎がなく家族がしなければならない (1) 作業量が少ない (1) 月ごとの収入が不安定 (1) 社会保険に加入してほしい (1) 収入につながる仕事を事業所で見つける事が難しい。もっと行政や一般から仕事を提供してもらえるようにしてほしい (1)

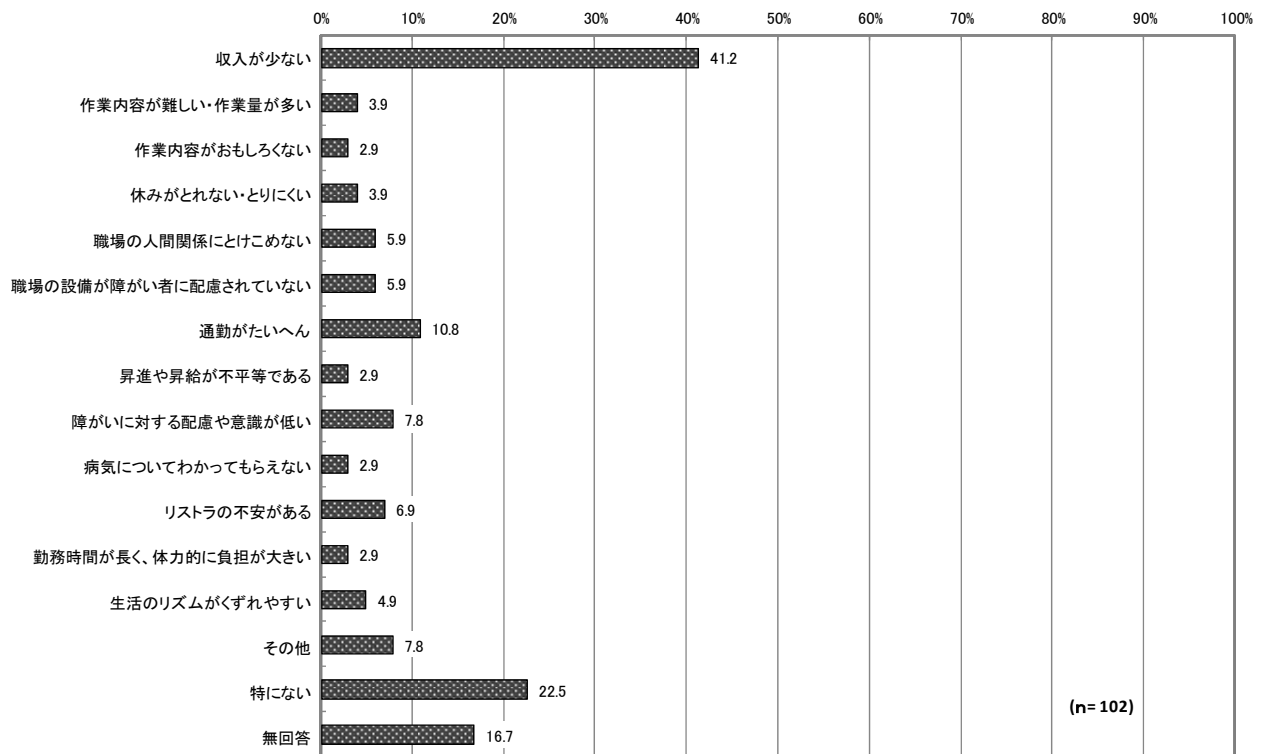


【年代別】

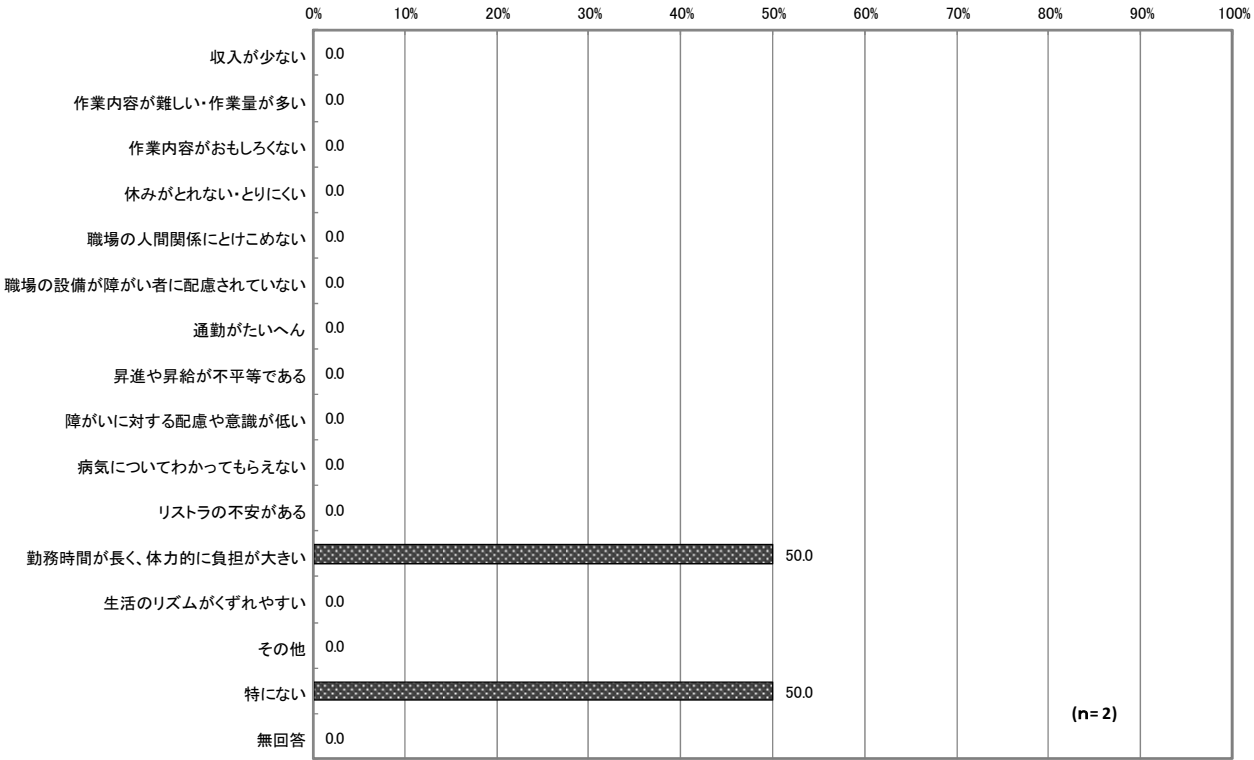
《18 歳未満》



《18～64 歳》



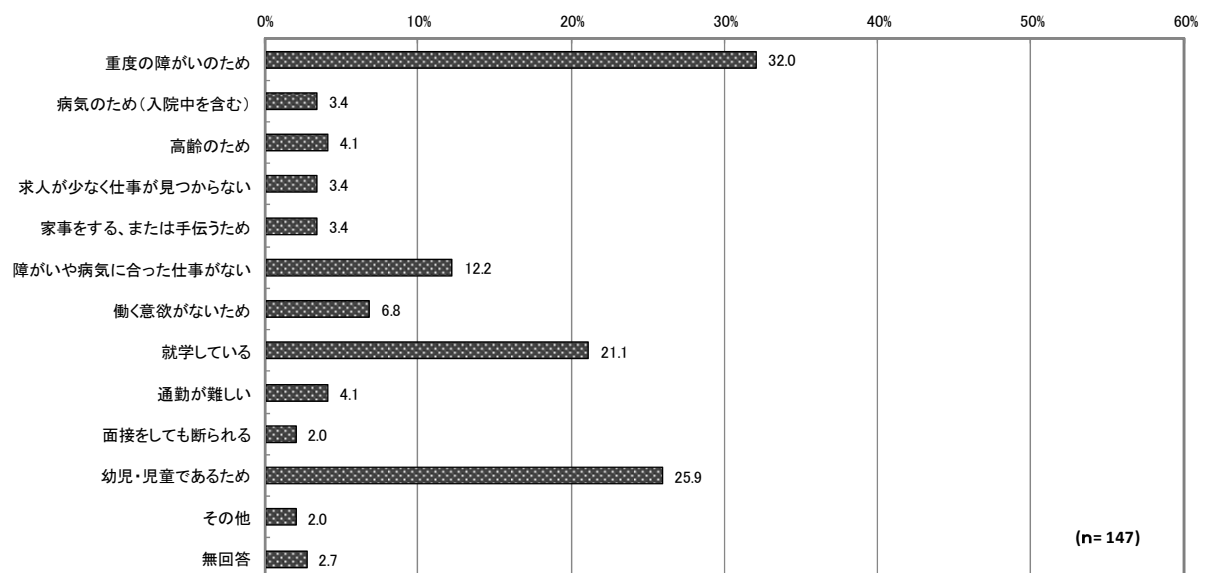
《65 歳以上》



問 18 問 14 で「2」を回答した方におたずねします。あなたが仕事をしていない理由は何ですか。
(複数回答 n=147)

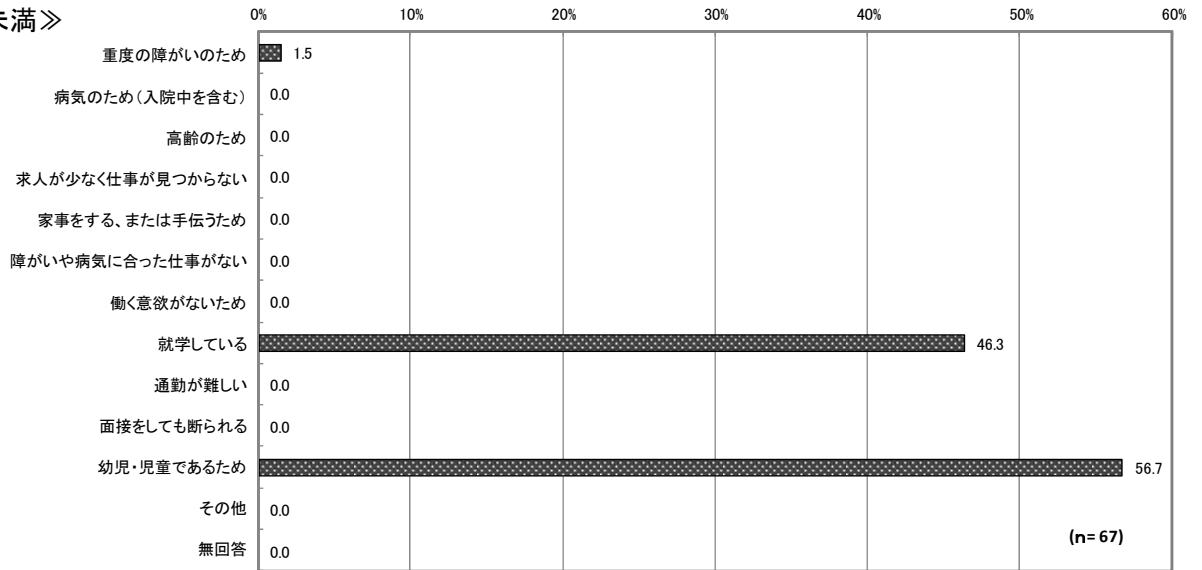
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 重度の障がいのため	47	32.0%	1	1.5%	42	57.5%	4	57.1%
2 病気のため(入院中を含む)	5	3.4%	0	0.0%	4	5.5%	1	14.3%
3 高齢のため	6	4.1%	0	0.0%	2	2.7%	4	57.1%
4 求人が少なく仕事が見つからない	5	3.4%	0	0.0%	5	6.8%	0	0.0%
5 家事をする、または手伝うため	5	3.4%	0	0.0%	5	6.8%	0	0.0%
6 障がいや病気に合った仕事がない	18	12.2%	0	0.0%	18	24.7%	0	0.0%
7 働く意欲がないため	10	6.8%	0	0.0%	10	13.7%	0	0.0%
8 就学している	31	21.1%	31	46.3%	0	0.0%	0	0.0%
9 通勤が難しい	6	4.1%	0	0.0%	6	8.2%	0	0.0%
10 面接をしても断られる	3	2.0%	0	0.0%	3	4.1%	0	0.0%
11 幼児・児童であるため	38	25.9%	38	56.7%	0	0.0%	0	0.0%
12 その他	3	2.0%	0	0.0%	3	4.1%	0	0.0%
無回答	4	2.7%	0	0.0%	4	5.5%	0	0.0%
合計	147		67		73		7	

12 その他：主な内訳 生活保護 (1) 実習中 (1) 自分に合った仕事が見つからない (1)

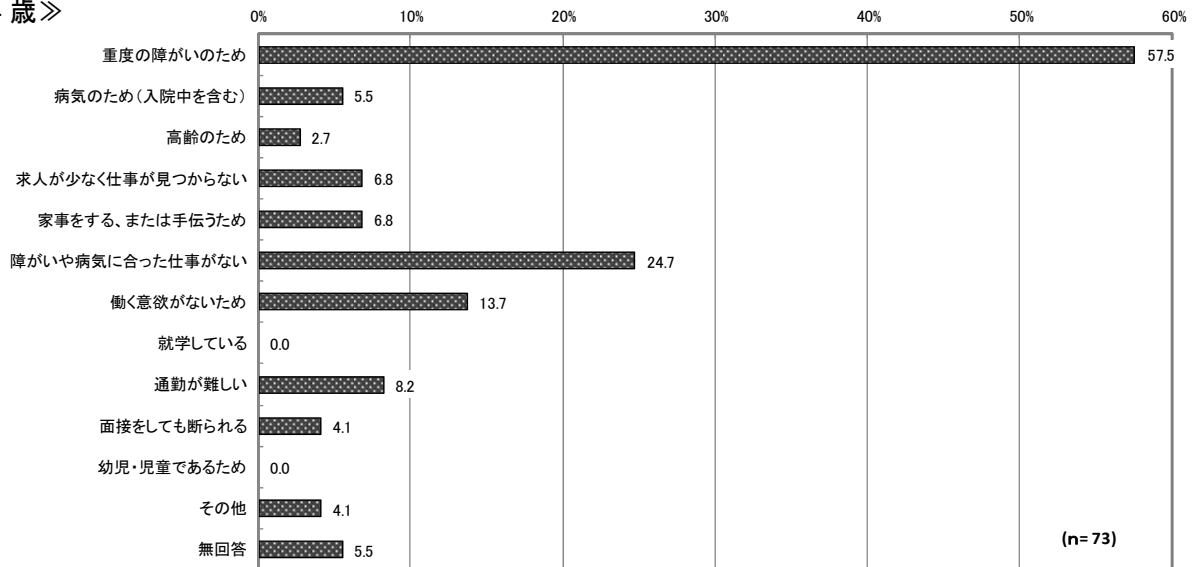


【年代別】

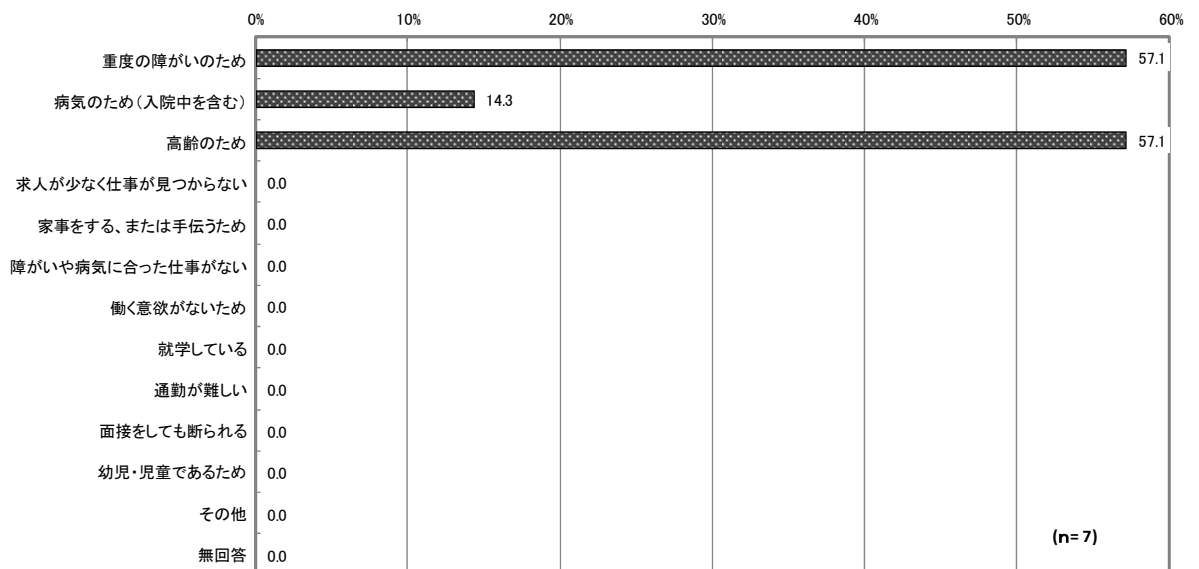
《18 歳未満》



《18～64 歳》



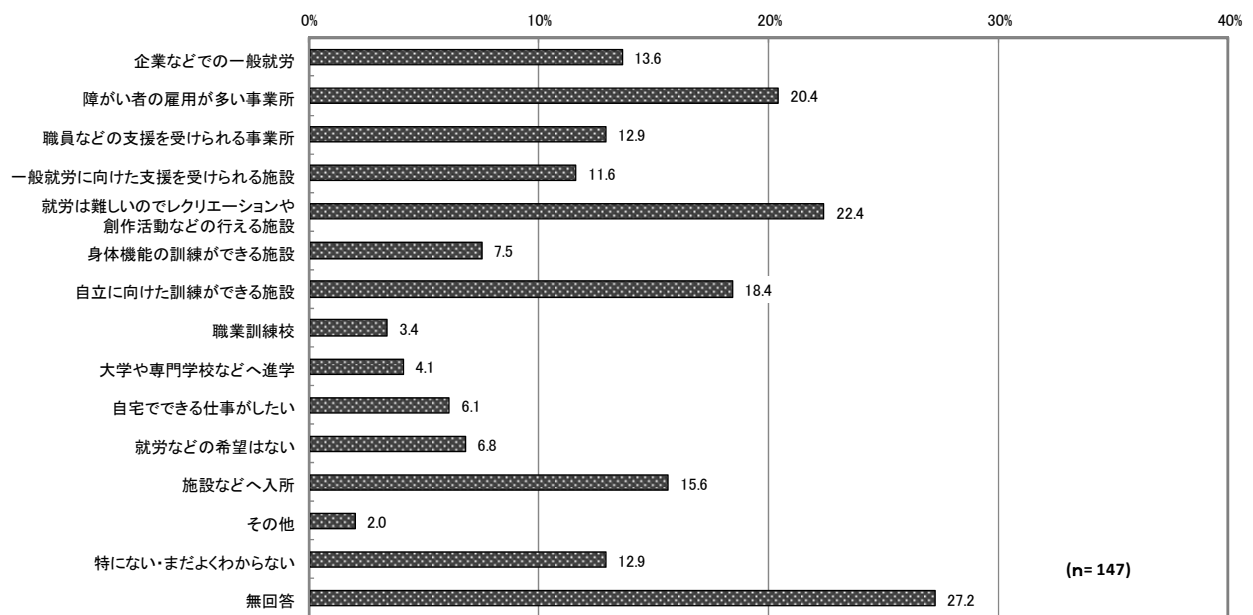
《65 歳以上》



問 19 問 14 で「2」を回答した方におたずねします。今後の活動や将来の進路について、どのような希望がありますか。（複数回答 n=147）

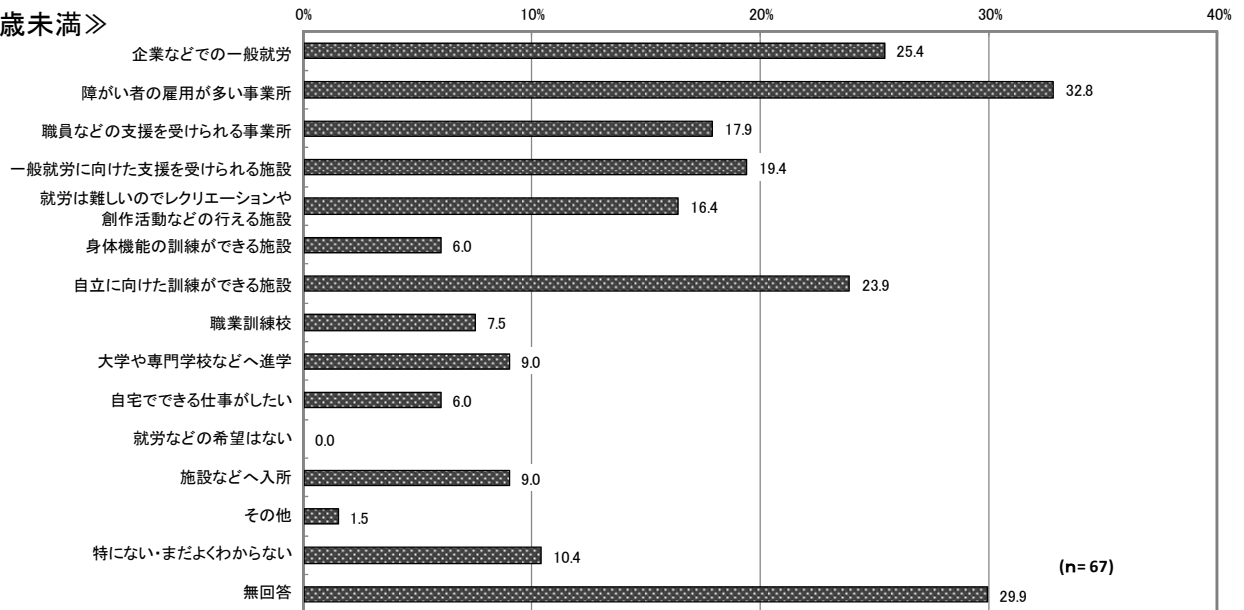
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 企業などでの一般就労	20	13.6%	17	25.4%	3	4.1%	0	0.0%
2 障がい者の雇用が多い事業所	30	20.4%	22	32.8%	8	11.0%	0	0.0%
3 職員などの支援を受けられる事業所	19	12.9%	12	17.9%	7	9.6%	0	0.0%
4 一般就労に向けた支援を受けられる施設	17	11.6%	13	19.4%	4	5.5%	0	0.0%
5 就労は難しいのでレクリエーションや創作活動などの行える施設	33	22.4%	11	16.4%	20	27.4%	2	28.6%
6 身体機能の訓練ができる施設	11	7.5%	4	6.0%	5	6.8%	2	28.6%
7 自立に向けた訓練ができる施設	27	18.4%	16	23.9%	11	15.1%	0	0.0%
8 職業訓練校	5	3.4%	5	7.5%	0	0.0%	0	0.0%
9 大学や専門学校などへ進学	6	4.1%	6	9.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 自宅でできる仕事がしたい	9	6.1%	4	6.0%	5	6.8%	0	0.0%
11 就労などの希望はない	10	6.8%	0	0.0%	8	11.0%	2	28.6%
12 施設などへ入所	23	15.6%	6	9.0%	16	21.9%	1	14.3%
13 その他	3	2.0%	1	1.5%	2	2.7%	0	0.0%
14 特にない・まだよくわからない	19	12.9%	7	10.4%	11	15.1%	1	14.3%
無回答	40	27.2%	20	29.9%	18	24.7%	2	28.6%
合計	147		67		73		7	

13 その他：主な内訳 グループホームに入所（3）

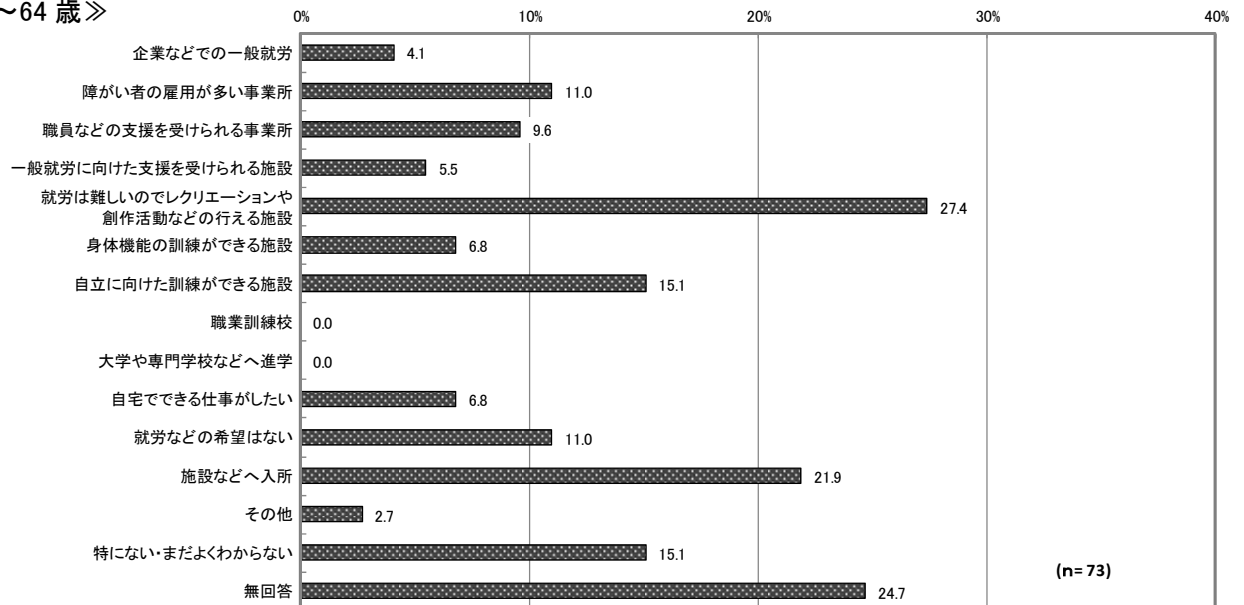


【年代別】

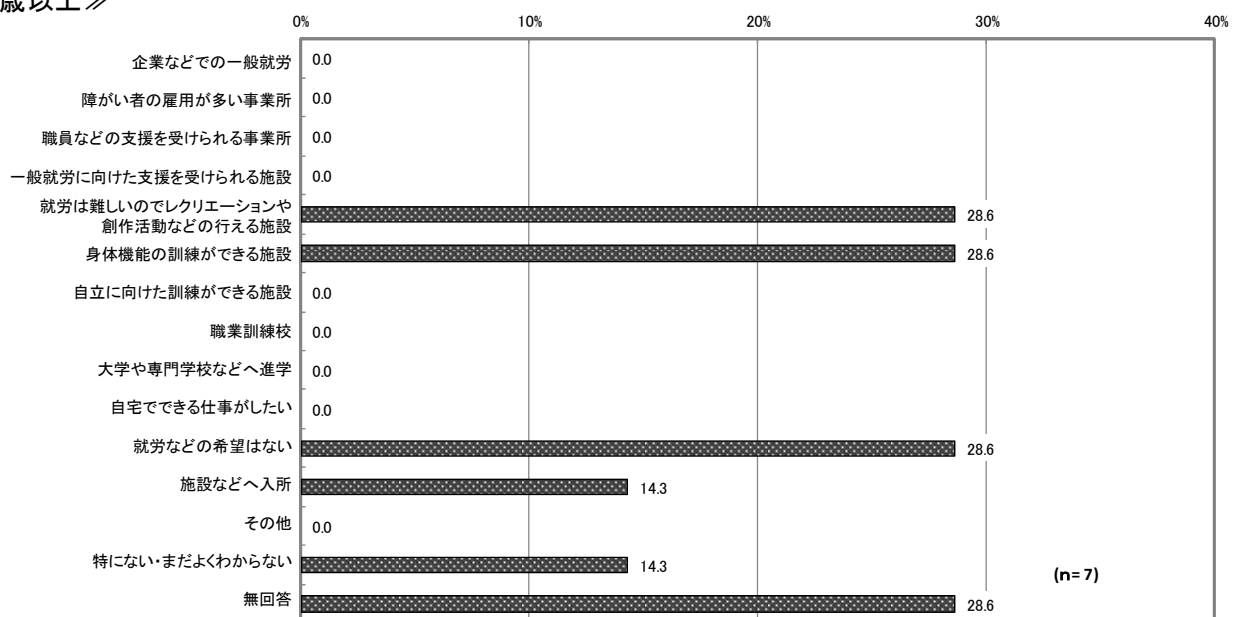
≪18歳未満≫



≪18～64歳≫



≪65歳以上≫



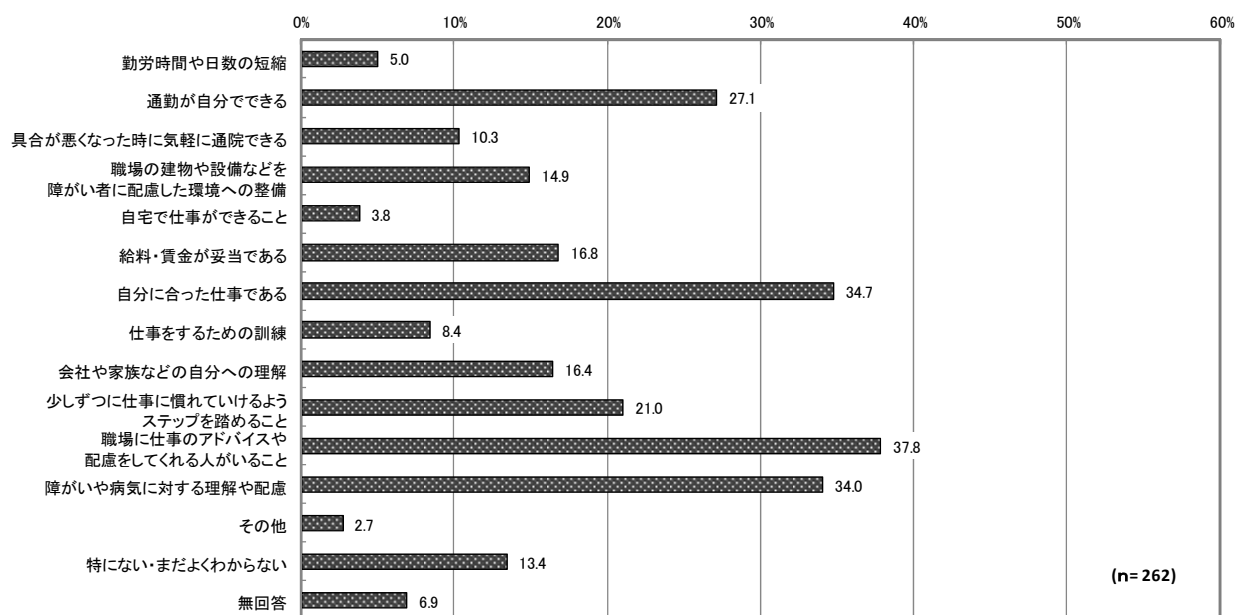
問 20 あなたが働き続ける（または将来働く）には、どのようなことが特に必要だと思いますか。

(3つまで○印) (複数回答 n=262)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 勤務時間や日数の短縮	13	5.0%	3	4.3%	8	4.3%	2	22.2%
2 通勤が自分でできる	71	27.1%	23	33.3%	47	25.5%	1	11.1%
3 具合が悪くなった時に気軽に通院できる	27	10.3%	6	8.7%	21	11.4%	0	0.0%
4 職場の建物や設備などを障がい者に配慮した環境への整備	39	14.9%	19	27.5%	18	9.8%	2	22.2%
5 自宅で仕事ができること	10	3.8%	3	4.3%	7	3.8%	0	0.0%
6 給料・賃金が妥当である	44	16.8%	18	26.1%	25	13.6%	1	11.1%
7 自分に合った仕事である	91	34.7%	30	43.5%	60	32.6%	1	11.1%
8 仕事をするための訓練	22	8.4%	10	14.5%	12	6.5%	0	0.0%
9 会社や家族などの自分への理解	43	16.4%	15	21.7%	28	15.2%	0	0.0%
10 少しずつに仕事に慣れていけるようステップを踏めること	55	21.0%	24	34.8%	31	16.8%	0	0.0%
11 職場に仕事のアドバイスや配慮をしてくれる人がいること	99	37.8%	35	50.7%	62	33.7%	2	22.2%
12 障がいや病気に対する理解や配慮	89	34.0%	34	49.3%	53	28.8%	2	22.2%
13 その他	7	2.7%	1	1.4%	6	3.3%	0	0.0%
14 特にない・まだよくわからない	35	13.4%	7	10.1%	26	14.1%	2	22.2%
無回答	18	6.9%	1	1.4%	14	7.6%	3	33.3%
合計	262		69		184		9	

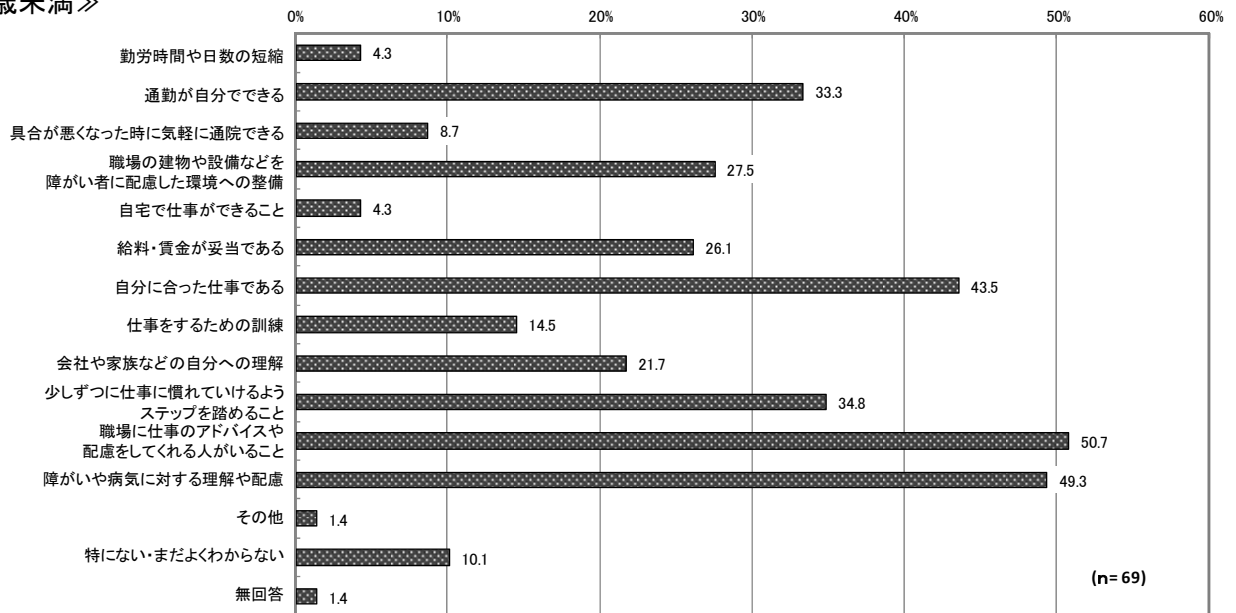
13 その他：主な内訳 周りからかわいがられるキャラクターになる (1) 正社員になる (1) 働けない (1)

知的には全く無理 (1) 重度障がい (重度知的障がい) で自分の意思が伝えられない (1)

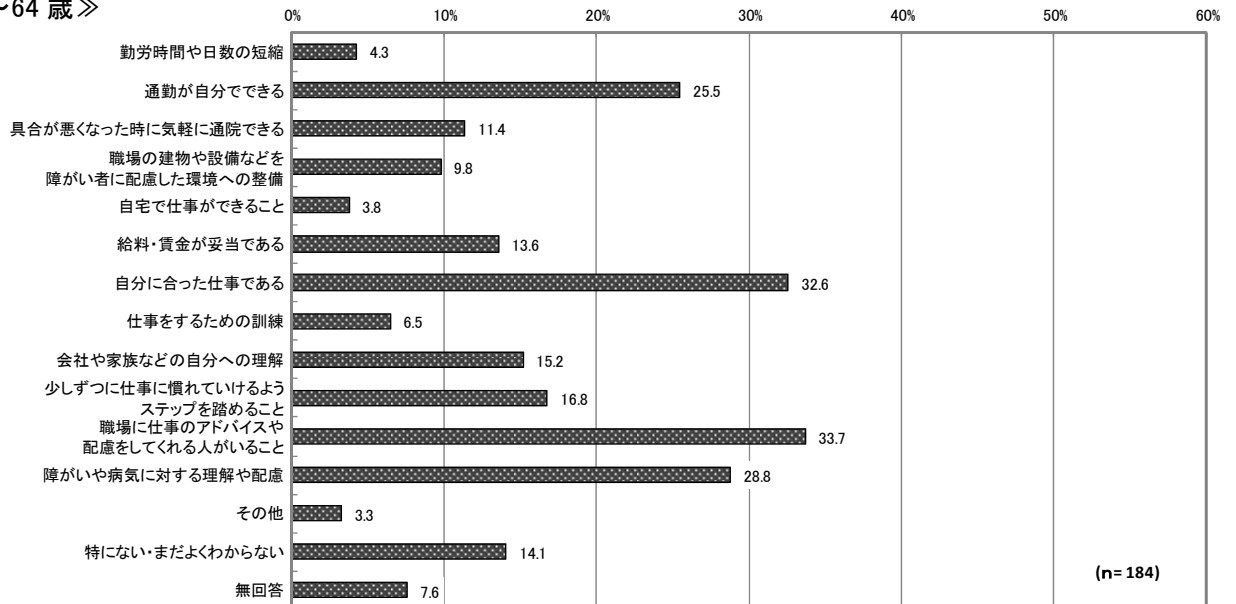


【年代別】

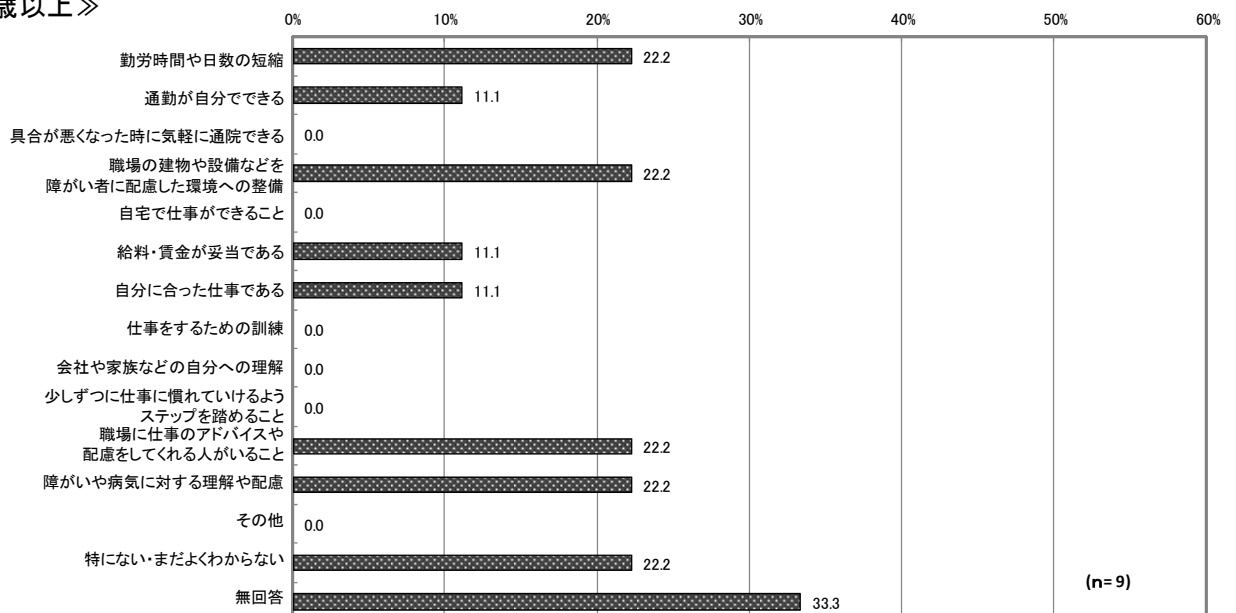
≪18歳未満≫



≪18～64歳≫



≪65歳以上≫



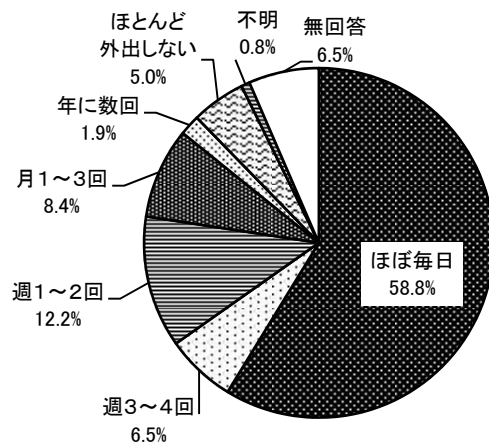
【バリアフリーに関すること】

外出頻度については、「ほぼ毎日」が58.8%と最も高く、次いで「週1～2回」が12.2%、「月1～3回」が8.4%となった。ほとんど外出しないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「障がいや疾病が重く、外出が難しい」が46.2%と最も高く、次いで「外出する必要がある」が30.8%となった。

外出するうえで困ることは、「コミュニケーションが難しい」が37.4%と最も高く、次いで「特に困ることはない」が24.0%、「電車・バスなどへの乗車が難しい」が23.7%となっている。

問21 あなたの外出回数はどのくらいですか。（単数回答 n=262）

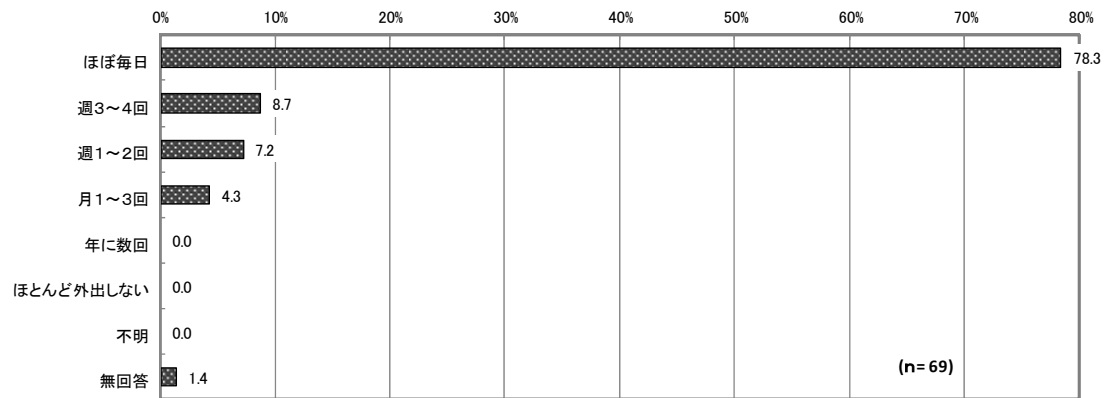
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ほぼ毎日	154	58.8%	54	78.3%	98	53.3%	2	22.2%
2 週3～4回	17	6.5%	6	8.7%	10	5.4%	1	11.1%
3 週1～2回	32	12.2%	5	7.2%	27	14.7%	0	0.0%
4 月1～3回	22	8.4%	3	4.3%	19	10.3%	0	0.0%
5 年に数回	5	1.9%	0	0.0%	2	1.1%	3	33.3%
6 ほとんど外出しない	13	5.0%	0	0.0%	11	6.0%	2	22.2%
不明	2	0.8%	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%
無回答	17	6.5%	1	1.4%	15	8.2%	1	11.1%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



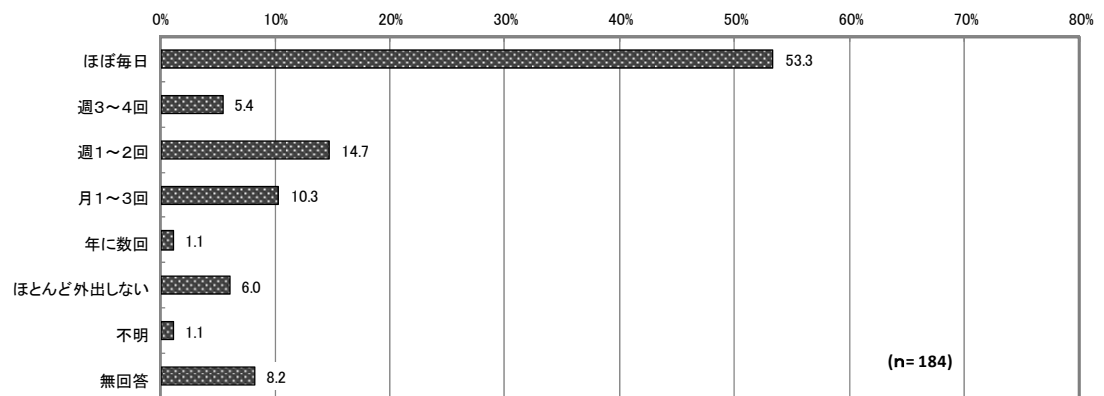
n=262

【年代別】

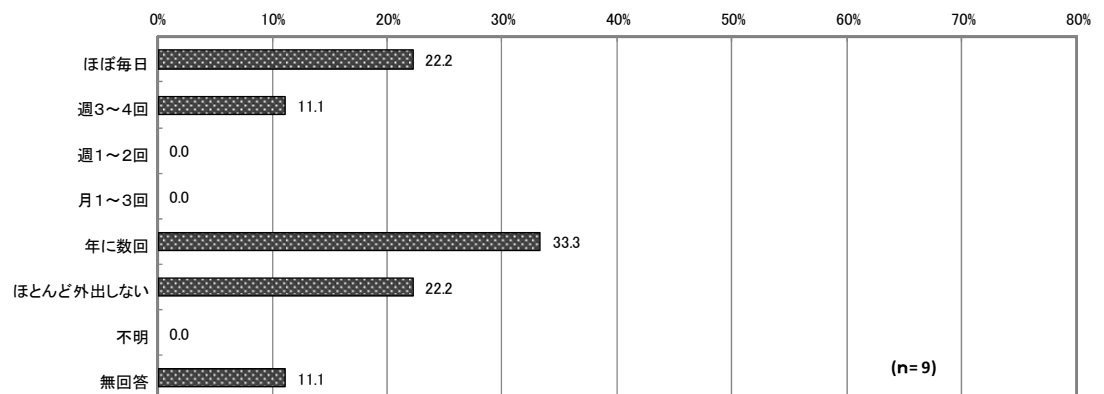
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

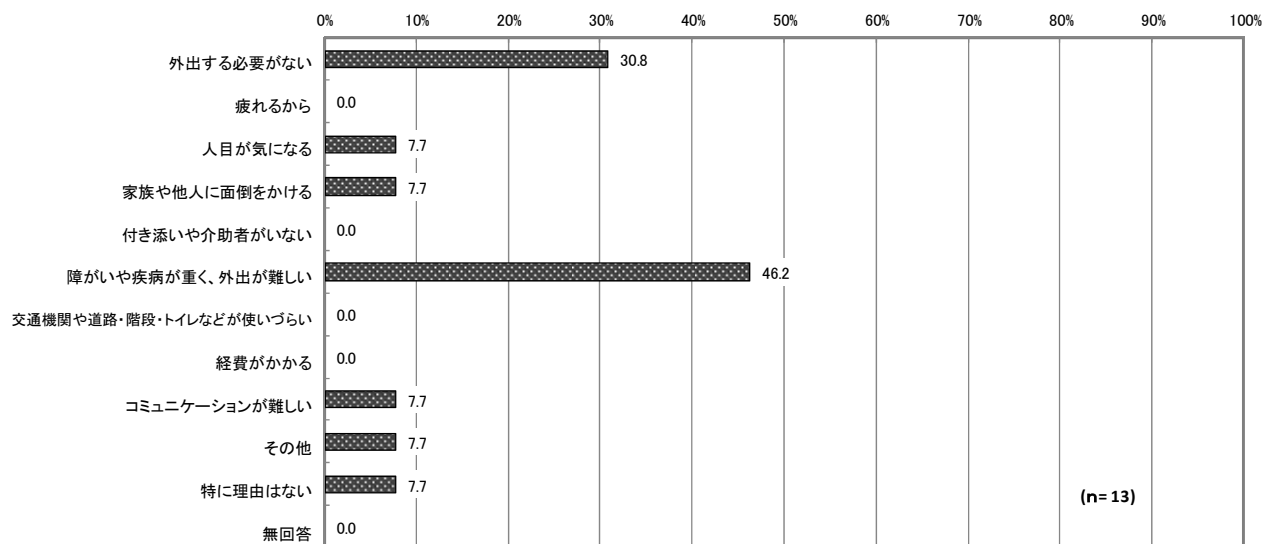


問 22 問 21 で「6」を回答した方におたずねします。あなたが外出しない主な理由は何ですか。

(複数回答 n=13)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 外出する必要がある	4	30.8%	0	0.0%	2	18.2%	2	100.0%
2 疲れるから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 人目が気になる	1	7.7%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%
4 家族や他人に面倒をかける	1	7.7%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%
5 付き添いや介助者がいない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 障がいや疾病が重く、外出が難しい	6	46.2%	0	0.0%	6	54.5%	0	0.0%
7 交通機関や道路・階段・トイレなどが使いづらい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 経費がかかる	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 コミュニケーションが難しい	1	7.7%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%
10 その他	1	7.7%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%
11 特に理由はない	1	7.7%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	13		0		11		2	

10 その他：主な内訳 こだわりが強いため (1)

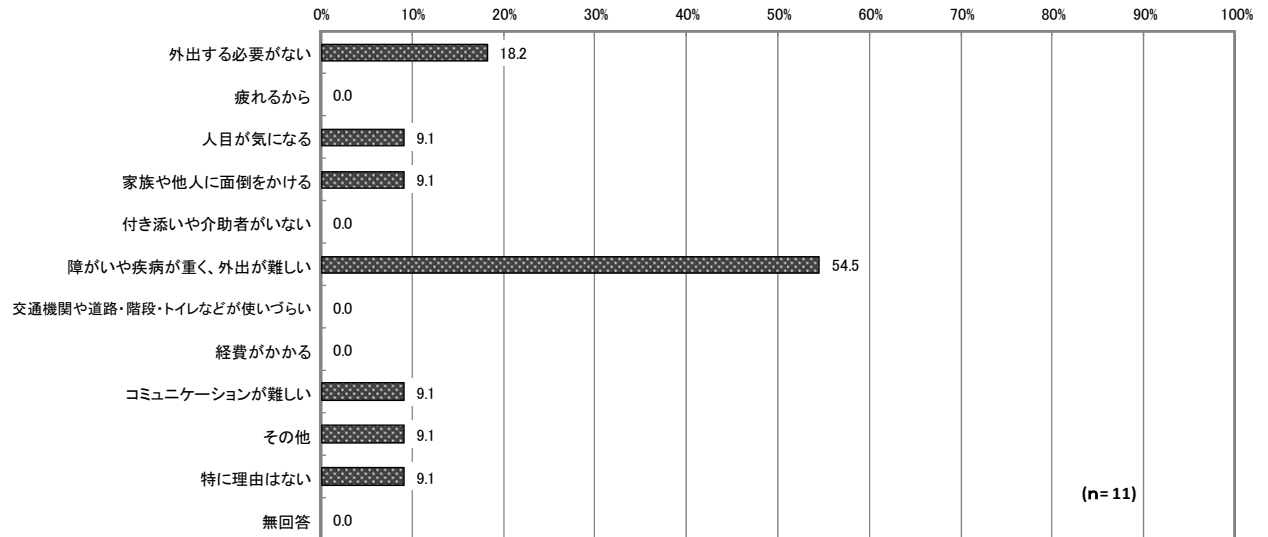


【年代別】

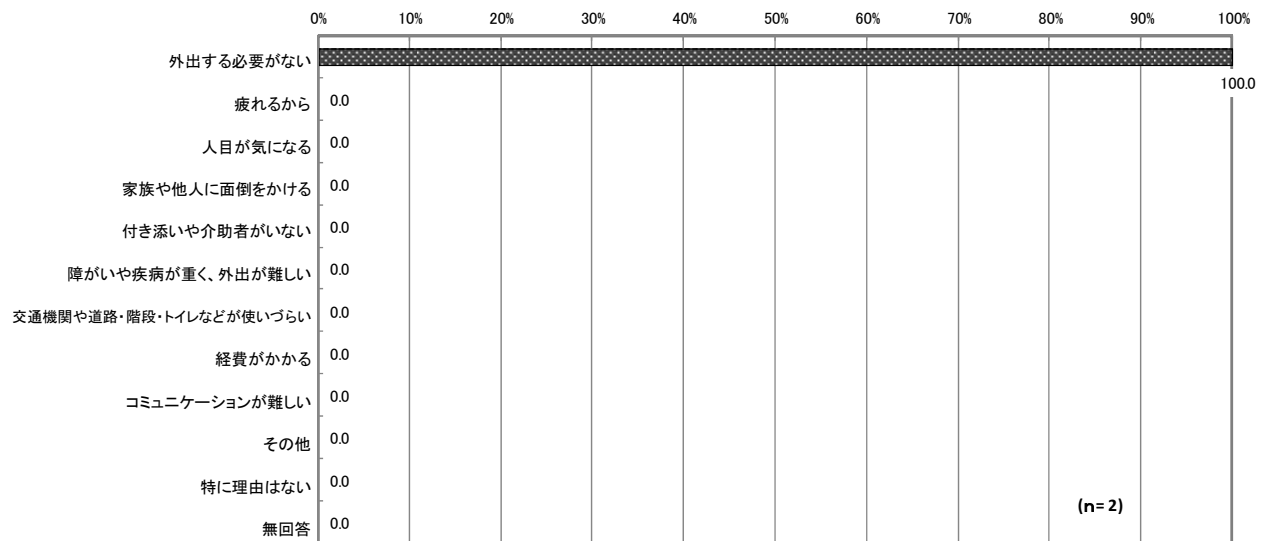
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



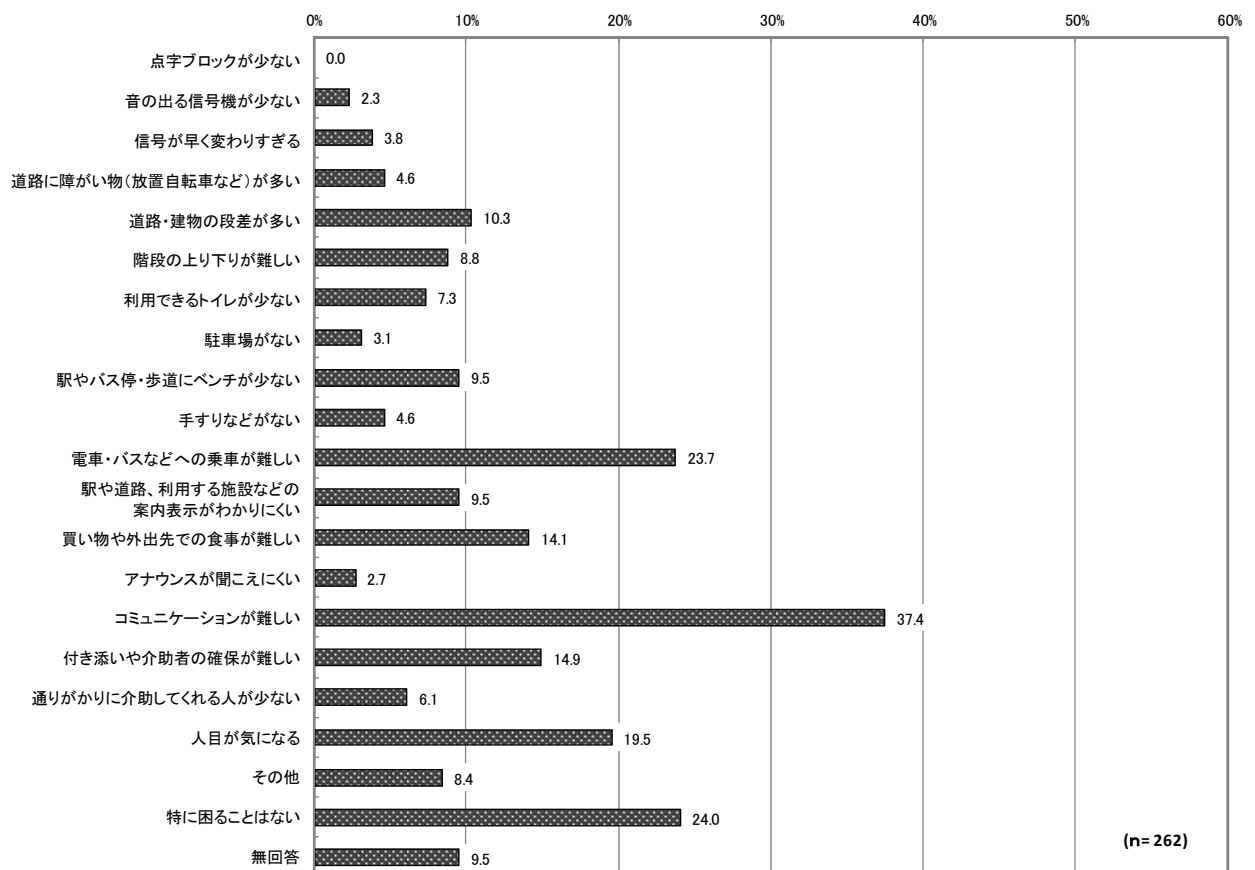
《65 歳以上》



問 23 外出するうえで困ることは何ですか。 (複数回答 n=262)

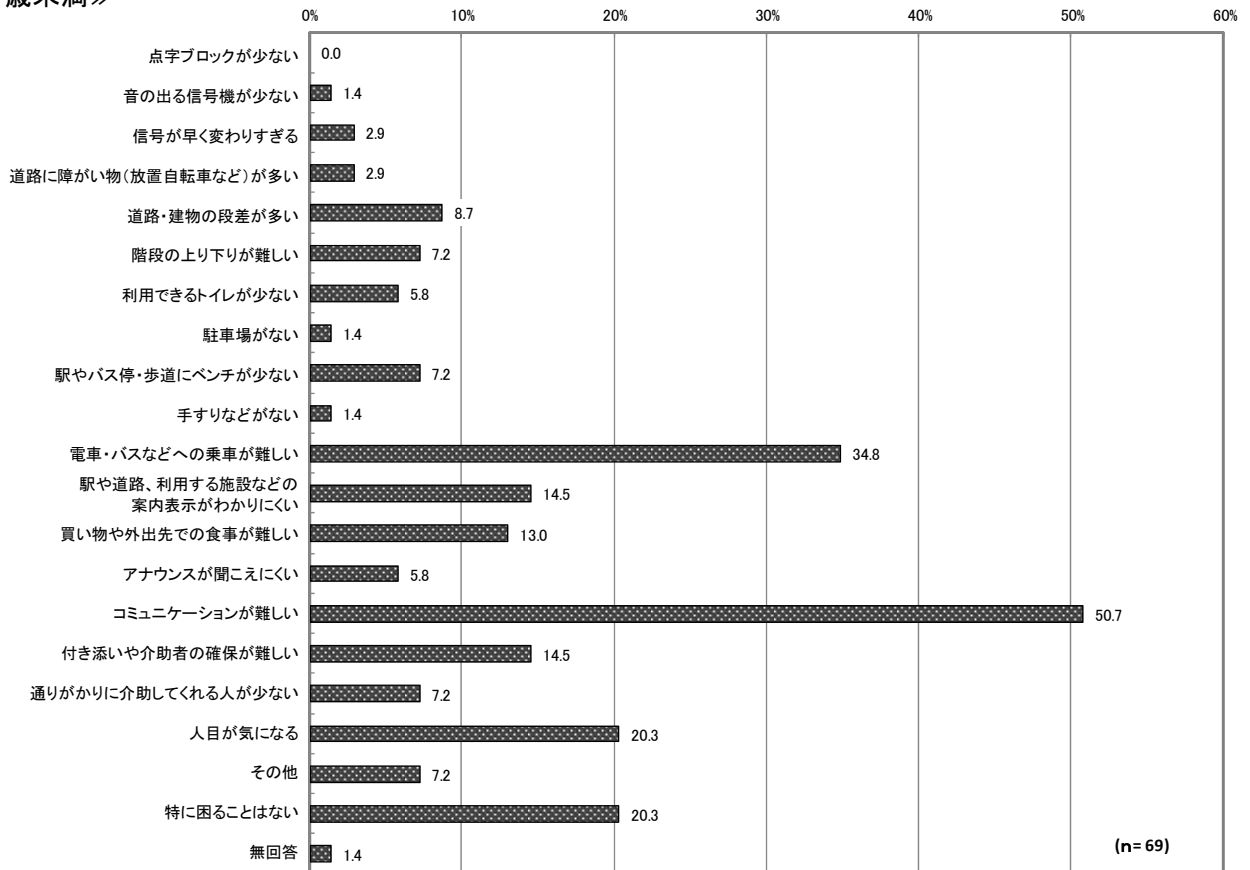
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 点字ブロックが少ない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 音の出る信号機が少ない	6	2.3%	1	1.4%	5	2.7%	0	0.0%
3 信号が早く変わりすぎる	10	3.8%	2	2.9%	8	4.3%	0	0.0%
4 道路に障がい物（放置自転車など）が多い	12	4.6%	2	2.9%	10	5.4%	0	0.0%
5 道路・建物の段差が多い	27	10.3%	6	8.7%	19	10.3%	2	22.2%
6 階段の上り下りが難しい	23	8.8%	5	7.2%	17	9.2%	1	11.1%
7 利用できるトイレが少ない	19	7.3%	4	5.8%	15	8.2%	0	0.0%
8 駐車場がない	8	3.1%	1	1.4%	7	3.8%	0	0.0%
9 駅やバス停・歩道にベンチが少ない	25	9.5%	5	7.2%	20	10.9%	0	0.0%
10 手すりなどが無い	12	4.6%	1	1.4%	10	5.4%	1	11.1%
11 電車・バスなどへの乗車が難しい	62	23.7%	24	34.8%	38	20.7%	0	0.0%
12 駅や道路、利用する施設などの案内表示がわかりにくい	25	9.5%	10	14.5%	15	8.2%	0	0.0%
13 買い物や外出先での食事が難しい	37	14.1%	9	13.0%	27	14.7%	1	11.1%
14 アナウンスが聞こえにくい	7	2.7%	4	5.8%	3	1.6%	0	0.0%
15 コミュニケーションが難しい	98	37.4%	35	50.7%	63	34.2%	0	0.0%
16 付き添いや介助者の確保が難しい	39	14.9%	10	14.5%	28	15.2%	1	11.1%
17 通りがかりに介助してくれる人が少ない	16	6.1%	5	7.2%	11	6.0%	0	0.0%
18 人目が気になる	51	19.5%	14	20.3%	36	19.6%	1	11.1%
19 その他	22	8.4%	5	7.2%	17	9.2%	0	0.0%
20 特に困ることはない	63	24.0%	14	20.3%	45	24.5%	4	44.4%
無回答	25	9.5%	1	1.4%	22	12.0%	2	22.2%
合計	262		69		184		9	

19 その他：主な内訳 一人で外出できない (7) 移動の手段がない (車、公共交通機関) (2) 歩道の傾斜 (1) すべて介助が必要 (1) 聴覚過敏なので、雑音が多すぎる。アナウンス音声をきくとパニックになる (1) 周りの人の理解を求めにくい (1)

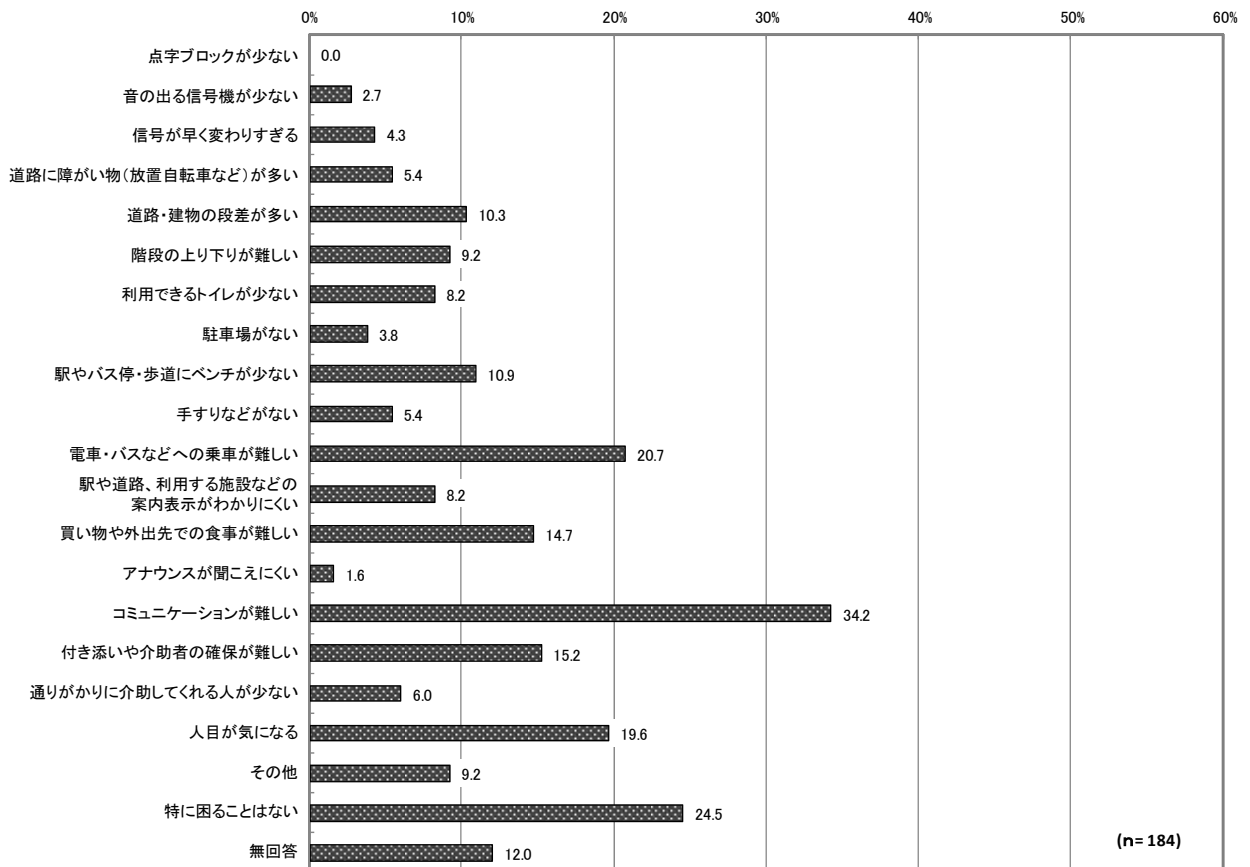


【年代別】

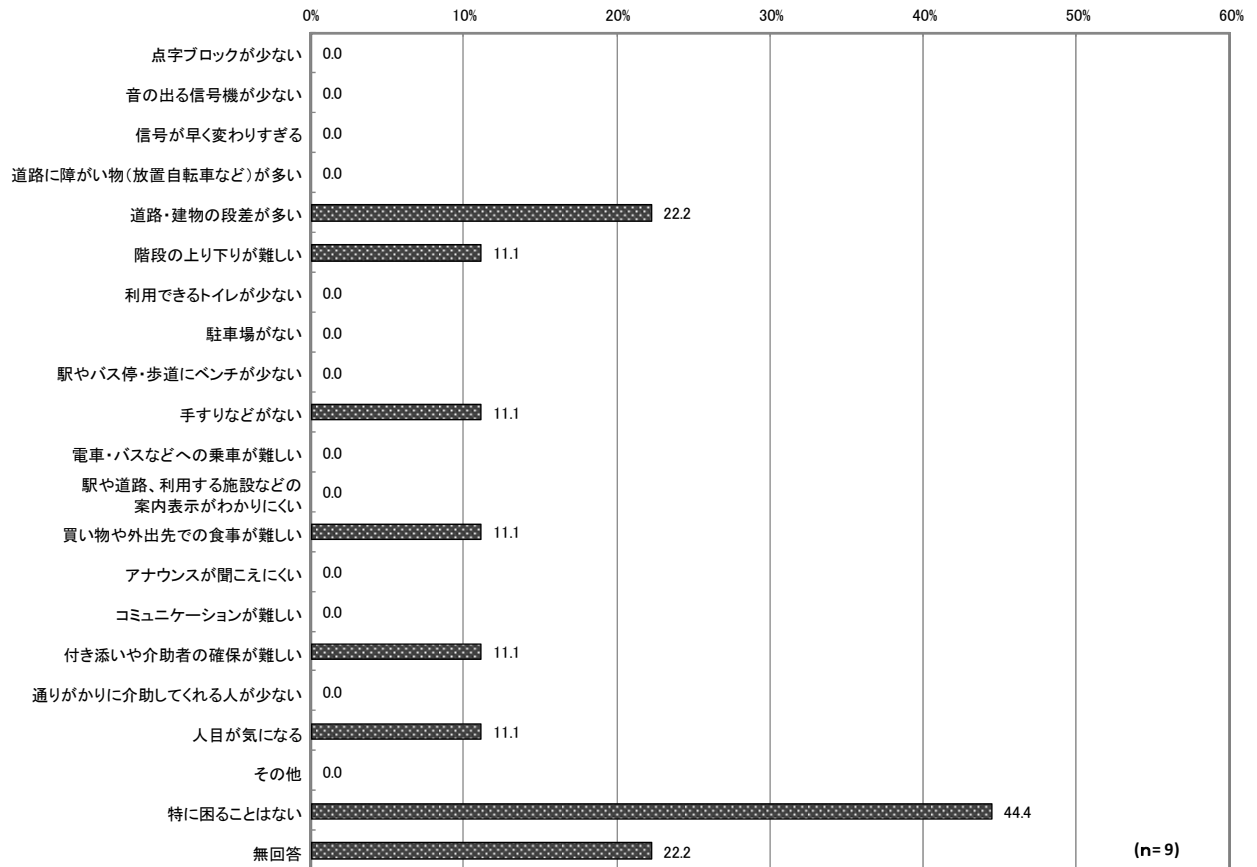
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【余暇活動】

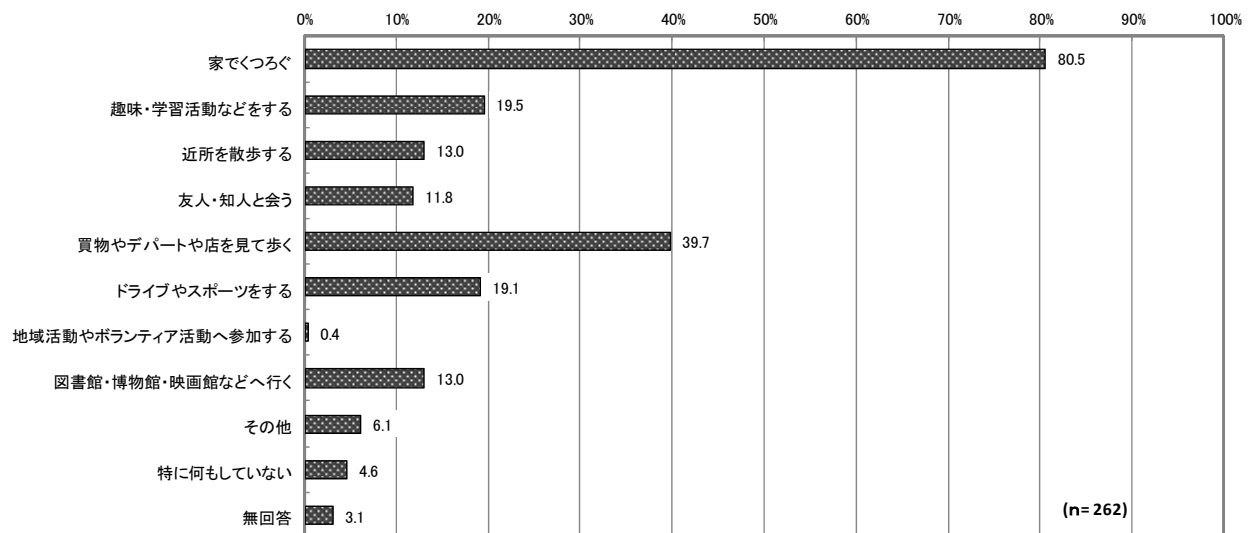
余暇の過ごし方については、「家でくつろぐ」が 80.5%と最も高く、次いで「買物やデパートや店を見て歩く」が 39.7%、「趣味・学習活動などをする」が 19.5%となった。余暇に特に何もしていないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「何をしたらよいのかわからない」が 50.0%と最も高く、次いで「病状が重い」が 33.3%、「付添いや介助者がいない」が 8.3%となった。障がい者の芸術文化活動あるいはスポーツ活動に参加してみたいかは、「興味がない」が 46.9%と 4 割半ばを占めたが、「参加してみたい」も 28.2%と 3 割弱を占めている。

問 24 あなたはどのように余暇などを過ごしていますか。（3 つまで○印）（複数回答 n=262）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家でくつろぐ	211	80.5%	62	89.9%	144	78.3%	5	55.6%
2 趣味・学習活動などをする	51	19.5%	22	31.9%	27	14.7%	2	22.2%
3 近所を散歩する	34	13.0%	14	20.3%	20	10.9%	0	0.0%
4 友人・知人と会う	31	11.8%	5	7.2%	26	14.1%	0	0.0%
5 買物やデパートや店を見て歩く	104	39.7%	30	43.5%	73	39.7%	1	11.1%
6 ドライブやスポーツをする	50	19.1%	12	17.4%	37	20.1%	1	11.1%
7 地域活動やボランティア活動へ参加する	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
8 図書館・博物館・映画館などへ行く	34	13.0%	10	14.5%	24	13.0%	0	0.0%
9 その他	16	6.1%	4	5.8%	12	6.5%	0	0.0%
10 特に何もしていない	12	4.6%	0	0.0%	10	5.4%	2	22.2%
無回答	8	3.1%	2	2.9%	5	2.7%	1	11.1%
合計	262		69		184		9	

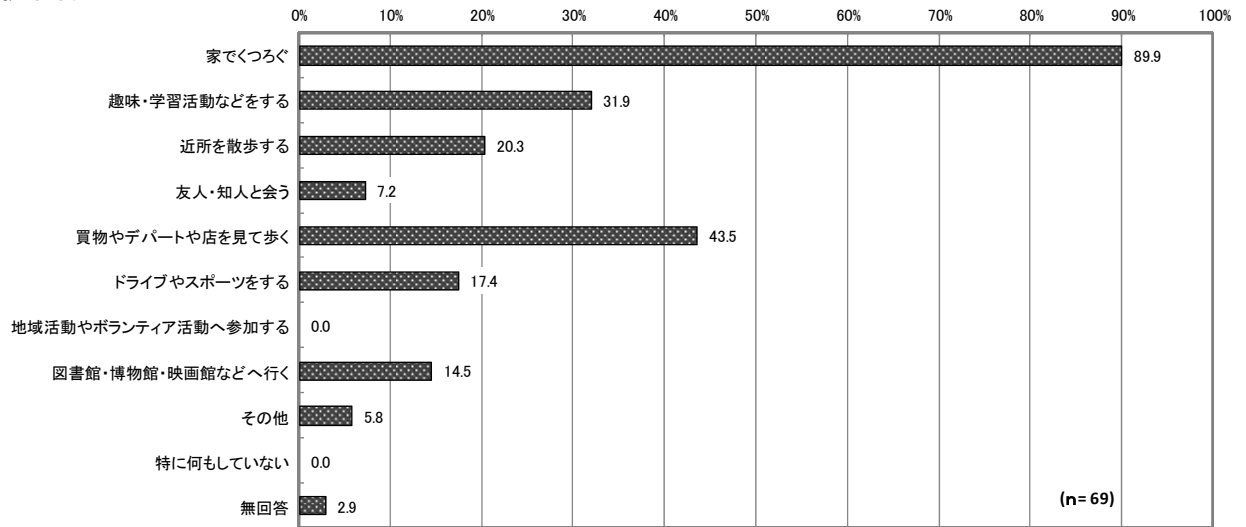
9 その他：主な内訳 家族、親戚と過ごす（4）パソコン、スマホ（2）ボーリング、カラオケ（2）

地域生活支援センター、施設で活動（2）温泉に行く（1）公園で遊ぶ（1）教会に行く（1）
習いごと（1）

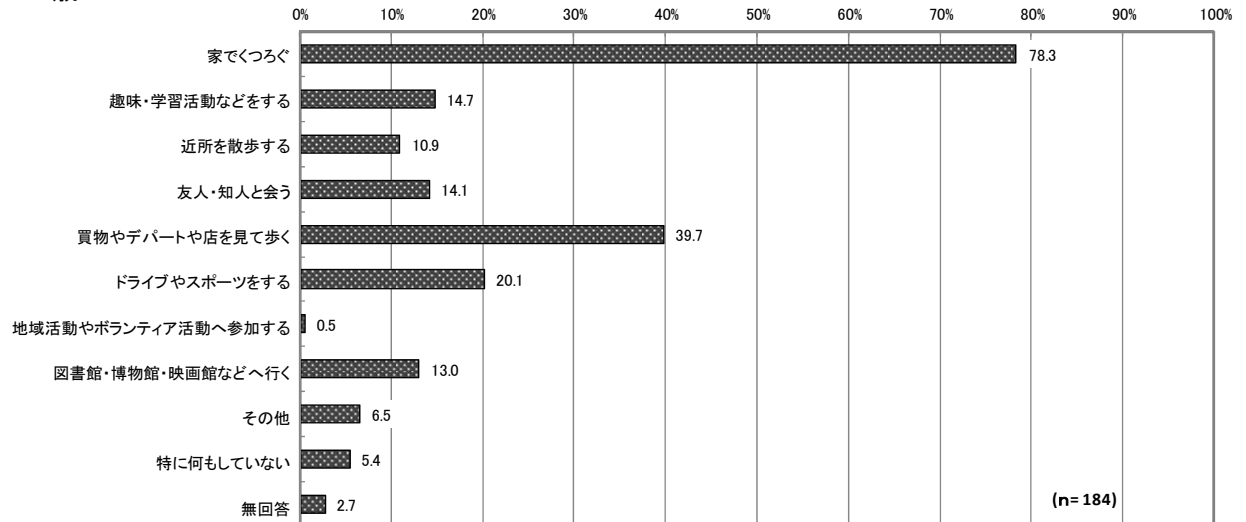


【年代別】

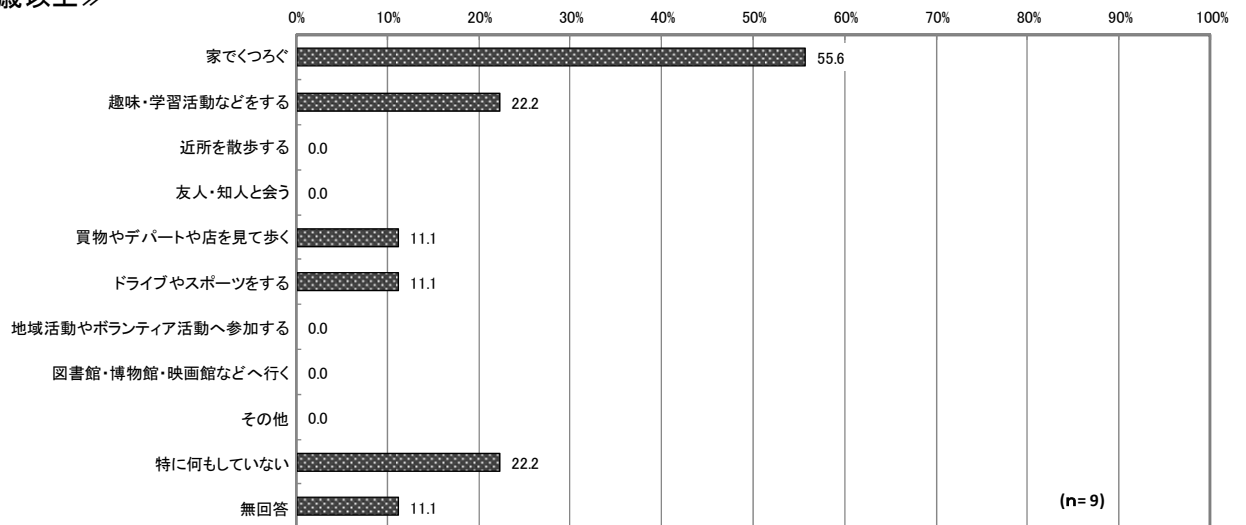
≪18歳未満≫



≪18～64歳≫



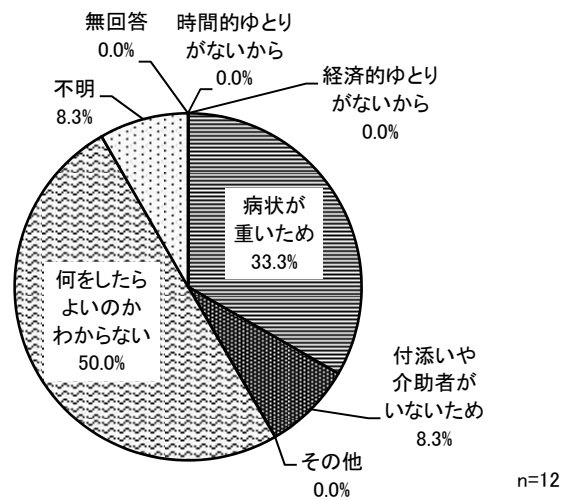
≪65歳以上≫



問 25 問 24 で「10」と回答した方におたずねします。あなたが特に何もしていない理由は何ですか。

(単数回答 n=12)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 時間的ゆとりがないから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 経済的ゆとりがないから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 病状が重いため	4	33.3%	0	0.0%	3	30.0%	1	50.0%
4 付添いや介助者がいないため	1	8.3%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
5 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 何をしたらよいのかわからない	6	50.0%	0	0.0%	5	50.0%	1	50.0%
不明	1	8.3%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	12	100.0%	0	0.0%	10	100.0%	2	100.0%

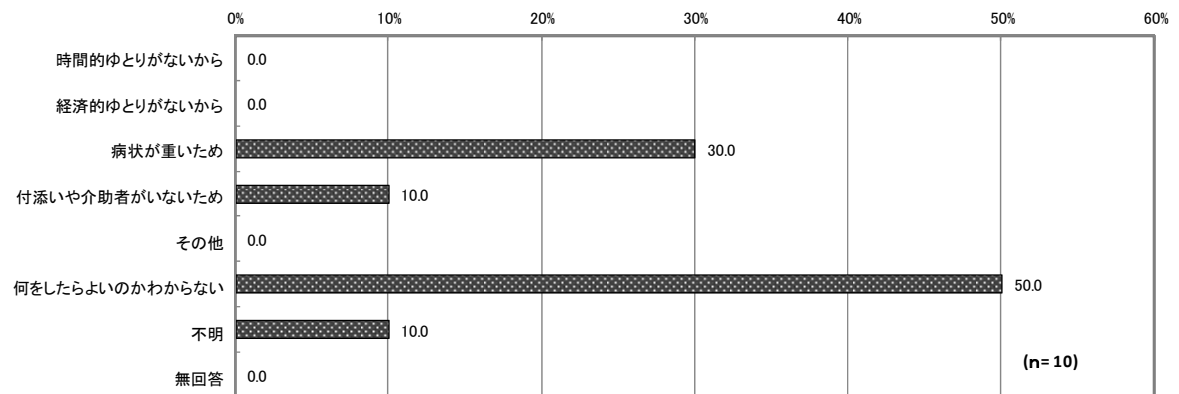


【年代別】

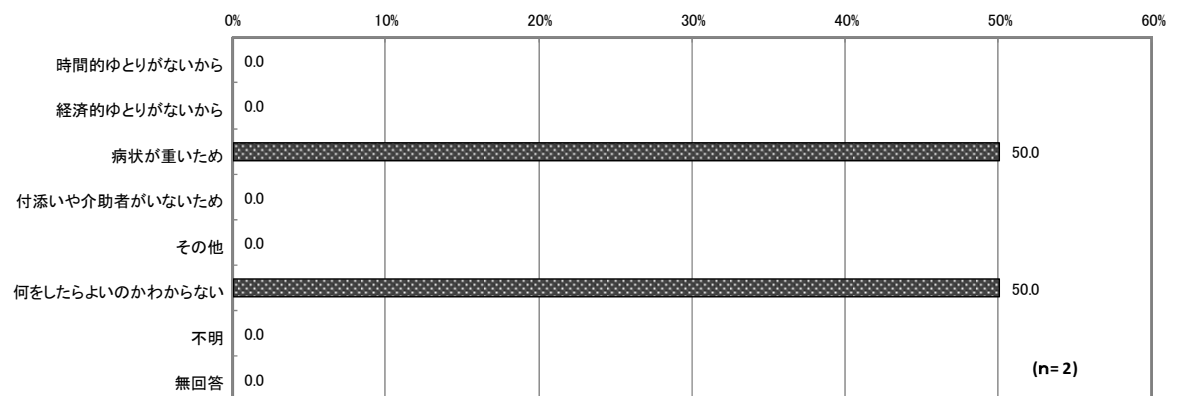
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》

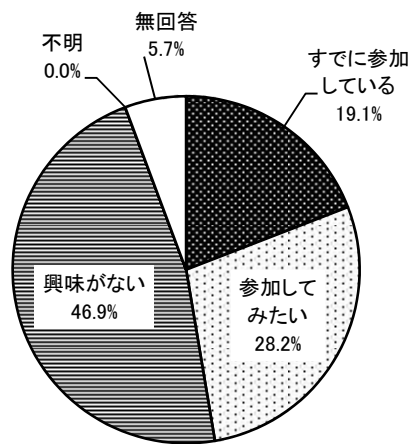


《65 歳以上》

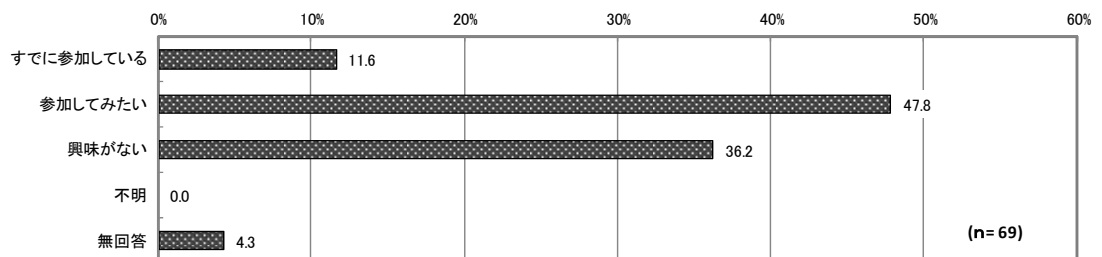
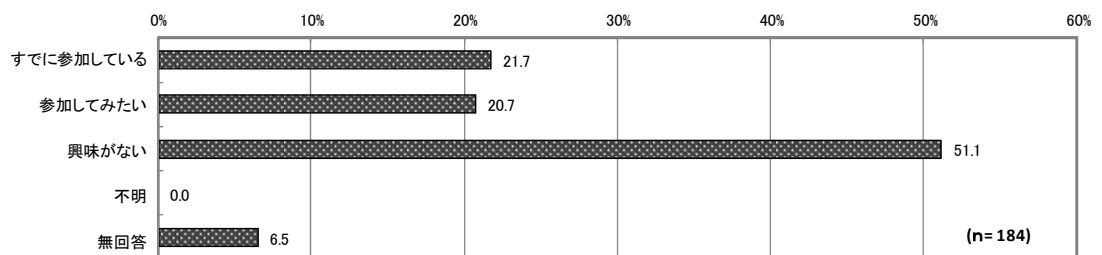
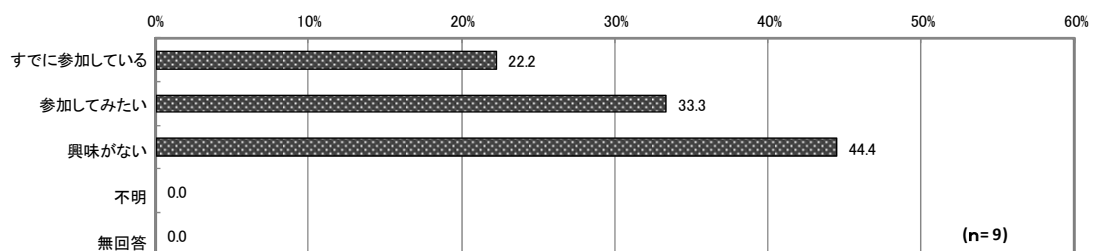


問 26 障がい者の芸術文化活動あるいはスポーツ活動に参加してみたいですか。(単数回答 n=262)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 すでに参加している	50	19.1%	8	11.6%	40	21.7%	2	22.2%
2 参加してみたい	74	28.2%	33	47.8%	38	20.7%	3	33.3%
3 興味がない	123	46.9%	25	36.2%	94	51.1%	4	44.4%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	15	5.7%	3	4.3%	12	6.5%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



n=262

【年代別】
＜＜18 歳未満＞＞

＜＜18～64 歳＞＞

＜＜65 歳以上＞＞


【権利擁護】

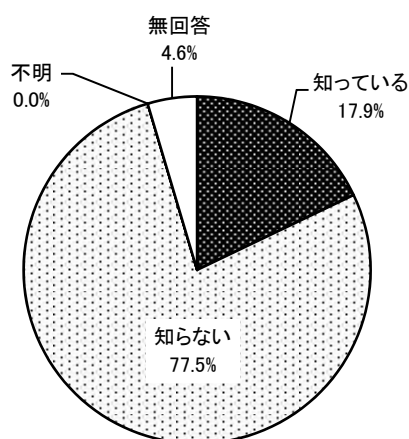
平成 29 年 4 月より施行された「山形市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っているかは、「知らない」が 77.5%と約 8 割を占め、「知っている」の 17.9%を大きく上回っている。

日常生活や地域で、障がい者に対する差別・偏見や疎外感を感じることは、「ある」が 39.7%と 4 割弱を占め、次いで「わからない」が 32.4%、「ない」が 22.1%となった。障がい者に対する差別・偏見があると感じている人に、どのようなところにもっとも強く障がい者に対する差別・偏見または疎外感を感じるかを尋ねたところ、「人の視線」が 80.8%と最も高く、次いで「仕事や収入」が 26.9%、「店などでの対応の態度」が 26.0%となっている。

差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うものは、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が 61.1%と最も高く、次いで「障がいや病気への正しい理解の啓発」が 46.2%、「福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす」が 24.0%となっている。

問 27 あなたは、平成 29 年 4 月より施行された「山形市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っていますか。 (単数回答 n=262)

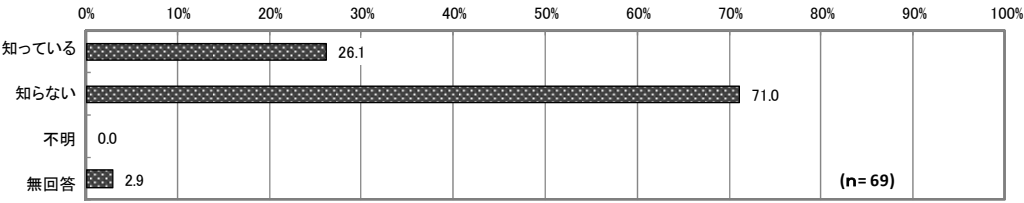
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	47	17.9%	18	26.1%	29	15.8%	0	0.0%
2 知らない	203	77.5%	49	71.0%	145	78.8%	9	100.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	12	4.6%	2	2.9%	10	5.4%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



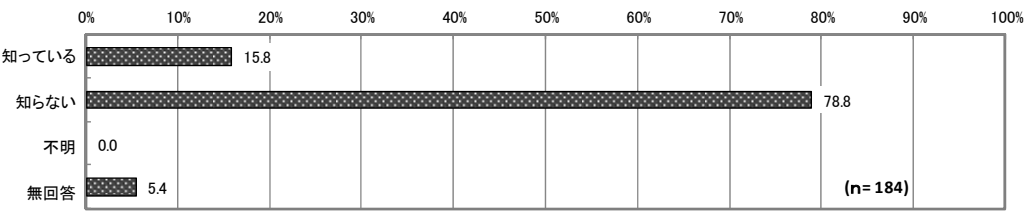
n=262

【年代別】

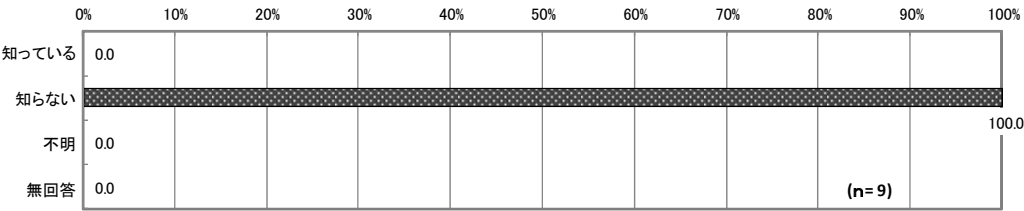
《18 歳未満》



《18～64 歳》

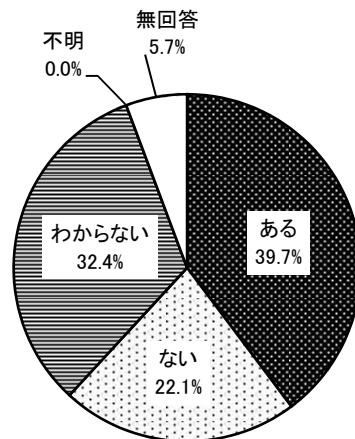


《65 歳以上》



問 28 あなたは、日常生活や地域で、障がい者に対する差別・偏見や疎外感を感じることはありませんか。（単数回答 n=262）

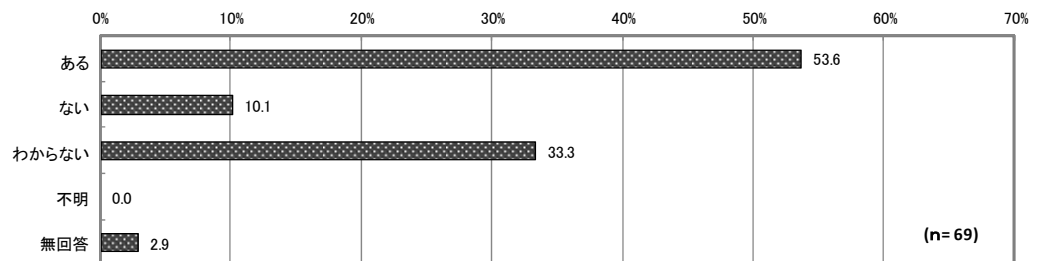
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ある	104	39.7%	37	53.6%	64	34.8%	3	33.3%
2 ない	58	22.1%	7	10.1%	51	27.7%	0	0.0%
3 わからない	85	32.4%	23	33.3%	56	30.4%	6	66.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	15	5.7%	2	2.9%	13	7.1%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



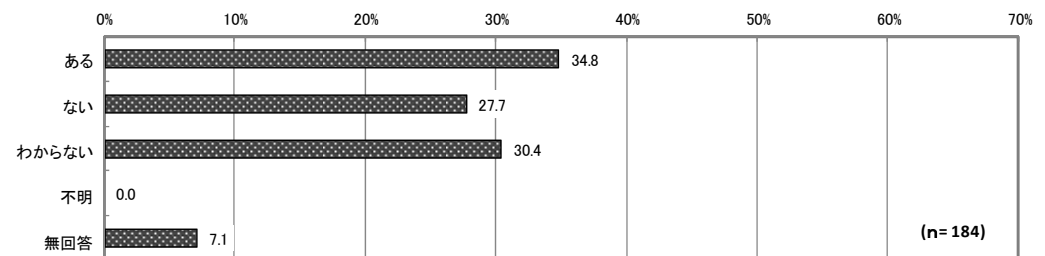
n=262

【年代別】

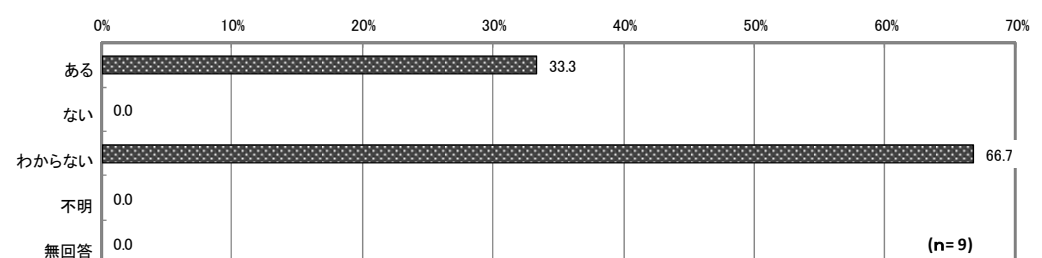
《18 歳未満》



《18～64 歳》



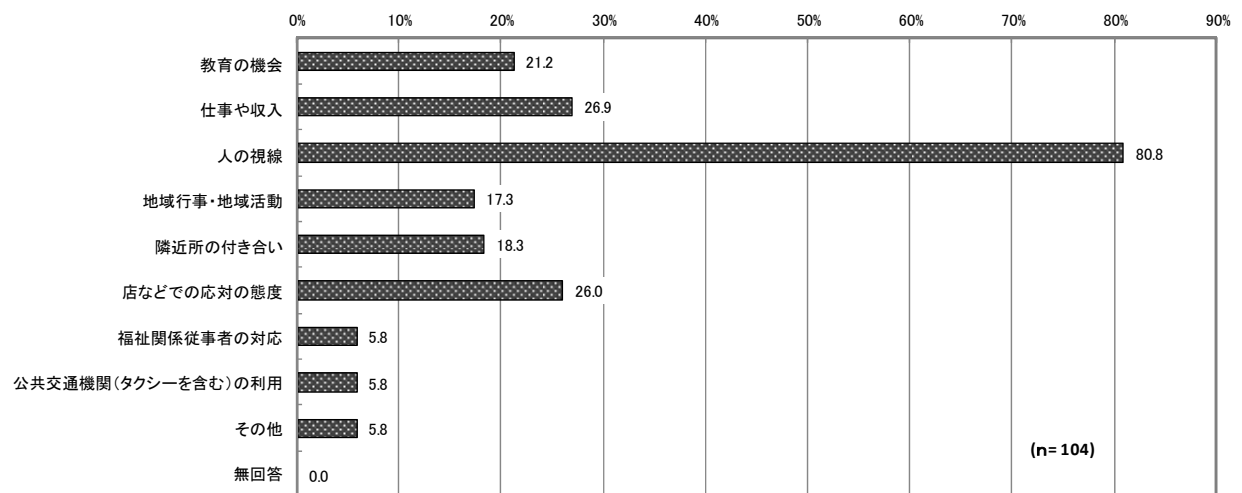
《65 歳以上》



問 29 問 28 で「1」を回答した方におたずねします。どのようなところに、障がい者に対する差別・偏見または疎外感をもっとも強く感じますか。（3 つまで○印） （複数回答 n=104）

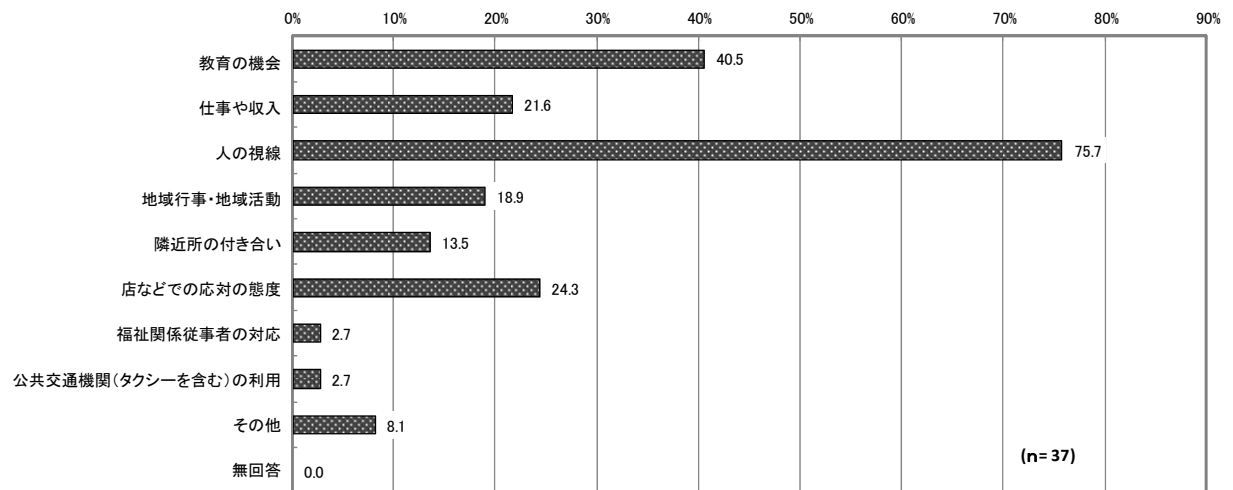
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 教育の機会	22	21.2%	15	40.5%	6	9.4%	1	33.3%
2 仕事や収入	28	26.9%	8	21.6%	20	31.3%	0	0.0%
3 人の視線	84	80.8%	28	75.7%	54	84.4%	2	66.7%
4 地域行事・地域活動	18	17.3%	7	18.9%	10	15.6%	1	33.3%
5 隣近所の付き合い	19	18.3%	5	13.5%	14	21.9%	0	0.0%
6 店などでの対応の態度	27	26.0%	9	24.3%	17	26.6%	1	33.3%
7 福祉関係従事者の対応	6	5.8%	1	2.7%	5	7.8%	0	0.0%
8 公共交通機関（タクシーを含む）の利用	6	5.8%	1	2.7%	5	7.8%	0	0.0%
9 その他	6	5.8%	3	8.1%	3	4.7%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	104		37		64		3	

9 その他：主な内訳 行き届かないサービス、国、地方行政を含めた社会全体（1）保育園等（1）恩師（1）医者・病院（1）

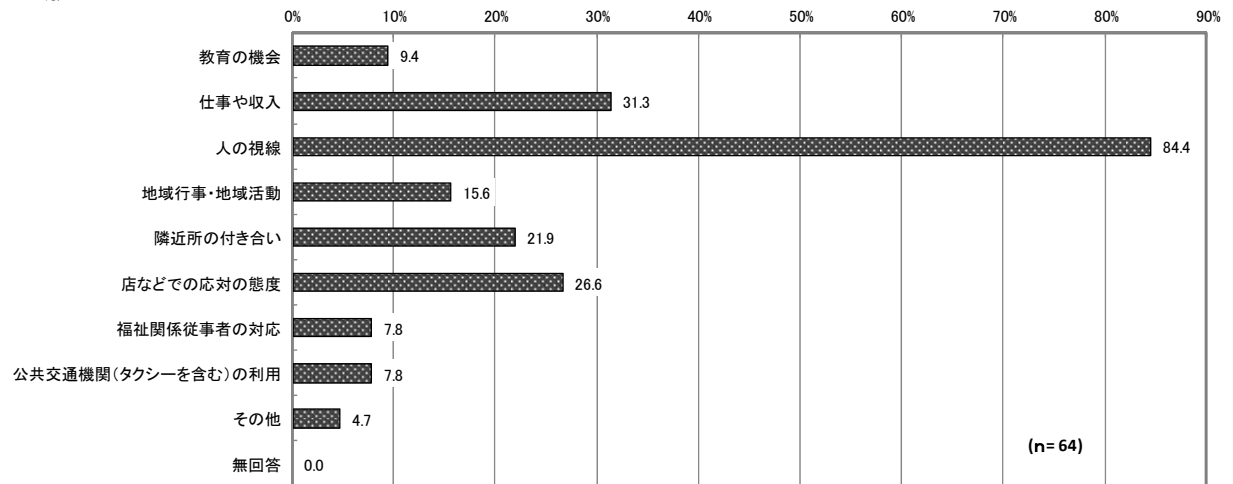


【年代別】

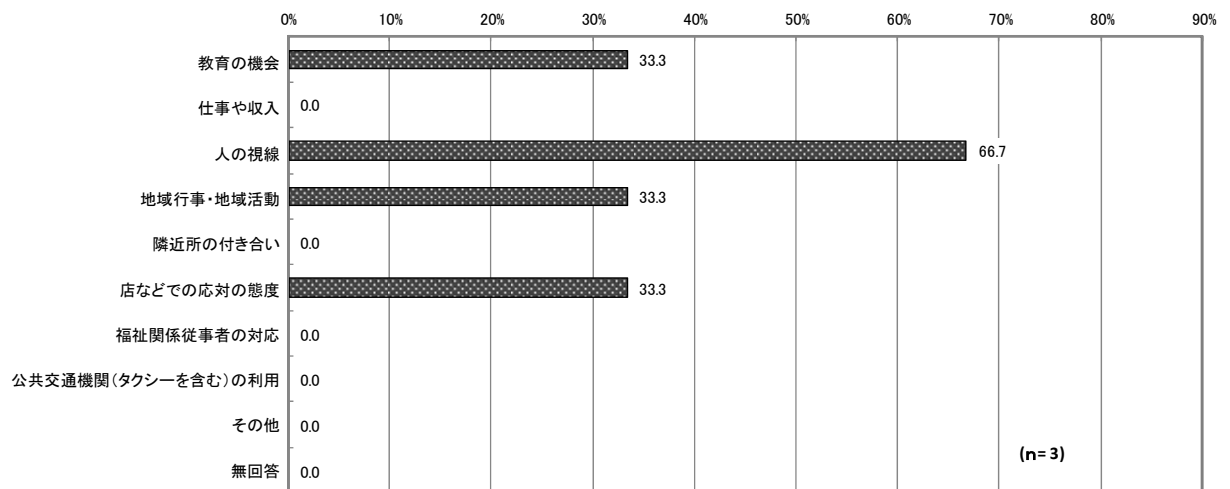
《18 歳未満》



《18～64 歳》



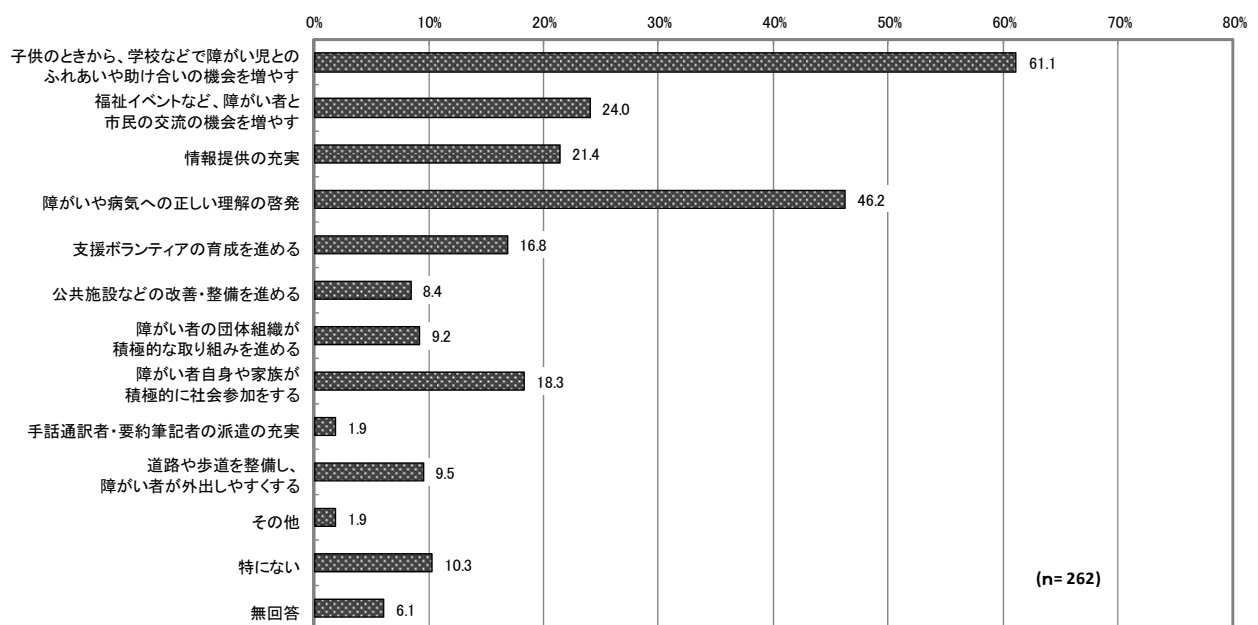
《65 歳以上》



問 30 あなたにとって差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うものは何ですか。（3つまで○印） （複数回答 n=262）

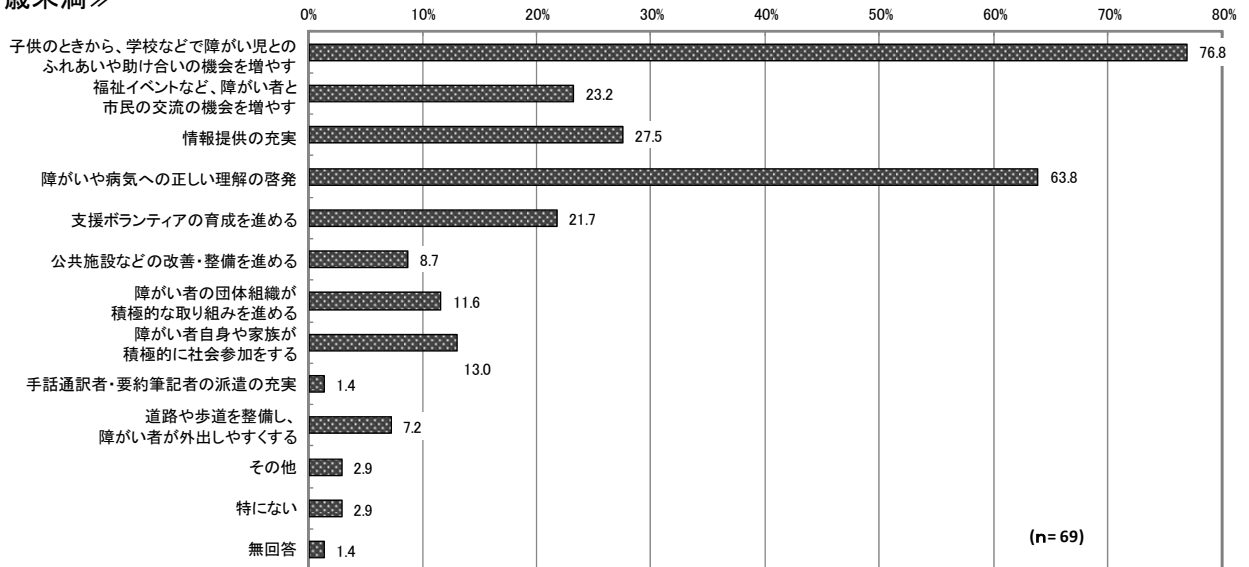
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす	160	61.1%	53	76.8%	102	55.4%	5	55.6%
2 福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす	63	24.0%	16	23.2%	42	22.8%	5	55.6%
3 情報提供の充実	56	21.4%	19	27.5%	35	19.0%	2	22.2%
4 障がいや病気への正しい理解の啓発	121	46.2%	44	63.8%	75	40.8%	2	22.2%
5 支援ボランティアの育成を進める	44	16.8%	15	21.7%	29	15.8%	0	0.0%
6 公共施設などの改善・整備を進める	22	8.4%	6	8.7%	15	8.2%	1	11.1%
7 障がい者の団体組織が積極的な取り組みを進める	24	9.2%	8	11.6%	16	8.7%	0	0.0%
8 障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする	48	18.3%	9	13.0%	36	19.6%	3	33.3%
9 手話通訳者・要約筆記者の派遣の充実	5	1.9%	1	1.4%	4	2.2%	0	0.0%
10 道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくなる	25	9.5%	5	7.2%	20	10.9%	0	0.0%
11 その他	5	1.9%	2	2.9%	3	1.6%	0	0.0%
12 特にない	27	10.3%	2	2.9%	24	13.0%	1	11.1%
無回答	16	6.1%	1	1.4%	13	7.1%	2	22.2%
合計	262		69		184		9	

11 その他：主な内訳 障害者が社会に出ていくこと（1）漢字にふりがなをかいてほしい（1）すぐになくなるものではないので、せめて"そういう人もいる"という考えが広まってほしい（1）社会参加できる状態でない（1）

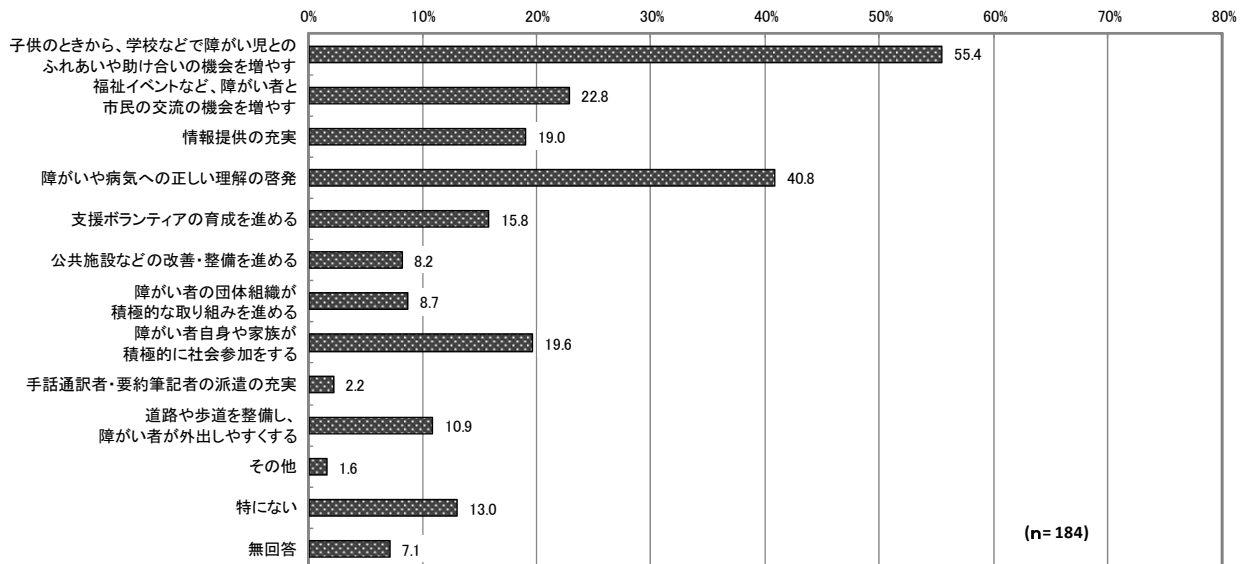


【年代別】

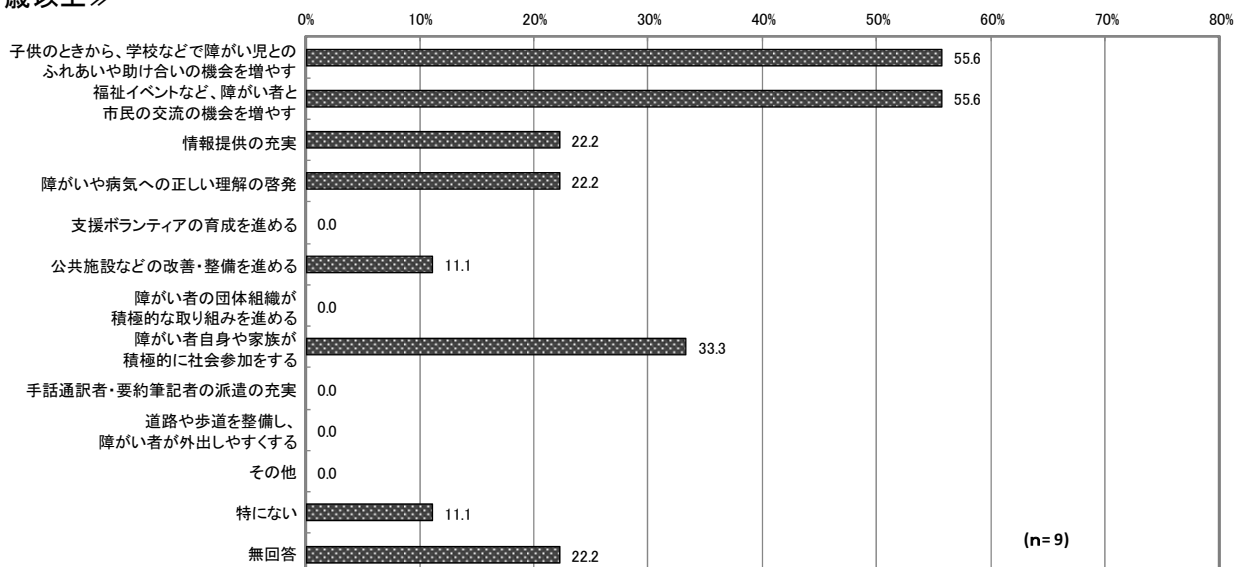
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【相談・情報】

ふだんの悩み事を相談する相手は、「家族」が 80.5%と最も高く、次いで「福祉サービス事業所の職員」が 29.8%、「友人・知人」が 22.5%となっている。相談機能を充実させるために必要だと思うことは、「身近な場所で相談できること」が 42.0%と最も高く、次いで「福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制を充実」が 34.4%、「適切なアドバイスができる人材」が 30.9%と、いずれも 3 割以上を占めた。福祉サービスの内容について、どのようなもので知ることが多いかは、「市の広報・資料」が 29.4%と最も高く、次いで「福祉サービス事業所」が 27.9%、「家族や仲間の話」が 23.3%となった。

今後（将来）どのように生活したいかは、「自宅で家族と暮らしたい」が 50.0%と半数を占めて最も高く、次いで「グループホームなどの共同生活」が 21.0%、「施設に入所したい（または現在の施設に入所し続けたい）」が 8.8%となっている。今後（将来）、「自立して暮らしたい（家族と別居）」または「世話人の援助を受けながら、地域で仲間と生活したい（グループホームなど）」と回答した人に、独立にあたり不安なことを尋ねたところ、「うまくいかなかった時のこと」が 56.6%と半数以上を占めて最も高く、次いで「収入の安定」が 51.3%、「障がいの状態に合った住宅の確保」が 47.4%となっている。また、今後（将来）、「世話人の援助を受けながら、地域で仲間と生活したい（グループホームなど）」または「施設に入所したい（または現在の施設に入所し続けたい）」と回答した人に、グループホームなどへの入居または施設への入所はいつ頃までにしたいと考えているかを尋ねたところ、「その他」が 26.9%と最も高く、次いで「11 年以上後」が 19.2%、「6～10 年後」が 14.1%となった。なお、「その他」の内訳は「親が面倒をみられなくなった時」との回答が多かった。

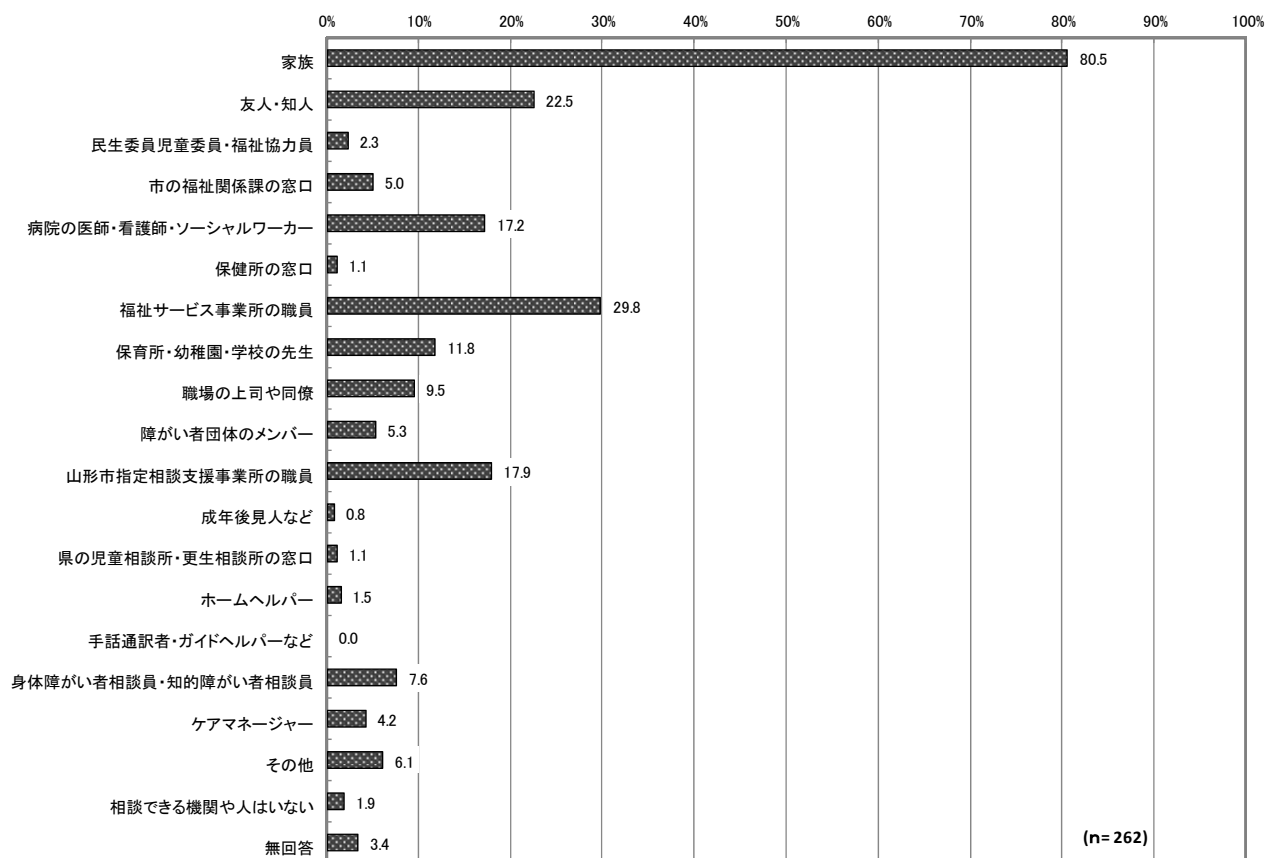
悪質商法などの被害にあった経験については、「ない」が 92.4%と 9 割強を占め、「ある」は 2.3%となった。悪質商法などの被害にあったことがある人に相談した相手を尋ねたところ、「家族」が 66.7%と最も高く、次いで「山形市消費生活センター」が 33.3%、「友人・知人」及び「警察の相談窓口」が 16.7%となった。

今後の生活に対しての不安については、「介助者が介助できなくなった場合の対応」が 55.0%と最も高く、次いで「生活費（経済的負担）」が 51.9%、「身体のこと（医療や健康）」が 51.5%となり、いずれも 5 割以上を占めた。今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思うかは、「経済面での支援が受けられる」が 36.3%と最も高く、次いで「障がいや病気について周囲の人の理解」が 33.2%、「安心して住める場所がある」が 29.4%となっている。

問 31 あなたがふだんの悩み事を相談する相手はだれですか。 (複数回答 n=262)

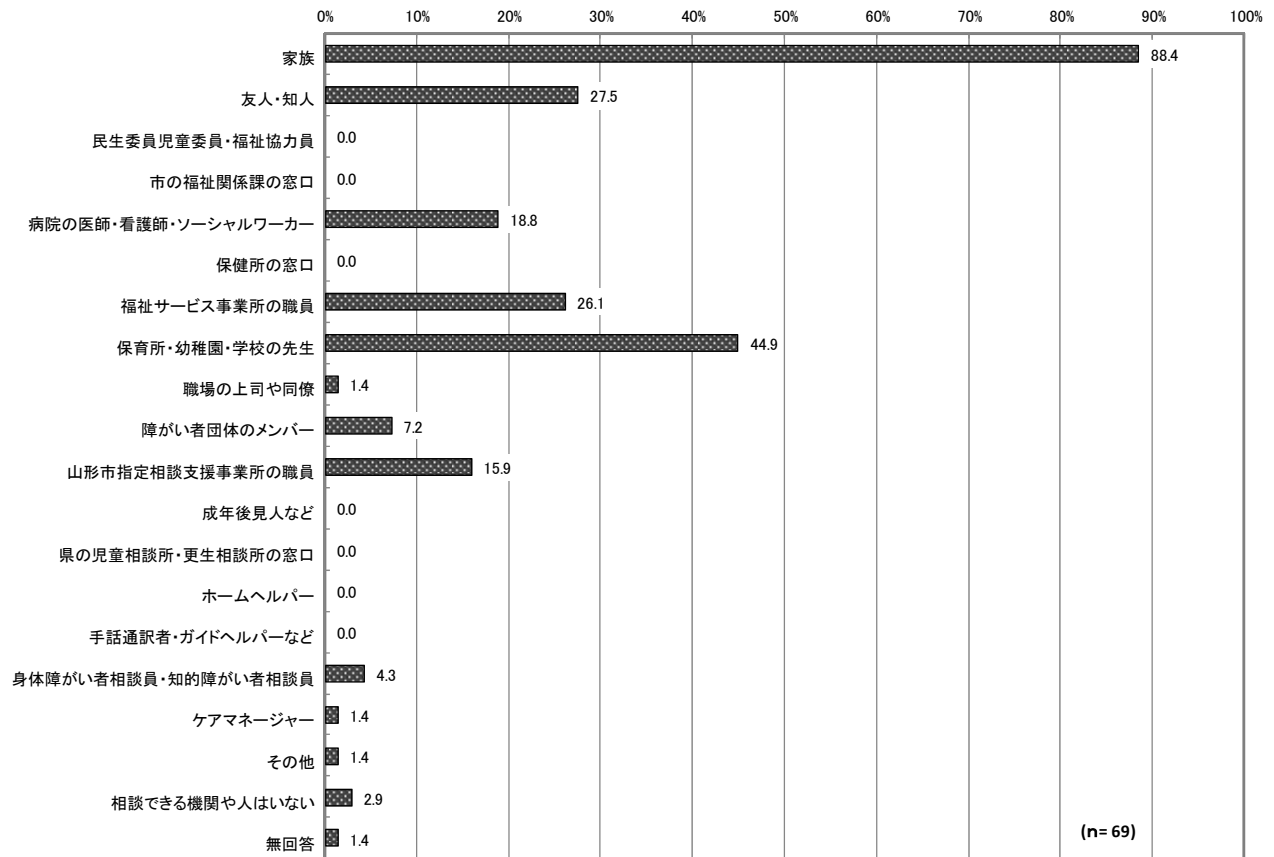
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家族	211	80.5%	61	88.4%	147	79.9%	3	33.3%
2 友人・知人	59	22.5%	19	27.5%	38	20.7%	2	22.2%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	6	2.3%	0	0.0%	6	3.3%	0	0.0%
4 市の福祉関係課の窓口	13	5.0%	0	0.0%	13	7.1%	0	0.0%
5 病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー	45	17.2%	13	18.8%	32	17.4%	0	0.0%
6 保健所の窓口	3	1.1%	0	0.0%	3	1.6%	0	0.0%
7 福祉サービス事業所の職員	78	29.8%	18	26.1%	55	29.9%	5	55.6%
8 保育所・幼稚園・学校の先生	31	11.8%	31	44.9%	0	0.0%	0	0.0%
9 職場の上司や同僚	25	9.5%	1	1.4%	24	13.0%	0	0.0%
10 障がい者団体のメンバー	14	5.3%	5	7.2%	9	4.9%	0	0.0%
11 山形市指定相談支援事業所の職員	47	17.9%	11	15.9%	34	18.5%	2	22.2%
12 成年後見人など	2	0.8%	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%
13 県の児童相談所・更生相談所の窓口	3	1.1%	0	0.0%	3	1.6%	0	0.0%
14 ホームヘルパー	4	1.5%	0	0.0%	4	2.2%	0	0.0%
15 手話通訳者・ガイドヘルパーなど	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16 身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	20	7.6%	3	4.3%	15	8.2%	2	22.2%
17 ケアマネージャー	11	4.2%	1	1.4%	8	4.3%	2	22.2%
18 その他	16	6.1%	1	1.4%	14	7.6%	1	11.1%
19 相談できる機関や人はいない	5	1.9%	2	2.9%	2	1.1%	1	11.1%
無回答	9	3.4%	1	1.4%	7	3.8%	1	11.1%
合計	262		69		184		9	

18 その他：主な内訳 本人は話が出来ない (6) 施設の職員 (3) グループホームの世話人 (2) 近所の
人 (1) 牧師 (1) 相談しない (1)

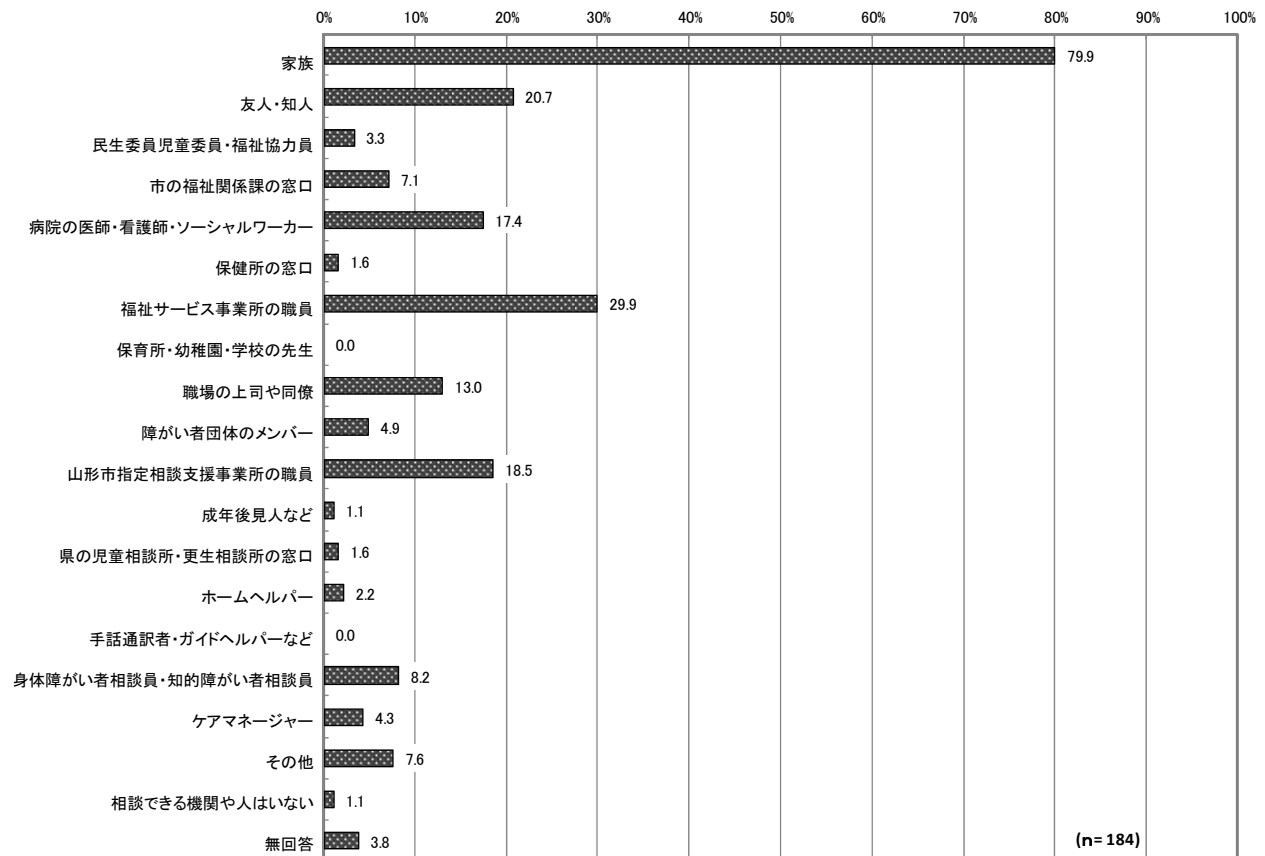


【年代別】

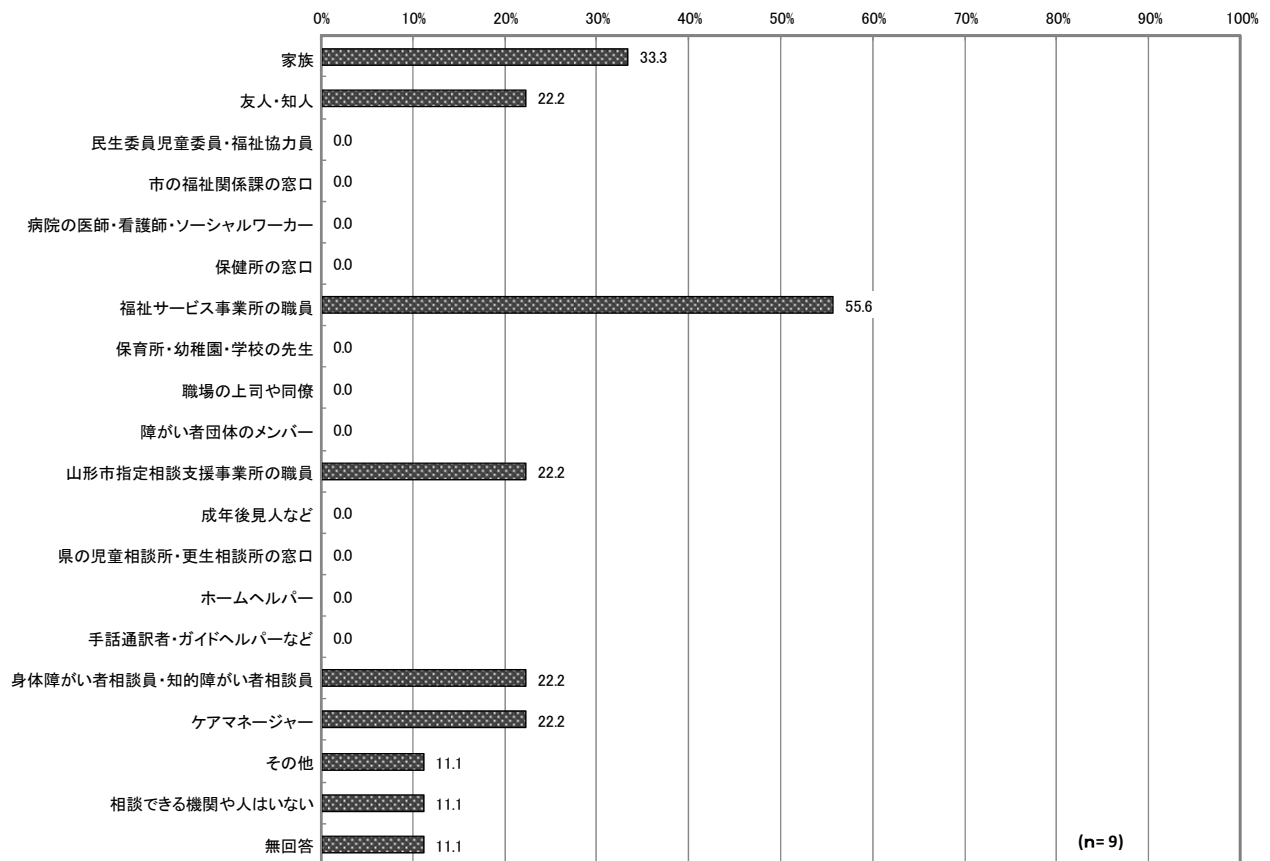
《18 歳未満》



《18～64 歳》



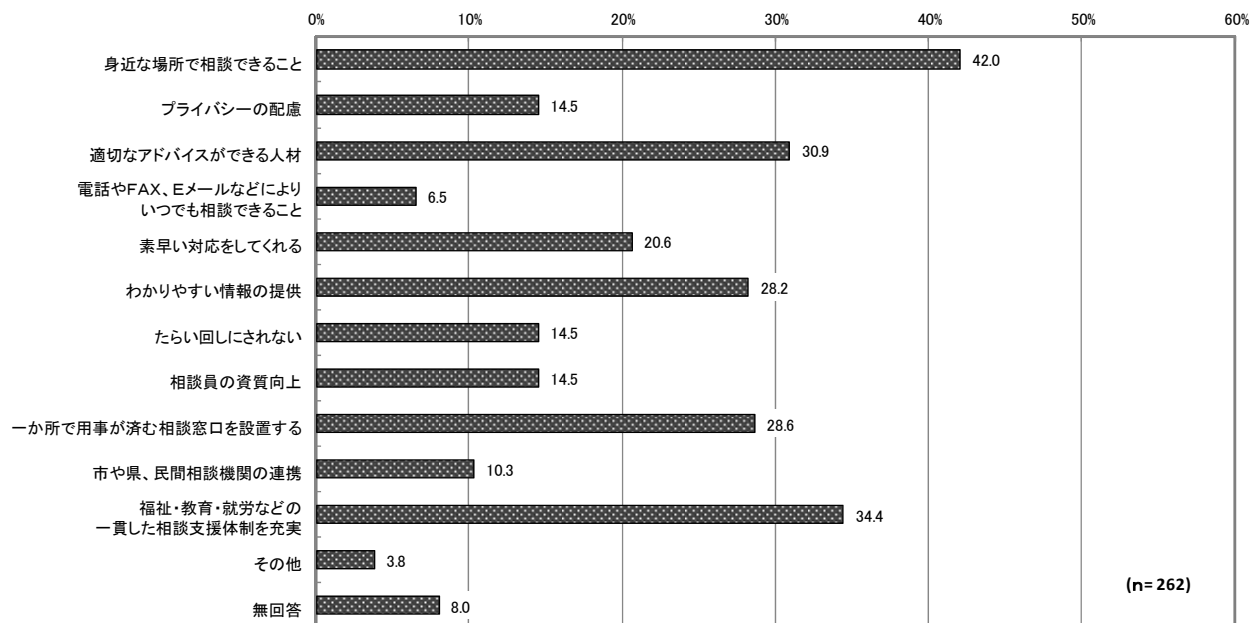
《65 歳以上》



問 32 相談機能を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○印）
（複数回答 n=262）

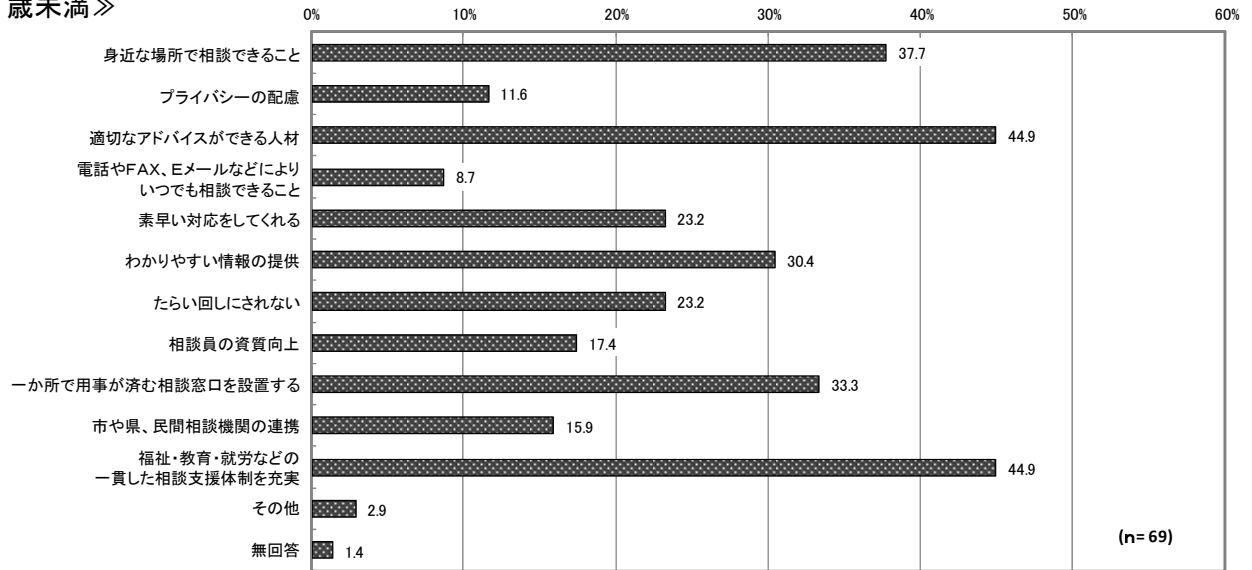
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 身近な場所で相談できること	110	42.0%	26	37.7%	79	42.9%	5	55.6%
2 プライバシーの配慮	38	14.5%	8	11.6%	28	15.2%	2	22.2%
3 適切なアドバイスができる人材	81	30.9%	31	44.9%	47	25.5%	3	33.3%
4 電話やFAX、Eメールなどによりいつでも相談できること	17	6.5%	6	8.7%	10	5.4%	1	11.1%
5 素早い対応をしてくれる	54	20.6%	16	23.2%	36	19.6%	2	22.2%
6 わかりやすい情報の提供	74	28.2%	21	30.4%	53	28.8%	0	0.0%
7 たらいい回しにされない	38	14.5%	16	23.2%	21	11.4%	1	11.1%
8 相談員の資質向上	38	14.5%	12	17.4%	24	13.0%	2	22.2%
9 一か所で用事が済む相談窓口を設置する	75	28.6%	23	33.3%	51	27.7%	1	11.1%
10 市や県、民間相談機関の連携	27	10.3%	11	15.9%	15	8.2%	1	11.1%
11 福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制を充実	90	34.4%	31	44.9%	56	30.4%	3	33.3%
12 その他	10	3.8%	2	2.9%	8	4.3%	0	0.0%
無回答	21	8.0%	1	1.4%	19	10.3%	1	11.1%
合計	262		69		184		9	

12 その他：主な内訳 公衆電話（1）

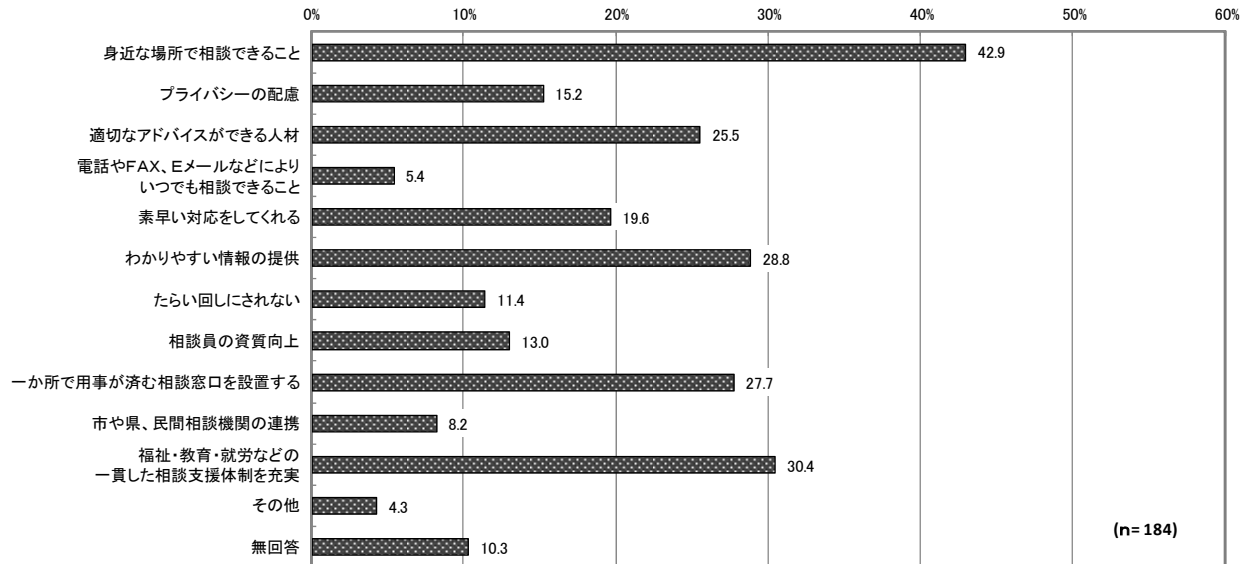


【年代別】

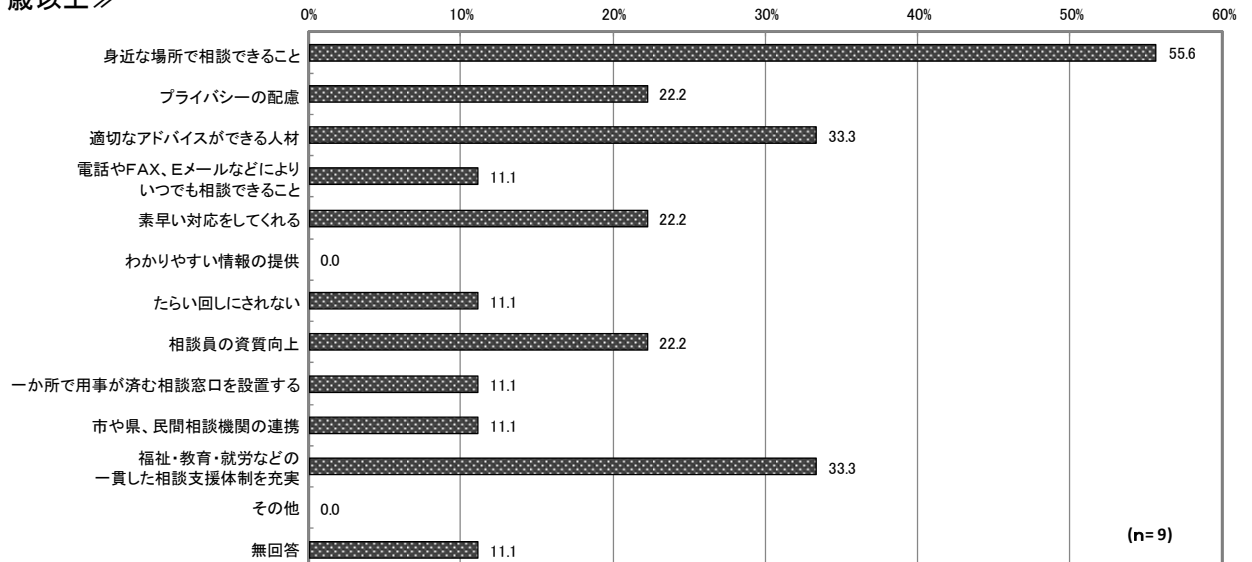
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

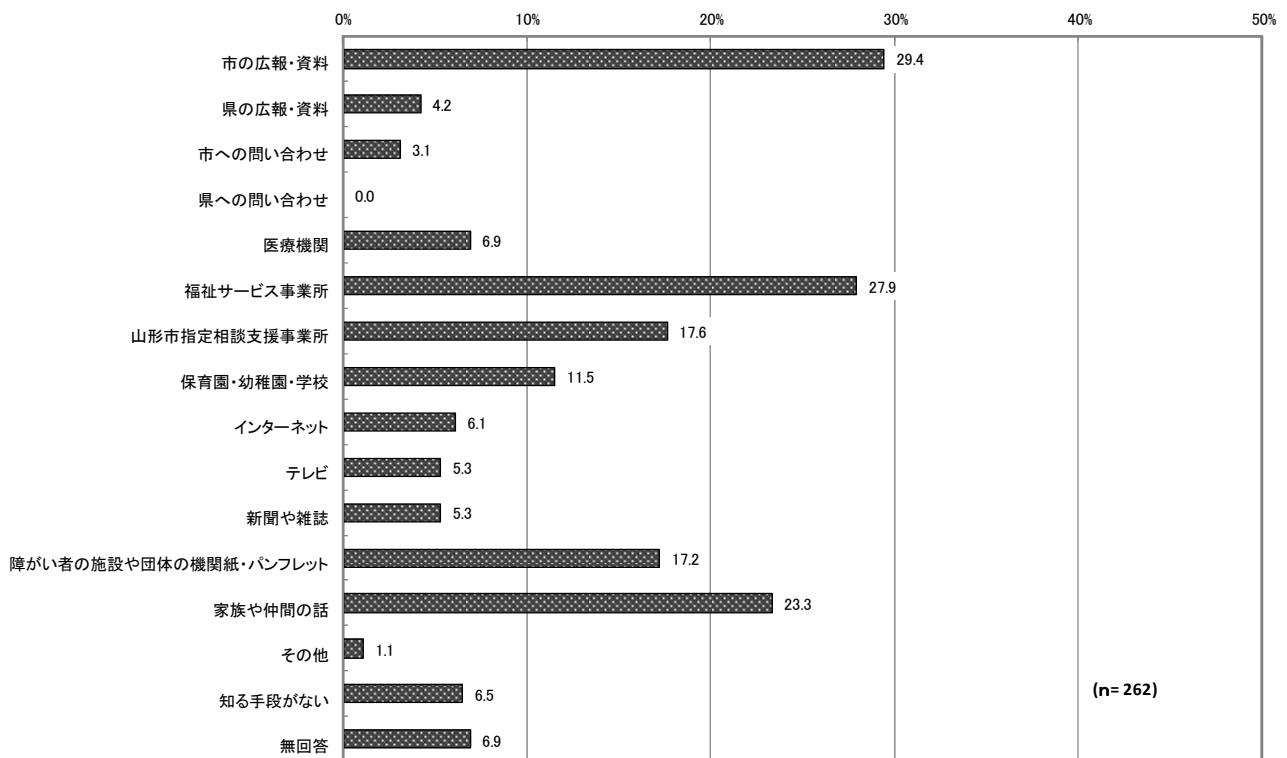


問 33 あなたは、福祉サービスの内容について、どのようなもので知ることが多いですか。

(2つまで○印) (複数回答 n=262)

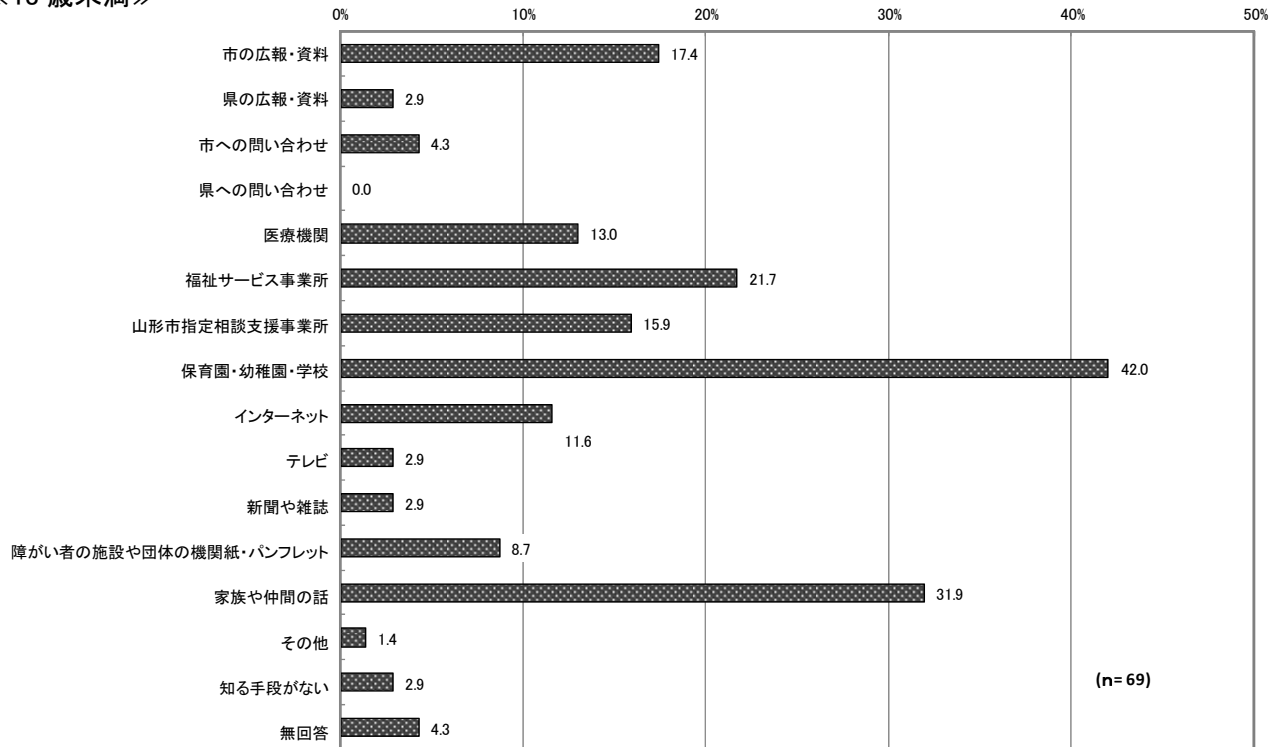
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 市の広報・資料	77	29.4%	12	17.4%	62	33.7%	3	33.3%
2 県の広報・資料	11	4.2%	2	2.9%	9	4.9%	0	0.0%
3 市への問い合わせ	8	3.1%	3	4.3%	5	2.7%	0	0.0%
4 県への問い合わせ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 医療機関	18	6.9%	9	13.0%	7	3.8%	2	22.2%
6 福祉サービス事業所	73	27.9%	15	21.7%	56	30.4%	2	22.2%
7 山形市指定相談支援事業所	46	17.6%	11	15.9%	34	18.5%	1	11.1%
8 保育園・幼稚園・学校	30	11.5%	29	42.0%	1	0.5%	0	0.0%
9 インターネット	16	6.1%	8	11.6%	8	4.3%	0	0.0%
10 テレビ	14	5.3%	2	2.9%	12	6.5%	0	0.0%
11 新聞や雑誌	14	5.3%	2	2.9%	12	6.5%	0	0.0%
12 障がい者の施設や団体の機関紙・パンフレット	45	17.2%	6	8.7%	38	20.7%	1	11.1%
13 家族や仲間の話	61	23.3%	22	31.9%	36	19.6%	3	33.3%
14 その他	3	1.1%	1	1.4%	2	1.1%	0	0.0%
15 知る手段がない	17	6.5%	2	2.9%	14	7.6%	1	11.1%
無回答	18	6.9%	3	4.3%	14	7.6%	1	11.1%
合計	262		69		184		9	

14 その他：主な内訳 漢字が読めないなので家族から (1) 講演会など情報提供の資料で知り、その後担当者へ問合せ (1)

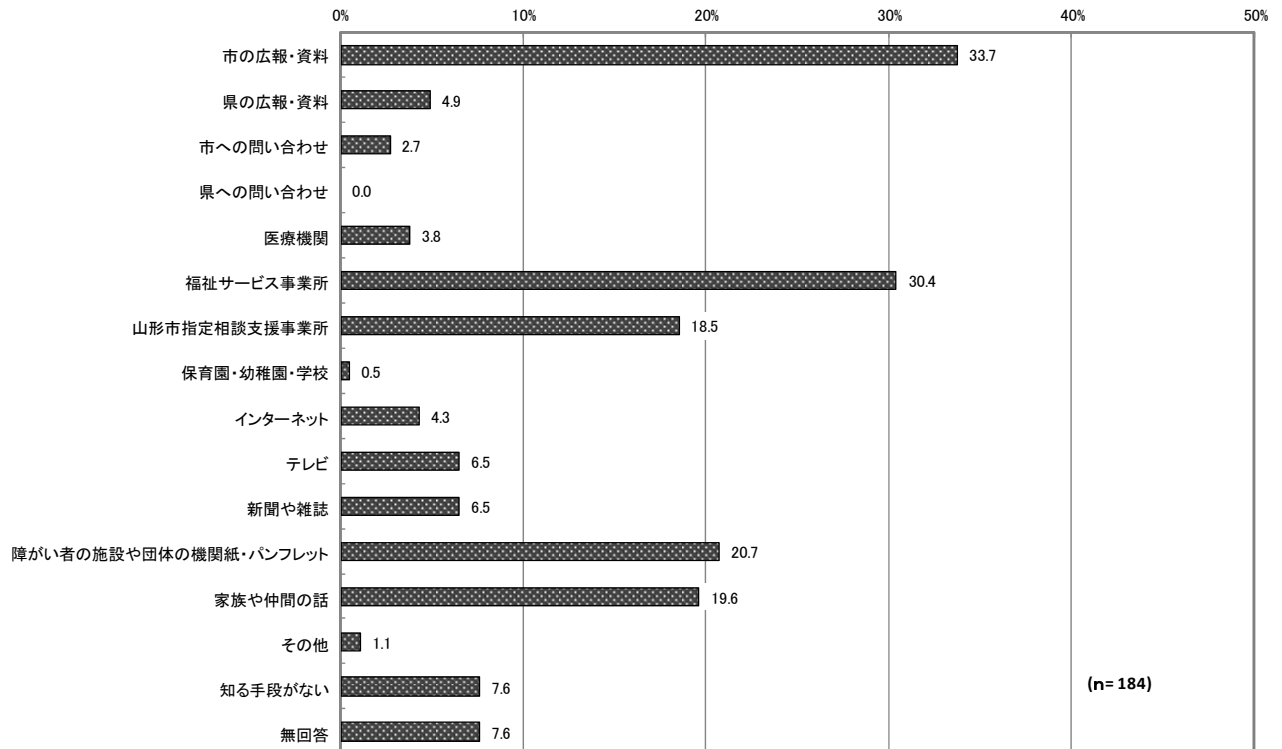


【年代別】

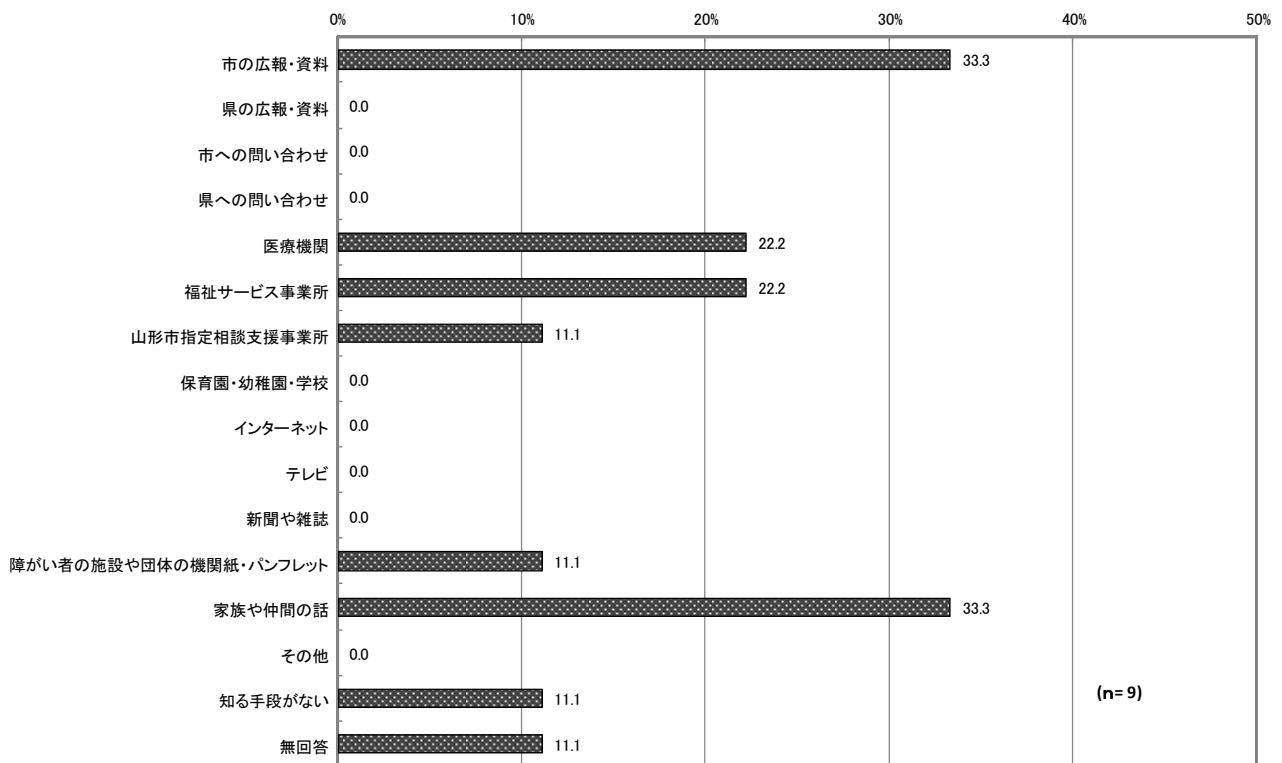
《18 歳未満》



《18～64 歳》



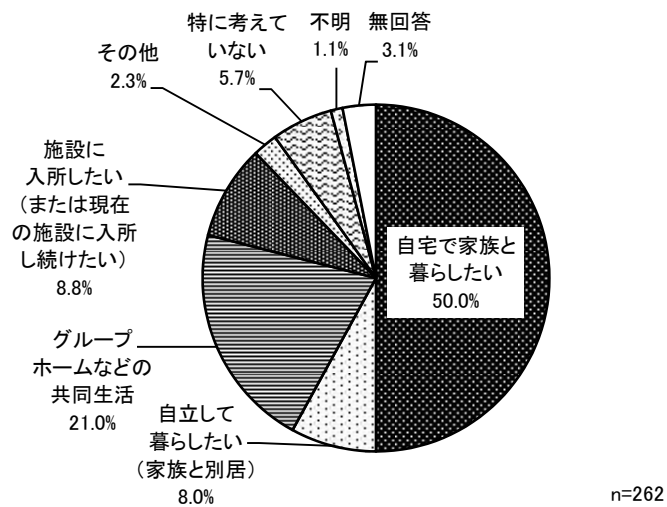
《65 歳以上》



問 34 あなたは、今後（将来）どのように生活したい（させたい）ですか。（単数回答 n=262）

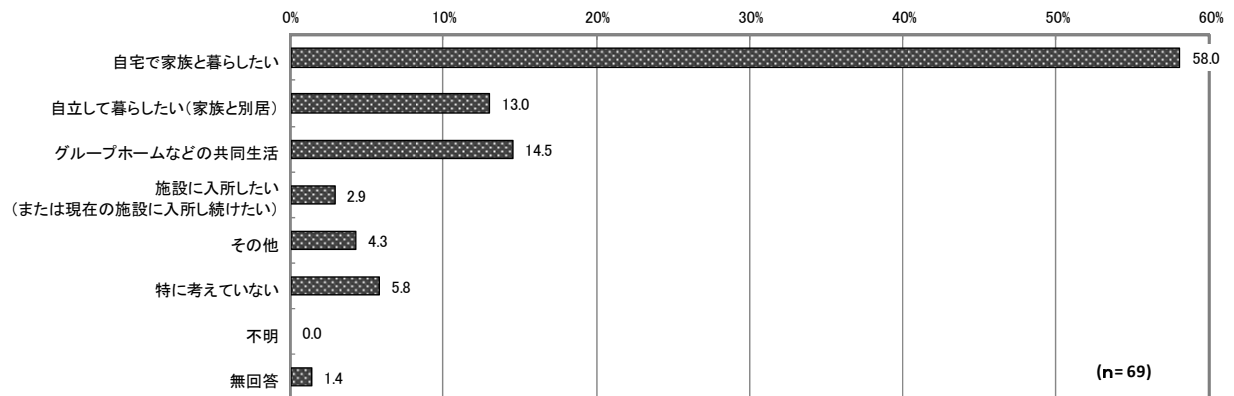
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 自宅で家族と暮らしたい	131	50.0%	40	58.0%	87	47.3%	4	44.4%
2 自立して暮らしたい（家族と別居）	21	8.0%	9	13.0%	12	6.5%	0	0.0%
3 グループホームなどの共同生活	55	21.0%	10	14.5%	41	22.3%	4	44.4%
4 施設に入所したい （または現在の施設に入所し続けたい）	23	8.8%	2	2.9%	21	11.4%	0	0.0%
5 その他	6	2.3%	3	4.3%	3	1.6%	0	0.0%
6 特に考えていない	15	5.7%	4	5.8%	10	5.4%	1	11.1%
不明	3	1.1%	0	0.0%	3	1.6%	0	0.0%
無回答	8	3.1%	1	1.4%	7	3.8%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

5 その他：主な内訳 考え中 (3) ケアホームでの生活 (1) 寮生活（通勤寮） (1) 未だ先がみえない (1)

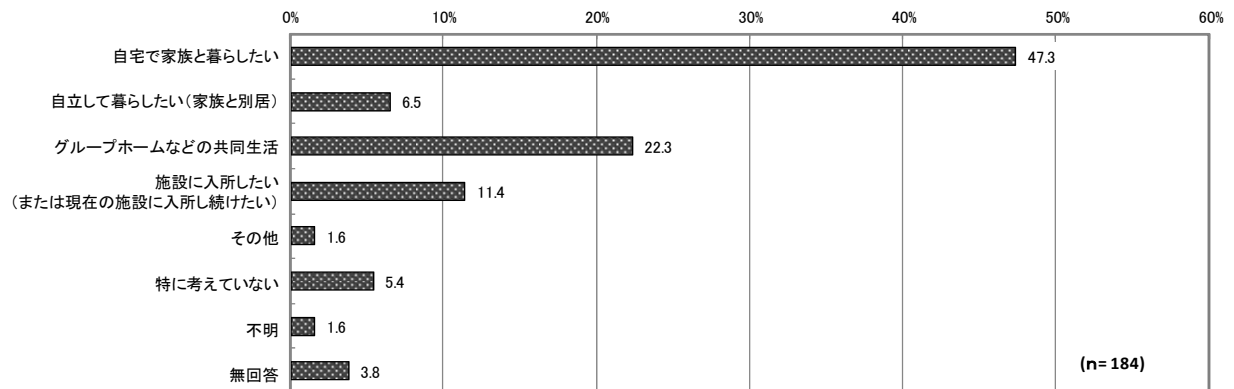


【年代別】

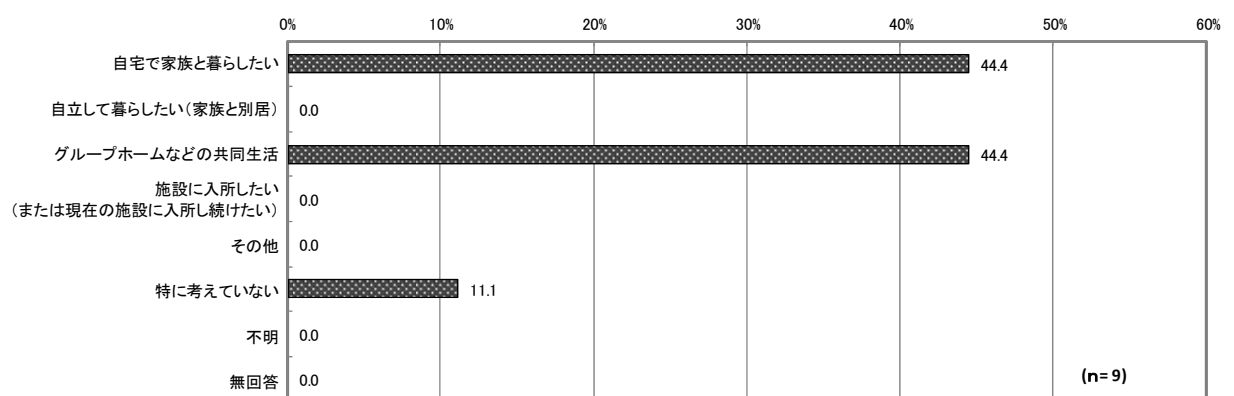
《18 歳未満》



《18～64 歳》



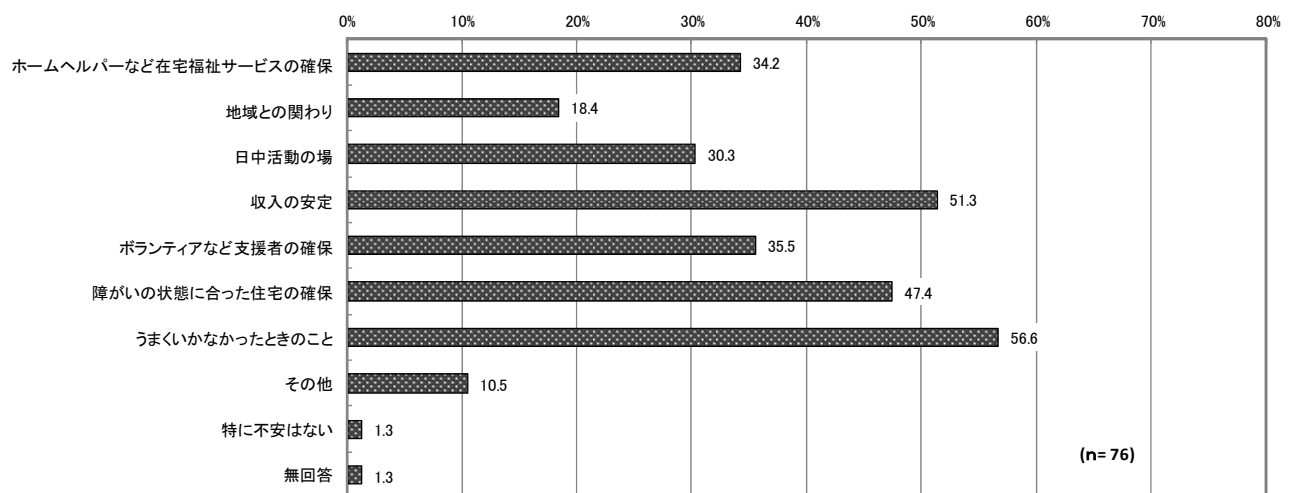
《65 歳以上》



問 35 問 34 で「2」または「3」を回答した方におたずねします。独立にあたり、どのようなことが不安ですか。（複数回答 n=76）

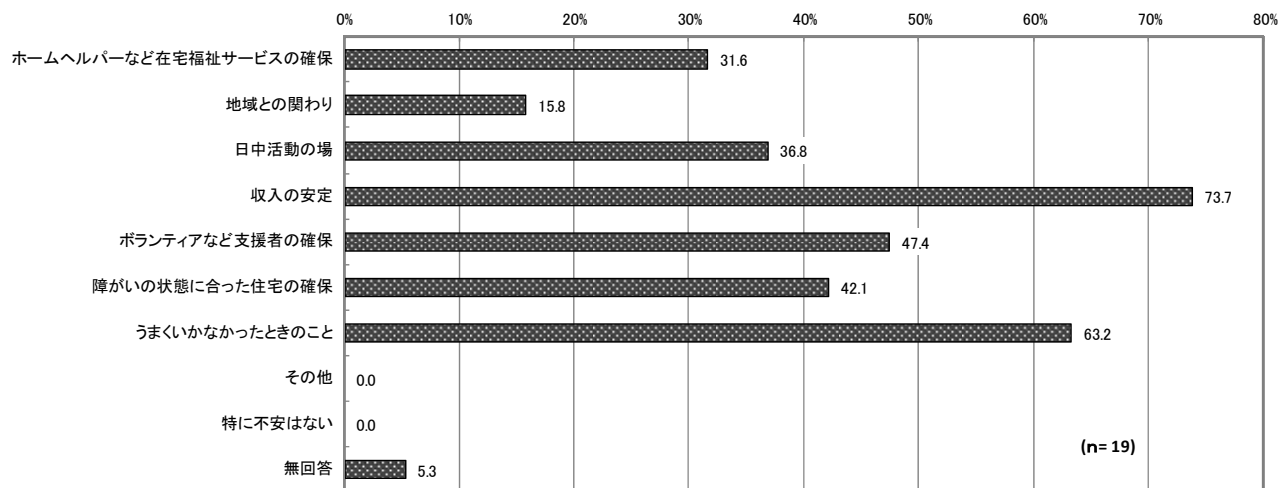
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ホームヘルパーなど在宅福祉サービスの確保	26	34.2%	6	31.6%	19	35.8%	1	25.0%
2 地域との関わり	14	18.4%	3	15.8%	10	18.9%	1	25.0%
3 日中活動の場	23	30.3%	7	36.8%	16	30.2%	0	0.0%
4 収入の安定	39	51.3%	14	73.7%	25	47.2%	0	0.0%
5 ボランティアなど支援者の確保	27	35.5%	9	47.4%	16	30.2%	2	50.0%
6 障がいの状態に合った住宅の確保	36	47.4%	8	42.1%	26	49.1%	2	50.0%
7 うまくいかなかったときのこと	43	56.6%	12	63.2%	31	58.5%	0	0.0%
8 その他	8	10.5%	0	0.0%	7	13.2%	1	25.0%
9 特に不安はない	1	1.3%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%
無回答	1	1.3%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	76		19		53		4	

8 その他：主な内訳 健康維持への支援 (1) 周りとのコミュニケーション (1) 工賃が少ないので障がい者年金のみで生活できるか (1) 職員の不足 (特に夜勤) (1) 気の合わない人との共同生活 (1) すべて (1) まだ考えられない (1)

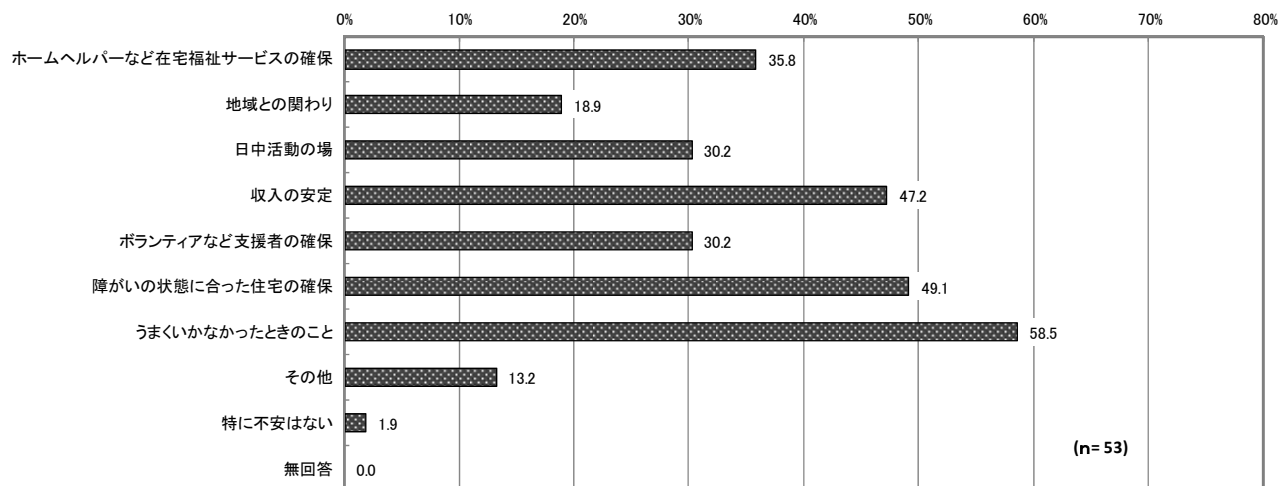


【年代別】

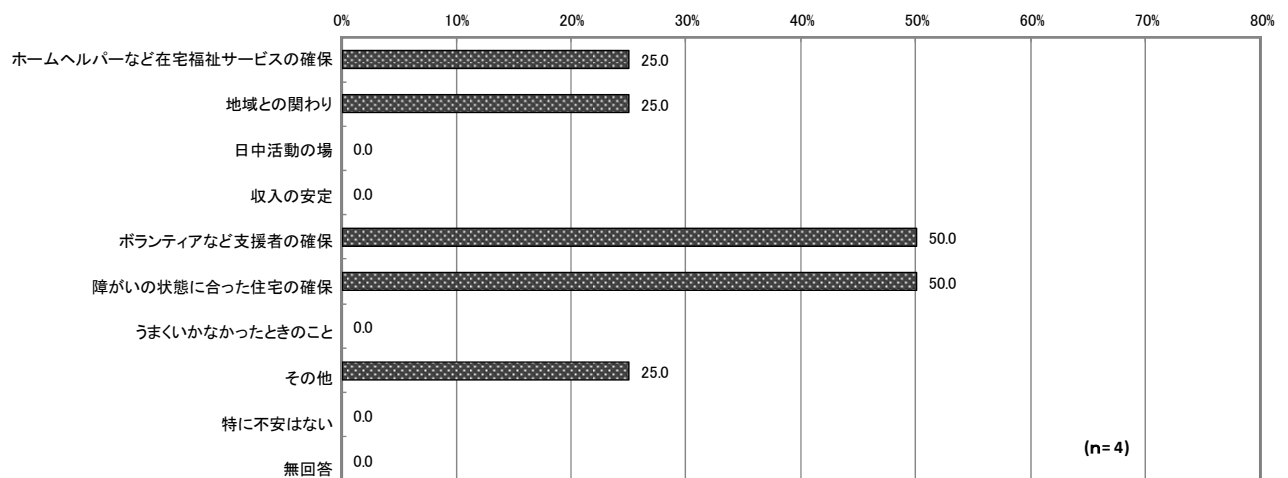
《18 歳未満》



《18～64 歳》



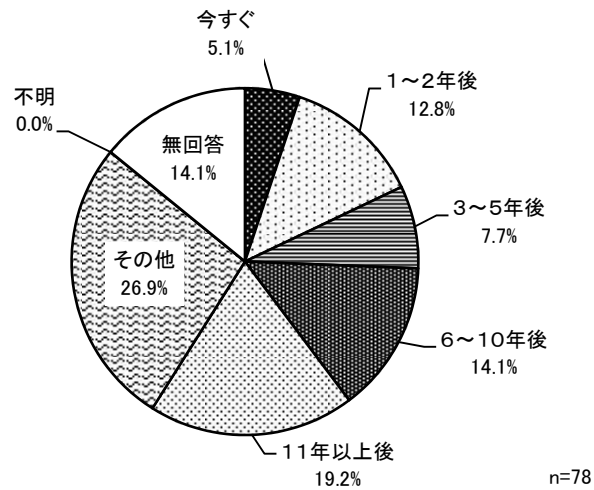
《65 歳以上》



問 36 問 34 で「3」または「4」を回答した方におたずねします。グループホームなどへの入居または施設への入所はいつ頃までにしたいと考えていますか。 （単数回答 n=78）

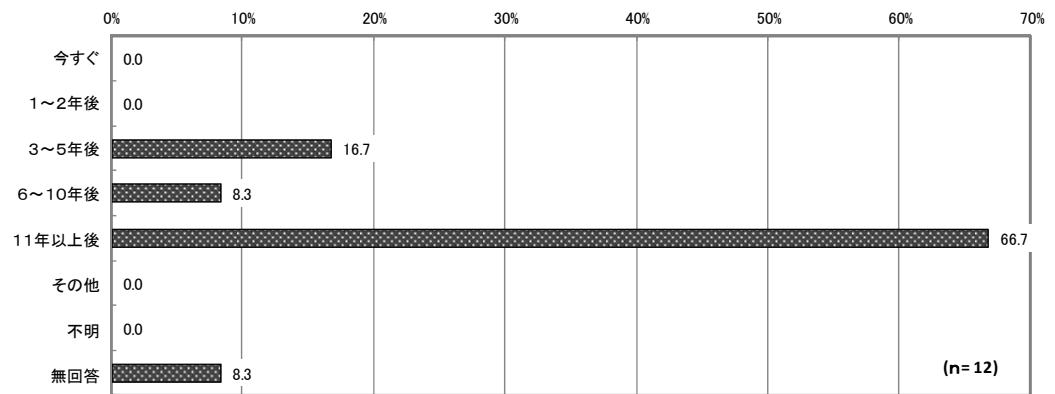
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 今すぐ	4	5.1%	0	0.0%	4	6.5%	0	0.0%
2 1～2年後	10	12.8%	0	0.0%	10	16.1%	0	0.0%
3 3～5年後	6	7.7%	2	16.7%	4	6.5%	0	0.0%
4 6～10年後	11	14.1%	1	8.3%	10	16.1%	0	0.0%
5 11年以上後	15	19.2%	8	66.7%	7	11.3%	0	0.0%
6 その他	21	26.9%	0	0.0%	19	30.6%	2	50.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	11	14.1%	1	8.3%	8	12.9%	2	50.0%
合計	78	100.0%	12	100.0%	62	100.0%	4	100.0%

6 その他：主な内訳 入所中（6）親が面倒をみることができなくなった時（4）退院してすぐ（1）
今の症状が悪化した場合（1）家族、本人の状況にあわせて（1）

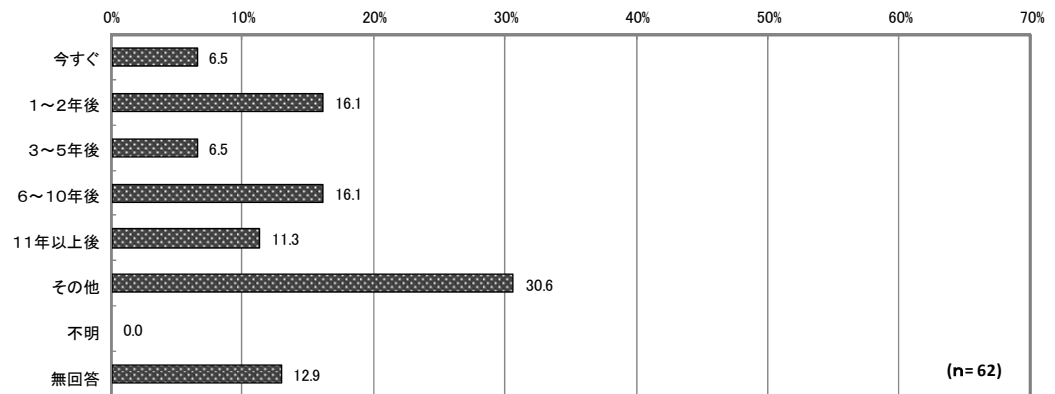


【年代別】

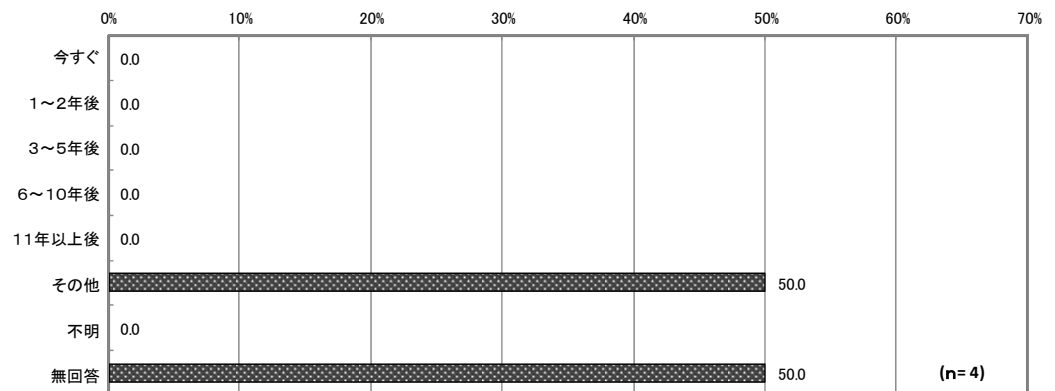
《18 歳未満》



《18～64 歳》

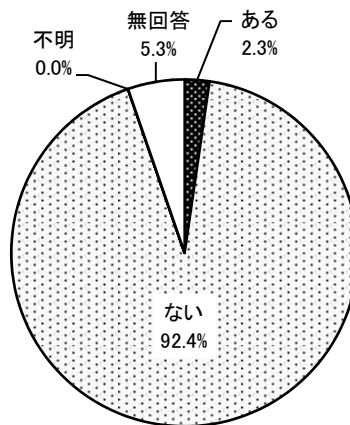


《65 歳以上》



問 37 あなたは、悪質商法などの被害にあったことがありますか。 （単数回答 n=262）

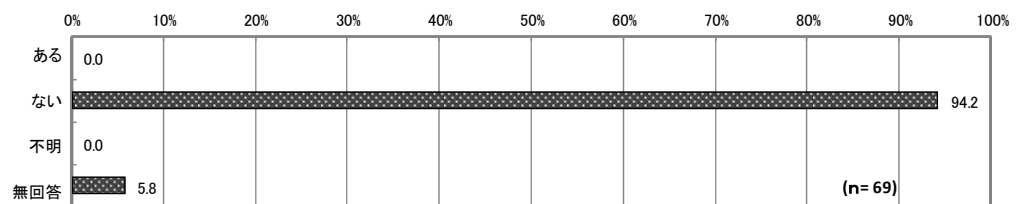
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ある	6	2.3%	0	0.0%	6	3.3%	0	0.0%
2 ない	242	92.4%	65	94.2%	169	91.8%	8	88.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	14	5.3%	4	5.8%	9	4.9%	1	11.1%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



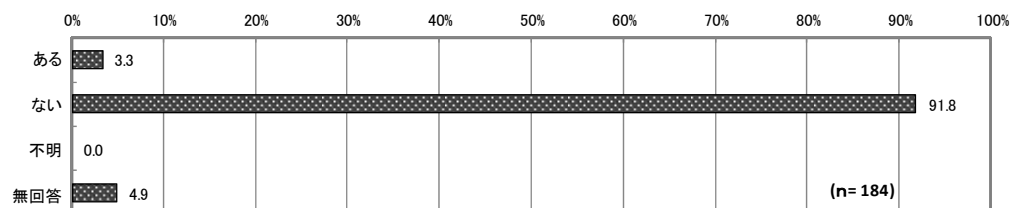
n=262

【年代別】

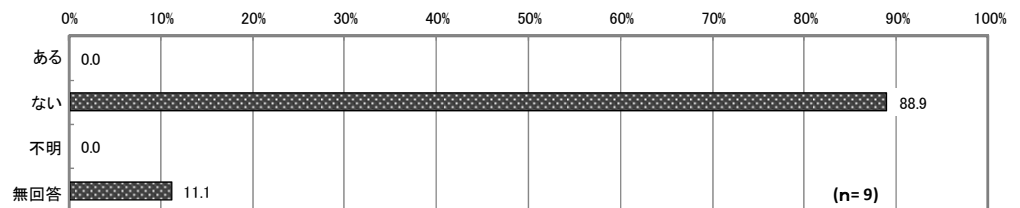
《18 歳未満》



《18～64 歳》



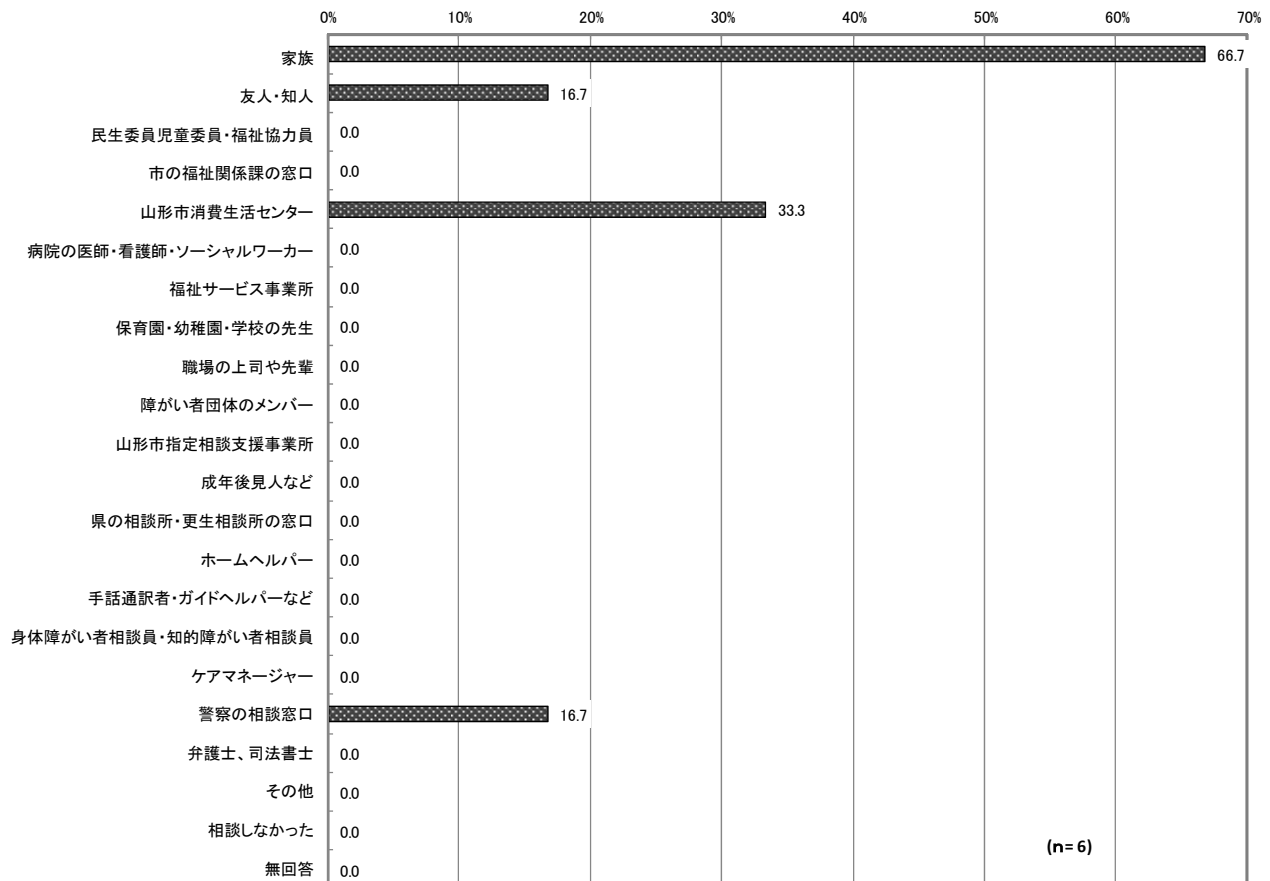
《65 歳以上》



問 38 問 37 で「1」を回答した方におたずねします。その時、誰（どこ）へ相談しましたか。

（複数回答 n=6）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家族	4	66.7%	0	0.0%	4	66.7%	0	0.0%
2 友人・知人	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 市の福祉関係課の窓口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 山形市消費生活センター	2	33.3%	0	0.0%	2	33.3%	0	0.0%
6 病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 福祉サービス事業所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 保育園・幼稚園・学校の先生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 職場の上司や先輩	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 障がい者団体のメンバー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11 山形市指定相談支援事業所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12 成年後見人など	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13 県の相談所・更生相談所の窓口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
14 ホームヘルパー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15 手話通訳者・ガイドヘルパーなど	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16 身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
17 ケアマネージャー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
18 警察の相談窓口	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%
19 弁護士、司法書士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
21 相談しなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	6		0		6		0	

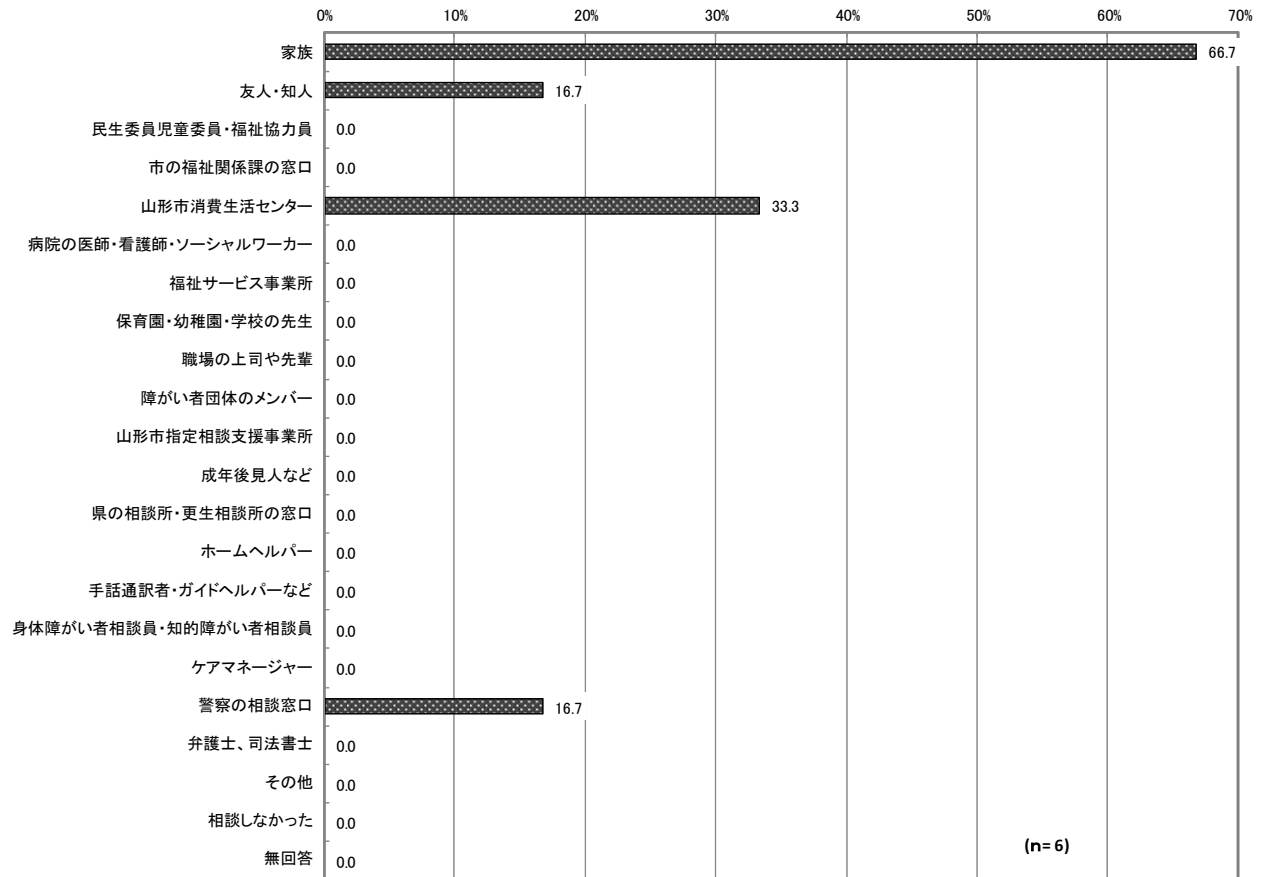


【年代別】

《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》

回答者 0 のため省略

問 39 問 38 で「21」を回答した方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。

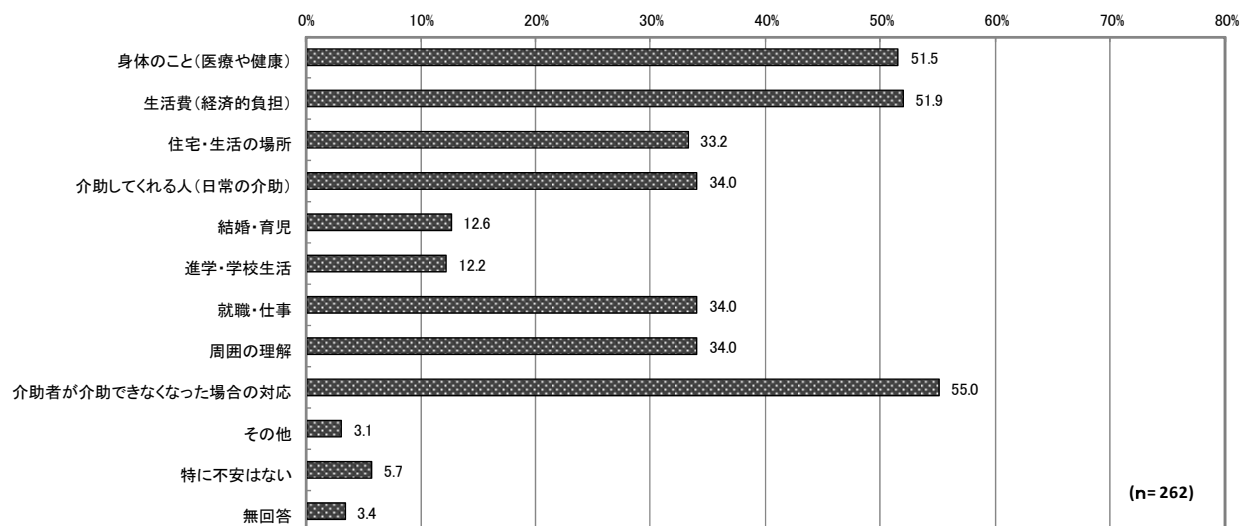
(単数回答 n=0)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 相談する相手がいなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 どこに相談すればよいのかわからなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 相談しても解決しないと思った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

問 40 あなたは今後の生活に対してどのような不安がありますか。 (複数回答 n=262)

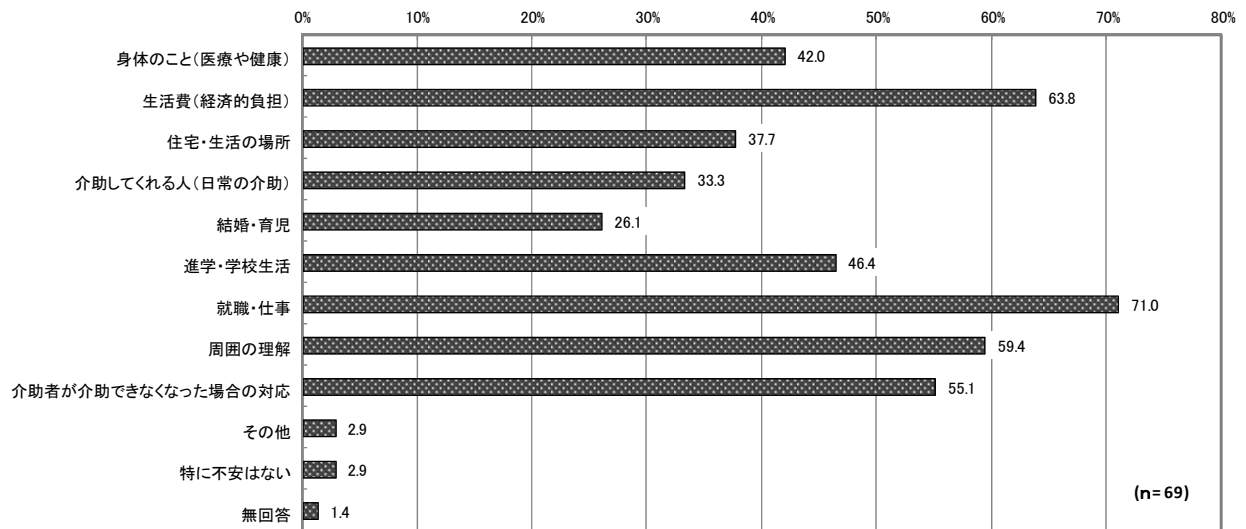
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 身体のこと (医療や健康)	135	51.5%	29	42.0%	99	53.8%	7	77.8%
2 生活費 (経済的負担)	136	51.9%	44	63.8%	90	48.9%	2	22.2%
3 住宅・生活の場所	87	33.2%	26	37.7%	59	32.1%	2	22.2%
4 介助してくれる人 (日常の介助)	89	34.0%	23	33.3%	63	34.2%	3	33.3%
5 結婚・育児	33	12.6%	18	26.1%	15	8.2%	0	0.0%
6 進学・学校生活	32	12.2%	32	46.4%	0	0.0%	0	0.0%
7 就職・仕事	89	34.0%	49	71.0%	40	21.7%	0	0.0%
8 周囲の理解	89	34.0%	41	59.4%	47	25.5%	1	11.1%
9 介助者が介助できなくなった場合の対応	144	55.0%	38	55.1%	103	56.0%	3	33.3%
10 その他	8	3.1%	2	2.9%	6	3.3%	0	0.0%
11 特に不安はない	15	5.7%	2	2.9%	11	6.0%	2	22.2%
無回答	9	3.4%	1	1.4%	8	4.3%	0	0.0%
合計	262		69		184		9	

10 その他：主な内訳 家族の高齢化、疎遠等 (4) 夫の浮気 (1)

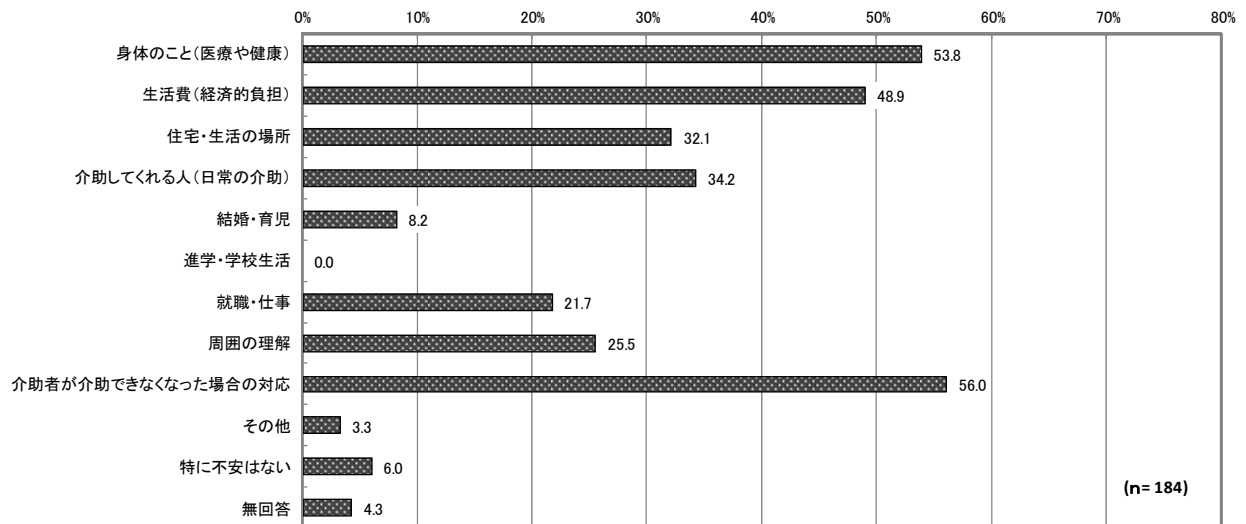


【年代別】

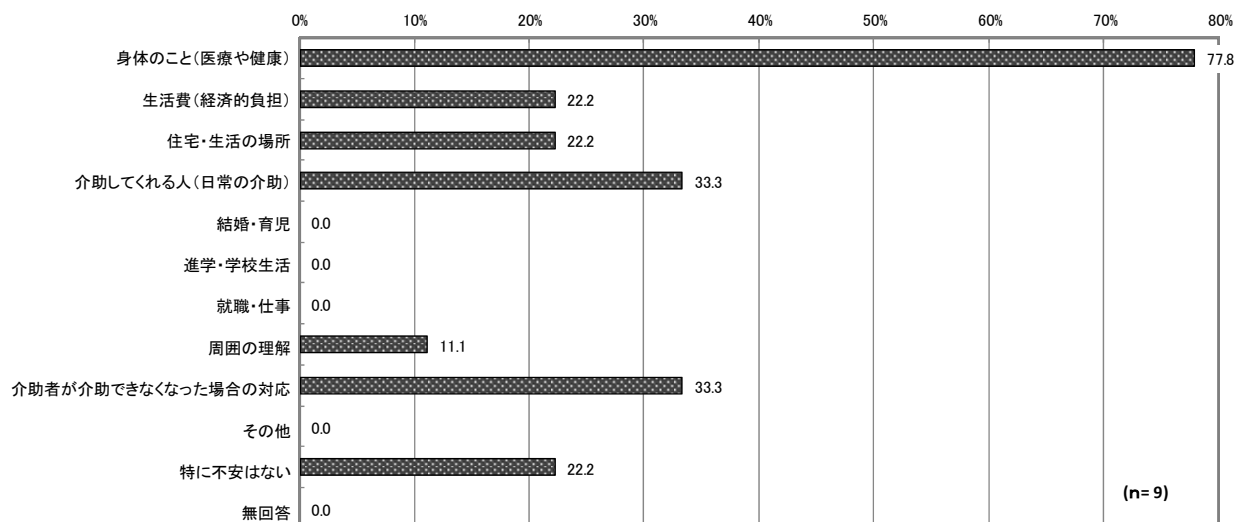
《18 歳未満》



《18～64 歳》



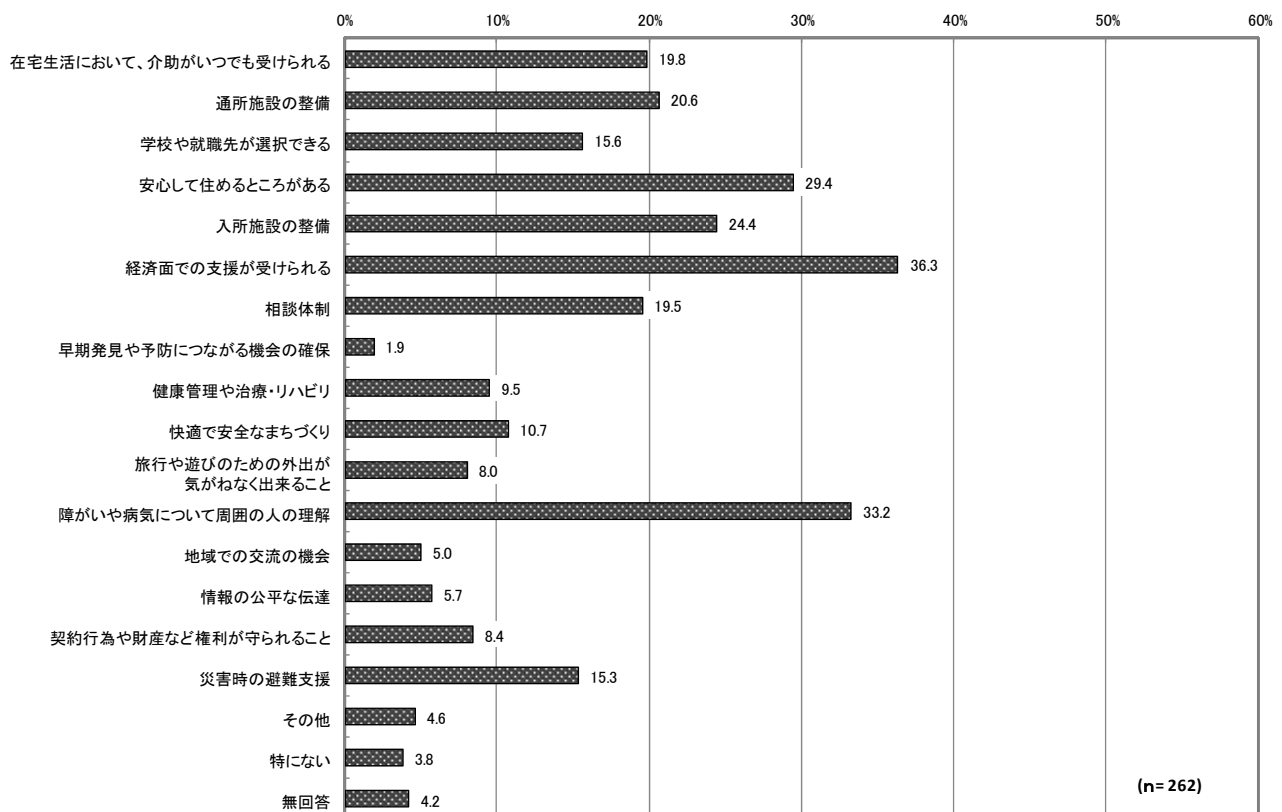
《65 歳以上》



問 41 今後、障がい福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思われますか。（3つまで○印） （複数回答 n=262）

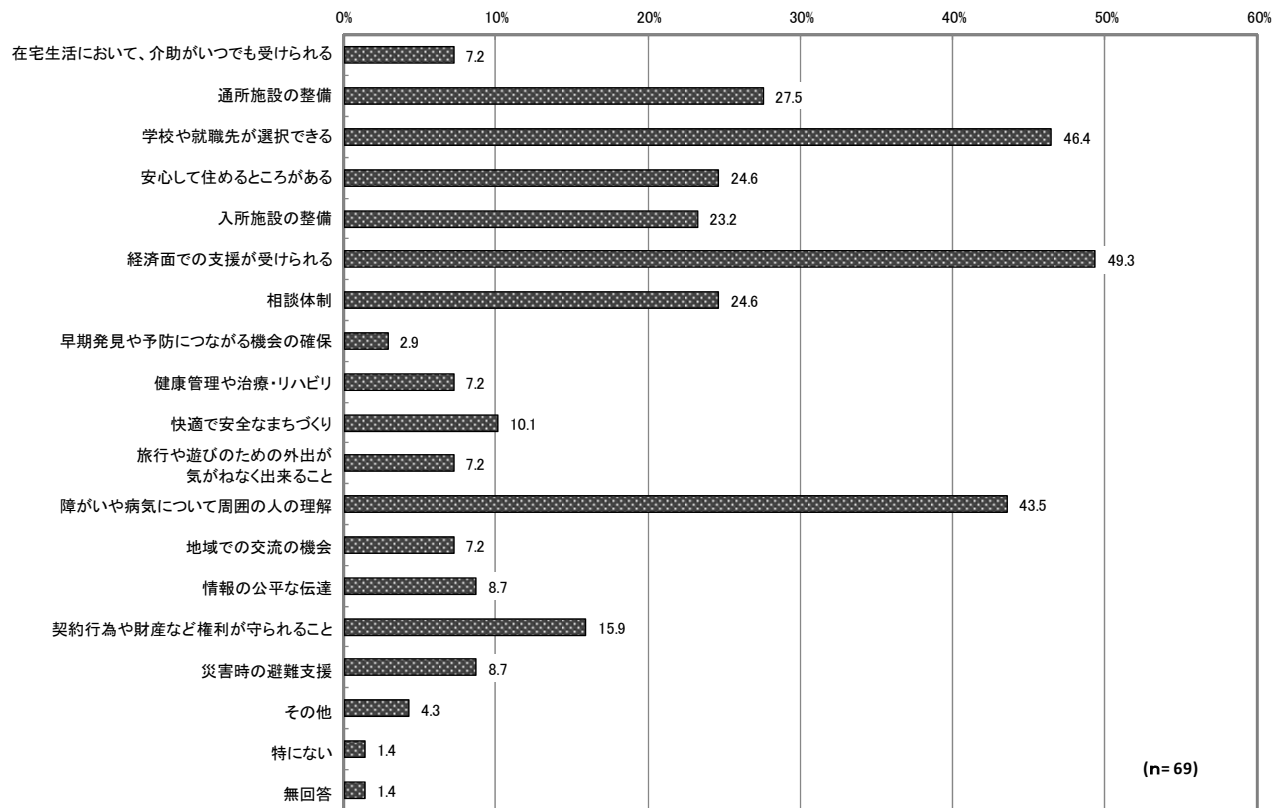
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 在宅生活において、介助がいつでも受けられる	52	19.8%	5	7.2%	42	22.8%	5	55.6%
2 通所施設の整備	54	20.6%	19	27.5%	33	17.9%	2	22.2%
3 学校や就職先が選択できる	41	15.6%	32	46.4%	9	4.9%	0	0.0%
4 安心して住めるところがある	77	29.4%	17	24.6%	58	31.5%	2	22.2%
5 入所施設の整備	64	24.4%	16	23.2%	44	23.9%	4	44.4%
6 経済面での支援が受けられる	95	36.3%	34	49.3%	57	31.0%	4	44.4%
7 相談体制	51	19.5%	17	24.6%	33	17.9%	1	11.1%
8 早期発見や予防につながる機会の確保	5	1.9%	2	2.9%	3	1.6%	0	0.0%
9 健康管理や治療・リハビリ	25	9.5%	5	7.2%	20	10.9%	0	0.0%
10 快適で安全なまちづくり	28	10.7%	7	10.1%	20	10.9%	1	11.1%
11 旅行や遊びのための外出が気軽に出来ること	21	8.0%	5	7.2%	15	8.2%	1	11.1%
12 障がいや病気について周囲の人の理解	87	33.2%	30	43.5%	56	30.4%	1	11.1%
13 地域での交流の機会	13	5.0%	5	7.2%	8	4.3%	0	0.0%
14 情報の公平な伝達	15	5.7%	6	8.7%	9	4.9%	0	0.0%
15 契約行為や財産など権利が守られること	22	8.4%	11	15.9%	11	6.0%	0	0.0%
16 災害時の避難支援	40	15.3%	6	8.7%	33	17.9%	1	11.1%
17 その他	12	4.6%	3	4.3%	9	4.9%	0	0.0%
18 特にない	10	3.8%	1	1.4%	8	4.3%	1	11.1%
無回答	11	4.2%	1	1.4%	10	5.4%	0	0.0%
合計	262		69		184		9	

17 その他：主な内訳 通学での送迎サービス（1）手続きの迅速化（1）グループホームの整備（1）生まれてすぐにサービスを知ることができること（1）事業所の職員に向けた研修や指導（1）対応の早さ（4～6 ヶ月待ち等ある）（1）地域生活拠点の整備、市が中心になって連携サービスを結んで調整して行けること（1）仙台市等を参考にしてほしい（1）全部（1）

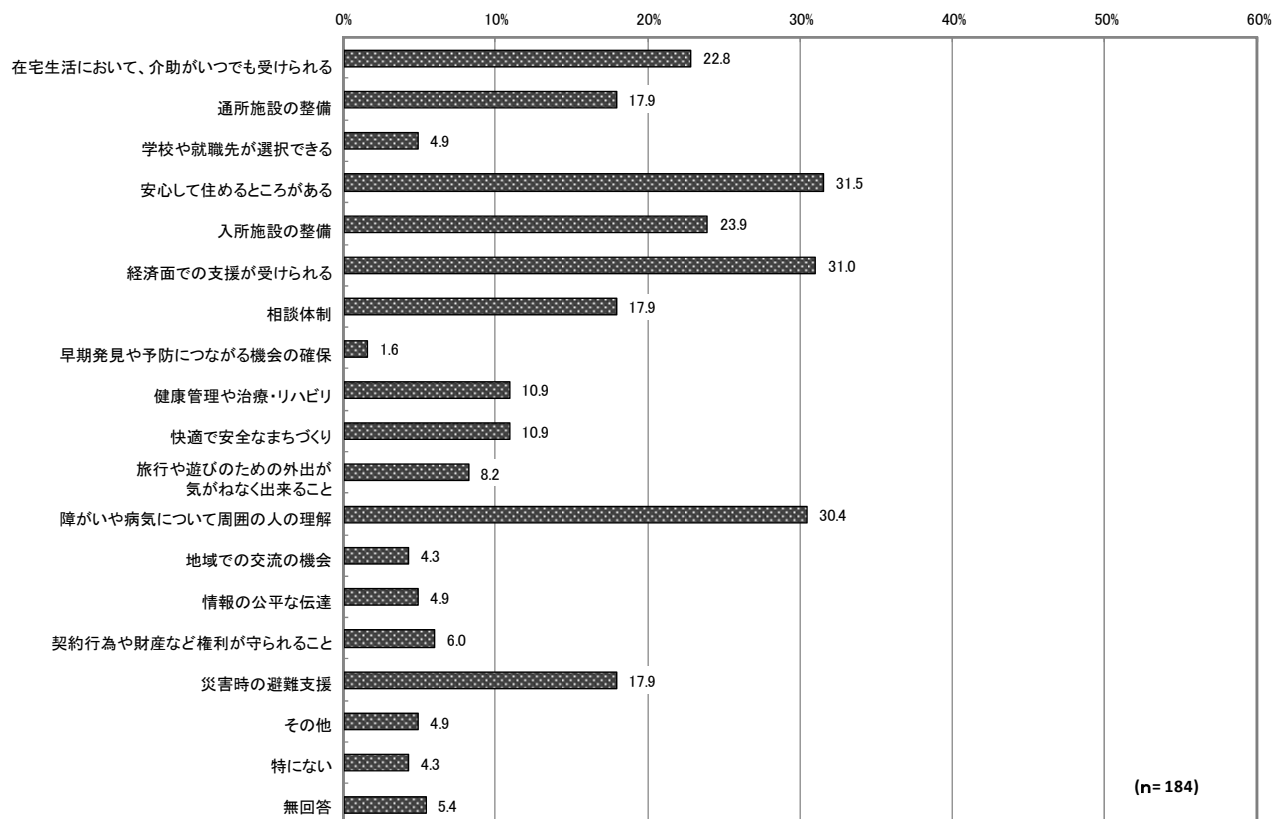


【年代別】

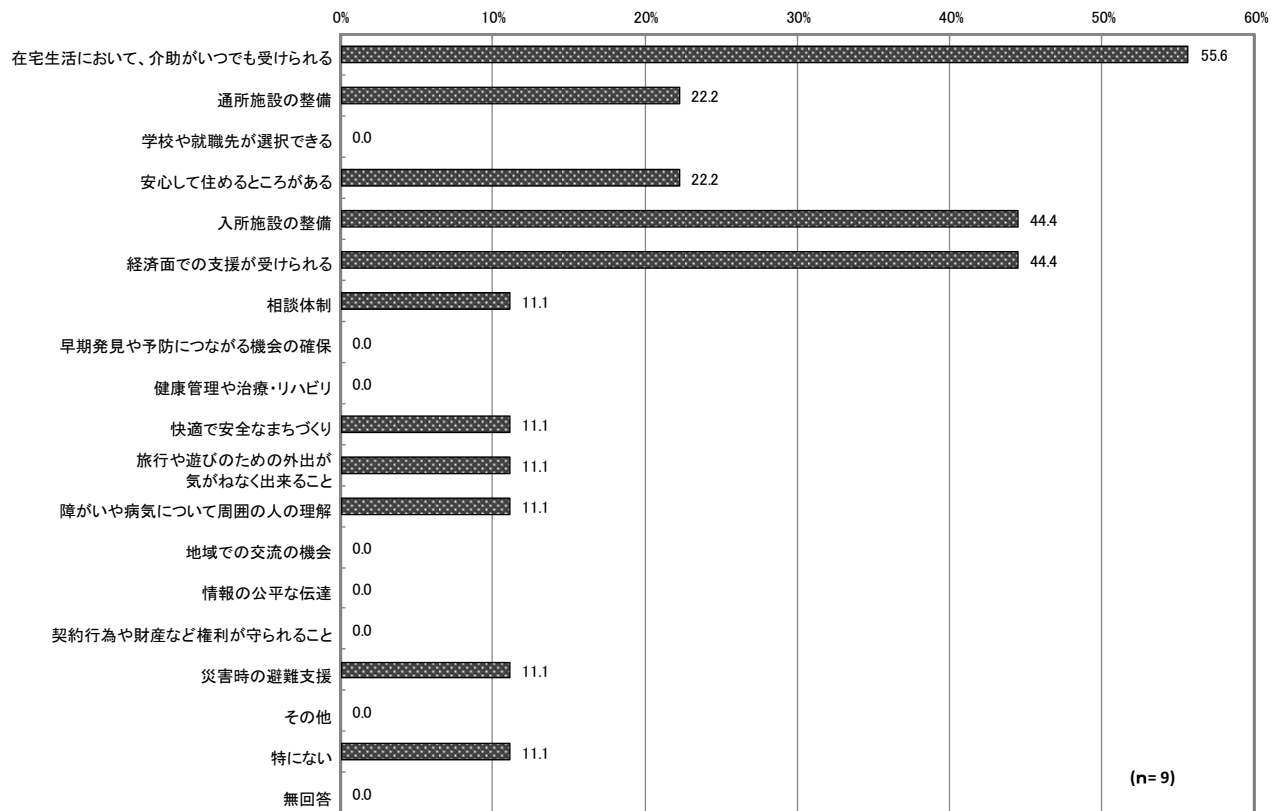
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【災害】

火事や地震などの災害のときに、自宅にいる場合、一人で避難できるかは、「できない」が64.9%と6割強を占めたが、「できる」も30.5%と3割強となった。一人で避難できないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「一人で判断をすることができない」が62.4%と最も高く6割以上を占め、次いで「どこに避難すればよいかわからない」が15.3%、「一人で移動をすることができない」が13.5%となった。

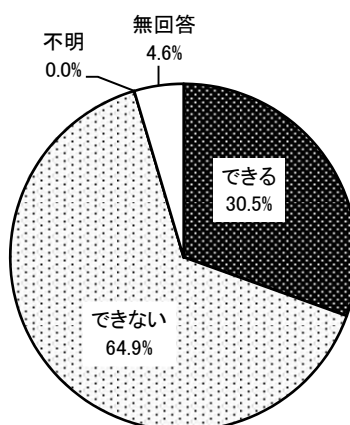
住まいの地区の避難所の場所を知っているかは、「知らない」が55.3%と5割を占め、「知っている」の40.8%を上回った。火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、周囲の人に知らせることができるかは、「できない」が60.3%と6割半ばを占めたが、「できる」も35.9%と3割半ばを占めている。また、家族のほかに近所に助けてくれる人がいるかは、「いない」が55.3%と半数強を占めたが、「いる」も37.4%と4割弱となっている。家族のほかに誰に助けてもらいたい人は、「近所の人」が43.1%と4割強を占めて最も高く、次いで「福祉サービス事業所の職員」が21.8%となった。

「山形市避難行動支援制度」を知っているかは、「知らない」が80.5%と8割強を占め、次いで「知っているが、登録はしていない」が13.7%となり、「知っているし、登録もしている」はわずか3.4%にとどまった。災害時に避難支援を受けるために、個人情報など（住所、氏名、障がいの有無や状態など）を、山形市が民生委員児童委員・自主防災組織などへ提供することに同意できるかは、「同意できる」が73.3%と7割強を占め、「同意できない」の10.3%を上回った。同意できない理由は、「個人情報が高へ流出する恐れがあるから」が48.1%と半数近くを占め最も高く、次いで「障がいがあることを知られたくないから」および「その他」が同率22.2%となっている。

問 42 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、あなたは一人で避難できますか。

(単数回答 n=262)

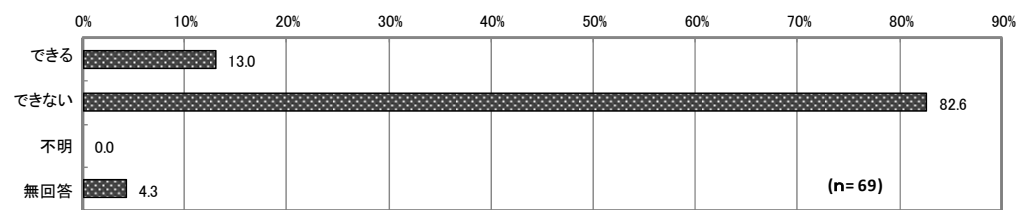
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 できる	80	30.5%	9	13.0%	69	37.5%	2	22.2%
2 できない	170	64.9%	57	82.6%	107	58.2%	6	66.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	12	4.6%	3	4.3%	8	4.3%	1	11.1%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



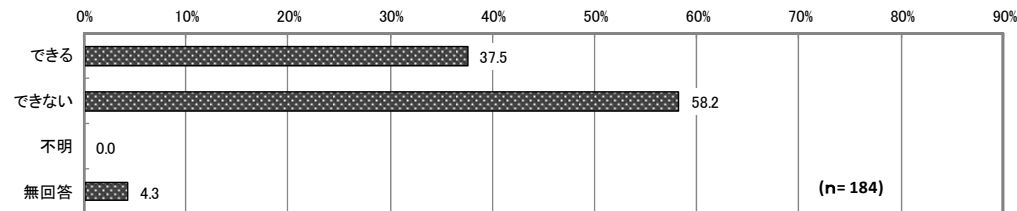
n=262

【年代別】

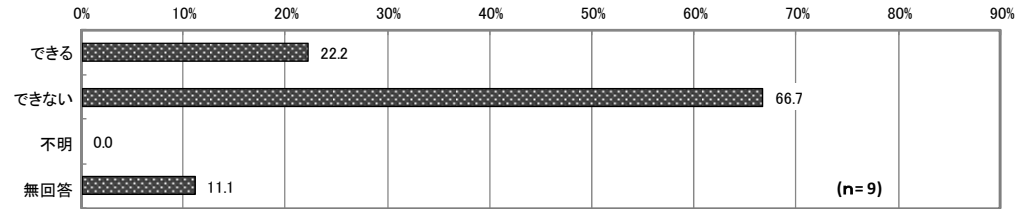
《18 歳未満》



《18～64 歳》



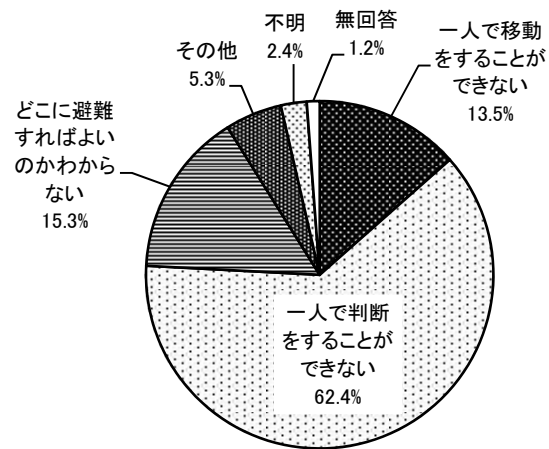
《65 歳以上》



問 43 問 42 で「2」を回答した方におたずねします。災害のときに一人で避難できない理由は何ですか。（単数回答 n=170）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 一人で移動をすることができない	23	13.5%	6	10.5%	16	15.0%	1	16.7%
2 一人で判断をすることができない	106	62.4%	37	64.9%	66	61.7%	3	50.0%
3 どこに避難すればよいかわからない	26	15.3%	6	10.5%	19	17.8%	1	16.7%
4 その他	9	5.3%	5	8.8%	4	3.7%	0	0.0%
不明	4	2.4%	2	3.5%	1	0.9%	1	16.7%
無回答	2	1.2%	1	1.8%	1	0.9%	0	0.0%
合計	170	100.0%	57	100.0%	107	100.0%	6	100.0%

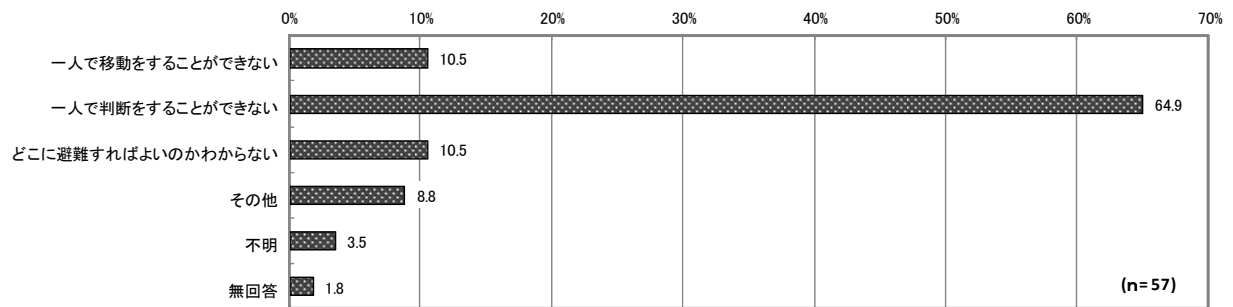
4 その他：主な内訳 幼児、子供のため（5）1、2、3全部できない（1）何を持っていけばいいかわからない（1）人の力を借りなければ無理（1）



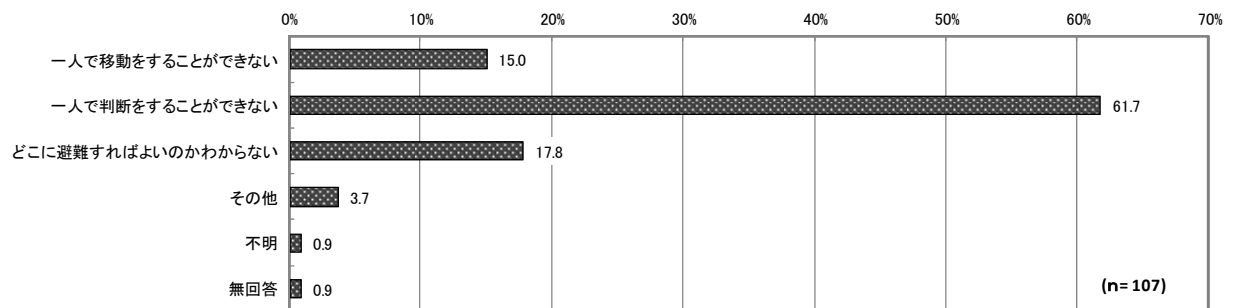
n=170

【年代別】

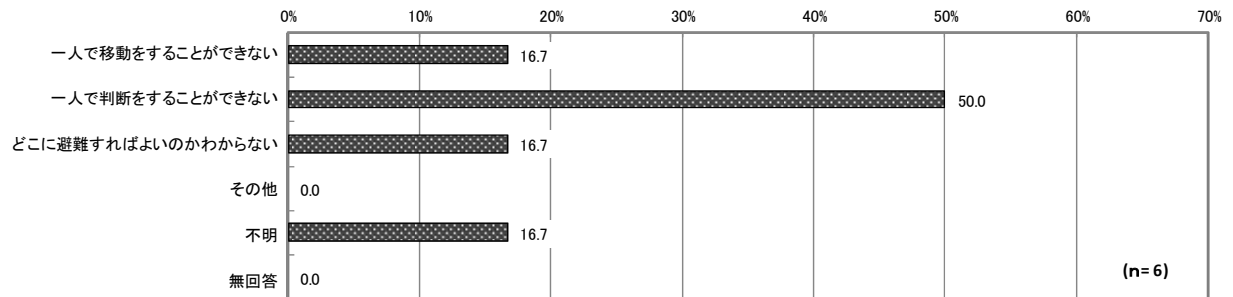
≪18 歳未満≫



≪18～64 歳≫

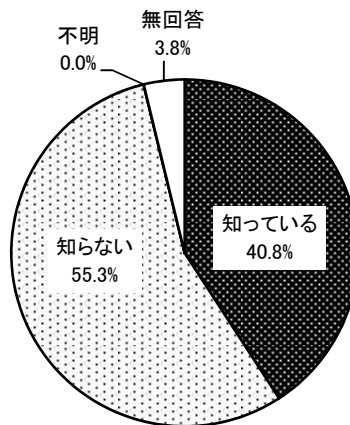


≪65 歳以上≫



問 44 あなたはお住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。 (単数回答 n=262)

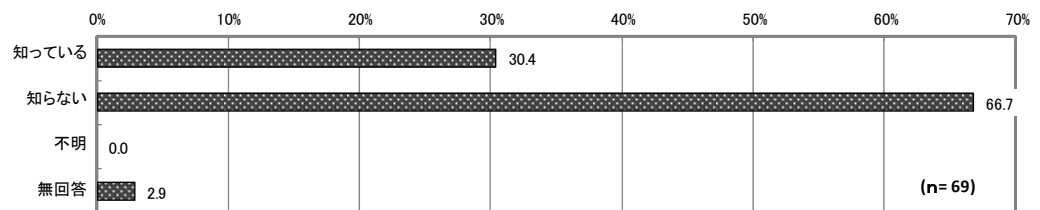
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	107	40.8%	21	30.4%	84	45.7%	2	22.2%
2 知らない	145	55.3%	46	66.7%	93	50.5%	6	66.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	3.8%	2	2.9%	7	3.8%	1	11.1%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



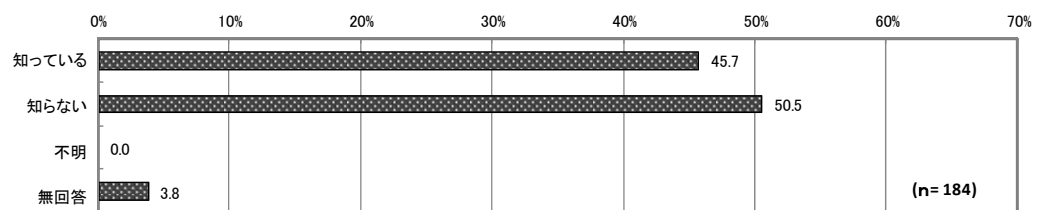
n=262

【年代別】

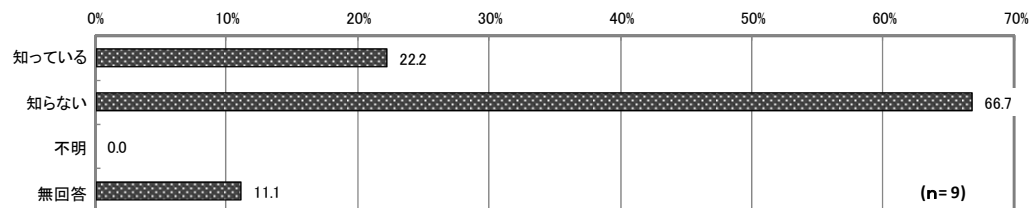
《18 歳未満》



《18～64 歳》



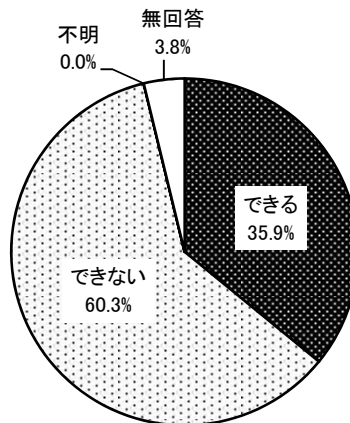
《65 歳以上》



問 45 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、あなたは周囲の人に知らせることができますか。

(単数回答 n=262)

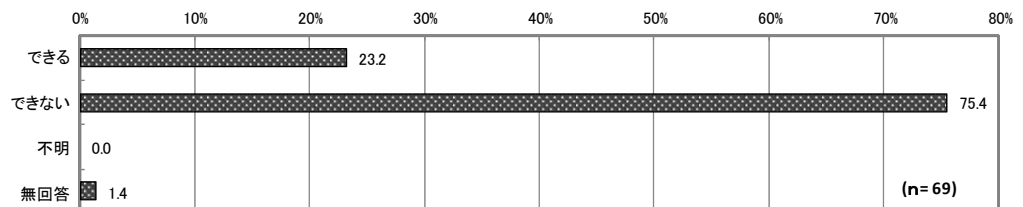
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 できる	94	35.9%	16	23.2%	77	41.8%	1	11.1%
2 できない	158	60.3%	52	75.4%	99	53.8%	7	77.8%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	3.8%	1	1.4%	8	4.3%	1	11.1%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



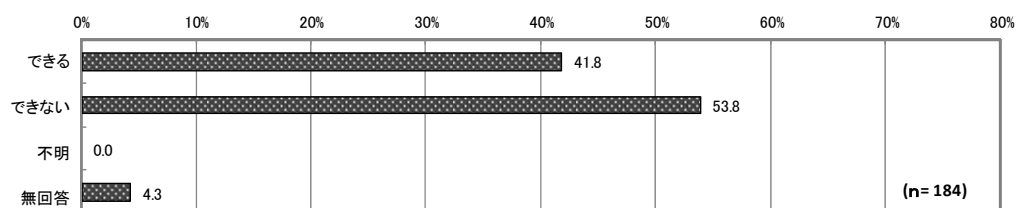
n=262

【年代別】

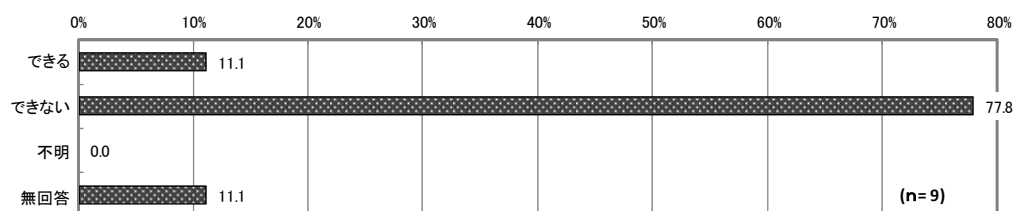
《18 歳未満》



《18～64 歳》

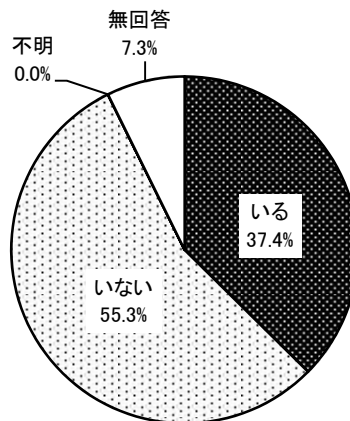


《65 歳以上》



問 46 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、ご近所にあなを助けてくれる方はいますか。
(単数回答 n=262)

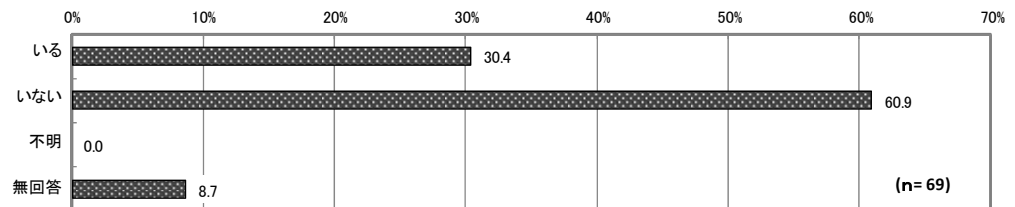
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 いる	98	37.4%	21	30.4%	73	39.7%	4	44.4%
2 いない	145	55.3%	42	60.9%	99	53.8%	4	44.4%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	19	7.3%	6	8.7%	12	6.5%	1	11.1%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



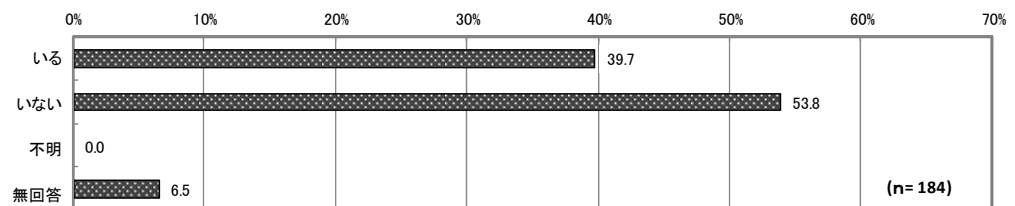
n=262

【年代別】

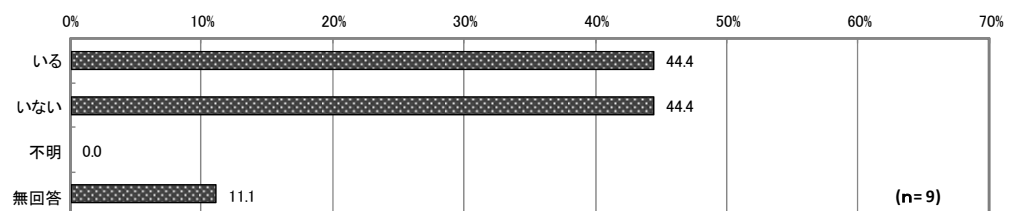
《18 歳未満》



《18～64 歳》



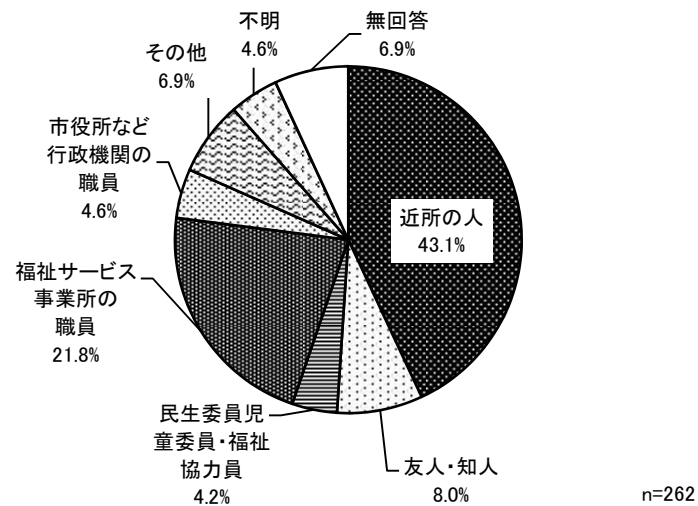
《65 歳以上》



問 47 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、あなたは家族のほか誰に助けてもらいたいですか。（単数回答 n=262）

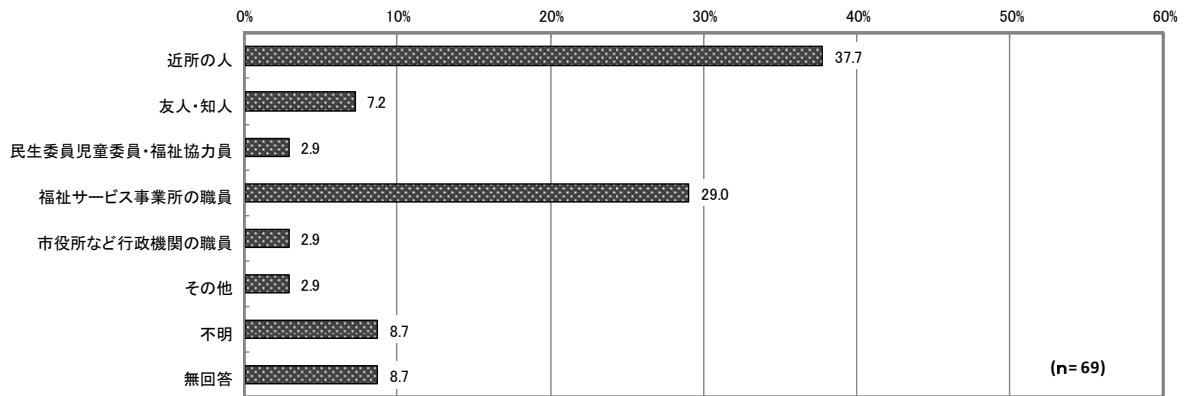
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 近所の人	113	43.1%	26	37.7%	82	44.6%	5	55.6%
2 友人・知人	21	8.0%	5	7.2%	16	8.7%	0	0.0%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	11	4.2%	2	2.9%	9	4.9%	0	0.0%
4 福祉サービス事業所の職員	57	21.8%	20	29.0%	34	18.5%	3	33.3%
5 行政機関などの職員	12	4.6%	2	2.9%	10	5.4%	0	0.0%
6 その他	18	6.9%	2	2.9%	16	8.7%	0	0.0%
不明	12	4.6%	6	8.7%	6	3.3%	0	0.0%
無回答	18	6.9%	6	8.7%	11	6.0%	1	11.1%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

6 その他：主な内訳 自宅に一人ではない（3）誰でも（2）相談員（1）理解してすぐに助けてくれる方、早く対応してくれる方（1）顔見知りで信頼できる人（1）助けを必要とする認識、判断ができない（1）緊急性があるかによる（1）

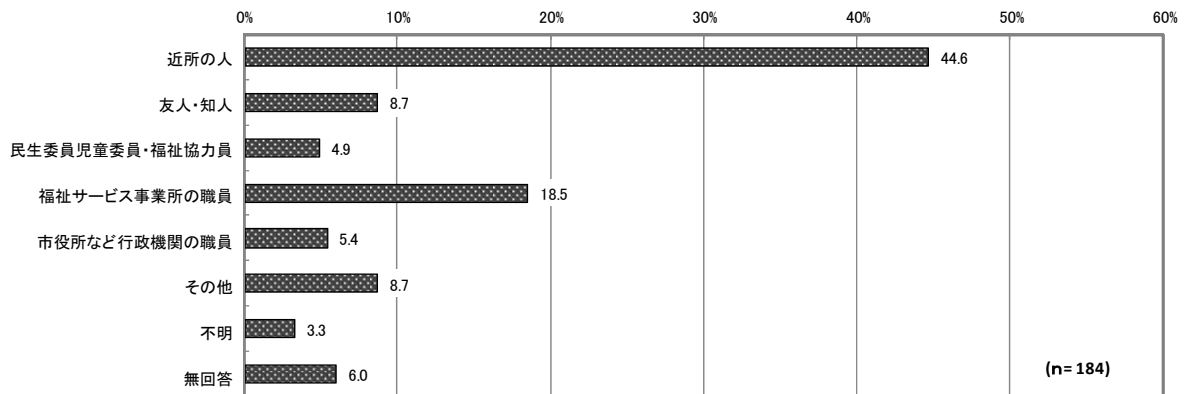


【年代別】

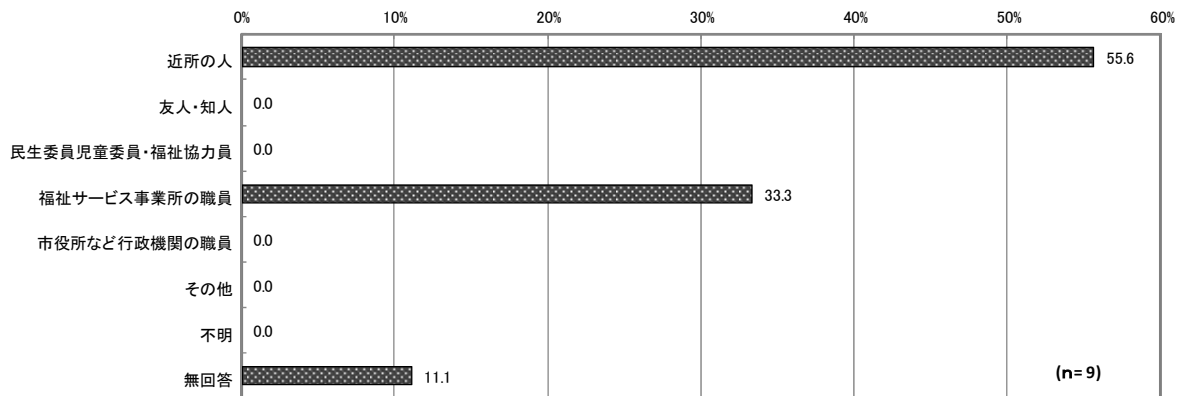
《18 歳未満》



《18～64 歳》

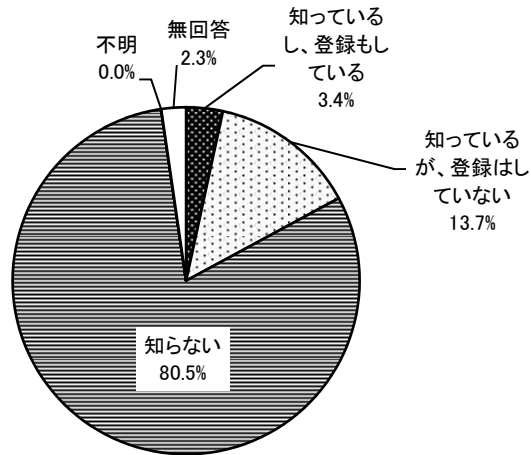


《65 歳以上》



問 48 「山形市避難行動支援制度」を知っていますか。 （単数回答 n=262）

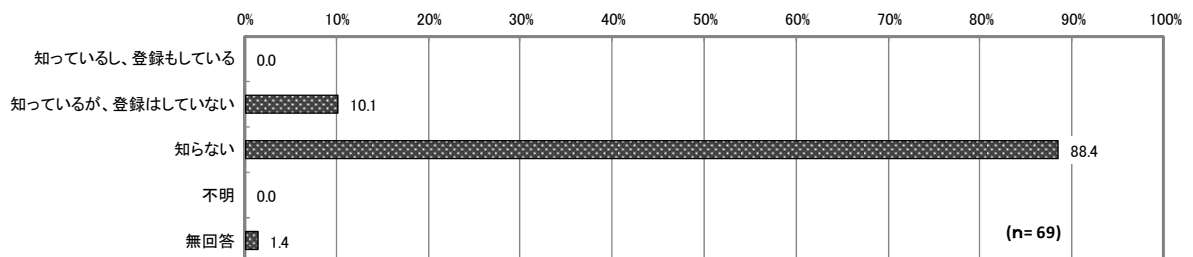
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っているし、登録もしている	9	3.4%	0	0.0%	9	4.9%	0	0.0%
2 知っているが、登録はしていない	36	13.7%	7	10.1%	28	15.2%	1	11.1%
3 知らない	211	80.5%	61	88.4%	142	77.2%	8	88.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	2.3%	1	1.4%	5	2.7%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%



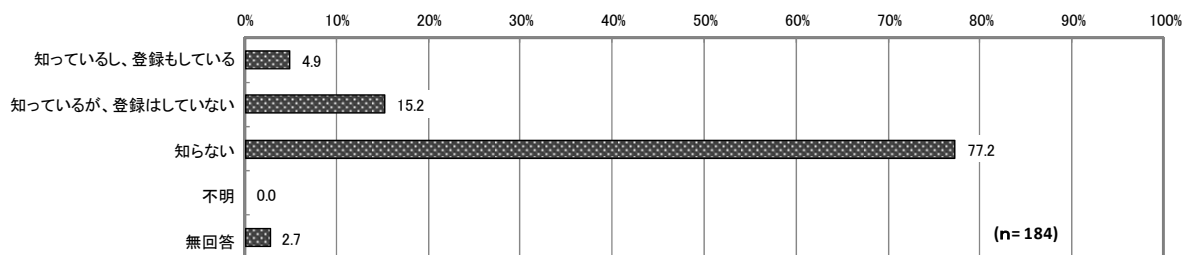
n=262

【年代別】

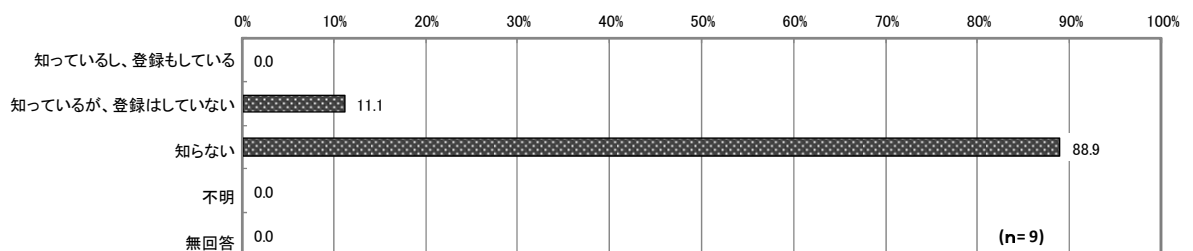
<<18 歳未満>>



<<18～64 歳>>



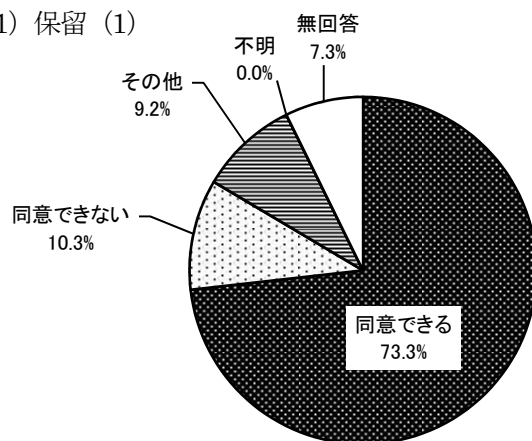
<<65 歳以上>>



問 49 災害時に避難支援を受けるために必要であれば、あなたの個人情報など（住所、氏名、障がいの有無や状態など）を、山形市が民生委員児童委員・自主防災組織などへ提供することに同意できますか。（単数回答 n=262）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 同意できる	192	73.3%	57	82.6%	130	70.7%	5	55.6%
2 同意できない	27	10.3%	7	10.1%	20	10.9%	0	0.0%
3 その他	24	9.2%	4	5.8%	16	8.7%	4	44.4%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	19	7.3%	1	1.4%	18	9.8%	0	0.0%
合計	262	100.0%	69	100.0%	184	100.0%	9	100.0%

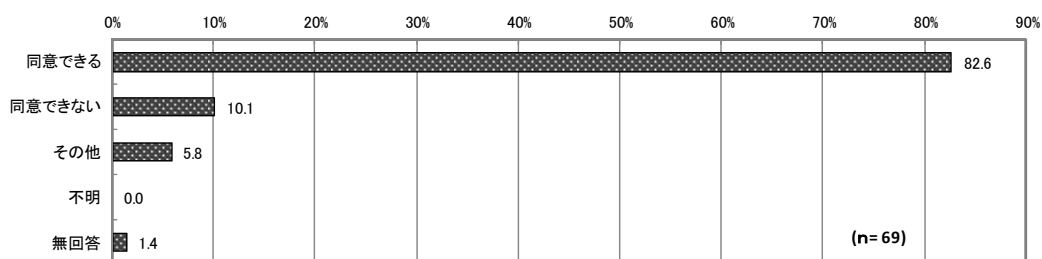
3 その他：主な内訳 わからない (9) しょうがない (1) まだ早い (1) 今は大丈夫 (1) 今は家族という (1)今はできない (1) 保留 (1)



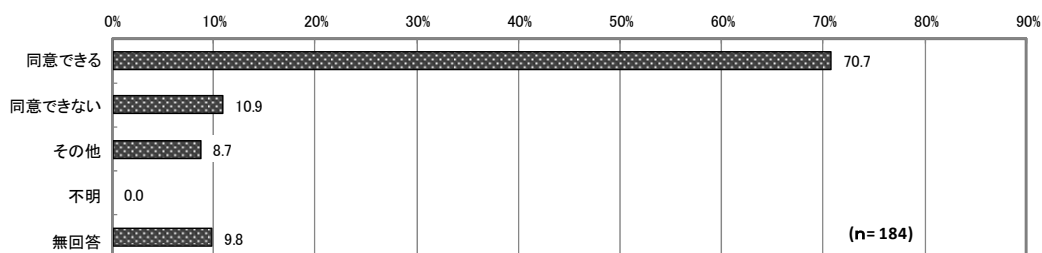
n=262

【年代別】

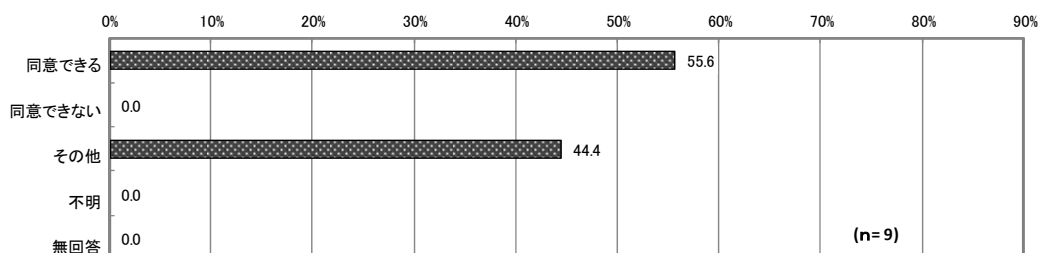
《18 歳未満》



《18～64 歳》



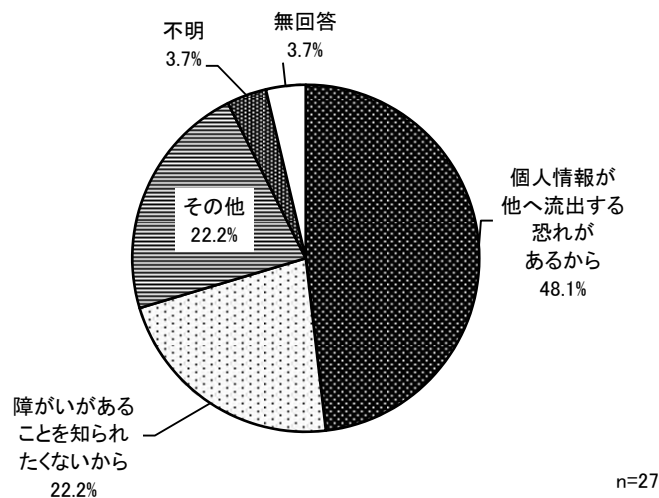
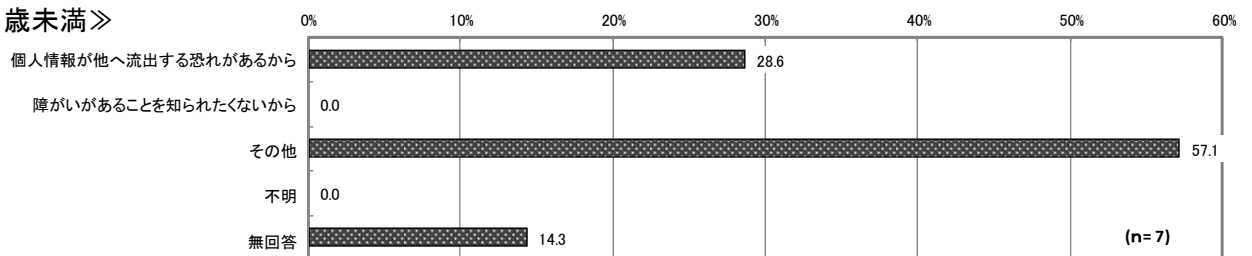
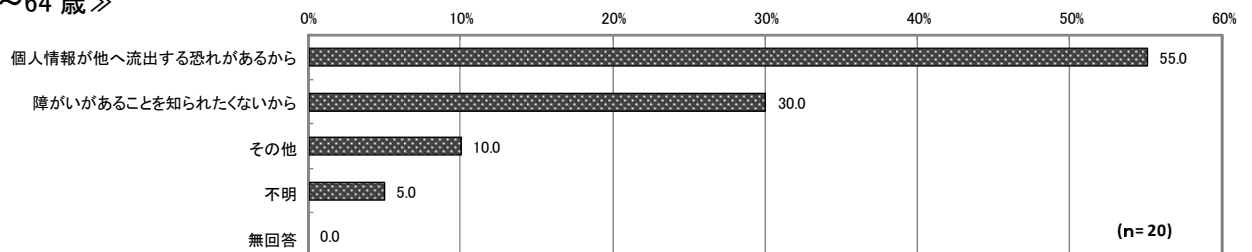
《65 歳以上》



問 50 問 49 で「2」を回答した方におたずねします。同意できない理由は何ですか。(単数回答 n=27)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 個人情報が他へ流出する恐れがあるから	13	48.1%	2	28.6%	11	55.0%	0	0.0%
2 障がいがあることを知られたくないから	6	22.2%	0	0.0%	6	30.0%	0	0.0%
3 その他	6	22.2%	4	57.1%	2	10.0%	0	0.0%
不明	1	3.7%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%
無回答	1	3.7%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	27	100.0%	7	100.0%	20	100.0%	0	0.0%

3 その他：主な内訳 家族が常にいる (1) 家族に理解していない者がいるから (1) 地域の民生委員は個人情報情報を漏らす人だから (1) 民生委員の素質、防災組織の対応に不安がある (1) 知らない人は基本的に無理 (1) 知らない人とコミュニケーションできない (1)


【年代別】
＜18 歳未満＞

＜18～64 歳＞

＜65 歳以上＞

回答者 0 のため省略

障がい者施策に関する主な意見・要望「知的障がい者」

障がい者支援体制の強化

- うちの子供は軽度の知的障がい、特児の手続きをしましたがもらえる事ができませんでした。税金なので、いろいろ厳しいとは思いますが、療育センターに通ったり、児童発達支援の送迎（ガソリン代）、オムツがとれないのでオムツ代、母親が働けない、はっきり言って、お金はかかります（軽度でも）。等級やIQが関係すると思いますが、もう少し、緩くしてもらえたらと思います。こちらに意見するのは違うのかもかもしれませんが、よろしくお願いします。

- 知的と身体と両方の障がいがあります。月～土はデイサービスを利用していますが、両親が日曜日と、仕事のため、中日一時預かりを利用していますが、預かり枠が少なく、時間の短縮がありこれまで7時まで大丈夫だったのが6時までになり、仕事を早退しなければならない状況となりました。毎月のデイサービスも、幼い子供ではないのだからもっと長時間預かっていただけないと、今の世の中、両親が仕事しなければ生活できない事をもっと理解してもらいたいです。このアンケートは軽度の方で重度の人のためのアンケートには適していないと思います。

- グループホームや通所施設など増えてきていて、選択肢の幅が広がりつつありますが、その反面どこでも職員の数が足りずに、少ないスタッフだけで業務を行っているようです。急な用事に対応できなかったり、連絡が引き継がれていなかったり、時々発生しています。スタッフの方は本当に一生懸命やってくださっているだけに、何か要望があっても遠慮してしまいます。もっと気がねなくお願いできるように職員の待遇改善と増員を希望します。

- グループホームの職員の人材育成を急ぎ、数を増やして充実させてほしい。職員がゆとりをもって腰を落ち着けて仕事ができるように、人数を多く配置して職員のスキルアップにもつなげてほしい。一般市民（大人も小人も）との交流の場を増やして相互理解を深めるようにしたい。

- 施設の職員の皆さんは、いつも頑張って対応してくれます（心の相談も含み）。どうか、賃金が少しでもアップ出来るようお願いします（生活のため、職員が辞められるのがつらいです）。

- 障がい年金の額を上げてもらえれば、今後こまることはないと思います。13万円じゃまだ足りません。せめて20万円です。おねがいします。

- 特別支援学校を増やしてほしい。充実させてほしい。通学バスを出してほしい。

- A型の事業所を増やしてほしい。グレーゾーンの子が多いので何か対策してほしい。

- アンケートよりも情報を発信して頂きたい（本人よりも同居している親に対して）。働いているため、自ら様々な情報を得るのは困難（親）。ホームページを開いて確認という事も多々あるが、パソコンで検索できない（本人）。年2回市の福祉事業所の担当者と面談をしますが、リアルタイムの情報が欲しい。次まで検討となると半年待ちとなり、それでは遅い事も多々ある（就労の件で）。市の担当者は土日休み。私達親や本人も平日勤務で土日休み。面接のためこちらが休みを工面するのは大変。せめて土日どちらか相談できないものか。このアンケートで何かいい対策が出来ればいいと思っています。結果発表もおまちしています。アンケートで抽出された課題対策を講じた案件等。ヘルプカードって市が本人に配布するものですか。どこに置いてあるのですか。

- 入所施設の充実、短期入所時のベッド数の増加。

- 障害者手当の充実。特に、財源の問題もあると思うが、認定時の家族全員の収入ではなく、障がい者本人の所得で認定をしてほしい。入所、通所施設の増設が必要と思う。

- グループホームに入所できるようにしてほしい。安心して生活できるようにしてほしい。

- サービスを提供する支援事業所（者）が少なく、受けたサービスが受けられない。特に、重度の自閉症児者に対する“行動援護”のサービスが受けられず困っている。支援員の数も少なく必要な時に、必要な時間のサービスがまるで受けられない。女子ならさらに深刻。家族とは常に行動を共にしているので、家族以外の人の支援を受けて外出してみたい・・・と願う本人・・・せっかく育てている「気持」をかなえられなくて残念だ。障がい者の通所施設でのグループホーム建設が増えているが・・・とにかく基準が厳しく、建築、改築等の費用

がかかり、保護者会等での立ち上げが難しい。立ち上げたとしても夜間滞在のヘルパーの確保が難しく、重度の障がい者の実家からの独立は非常に困難だ！定員 40 人などの大きな施設の必要性は感じられないが、重度の障がい者はやはり介護人がいなくては生活できない！グループホームは無理（効率も悪い？）でも 10～15 人定員のミニ施設があればいいと考える。

- 知的障がい者が安心して働くところを多くしてほしい。知的障がい者の就労移行支援事業所など紹介してほしい。
- 現在、自宅から通所施設に通所しています。将来、生活入所できる施設が無いので、市で作ってほしいと思います。介助を受けるのに手続きが大変面倒です。1つの窓口で1本化できるか、ケア・マネジャーさんに代理で行ってもらえないのかと思います。もし、災害があった時、障害のある子と私だけでは、逃げられないかもしれませんが、普段、つきあいのない民生委員さんとか協力員の方は、様子のわからない私たちで、かえって足手まといになり、二重災害になりはしないのかと心配で登録を考えてしまいます。普段と違う事だけでパニックになる子を、上手に助けてもらえないのではないかと不安の方が先にたちます。
- 山形市は最上地区などくらべても、まだまだ、グループホーム、事業所が足りていないと思います。学校卒業後、自宅から通って働きたいと考えていますが、働く場所があるのか不安です。A型の事業所も少ないとききます。自立してもらう為にも働くことは必要ですし、続けていく為にも自分に合った仕事を見つけてほしい。その為にも、もっと事業所の数を増やしてほしい、充実させてほしいです。
- 高1の息子は、スポーツに興味を持ち体力をもてあましている状態です。知的障がいのある人達が教えてもらえる団体に入っていますが、土・日開催で息子をもっといろんなスポーツ連れて行きたいですが、共働きで、難しさを感じ我慢させています。移動支援を月1回利用していますが、もう少し利用できるとありがたいです。ヘルパー不足を聞き今後不安です。人材の育成だったり、ヘルパーさんの待遇面の改善に期待しています。よろしくお願いします。提出が遅くなりすみませんでした。障がいのある人、その家族がもっともっと生きやすい環境になりますように…との願いを込めて記入させて頂きました。
- 1年10ヶ月前に主人の転勤にともなって山形に引越してまいりました。市役所・福祉相談支援事業所・福祉作業所等の職員の方々、皆さんとても親切に対応してくださりととても感謝しています。作業所入所にあたっては職種の数も少なく、また、障がい者雇用の一般企業の情報なども少なく、今後今のままのB型で生活をつづけるのも不安な所があります。一般企業の障がい者雇用がもっとオープンで、本人まかせと言うよりは企業側が作業所を見に来たり、B型作業所が企業の見学や体験の場を作るなどフレンドリーに交流出来ると良いと思います。また、住宅にあたって障がい者が入居出来る市・県営住宅の推進などもオープンに情報発信していただきたいです。宜しくお願いします。（母より）
- 18歳になると（高校を卒業すると）、事業所に通って就労する方が多いと思いますが、家、事業所だけの毎日になってしまい、外出する事も少ないので、障がい者が参加できるイベント（支援者付きの）を行ってもらえると、外出の機会が増えると思う。障がい者向けのスポーツ教室など（月2回位のペースで）あればいいと思う（年一回のスポーツ大会ではあまり意味がないと思う）。山形市は、他市町村よりも、障がい者を対象としたサービス、イベント、情報発信が少ないと思うので、もっと考えてほしい。毎回市報にのっている障がい者向けのお茶会などの他に、障がい者本人、及び家族が意見を気軽に言えるような場があればいいと思う。グループホーム、空屋を利用して使いやすくし、増やしてはどうか→提供したい方もいると思います。
- 公的機関、団体、企業が、事業所のサポーターとして作業や活動を応援してくれる取り組みができればいいと思います。
- 我が子は今、障がい児通所施設の放課後デイに通っております。現在、養護学校高等部3年となり、卒業後の事業所探しをしておりますが、安心して子供を預けられる所があまりにも少なく、この現状に愕然とするばかりです。あちこち事業所を見学に行くたびに、悲惨な光景が目につき、ひどい所では人間扱いされていないような事業所も…。学校に通学し、放課後デイに通い、良い療育と手厚い対応をしていただいていたのがとても良くわかりました。生活介護の現場がここまで荒んでいるとは思ってもみませんでした。まずは介助してくださるスタッフの数の少なさに驚き、対応してくださっている方々の質の低さに愕然とし、このまま卒業して、こんな所に子供を通わせなければいけないのか…とかなり悩みました。そして、この事業所だったら…と思った所では定員がいっぱいで受け入れを断られ、今現在、卒業後が不安でしかたがありません。山形では、障がい児（者）に対して誠実に対応してくださる事業所が圧倒的に足りていないように感じます。この先、障がいを持って生まれたり、事故や病気などで障がいを持ってしまった者が、安心して幸せを感じながら生活できる場所作りをしていただかないといけないと思います。家庭の事情などで預けたいのに預けられる所が無いのでは、この先生活が荒んで行くでしょうし、心も身体もやり場がなくなってしまいそうです。どうぞ、行政の側からも出来る限りのお力添えをお願いしたく、宜しくお願い致します。※現在通所させていただいている事業所では、学校卒業後の生活介護の事業所を立ち上げる為に精力的に動いてくださっ

ています（ここでは医療ケアをしなければ生活できない子供もたくさん通っています）。たくさんの、障がい児を育てている親が早く安心して通える事業所が出来ることを望んでおります。早期実現を市政、行政の方からも後押ししていただけるように宜しくお願い致します。

- 障害程度によって受けられるサービスの内容が重度Aと中軽度Bとではあまりにも差がありすぎると思います。ぜひ、改善してほしいと思います（療育手帳の精神保健及び精神障害者福祉）。
- 来年利用したいと思い、放課後デイサービスを探しているが、定員がいっぱいということで何軒も断られている。障がいがある子を受け入れてくれるところは限られているので、仕事をするうえで大変不安に思っている。もう少し受け入れるところを増やしてほしい。
- 山間部に住んでいるため通勤や外出時の移動が困難なので（公共交通機関がない）、できれば支援してほしい。
- 私は県立の高等養護学校に通っていますが、あまりにも学校が古すぎて困っています。安心して学べる学校にして下さい（先生方も言っています）、お願いします。保護者からの意見です。私の子どもは、4才の頃より福祉施設に通所し、小学校、中学校は特別支援学級に通っていましたが、福祉施設の時は、常に相談し、子どもの事はもちろん保護者の私のこともいつも気に掛けていただき安心して通所することが出来ました。しかし、小学校、中学校と、学校の先生方とのコミュニケーションがとても大変な時があり、保護者としてどこまで学校に相談していいのか、相談しても、そこから先が進まず、とても辛かった時を経験し、やはり、私達（障がい児と保護者）の立場に立ち、一緒に話し合いができる相談員の方が、すぐ側にいるという環境が何より大切なのではないのでしょうか。今後も宜しくお願い致します。ありがとうございました。
- 山形市において、老人福祉については地域での活動もされていますが、障がいについてはプライバシー等の事もあるためか、対応されて居ないし、理解が無いと思います。災害避難支援も制度はあっても、担当課間の連携が出来ていないように思えます。出来たばかりの頃、市役所内で窓口が別の課だったこと。近所の方からの同意等もらう事の手続きだったためやめてしまいました。しかしながら、万一の時の訓練等、今後必要と思っています。グループホーム等、1人で身辺処理の出来る方の対応は増えて来ていますが、重度対応（24時間支援員在中、医ケア者対応）の出来る所がほとんどありません。今まで無かったからとあきらめて居る方も多いと聞きます。市立病院等と連携した対応も考えられるのではないかと思います。また、緊急時（家族など支援者対応出来なくなった時など）、短期入所（ショート）などのサービスを受けれる場を見つけるのがたいへんです。相談支援が円滑にまわって居ませんし、受け入れる場もありません。総合的に山形市として地域連携＝地域生活支援拠点の早期整備ができるように、行政、家族、事業所で共に学びながら山形市で障がい者が自分なりの生活をして行けるようになってほしいです。グループホームに移行する前にショートで練習出来るような事業所も少なく、福祉に関わって下さる人材も不足していると聞きます。障がい者の工賃もとても低く、事業所でも仕事（工賃増につながる）を見つけるのに、ご苦労されている現状です。公的仕事の中で、出来る仕事を障がい者事業所にもっと委託してもらえたらと思います。山形市も、みんな市民がもっと知的障がいの多種多様、それぞれ違うという事を知ってもらえるような社会であってほしいと思います。色々と思い強く、記入してしまいました。乱筆乱文で失礼いたします。※障がい者入院時、付添い要求された場合、コミュニケーションできない場合、家族が出来ない時にヘルパーさんが最重度でなくても支援サービスできるということを、市町村によっては独自にサービス実施しているとも聞きました。困っている方もおります。万一の時も安心出来るサービスを検討してもらえたらと思います。
- 昔よりは将来の選択も多くできるようにはなっただと思いますが、今は障がいのある方も多く、もっと施設など受け入れ先が増えればうれしいと思います。一般就労ができる会社の情報なども、どうやって仕入れれば良いのかかわからず、結局は横のつながりで情報を集めるしかないのが現状です。
- 大人のデイサービス、通所事業所へ通う時間以外に過ごせる場所がありません。現在ある色々な事業所で、土・日や平日の営業時間外でも日中短期を使って利用できたり、短期入所施設に宿泊なしで利用できるように仕組みが欲しいです。重度障害者向けのグループホーム、夜勤体制、職員体制の整ったグループホームの設立、または重度向けの体制作りを強く希望します。現在のグループホームでは、命の危険に対応できないと感じます。重度障害者の短期入所利用、入所施設やグループホームの職員が、元々いる入所者と一緒に支援・介護しなくてはならないのが現状ですが、職員にとっての負担も大きく、利用者の安全・安心も保障されません。利用者が重度の場合は特に、それに併って職員を配置できるような仕組みが必要です。人手不足、支援学校の先生の数も、現場ではとても不足を感じるものでした。事業所も、ほとんどの所が不足していると聞きます。事業所の職員は資格が必要ないので気軽に就職するものの、予想以上に大変でやめる人も多く、入れ替わりが激しいことで利用者の混乱も招きます。人手の確保を促す施策をご考慮頂きたいです。職員の教育、前述のように事業所には経験や知識のない方も多く、人数の不足もあるのでそれが大きな原因となり、通っている所では身体拘束の同意を求められました。拘束の要件には全く該当しない話です。障害による個々の特性への理解や対応方法、虐待防止など、各事業所の職員に向けた研修や指導をお願いしたいです（現在も行っているかもしれませんが）。※市で対応できる内容ばかりではないと存じますが、現在思いつく要望を

挙げさせて頂きました。(このアンケートについてですが、無記名であるのに、封筒の宛名下と同じ番号が印字されており、回答者が特定できるようになっているようで違和感があります。)

- 公共機関の分かりやすいマップやガイドを作っていただけたらうれしいです(子どもでも分かる活用できるような)。教育の場を選べるように・・・他県と比べても・・・でも、山形が好きなので引っ越しは嫌です。頑張ってください。支援クラスは、自立・就労活動が弱いと感じる。支援学校は、学習環境が弱いと感じる。かといって、補うためのデイサービスがまだ不足していると感じる。親も努力するが、社会の中で力を発揮する力をつけるには、家庭以外の場の提供・環境で慣れていくのが必要。

将来的不安の解消・サポート

- 収入の安定。(年金について) 将来とも減らない様にして欲しい。
- 在宅障がい者の支援。在宅障がい者の介助者が病気や高齢になった時助けてほしい。
- 両親と同居していますが、両親が高齢になった時に在宅生活の継続は困難に思われます。また、そういった時に入所できる施設がとっても少ないのでどうして良いか分かりません。将来的には、施設の数も多く、福利厚生がしっかりしている首都圏へ移住を考えています。雪も降らず、福祉サービスの情報も充実していますし、他県から沢山人が集まっていて、田舎より偏見が少ないので・・・山形県だけの入所施設の情報に限らず、他県の情報も積極的に取り入れて下さい。人口の流出なんて考えずに。中核都市になるよりもっと大事なことがあると思います。障害ってことでのアンケートでしたが、東北は閉鎖的で排他的で、よそ(この言い方もいやですね) から来ると住みづらいなあ。
- グループホームがもっと沢山人出来、親亡き後安心して生活出来る様になると良いなあと思います。インフルエンザの注射など障がい者にも補助があればと思います。
- 私の息子は、まだ若いので親が面倒を見ていますが、これから親も年を取って息子を見ている事が難しくなった時、もっと早くに老人のケアマネージャーの様ないつも気にかけてくれる人がいるとありがたいです。今も、年に1回相談支援専門員の方と話をするのですが、年に1回だけなので、次の年には全然ちがう人が担当になり、話ができない状態です。老人のケアマネージャーさんだと時々「どうですか?」などかかわってくれますが、障がい者はいつもおいてけぼりの様な気がします。息子は病気もあり、一人では移動は無理なので、グループホームに入れるのは、正直不安だらけです。薬も一人では飲めず、なかなか言葉も上手に話せません。将来、親が介護が難しくなった時、どこにお願い出来るかもわかりません。そういう情報は全然と言っていいほどありません。老人にばかりでなく障がい者にも一人一人その子供の事を良くわかってくれる介護員がいる所にあずけたいと思います。どうかもっと障がい者を見て下さい。
- 現在は、働いており家族と暮らしているが、将来、家族との生活が不可能になった時に、どこにどの様な施設があるのかほとんど知りません。何か知る方法があるのでしょうか。
- これから、生活するにあたり、自立して、一人で生活できるようにしたいです。そのための、支援をしていただきたい。B型事業所の工賃も、少し、見直していただきたい。昼食や保護者会費などを支払うと、残りはとても少なく、今は、親がいるので、なんとか、なっていますが、これから先のことを考えると大変不安です。安心して生活していけるようによろしくお願いします。
- 同居の代理人です。将来の事が常に不安です。支えてやれる人が(親)いなくなったら、どうになってしまうのだろうと考え続けています。学生の間は、学校に相談という方法が一番信頼できる選択肢だったのですが、卒業後はどこに行ってみれば良いのかわからない状況があります。所属する事務所によって得られる情報に差があるように感じます。健康診断やインフルエンザの予防接種などの実施なども様々です。将来を考えて、少しずつでも就労環境や賃金が良くなるように取り組んで欲しいと願っています。もっと本人ができる事があるのではないかな。本人達の力を伸ばしてあげられないか。社会の目が厳しいと、就労という点では思います。
- 介助者である両親との同居できる今はよいが、親なき後の生活をどうしていくのか、まだ勉強不足でよくわからない。入所施設、グループホームの数すら確認していない。障がい者であっても、質の良い生活を親なき後も一生送っていけるよう支援者、介護員の育成、設備の充実、数を増やすなど、できる事から障がい者のために力を入れてください。
- 地域生活支援拠点を早く作って欲しい。更に将来的には障がい者と高齢者どちらにも対応できるようにして欲しい。親達の高齢化に伴わない、本人達に必要な福祉サービスが親子同時に必要となることが想像でき、

当事者としては不安である為。障がい者を取り巻く問題点は福祉のみならず多方面の行政、部、課の係わり無くしては解決しないと思う。他の部課の職員の方々にも勉強の機会を作って欲しい。そして、家族と共に、障がいを持つ人に手を貸して欲しい。山形は全国的に見て、福祉施策が遅れていることが残念である（ワーストに近いことも多い）。山形らしい（まじめな県民性を生かして）抜本的、オリジナリティあふれる福祉組織を作って欲しい。障がいはあっても、個々には、素晴らしい能力がたくさんある。山形の産業の中にも活かせる能力を持っています。その能力と産業を結びつける機会を継続的に作って欲しい（工賃アップにもなるはず）。山形市の障がい者施策に多いに期待しています。早期実現されることを見守っています。（家族記入）

- 現在、障害年金も受給し、両親も健在で、安定した生活をさせていただいており、ありがたいことと感謝しております。ただ両親とも、70才を超えており、将来、体調を崩したり、死亡した時には、どこかの施設に入れていただきたいと思っており、そろそろ見学などに廻ろうと考えております。施設の増設、環境整備等、尽力いただければ願っております。
- 親が毎日必死で、かかりきりになって世話をし、在宅でなんとか生活しています。自分達が世話できなくなった時、安心して本人が暮らせる所があるのでしょうか。そんな不安が毎日頭をよぎります。親がサポートできるうちに、グループホームなどで自分の生活を始められるようになってほしいと考えていますが、障がいに合った所があるのか、それに入れるか…心配ばかりです。特別支援学校ができ、米沢や新庄に行かずにすむようになったのは本当にありがたいことでした。だから、その後の生活も、山形市ですごしていけるよう、入所施設やグループホームも増やしてほしいと願っています。
- 精神障害者のグループホーム作って下さい。建設予定地のメドついたら住民説明会を開いて下さい。当事者、親など出向いて説明させて下さい。副作用についての理解も得たいです。親たちは皆自分の死後を心配しています。空き家でも何でもいい、住む所がほしい。退院後住む所がないので入院を続けざるを得ない人達が大勢います。
- 給料、年金が少なく、1人で生活ができない。1人になった場合、どうやって生活すればいいのか。
- 両親が元気なうちはなんとか大丈夫ですが、いなくなった時の事を考えるととても不安です。不安が少しでもなくなるようよろしくお願いします。
- 今現在は本人がまだ小さい為、一緒に生活していますが、親に何かあったり、社会人になった際には就労先や住居など悩むことが多いです。本人が1人になった時、世話をしてくれる人がいるのでしょうか…収入についても不安です。
- 親が年を重ね、介助ができなくなった時施設にすんなり入所できるかどうか。
- やっているとは思いますが、情報が届かない。障がいを持つ親のネットワークで知ることが多い。現在中学生だが、高校になれば医療費が無料でなくなる。医療機関には必ずかからなければいけないので考えてほしい。
- 重度の障がいのある人が、親亡き後も安心して生活出来る場所を増やしてほしいです。
- 親が亡くなった後も、心配なく安全安心に暮らしてほしい。親が病気や高齢などで世話が出来なくなった場合、財産や権利をきちんと守って世話をしてくれるかどうか知り、安心して子供を任せたい。学校卒業後、事業所などの情報提供をしてほしい（パソコンはないし、役所まで出向くにも体調が悪いことが多く難しいため）。年に1度か2度、自宅訪問などで要望や様子を聞き取りしてほしい（無理でしょうか…）。

障がい者支援情報・制度に関する広報強化

- いろいろ制度はあると思うが、どれをどの時期に選んで支援してもらうのがよいのか一目でわかる図解したパンフレットがないのでしょうか？人生プランナーのアプリでもよい。障害のレベルで選択していくと最適な生活パターンを考えてくれるものがほしい。
- 知的、複数の病気等が重なった場合も介護者の負担（経済面も含めて）は大変大きいです。複数になった場合も重心が交付出来る様な仕組みをお願いしたいです。1つの病気が重度でなければ交付出来ないという制度では複数（軽、中度でも）であれば負担も大きく困っている親、本人もかなりいらっしやると思うのですが…この件に関してもどこに相談に行けばいいのかもわかりません。

- 町内又は学区内で相談できる人が誰なのかわからない。
- 会社、支援センターなどでもっと親切、丁寧に関心ある話を話して仕事に長くつとめる様にして下さい。
- 私の近くに、両親が亡くなったので兄弟がずっと勤めていた会社を辞め、また、結婚もしないで面倒をみています。余りにも可愛想です。私共も小学校へ、中学校へ、そして施設に入るときは非常に暗い、不安な思いを経験致しました。全く先が見えない状態でした。普通に先に進める様な制度は作れないでしょうか。前もって自分の進むべき道が解っていたら、苦しみもなく、より良い選択が出来るのではないのでしょうか。
- 学校入学前に、事前に特別支援教育就学奨励費について知らせてほしいです（進学が決定した時点で）。この制度を知らなくて、ランドセルなど入学準備での費用の領収書をとっておく事がわからない人が多いので。
- デイサービスで「死」を感じる事があり、他へ移りました。他のサービスを受ける時に、参考になる利用者の声がもっと知りたかった。「レビュー」のようなものがほしい。いちいち役所や行くのも時間がない。障がい者用のアプリ開発。
- 児童についてのみの意見ですが、障がいのある子供が福祉サービスの利用を開始したいと思った時にまずどうしたらいいのかがどこにも書いてないし、誰も教えてくれない印象を当時は受けました。利用したい事業所さんを見つけた後、相談支援事業所を通して利用申請する事も後から知り、相談支援事業所をどこにしたら良いか市役所に相談に行っても、事業所一覧表を渡されるだけで助言はできないと言われ途方に暮れました。結局は表の一番上から問い合わせしました。なので、今後はもう少し一括して相談できる窓口を設置して頂けたら幸いです。
- 特別障害者手当の現況届、先日提出しましたが、氏名欄が狭すぎて記入しづらかったです。来年は御一考ください。知的障害者向けのグループホームが増えてきていると思うのですが、市内のどこに、どこが運営するグループホームがあるのか知りたいです。福祉という難しい仕事を担われている職員の方々、大変お世話になっております。窓口に行った時に、笑顔を見せていただけたら、少しほっとした気持ちになります。お忙しいこととは存じますが、よろしくお願いします。こちらも笑顔でうかがいたいと思います。
- 現在、息子は他市の事業所へ通所しています。在学中は、市内という事もあり、いろいろと情報が入ってくる機会もあったのですが、現在は、なかなか情報が入ってきません。自分の方から情報収集する必要があるのはもちろんだと思いますが、特に市外へ通所・通学している家庭へのお知らせ等があるととても助かると思います。

障がい者理解の促進

- ①幼稚園や小学校の頃から、障がいを持った人達とのふれあいや理解する機会を多くして欲しい。小さい頃からふれあっていればハードルが下ると思う。小学校、中学校の支援クラスの充実が必要だと思います。②障害者支援の様々な制度があっても、こちらから問い合わせないと教えてくれないし、一ヵ所だけでなく色々な場所、部署に行かなければなりません。それがとてつもなく不便でとてつもなく不親切です。聞かなければ情報を提示するのではなく、障がいを持つ人にとってためになる情報や制度を全て教えて欲しいです。この2点は私（代理人）が沢山の障害者を持つ保護者と話してみても共通で感じていることです。
- 現在、事業所に通って保育を受けております。知的障害があり、保育園へ入るには手続きが大変で早く受け入れてもらえるかも分からないという情報も聞きます。障害があると子供、大人も偏見の目で見られることも多くあります。私の考えとしては、幼稚園や保育園に障害のある子も受け入れるクラスがあれば偏見の目も少なくなっていくのではないかと思います。仙台では、上記のような保育所や幼稚園もあると聞いたことがあります。山形も力を入れて欲しいです。事業所さんは早く受け入れて下さり、保育を受けることで親の私も就労が出来て、ストレスになっていた（精神面）介助も楽になり暗い気持ちが明るくなりました。県内には、このような施設が少ないと聞きます。増えることで、悩んでいるお母さんの救いになるはずです。
- とうじ、16才のときにハローワークにしごとさがしにいったが、おとこのひとから、30だいか40だいかたから療育手帳をもっている人にしごとがないといわれて、あのときிரிரいいまでもぼくとははずっとしよっくでいきています。これからは療育手帳をもっている人でも、町のおみせでも、ひとをいっぱいはたらかせてもらいたい。

- 以前利用していた施設で、子どもの障がい、こだわりへの理解が得られず、特に施設長は本人へのルールの教養（施設の）や表情からも子どもが感じるくらい嫌われる、嫌がられているという表情、態度で接したため、精神的に追い込まれ、既に亡くなった祖母と話をしたり、家から歩いて出ていってしまうなど精神科に強制入院する状態になったことがあります。退院後再び利用するにあたり、打ち合わせをし、少し受入れていただけたようになったと思ひ本人を連れて行ったら、またそこで子どものこだわりを理解しない言動があり、「もう二度と行かない」と本人が行くことをやめました。親として何とかしたいと市役所に電話して相談したものの「こまりましたね」の一言でおわり。もう子どもの居場所を見つけることができない、親が死んだあとこの子はどうなるのだろうと不安が大きくなっています。福祉という言葉はよく聞きますが、障がいを持った子の立場に果たして立っているものなのか。運営に都合の悪い子の居場所はないのでしょうか。本当の福祉はあるのか、と思います。

- 本人の兄も知的障害があり、今は生活介護事業所に通所しています。それ以前は、他の市町村にあるB型事業所に通所していました。そこでは度々パニックを起こし、他の利用者に暴力を振るうことがあり、その都度事業所と話し合ったり、「これ以上迷惑をかけられない。もう辞めさせて下さい。」とこちらからお願いした時もありました。それでも担当職員の方がとても熱心ないい方で、何度も親子共々励まして頂きましたが、その担当職員が不在の時に事業所の代表者から母親に電話があり、「もう対応できない。迷惑している。利用をやめて欲しい。」と言われました。それは事実なので言われて当然ですが、前に何度もこちらから「やめたい。」と言ってきたはずです。それに、担当者がいない時にそんな電話があり、非情で不愉快でした。障がい事業所なのに、手のかかる障がい者は排除するという考えが残念でした。他の市町村の事業所での出来事ですが、山形市の事業所には、障害者排除などして欲しくないです。

- 小中学校の特別支援級担当の先生はもちろんですが、その他の先生方も障害児の特性についての深い理解を希望します。そのためにも学校・福祉施設・状況によっては病院（担当医）との連携を取っていただきたいです。障害児・者（特に自閉症児・者）が病気やケガをした時、病院や診療所でスムーズな受診ができるように、全医療機関で診察・検査内容・順番の視覚化を望みます。障害児・者に対する市民の理解を得られるような施策を望みます。

- 息子は、現在、高等養護学校に通っています。入学して直面したのは、やはり就職についてです。自分が実習、就職したい企業等を自分で調べ、自分で行く。どの企業がどういった求人を出しているのかも、全然分からない状況です。学生なのでハローワークという訳にもいかず、本来ならば学校頼みですが、学校はこちらで調べた企業に電話してくれるのみです。他高校には企業から求人は来ても、現学校には求人は来ない。来ても、先輩達が就職した先の企業数カ所。特定雇用率が上がったと言っても、企業側の受け入れ先、窓口など全然分からないので、現学校の企業に向けたアピール不足、企業の求人開示等、山形市、山形県で一緒になって取り組んでいかなければ、特定雇用率云々は夢のまた夢です。障害者施策を唱えていても、現状は何も変わっていません。障がい者であっても若い子達が働ける様、窓口を広げてくれる様、企業側に理解を促して頂きたい、そして、その旨、学校を通して教えて頂きたい。それが親の願いです。自動車免許取得についても、自動車学校、免許センター共に何の考慮、対応もなく、知的の子は落とされるだけ。アメリカの様に、時間を増やしたり、分かりやすい文章、教科書にしたり、一切配慮のない山形市（日本？）に対しては非常に残念に思います。自動車学校等にも、もっと指導がされるべきだと思います。障がい認定についても、しょっちゅう実施しなければならず、金銭的にも心身的にも負担が大きいので、改善を望みます。一個人が何を言っても、どうせ他人事だからと、この意見は潰されてしまうかもしれません。今までも、声無き声は、潰されてきました。規則だから、今までこうだったから、と。それでも、少しでも当事者の声が伝わってくれば良いと思ひ書かせて頂きました。

- 重複して病気をもっているが、1つ1つの病気が重度でないとトータルして、考えてもらえないように思う。日常生活の制限が沢山あることなども考慮して、障がいの区分や判定を考えてほしい。学生ではデイサービスのサービスがあるが、卒業してしまうとそれに代わるサービスがない。同じように使えるサービス（夕方までのすきま時間）が欲しい。医療行為をしているが、短期入所など利用できる場所が少ない。グループホームの利用も安心できる場所がないと利用できない。

- 病気やケガをして医療機関を受診する時、床屋を利用する時等、公共の施設利用で障害を理由に断られたり嫌な顔をされたりします。障害の有無に関係なく受け入れてくれる施設が増えるよう、地域の理解と広い心が欲しいです。障害の定期検診は上山市の子ども医療センターを利用していますが、山形市内にも同様の医療機関があると助かります。特別支援学校に在学中ですが、教諭が2人欠員の為、担任のいない状態が5月末から続いています。的確な支援が受けられるよう職員配置して下さい。天童市などのように、通学やデイサービスに利用できるタクシーのサービスをしてください。山形市立の小中高一貫の特別支援学校と職業訓練所を設立してください。

- 小学校を自由に選択できるようにして欲しい。通学距離が遠すぎる学区に保護者が付き添いを毎日するのは困難。それが理由であっても、学区を変更できないのは、保護者への負担が大きすぎる。子供が一人だけで

あれば可能かもしれないが、少子化問題と取り上げているが、実際は、保護者への負担が大きすぎて。市は全く寄り添ってくれない。もう少し、理解していただけるとありがたいです。

- 医療従事者（医者・看護師など）の障がい者に対する対応が健常者と同様で、理解不足を感じる。例えば、わかりやすい言葉ややさしい日本語でゆっくりと話しかけるとか。待ち時間が長すぎて、障がいを持つ子供にとっては、体力的に疲れたり、気持ち的に負担がかかることを理解していただけるよう、研修会などで啓発していったほしい。そのような対応が出来る病院（個人病院）がわかるようにステッカーなど貼付していただくと、不安が少し解消される。

アンケートについて

- グループホームの世話人をさせて頂いていますが、今回のアンケート、知的障害の有る方にはとても難しかったです。文面を読み分りやすい言葉にし、理解して頂いてから記入して頂いたので2時間近くかかりました。その方に合った文章で書いていただければ分りやすいと思いますと共に、福祉課より来る書類も理解して頂くのに大変です。役所の文面なのは分りますが、その方に合った書類を送るのも人に対しての気配りと思います。検討して頂ければ幸いです。これこそが障害を持って来た方に対しての平等かとも思います。
- 今回の福祉アンケートについても重度の障がいの場合、回答もほとんど親の意向であり、幅の多い障がいではその分野の個別の訪問聞きとり等で、基礎資料の作成が有効ではないのかと思います。
- このアンケートをきっかけに色々な福祉サービスがある事がわかった。アンケートの記入は、まだ子どもの為、保護者（母）が記入しましたが、将来的な事もありましたが内容的に子どもの意向で記入するには、少しむずかしかったです。
- この調査票は我が家の子供にはとっても理解の出来ない質問です。言っている意味も分からない、むずかしいものだと感じました。色々な面で1人の人間としてみてもらえませんか（ことばの教室、スイミング）。障害の有る人が、もっともっと外に出て活動する場を作りたいと思います。又、給料は昼食代と送迎代を支払うとマイナスです。障害が有っても生まれてきて良かったと思える社会で有って欲しいものです。
- 今回のアンケートの内容は、もう少し具体的でないと答えようがなく、手帳を持っている対象者全体だけで施策に結びつくか、想像できなかった。要望は避難行動支援制度があっても一般の避難者と同じ場所ではむずかしいと思うので、障がいをもっている人だけが集まれる避難場所も考えて欲しい。

その他の意見

- 山形でも、ヘルプカードをもらいたいです。
- 発達障害で人とコミュニケーションとるのが苦手。あと、障害者枠でお仕事したいと考えている。でも知的障害あるため、計算などできないので、理解してる仕事先でアドバイスしたい。
- 私の姉（74才）について記入したつもりです。姉は分娩時の障害で脳性マヒだと思ってます。当時を話してくれた母も亡くなり、さらに詳しく確認することもできませんが、医療を勉強した私の判断です。とても残念に思うことがあります。耳と目の機能は普通で言語障害と身体障害がありますが、戦後、まもなくのことで就学猶予ということで修学してません。修学していたら本人の人生、家族の（特に両親の心の負担等）、方向性も違ったのではと残念な思いが残ります。これからの子の残された機能をみつけ、伸ばし、援助して下さることを望みます。
- 相談しやすい窓口でいてほしいです。
- 我々障がい者は、災害時に一般の人と同一場所で避難して数日を共にすることは不可能です。災害が起きても現在の場所は離れないと思います。

障がい者施策に関する主なニーズ「知的障がい者」

【働き続ける（または将来働く）ために必要だと思うこと】

働き続ける（または将来働く）ために特に必要だと思うことについて、全体では、「職場に仕事のアドバイスや配慮をしてくれる人がいること」が 37.8%と最も高く、次いで「自分に合った仕事である」が 34.7%、「障がいや病気に対する理解や配慮」が 34.0%と続いている。

《知的障がいの等級別》

知的障がいの等級別でみると、＜A 区分＞では、「障がいや病気に対する理解や配慮」が 4 割半ばと最も高く、次いで「職場に仕事のアドバイスや配慮をしてくれる人がいること」が 2 割半ば、「自分に合った仕事である」が 2 割強と続いた。一方、＜B 区分＞では、「職場に仕事のアドバイスや配慮をしてくれる人がいること」が 4 割強と最も高く、次いで「自分に合った仕事である」が 4 割強、「通勤が自分で行ける」が 3 割半ばで続いた。

上段:件数 下段:%	回答件数	勤務時間や 日数の短縮	通勤が自分 で行ける	具合が悪く なった時に気 軽に通院で きる	職場の建物 や設備などを 障がい者に 配慮した環 境への整備	自宅で仕事 ができること	給料・賃金が 妥当である	自分に合った仕事である	仕事をするための訓練
全 体	262 100.0	13 5.0	71 27.1	27 10.3	39 14.9	10 3.8	44 16.8	91 34.7	22 8.4
知的障 等級が	A	66 100.0	0 0.0	6 9.1	5 7.6	12 18.2	1 1.5	6 9.1	15 22.7
	B	173 100.0	13 7.5	60 34.7	21 12.1	23 13.3	8 4.6	35 20.2	72 41.6

上段:件数 下段:%	会社や家族 などの自分 への理解	少しずつに仕 事に慣れて いけるようス テップを踏め ること	職場に仕事 のアドバイス や配慮をして くれる人がい ること	障がいや病 気に対する理 解や配慮	その他	特にない・ま だよくわから ない	無回答
全 体	43 16.4	55 21.0	99 37.8	89 34.0	7 2.7	35 13.4	18 6.9
知的障 等級が	A	4 6.1	11 16.7	16 24.2	30 45.5	4 6.1	9 13.6
	B	36 20.8	39 22.5	74 42.8	49 28.3	2 1.2	23 13.3

1位 2位 3位 の項目

【差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うこと】

差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うことについて、全体では、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が 61.1%と最も高く、次いで「障がいや病気への正しい理解の啓発」が 46.2%、「福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす」が 24.0%と続いている。

《知的障がいの等級別》

知的障がいの等級別でみると、＜A 区分＞では、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が 6 割半ばを占めて最も高く、次いで「障がいや病気への正しい理解の啓発」が 5 割半ば、「障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする」が 2 割半ばと続いた。＜B 区分＞では、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が 61.3%と最も高く、次いで「障がいや病気への正しい理解の啓発」が 4 割半ば、「福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす」が 2 割半ばと続いた。＜A 区分＞＜B 区分＞ともに、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が最も高く、次いで「障がいや病気への正しい理解の啓発」が続き、制度や意識の面で特に力を入れていく必要があることとしての認識が高いことが示された。

上段: 件数 下段: %		回答件数	子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす	福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす	情報提供の充実	障がいや病気への正しい理解の啓発	支援ボランティアの育成を進める	公共施設などの改善・整備を進める	障がい者の団体組織が積極的な取り組みを進める
全 体		262 100.0	160 61.1	63 24.0	56 21.4	121 46.2	44 16.8	22 8.4	24 9.2
知的障 等級が	A	66 100.0	44 66.7	14 21.2	12 18.2	34 51.5	15 22.7	5 7.6	3 4.5
	B	173 100.0	106 61.3	43 24.9	41 23.7	79 45.7	25 14.5	16 9.2	17 9.8

上段: 件数 下段: %		回答件数	障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする	手話通訳者・要約筆記者の派遣の充実	道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする	その他	特になし	無回答
全 体		262 100.0	48 18.3	5 1.9	25 9.5	5 1.9	27 10.3	16 6.1
知的障 等級が	A	66 100.0	17 25.8	0 0.0	9 13.6	1 1.5	3 4.5	6 9.1
	B	173 100.0	28 16.2	5 2.9	13 7.5	3 1.7	21 12.1	7 4.0

1位 2位 3位 の項目

【相談機能を充実させるために必要だと思うこと】

相談機能を充実させるために必要だと思うことについて、全体では、「身近な場所で相談できること」が42.0%と最も高く、次いで「福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制を充実」が34.4%、「適切なアドバイスができる人材」が30.9%と続いている。

《知的障がいの等級別》

知的障がいの等級別でみると、＜A区分＞では、「福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制を充実」が4割弱を占めて最も高く、次いで「適切なアドバイスができる人材」が4割弱、「一か所で用事が済む相談窓口を設置する」が3割強と続いた。＜B区分＞では、「身近な場所で相談できること」が5割と最も高く、次いで「わかりやすい情報の提供」が3割半ば、「福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制を充実」が3割弱と続いた。

上段:件数 下段:%	回答件数	身近な場所 で相談できる こと	プライバシー の配慮	適切なアドバ イスができる 人材	電話やFA X、Eメールな どによりいつ でも相談でき ること	素早い対応 をしてくれる	わかりやす い情報の提 供	たらい回しに されない
全 体	262 100.0	110 42.0	38 14.5	81 30.9	17 6.5	54 20.6	74 28.2	38 14.5
知的障 等級が	A	66 100.0	19 28.8	7 10.6	25 37.9	1 1.5	16 24.2	13 19.7
	B	173 100.0	82 47.4	27 15.6	51 29.5	15 8.7	31 17.9	58 33.5

上段:件数 下段:%	回答件数	相談員の資 質向上	一か所で用 事が済む相 談窓口を設 置する	市や県、民 間相談機関 の連携	福祉・教育・ 就労などの 一貫した相 談支援体制 を充実	その他	無回答
全 体	262 100.0	38 14.5	75 28.6	27 10.3	90 34.4	10 3.8	21 8.0
知的障 等級が	A	66 100.0	9 13.6	22 33.3	8 12.1	26 39.4	1 1.5
	B	173 100.0	28 16.2	48 27.7	17 9.8	55 31.8	7 4.0

1位 2位 3位 の項目

【今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思うこと】

今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思うことについて、全体では、「経済面での支援が受けられる」が 36.3%と最も高く、次いで「障がいや病気について周囲の人の理解」が 33.2%、「安心して住めるところがある」が 29.4%と続いている。

《知的障がいの等級別》

知的障がいの等級別でみると、＜A 区分＞では、「入所施設の整備」が 5 割弱と最も高く、次いで「通所施設の整備」が 3 割強、「障がいや病気について周囲の人の理解」が 3 割強と続いた。＜B 区分＞では、「経済面での支援が受けられる」が 4 割半ばと最も高く、次いで「障がいや病気について周囲の人の理解」が 3 割半ば、「安心して住めるところがある」が 3 割弱と続き、等級別で特に力をいれていく必要があると思うことは意見が分かれる結果となった。

上段:件数 下段:%	回答件数	在宅生活において、介助がいつでも受けられる	通所施設の整備	学校や就職先が選択できる	安心して住めるところがある	入所施設の整備	経済面での支援が受けられる	相談体制	早期発見や予防につながる機会の確保	健康管理や治療・リハビリ	快適で安全なまちづくり
全 体	262 100.0	52 19.8	54 20.6	41 15.6	77 29.4	64 24.4	95 36.3	51 19.5	5 1.9	25 9.5	28 10.7
い 知 の 的 等 障 級 が	66 100.0	15 22.7	22 33.3	2 3.0	19 28.8	32 48.5	11 16.7	6 9.1	0 0.0	5 7.6	6 9.1
B	173 100.0	27 15.6	27 15.6	37 21.4	51 29.5	25 14.5	76 43.9	44 25.4	4 2.3	18 10.4	19 11.0

上段:件数 下段:%	回答件数	旅行や遊びのための外出が気にならず出来ること	障がいや病気について周囲の人の理解	地域での交流の機会	情報の公平な伝達	契約行為や財産など権利が守られること	災害時の避難支援	その他	特にない	無回答
全 体	262 100.0	21 8.0	87 33.2	13 5.0	15 5.7	22 8.4	40 15.3	12 4.6	10 3.8	11 4.2
い 知 の 的 等 障 級 が	66 100.0	4 6.1	21 31.8	2 3.0	5 7.6	3 4.5	11 16.7	8 12.1	0 0.0	4 6.1
B	173 100.0	15 8.7	62 35.8	10 5.8	9 5.2	18 10.4	26 15.0	4 2.3	8 4.6	6 3.5

1位 2位 3位 の項目